

世論調査結果報告書
令和4年6月調査

都民生活に関する世論調査

令和4年12月

 東京都政策企画局

ま え が き

「都民生活に関する世論調査」は、都民の日常生活に関わる意識や、都政に何を望んでいるかなどを調査し、今後の都政運営に役立てることを目的として実施しています。

経年調査の項目（「暮らし」「住んでいる地域」「東京」「都政への要望」）では、過去の調査結果をもとに意識の変化を把握しています。

今回は、経年調査の他に「文化」を取り上げました。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に合わせた文化プログラムの実施や、コロナ禍による行動制限を踏まえた「東京の文化」「都民の文化活動」「これからの東京の文化振興」に関する都民の意識等を調査しました。

この世論調査が、行政担当者のみならず、広く都民の方々や、都民の生活意識に関心のある方々のお役に立てれば幸いです。

最後に、この世論調査にご協力いただいた多くの皆様に深く感謝申し上げます。

※ 「都民生活に関する世論調査」は、昭和43年から毎年実施してきた「都市生活に関する世論調査」と、昭和47年から毎年実施してきた「都民要望に関する世論調査」を平成10年に統合したものです。

令和4年12月

東京都政策企画局戦略広報部

目 次

※印は過去の調査結果を掲載する質問項目

調査実施の概要	①～⑤
調査結果の詳細	1
1 暮らし	3
※1-1 暮らしむきの変化	3
※1-2 暮らしの余裕	9
※1-3 生活程度	14
※1-4 これからの暮らしむき	18
※1-5 今後切りつめていくもの	23
※1-6 生活満足度	26
※1-7 満足の理由	30
※1-8 不満の理由	33
※1-9 今後の生活の不安	36
※1-10 税金への関心度とその内容	40
2 住んでいる地域	46
※2-1 地域の住みよさ	46
※2-2 地域定住意向	50
3 東京	60
※3-1 東京の住みよさ	60
※3-2 東京定住意向	66
4 都政への要望	79
※4-1 これからの都政の進め方	79
※4-2 新型コロナウイルス感染症対策	82
※4-3 都政への要望	86
4-4 具体的な要望施策	90
5 東京の文化	96
※5-1 文化的な環境	96
※5-2 東京は世界的な文化都市か	100
※5-3 文化都市であると思う理由	102
※5-4 文化都市であると思わない理由	105
※5-5 海外発信	108
6 都民の文化活動	110
※6-1 文化鑑賞・文化イベント参加への興味・関心	110
6-2 文化鑑賞・文化イベント参加への意向	113
※6-3 文化活動への興味・関心	117
※6-4 文化活動の効果	120
※6-5 今後の文化活動	124
7 これからの東京の文化振興	129
※7-1 文化的レガシーの継承	129
※7-2 文化施策に対する要望	132
調査票及び単純集計結果	137
付属資料	159

調査実施の概要

1 調査目的

都民の日常生活に関わる意識や、東京に対する意識を捉えるとともに、都政に対する都民の意識や意見・要望を把握し、今後の都政運営の参考とする。

また、今回は随時テーマとして、文化活動への興味・関心や文化施策に対する要望など、文化に関する意識等を調査した。

2 調査項目

- (1) 暮らし
- (2) 住んでいる地域
- (3) 東京
- (4) 都政への要望
- (5) 東京の文化
- (6) 都民の文化活動
- (7) これからの東京の文化振興

3 調査設計

- (1) 調査対象：東京都全域に住む満18歳以上の男女個人
- (2) 標本数：4,000標本〔令和元年までは3,000標本〕
- (3) 標本抽出方法：住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
- (4) 調査方法：郵送法（郵送配布・郵送回収、WEB〔インターネット〕回答併用）
〔令和元年までは個別訪問面接聴取法〕
- (5) 調査期間：令和4年6月17日～7月17日
- (6) 調査実施機関：一般社団法人中央調査社

4 回収結果

- (1) 有効回収標本数（率）：1,883標本（47.1%）〔うち郵送1,228標本、インターネット655標本〕
- (2) 未完了標本数（率）：2,117標本（52.9%）

未完了標本内訳

	無効回収	転居	拒否	高齢・病気等	死亡	宛先不明	未回収
2,117標本	87	4	2	17	2	103	1,902
比率(%)	4.1	0.2	0.1	0.8	0.1	4.9	89.8

(3) 性・年齢別回収結果

	男性			女性			無回答	合計		
	標本数	回収数	回収率(%)	標本数	回収数	回収率(%)	回収数	標本数	回収数	回収率(%)
18・19歳	31	8	25.8	31	8	25.8	-	62	16	25.8
20代	288	57	19.8	308	95	30.8	1	596	153	25.7
30代	325	112	34.5	291	136	46.7	-	616	248	40.3
40代	393	147	37.4	364	190	52.2	1	757	338	44.6
50代	331	149	45.0	331	191	57.7	-	662	340	51.4
60代	256	149	58.2	224	164	73.2	-	480	313	65.2
70歳以上	339	198	58.4	488	264	54.1	4	827	466	56.3
無回答	-	-	-	-	-	-	9	-	9	-
合計	1,963	820	41.8	2,037	1,048	51.4	15	4,000	1,883	47.1

(注) 平成28年より、選挙年齢の引下げに伴い、18・19歳を調査対象者に加えた。

5 標本構成 (n=1,883)

上段：実数
下段：(%)

(1) 性別

男	女	無回答	計
820	1,048	15	1,883
43.5	55.7	0.8	100.0

(2) 年齢

	18・19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年齢無回答	計
男	8	57	112	147	149	149	198	-	820
	0.4	3.0	5.9	7.8	7.9	7.9	10.5	-	43.5
女	8	95	136	190	191	164	264	-	1048
	0.4	5.0	7.2	10.1	10.1	8.7	14.0	-	55.7
性別無回答	-	1	-	1	-	-	4	*9	15
	-	0.1	-	0.1	-	-	0.2	0.5	0.8
計	16	153	248	338	340	313	466	9	1,883
	0.8	8.1	13.2	18.0	18.1	16.6	24.7	0.5	100.0

*性・年齢とも無回答

(3) 職業 ※ 年齢別職業分布はP④参照

自営・家族従業 (計)			勤め (計)							無職				無回答	計
自営業主	家族従業 (業手伝い)	家族従業 (家主)	経営・管理職	専門・技術職	事務職	労務・技能職	販売・サービス職	その他	無回答	主婦・主夫	無職の学生	その他の無職			
212	173	39	990	141	285	266	99	161	2	36	371	41	211	58	1,883
11.3	9.2	2.1	52.6	7.5	15.1	14.1	5.3	8.6	0.1	1.9	19.7	2.2	11.2	3.1	100.0

(4) 雇用形態 (勤めのみ n=990)

正社員、正規職員				派遣、契約・嘱託・パート・アルバイトなど				無回答	計
男	女	無回答		男	女	無回答			
665	386	279	-	315	97	217	1	10	990
67.2	39.0	28.2	-	31.8	9.8	21.9	0.1	1.0	100.0

(5) 住居形態

持家 (計)	持家以外 (計)		民間の借家 (二戸建)	民間の借家 (賃貸マンション・アパートなど集合住宅)	都市機構 (旧公団)・公社・公営の賃貸住宅・アパート	社宅・公務員住宅など 給与住宅	住み込み・寮・寄宿舎 など	その他	無回答	計	
	持家 (二戸建)	持家 (分譲マンションなど集合住宅)									
1,144	705	439	719	33	532	98	33	7	16	20	1,883
60.8	37.4	23.3	38.2	1.8	28.3	5.2	1.8	0.4	0.8	1.1	100.0

(6) 未・既婚

未 婚 (計)				既 婚 (計)						無回答	計
男	女	無回答		配偶者あり		離別・死別		無回答			
				男	女	男	女				
506	244	260	2	1359	502	559	71	221	6	18	1,883
26.9	13.0	13.8	0.1	72.2	26.7	29.7	3.8	11.7	0.3	1.0	100.0

(7) 共働き状況（既婚・有配偶のみ：性別無回答を含む n=1,064）

共働きをしている (計)				共働きをしていない (計)				無回答	計
男	女	無回答		男	女	無回答			
562	265	296	1	500	236	262	2	2	1,064
52.8	24.9	27.8	0.1	47.0	22.2	24.6	0.2	0.2	100.0

(8) 世帯構成

単身 (本人のみ)	夫婦のみ (1世代世帯)	親と子 (2世代世帯)	親と子と孫 (3世代世帯)	その他の世帯	無回答	計
436	477	791	73	81	25	1,883
23.2	25.3	42.0	3.9	4.3	1.3	100.0

(9) 居住地域生まれか否か

居住地域 生まれ	居住地域 以外生まれ	無回答	計
495	1380	8	1,883
26.3	73.3	0.4	100.0

(10) 東京生まれか否か

東京生まれ	東京以外 からきた	無回答	計
846	1020	17	1,883
44.9	54.2	0.9	100.0

(11) 地域居住年数

1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～30年 未満	30年以上	無回答	計
53	111	103	174	188	155	248	843	8	1,883
2.8	5.9	5.5	9.2	10.0	8.2	13.2	44.8	0.4	100.0

(12) 東京居住年数

1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～30年 未満	30年以上	無回答	計
20	47	60	112	129	109	224	1176	6	1,883
1.1	2.5	3.2	5.9	6.9	5.8	11.9	62.5	0.3	100.0

(13) 世帯年収

200万円 未満	200～ 300万円 未満	300～ 400万円 未満	400～ 500万円 未満	500～ 700万円 未満	700～ 900万円 未満	900～ 1,100 万円 未満	1,100～ 1,300 万円 未満	1,300～ 1,500 万円 未満	1,500～ 2,000 万円 未満	2,000 万円 以上	わから ない	無回答	計
248	230	205	191	247	191	142	70	67	69	45	155	23	1,883
13.2	12.2	10.9	10.1	13.1	10.1	7.5	3.7	3.6	3.7	2.4	8.2	1.2	100.0

(14) インターネットの利用

利用している (計)	よく利用 している	ときどき 利用している	利用して いない (計)	あまり利用 していない	利用して いない	無回答	計
76.7	64.1	12.6	22.9	6.5	16.5	0.4	100.0

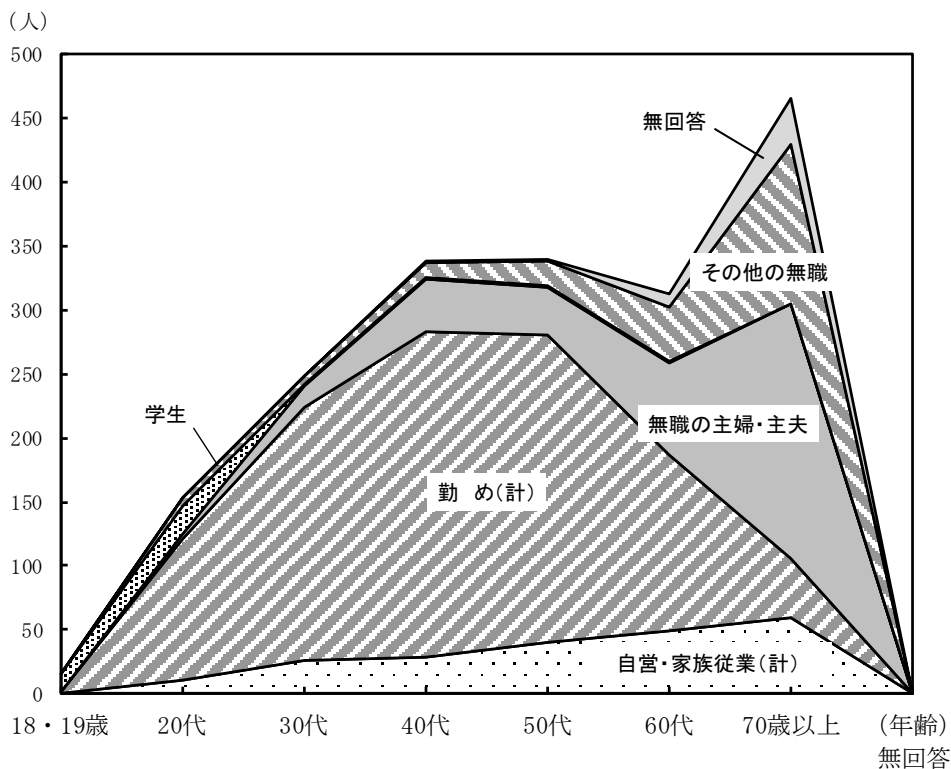
(15) SNSの利用

利用している (計)	よく利用 している	ときどき 利用している	利用して いない (計)	あまり利用 していない	利用して いない	無回答	計
67.4	47.4	20.0	32.3	9.3	22.9	0.3	100.0

(16) 居住エリア ※各エリアの範囲はP⑤参照

区部 (計)	センター ・コア	区部東部 ・北部	区部西部 ・南部	市町村部 (計)	多摩東部	多摩 中央部北	多摩 中央部南	多摩西部 ・島しょ	計
66.3	19.5	20.0	26.8	33.7	13.0	4.7	13.4	2.5	100.0

※ 年齢別職業分布



	18・19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答	計
自営・家族従業(計)	-	10	26	28	40	49	59	-	212
勤め(計)	1	111	198	255	240	138	47	-	990
無職の主婦・主夫	-	4	17	41	38	72	199	-	371
学生	15	22	1	1	1	1	-	-	41
その他の無職	-	6	6	12	20	42	125	-	211
無回答	-	-	-	1	1	11	36	-	58
計	16	153	248	338	340	313	466	9	1883

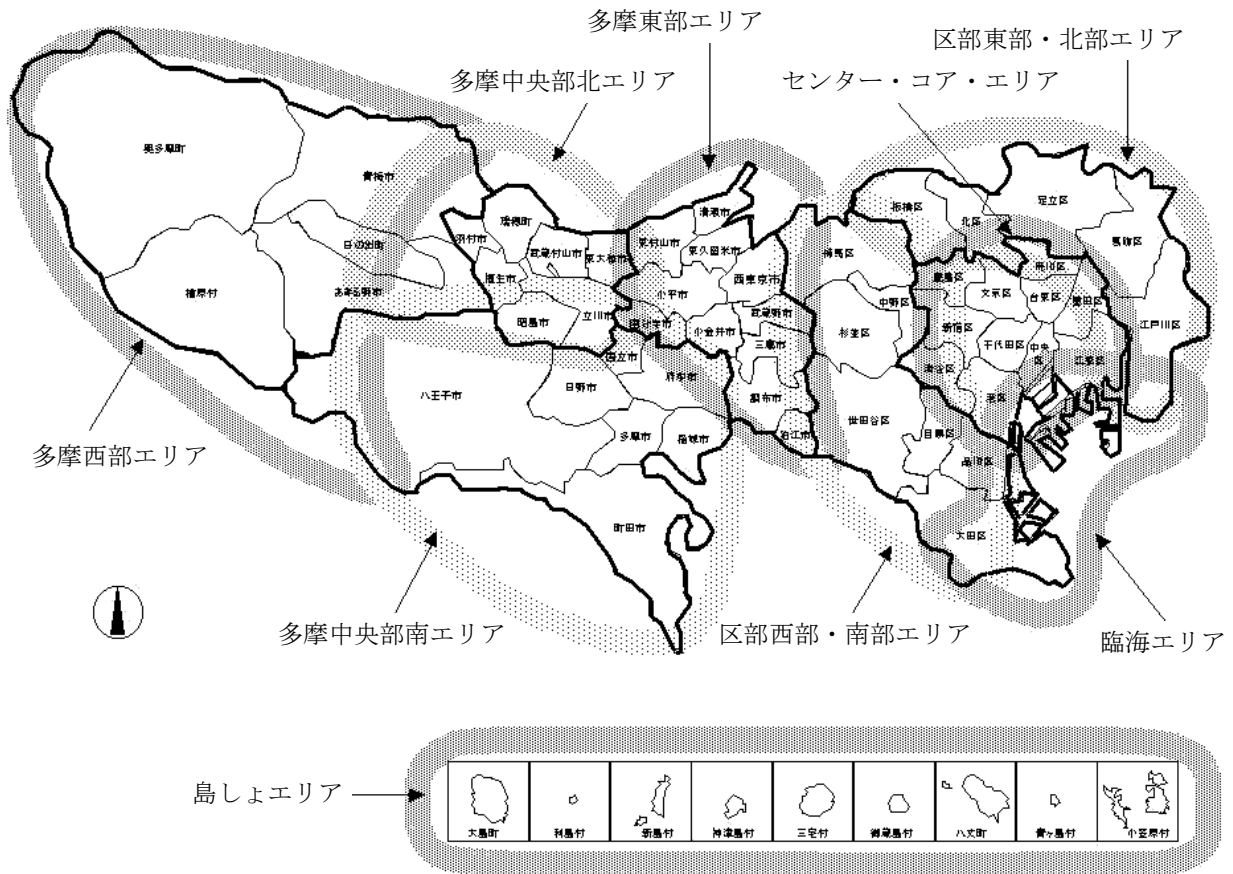
※ 層（エリア）

〔区 部〕

- センター・コア・エリア ----- 千代田・中央・港・新宿・文京・台東・墨田・江東・渋谷・豊島・荒川区
- 区部東部・北部エリア ----- 北・板橋・足立・葛飾・江戸川区
- 区部西部・南部エリア ----- 品川・目黒・大田・世田谷・中野・杉並・練馬区

〔市町村部〕

- 多摩東部エリア ----- 武蔵野・三鷹・調布・小金井・小平・東村山・国分寺・狛江・清瀬・東久留米・西東京市
- 多摩中央部北エリア ----- 立川・昭島・福生・東大和・武蔵村山・羽村市、瑞穂町
- 多摩中央部南エリア ----- 八王子・府中・町田・日野・国立・多摩・稲城市
- 多摩西部・島しょエリア ----- 青梅・あきる野市、日の出町、檜原村、奥多摩・大島町、利島・新島・神津島・三宅・御蔵島村、八丈町、青ヶ島・小笠原村



(注) 上記、世論調査における7つのエリアは、東京構想2000の9つのエリアを基に、従前の世論調査との継続性を考慮して、行政区域単位に便宜上、区分した。

調査結果の詳細

【報告書を読む際の注意】

注1) 用語・符号等

- n ——— Number of case の略
 質問に対する回答者数で、比率算出の基数を示す。
- M. A. ——— Multiple Answers の略
 回答者に2つ以上の回答を認める質問
- M. T. ——— Multiple Total の略
 M. A. の場合に、回答の合計を回答者数（n）で割った比率で、通常100%を超える。
- 図中「0」 }
 表中「-」 } ——— 皆無の結果を示す。
- 図中「0.0」 }
 表中「0.0」 } ——— 0.05%未満の結果を示す。

注2) 結果数値 (%) ——— 数値は、各実数を基に比率表示し、小数第2位を四捨五入している。
 したがって、内訳の合計が全体の計に一致しないことがある。
 また、結果の説明においては、小数第1位を四捨五入している。

注3) 調査結果には、統計上多少誤差（標本誤差）が生じることがある。なお、層化二段無作為抽出法による標本誤差は次の式で算出される。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \cdot \frac{P(100-P)}{n}}$$

Nは母集団数（人）、nは回答者数（人）、Pは回答率（%）を表す。

注4) 調査結果の標本誤差の範囲は、以下の標本誤差早見表のとおりとなる。 (信頼度：95%)

回答の比率 (P) 基数 (n)	10%又は 90%	20%又は 80%	30%又は 70%	40%又は 60%	50%
1,883	±2.0%	±2.6%	±3.0%	±3.2%	±3.3%
1,500	±2.2%	±2.9%	±3.3%	±3.6%	±3.7%
1,000	±2.7%	±3.6%	±4.1%	±4.4%	±4.5%
500	±3.8%	±5.1%	±5.8%	±6.2%	±6.3%
300	±4.9%	±6.5%	±7.5%	±8.0%	±8.2%
100	±8.5%	±11.3%	±13.0%	±13.9%	±14.1%

注5) 調査結果の分析においては、全体平均と比べ、統計的に有意差のあるものを中心にふれている。
 なお、誤差を考慮し、nが50未満のものについてはふれていない場合が多い。

注6) 一部の図表では、対比を明確にするために選択肢の順序を入れ替えている。

注7) 性・年齢・職業などの属性又は他の質問項目とのクロス分析において、無回答を除いているため、各項目のnの合計が全体のnに一致しないことがある。

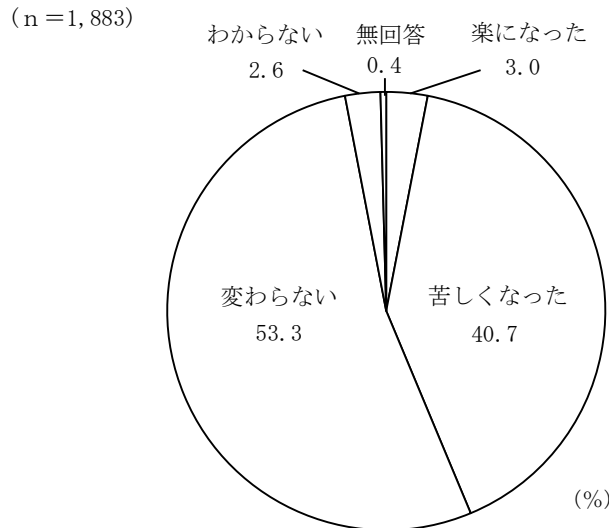
1 暮らし

※1-1 暮らしむきの変化

図1-1-1

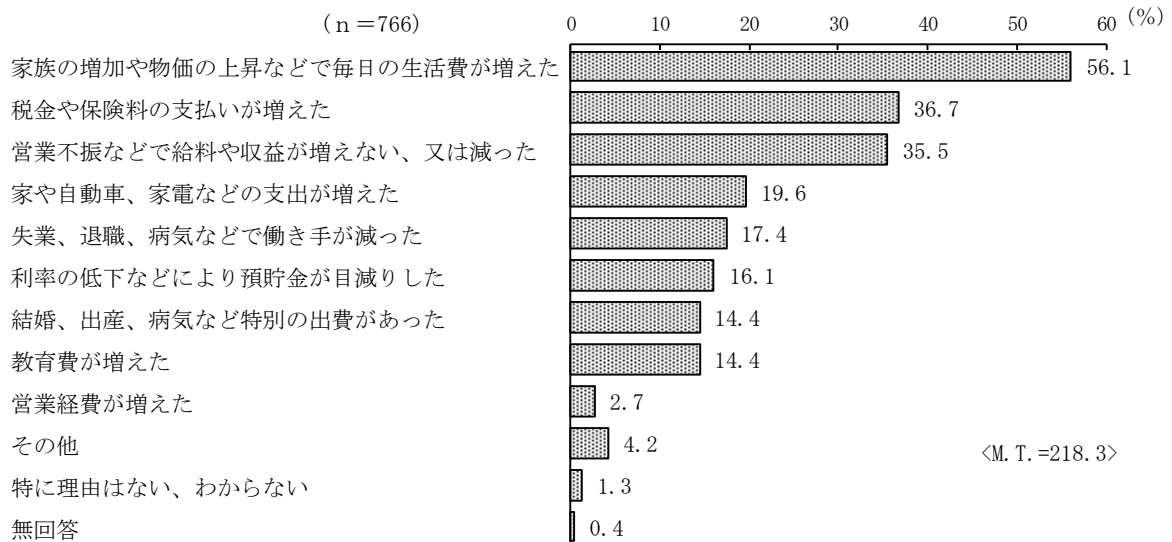
(全員の方に)

問1 さっそくですが、お宅さまの暮らしは、今年の今ごろとくらべて楽になりましたか、苦しくなりましたか、それとも、変わりませんか。(○は1つ)



(問1で「2 苦しくなった」と答えた方に)

問1-1 暮らしが苦しくなったのはなぜでしょうか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(○はいくつでも) (M. A.)



暮らしは、今年の今ごろと比べて楽になったか、苦しくなったかを聞いたところ、「楽になった」3%、「苦しくなった」41%、「変わらない」53%となっている。

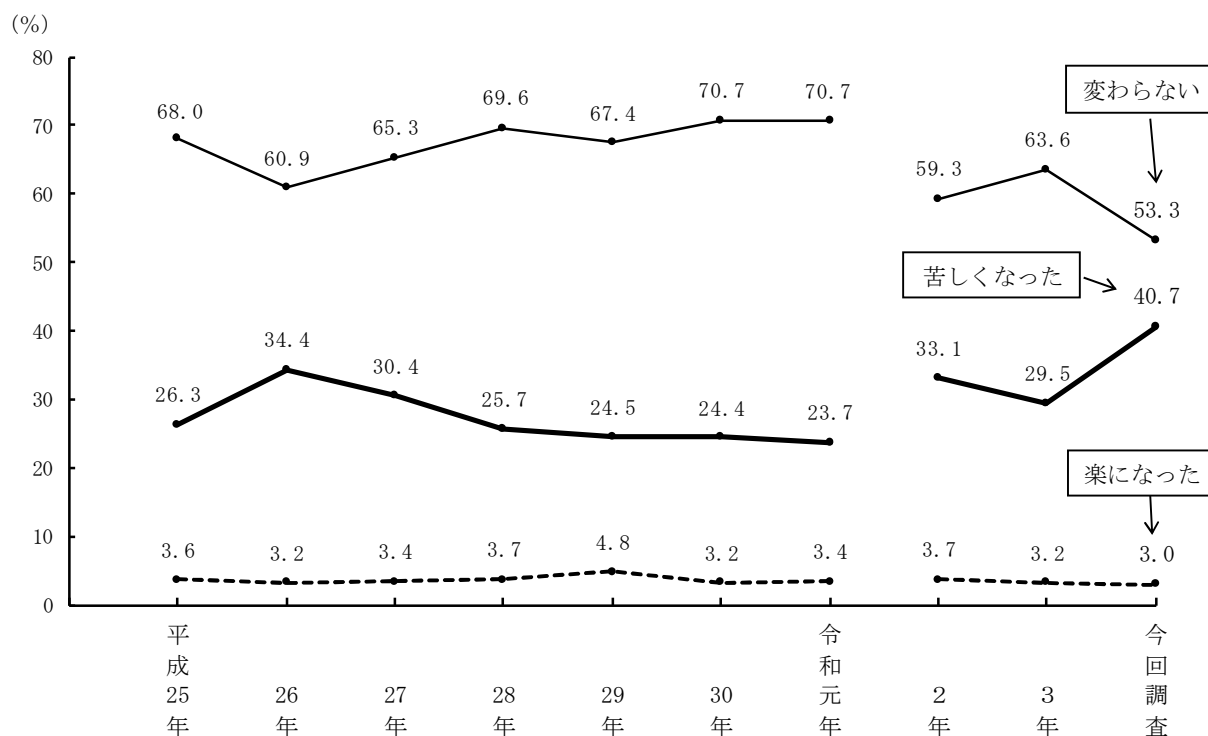
暮らしむきが「苦しくなった」と答えた人(766人)にその理由を聞いたところ、「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた」が56%と最も多く、次いで「税金や保険料の支払いが増えた」37%、「営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った」36%などの順となっている。

(図1-1-1)

暮らしむきの変化を過去の調査結果と比較すると、「苦しくなった」は昨年よりも11ポイント増加し、「変わらない」は10ポイント減少している。(図1-1-2)

なお、暮らしむきの変化の平成元年からの調査結果を巻末の付属資料(P161 図1)に掲載している。

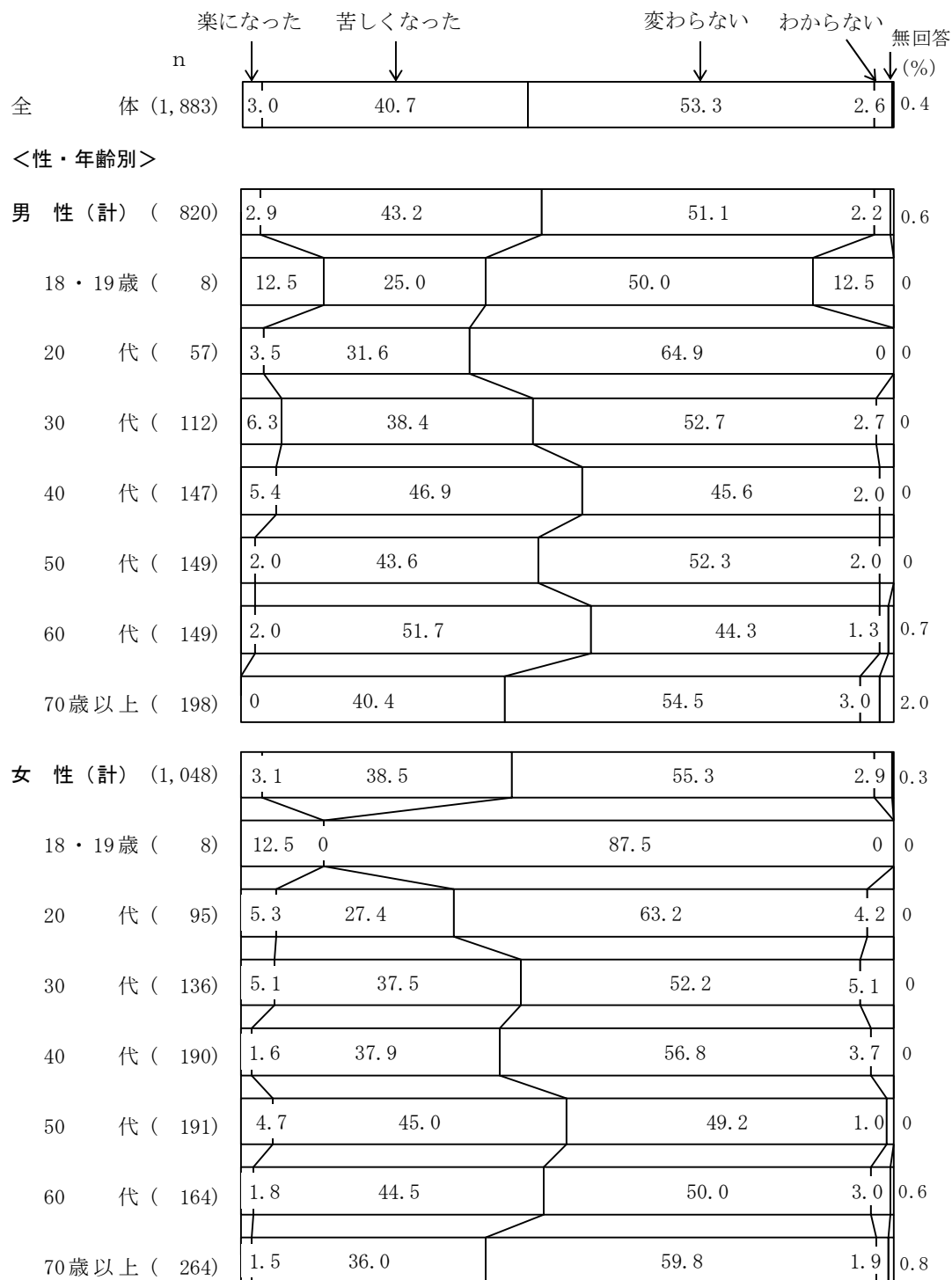
図1-1-2 暮らしむきの変化—過去の調査結果



(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、「苦しくなった」は男性60代で5割を超えて多くなっている。(図1-1-3)

図1-1-3 暮らしむきの変化－性・年齢別



(注) 性・年齢の無回答者を除く (以下同様)。

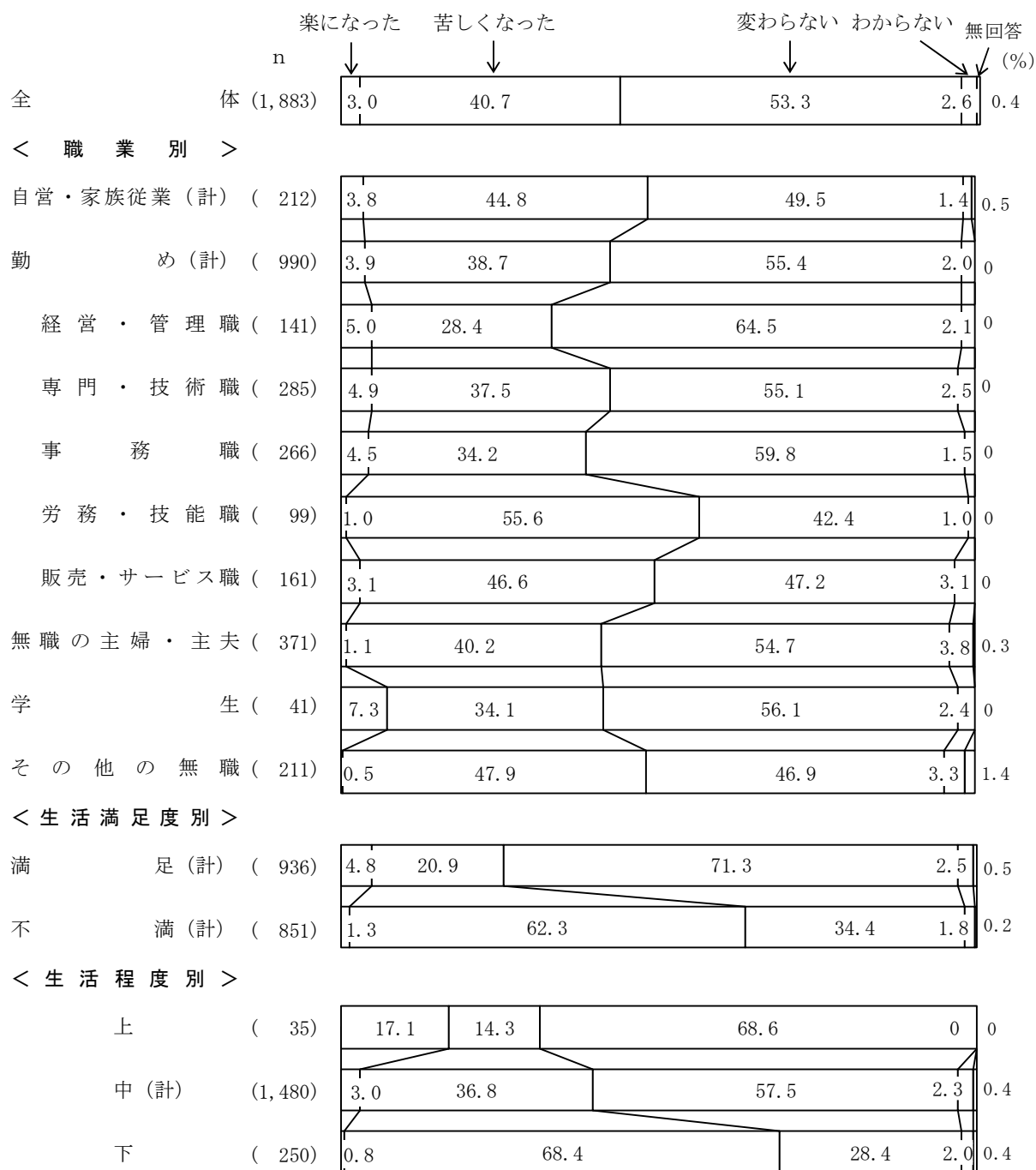
職業別にみると、「苦しくなった」は労務・技能職で5割半ばと多くなっている。

生活満足度（問5 P26）との関係でみると、「苦しくなった」は『不満（計）』で6割を超えて多く、一方、「変わらない」は『満足（計）』で7割を超えて多くなっている。

生活程度（問3 P14）との関係でみると、「苦しくなった」は“下”で7割近くと多くなっている。

(図1-1-4)

図1-1-4 暮らしむきの変化－職業別、生活満足度別、生活程度別



(注) 職業別等の各区分で無回答者を除く (以下同様)。

暮らしむきが苦しくなった理由を過去の調査結果と比較すると、昨年よりも「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた」は26ポイント、「税金や保険料の支払いが増えた」は7ポイント増加している。一方、「営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った」は14ポイント減少している。

(表1-1-1)

表1-1-1 暮らしむきが苦しくなった理由－過去の調査結果

(%)

	n	家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた	税金や保険料の支払いが増えた	営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った	家や自動車、家電などの支出が増えた	失業、退職、病気などで働き手が減った	利率の低下などにより預貯金が目減りした	結婚、出産、病気など特別の出費があつた	教育費が増えた	営業経費が増えた	その他	特に理由はない、わからない	無回答
今回調査	766	56.1	36.7	35.5	19.6	17.4	16.1	14.4	14.4	2.7	4.2	1.3	0.4
令和3年	545	30.1	29.7	49.5	16.3	22.2	11.4	17.1	14.3	3.3	4.4	1.7	-
2年	752	27.1	28.3	55.6	10.9	19.5	10.8	14.9	12.5	2.9	5.6	1.5	0.1
元年	438	28.3	32.9	37.7	16.2	18.9	11.2	14.2	19.9	3.7	7.3	2.1	-
平成30年	453	26.7	37.5	35.1	13.7	19.0	10.6	16.6	19.2	4.4	11.9	2.4	-
29年	444	30.4	34.0	33.1	14.0	20.0	13.1	16.9	24.1	3.8	14.0	1.4	-
28年	463	33.0	33.9	37.8	12.3	18.4	12.7	13.6	17.9	3.7	7.8	1.9	-
27年	578	40.3	39.6	36.3	12.5	19.2	10.2	16.1	16.3	4.2	8.8	1.2	-
26年	637	44.1	45.1	36.6	15.4	14.8	12.2	14.3	16.8	5.0	9.1	1.7	-
25年	529	23.3	32.9	42.2	12.1	20.4	11.2	14.7	19.8	3.6	10.6	2.3	-

(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

年齢別にみると、「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた」は30代で7割を超え多くなっている。また「教育費が増えた」は40代で3割半ばと多くなっている。

職業別にみると、「営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った」は自営・家族従業（計）で7割を超え多くなっている。「失業、退職、病気などで働き手が減った」はその他の無職で3割半ばと多くなっている。（表1-1-2）

表1-1-2 暮らしむきが苦しくなった理由—年齢別、職業別

		(%)												
	n	毎家族の増加や物価の上昇などで生活費が増えた	税金や保険料の支払いが増えた	営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った	家や自動車、家電などの支出が増えた	失業、退職、病気などで働き手が減った	利率の低下などにより預貯金が目減りした	結婚、出産、病気など特別の出費があつた	教育費が増えた	営業経費が増えた	その他	特に理由はない、わからない	無回答	
全 体	766	56.1	36.7	35.5	19.6	17.4	16.1	14.4	14.4	2.7	4.2	1.3	0.4	
< 年 齢 別 >														
18 ・ 19 歳	2	-	-	50.0	50.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	
20 代	45	48.9	42.2	35.6	13.3	15.6	13.3	15.6	4.4	-	2.2	2.2	-	
30 代	94	71.3	41.5	40.4	19.1	11.7	13.8	27.7	18.1	6.4	3.2	-	-	
40 代	142	65.5	35.9	44.4	26.1	9.2	10.6	7.0	33.8	3.5	4.2	0.7	-	
50 代	151	56.3	31.1	49.7	22.5	19.9	13.9	12.6	21.9	4.0	2.0	-	-	
60 代	150	50.7	38.7	36.7	12.7	28.7	18.7	12.7	4.0	0.7	2.7	1.3	0.7	
70 歳 以 上	177	48.0	35.6	13.6	19.2	15.8	22.0	15.8	0.6	1.7	7.9	3.4	1.1	
< 職 業 別 >														
自営・家族従業（計）	95	43.2	44.2	72.6	16.8	6.3	16.8	11.6	8.4	12.6	2.1	-	1.1	
勤 め（計）	383	62.7	38.1	43.9	22.5	13.6	14.9	12.8	21.9	1.6	3.1	0.3	-	
経 営 ・ 管 理 職	40	52.5	40.0	47.5	37.5	5.0	10.0	10.0	32.5	-	2.5	-	-	
専 門 ・ 技 術 職	107	69.2	44.9	39.3	22.4	9.3	15.9	14.0	21.5	1.9	5.6	-	-	
事 務 職	91	75.8	28.6	37.4	18.7	12.1	15.4	16.5	23.1	2.2	2.2	-	-	
労 務 ・ 技 能 職	55	41.8	36.4	49.1	18.2	14.5	18.2	14.5	14.5	-	3.6	1.8	-	
販 売 ・ サ ー ビ ス 職	75	60.0	41.3	52.0	20.0	21.3	13.3	8.0	17.3	2.7	1.3	-	-	
無 職 の 主 婦 ・ 主 夫	149	54.4	31.5	14.8	17.4	23.5	17.4	20.8	5.4	1.3	6.0	2.0	0.7	
学 生	14	50.0	28.6	35.7	21.4	7.1	21.4	7.1	28.6	-	-	7.1	-	
そ の 他 の 無 職	101	52.5	29.7	5.0	12.9	34.7	12.9	12.9	4.0	1.0	7.9	3.0	1.0	

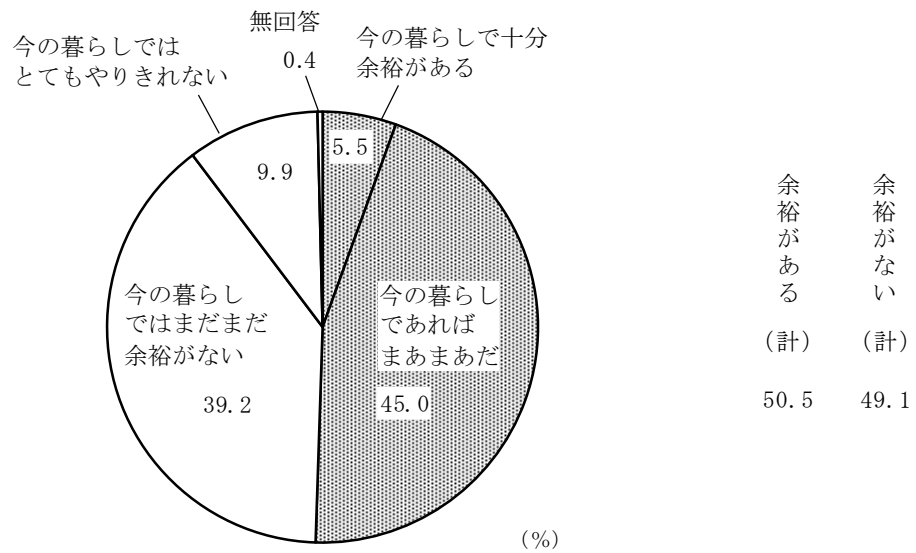
※1-2 暮らしの余裕

図1-2-1

(全員の方に)

問2 お宅さまの暮らしは、次のうちどれに当たりますか。あなたの感じ方に一番近いものを1つだけお選びください。(○は1つ)

(n = 1,883)



(注) 『余裕がある (計)』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計

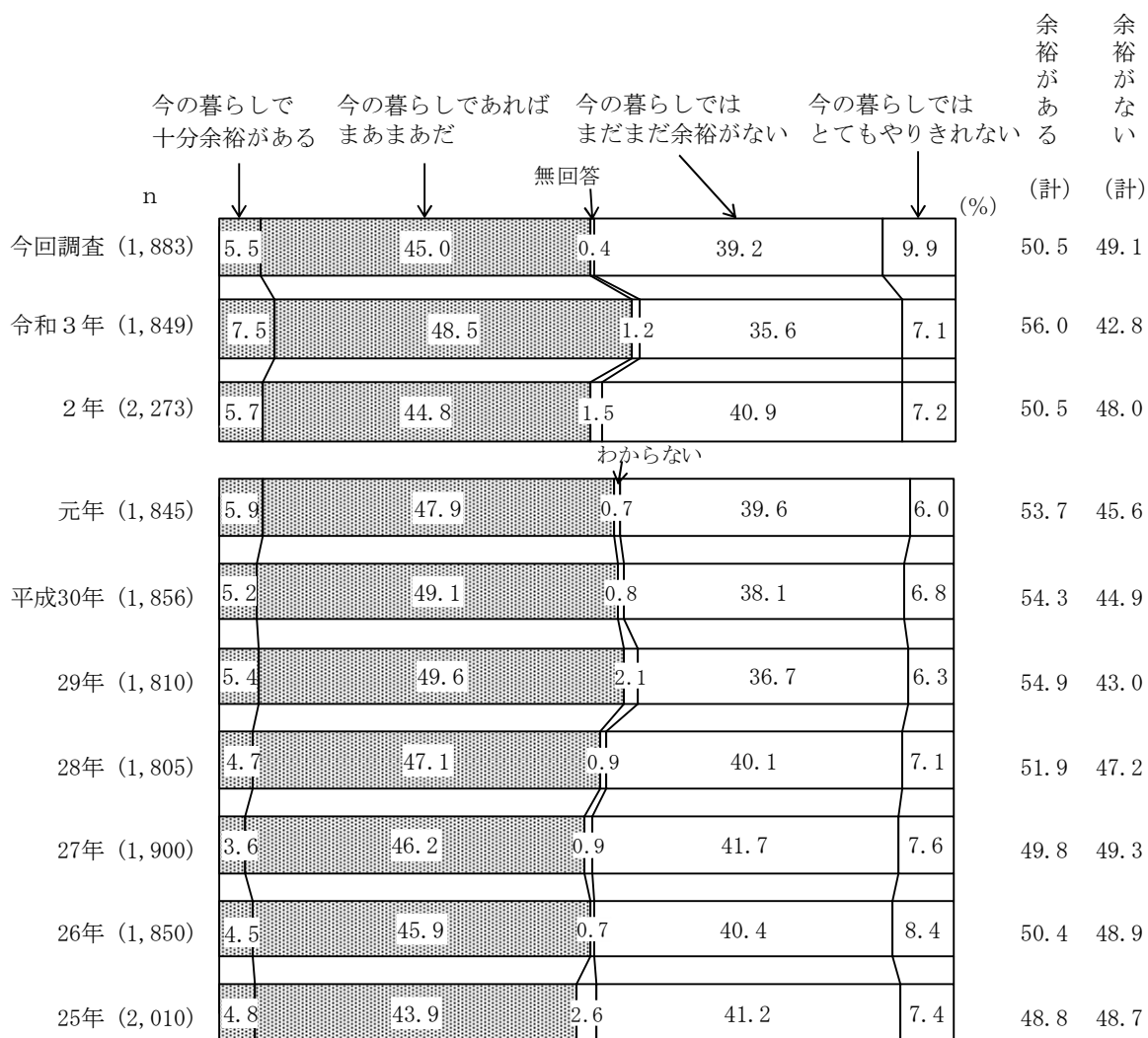
『余裕がない (計)』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

暮らしの余裕について聞いたところ、『余裕がある (計)』は51%、『余裕がない (計)』は49%となっている。(図1-2-1)

暮らしの余裕を過去の調査結果と比較すると、『余裕がある（計）』は昨年よりも6ポイント減少し、『余裕がない（計）』は昨年よりも6ポイント増加している。（図1-2-2）

なお、暮らしの余裕の平成元年からの調査結果を巻末の付属資料（P163 表1）に掲載している。

図1-2-2 暮らしの余裕－過去の調査結果



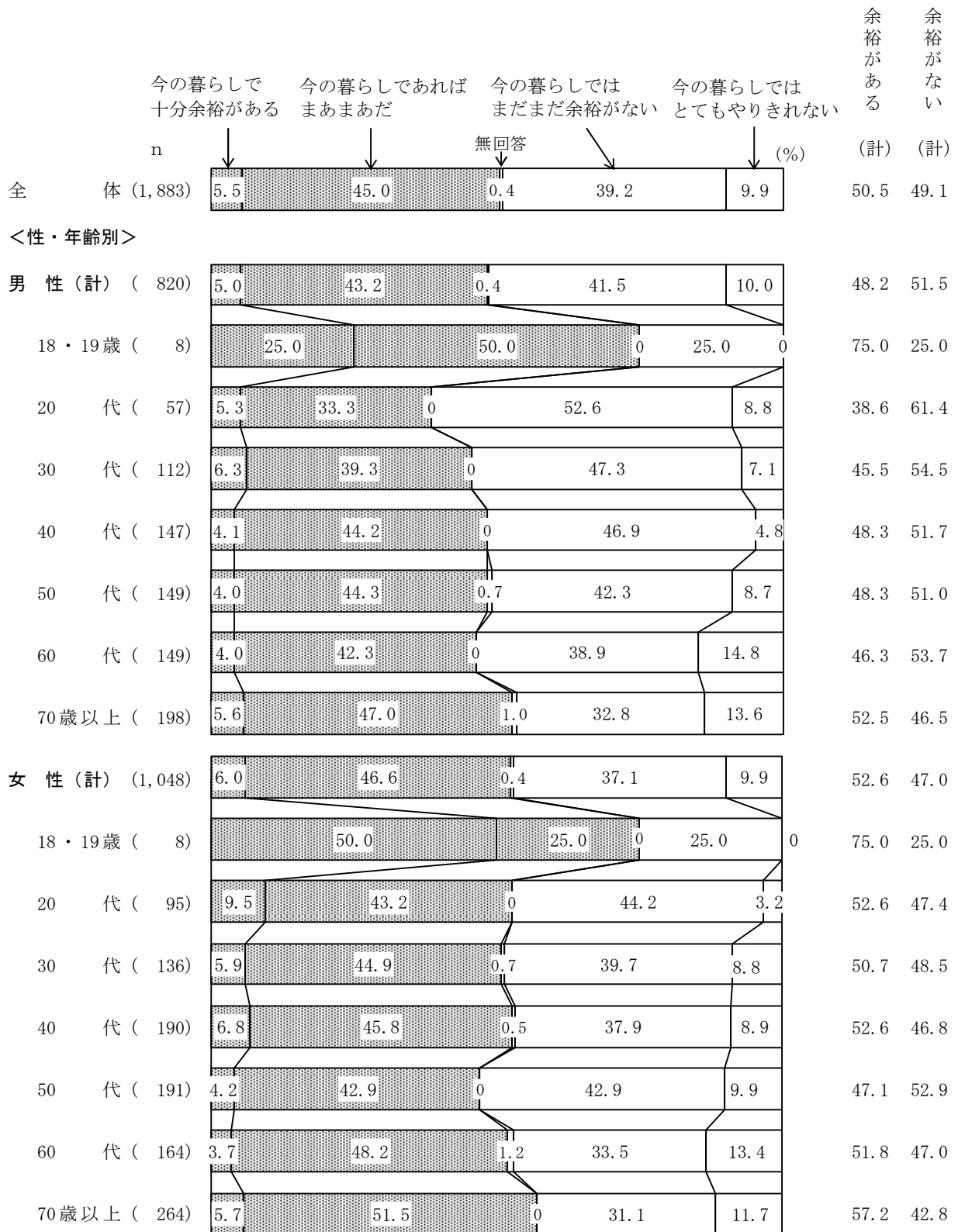
(注1) 『余裕がある（計）』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計

『余裕がない（計）』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、特に大きな差はみられなかった。(図1-2-3)

図1-2-3 暮らしの余裕－性・年齢別

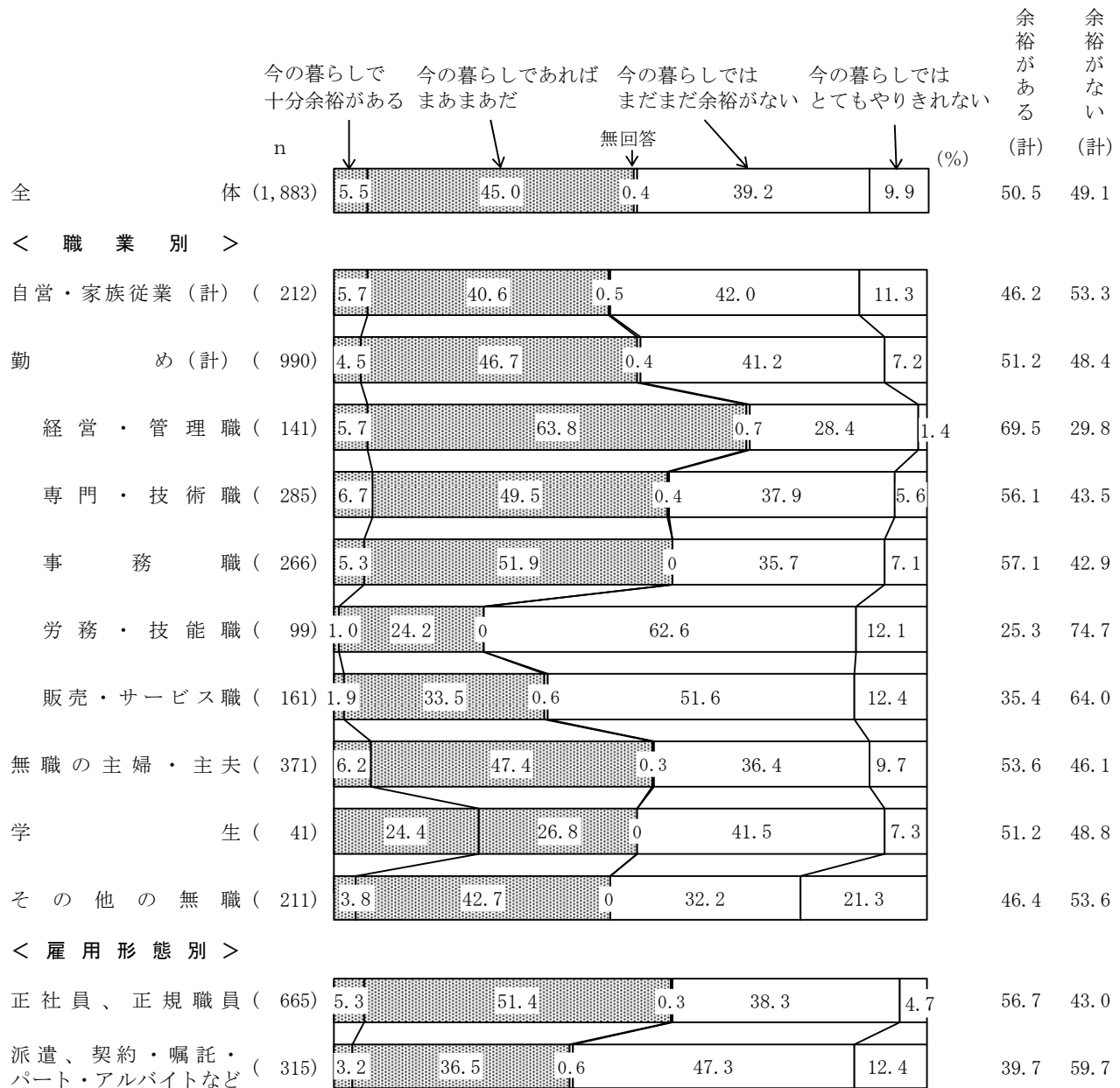


(注) 『余裕がある (計)』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計
『余裕がない (計)』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

職業別にみると、『余裕がある（計）』は、経営・管理職で約7割と多くなっている。一方、『余裕がない（計）』は労務・技能職で7割半ば、販売・サービス業で6割半ばと多くなっている。

雇用形態別にみると、『余裕がない（計）』は「派遣、契約・嘱託・パート・アルバイトなど」で約6割と多くなっている。（図1-2-4）

図1-2-4 暮らしの余裕－職業別、雇用形態別



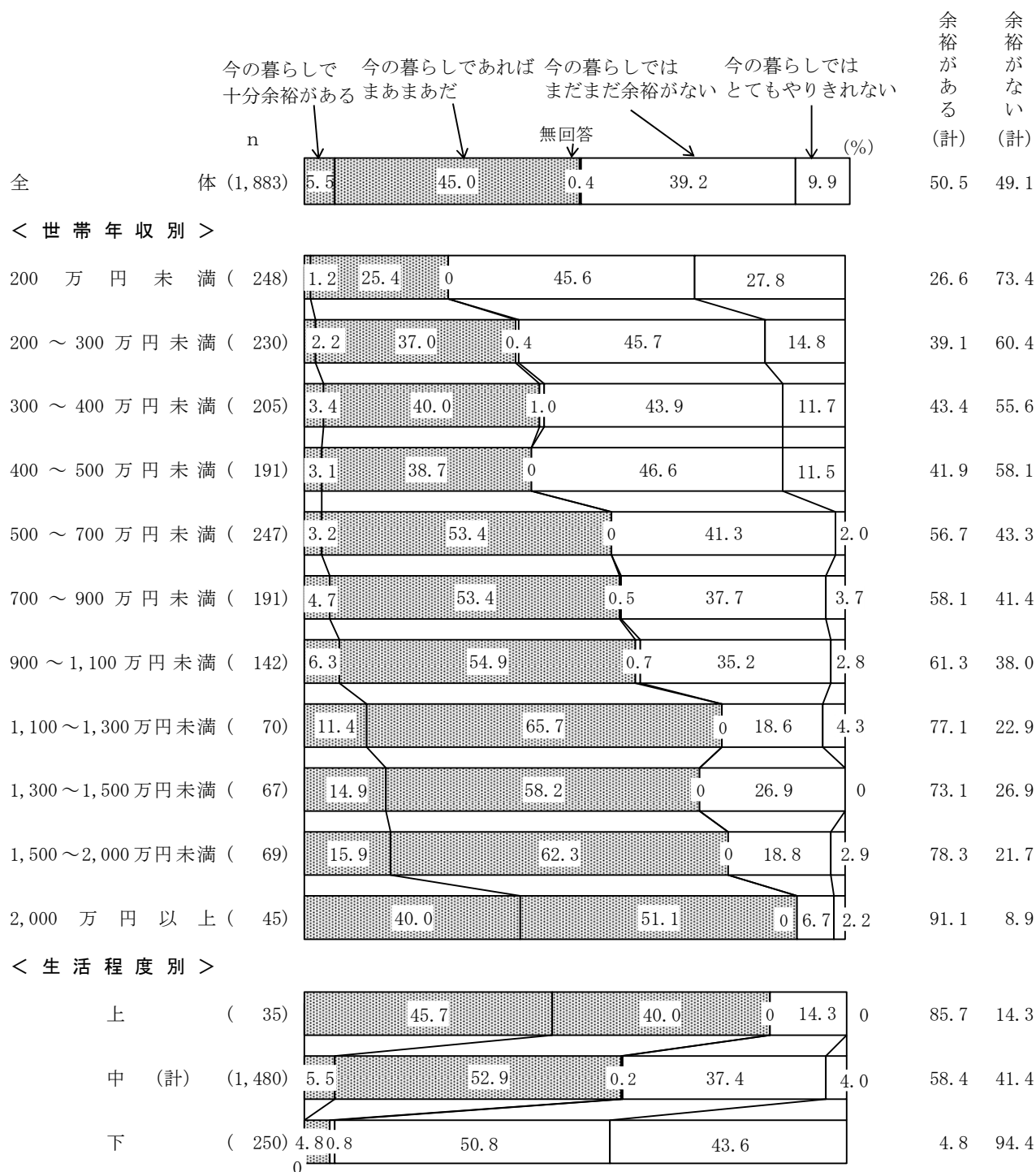
(注) 『余裕がある（計）』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計

『余裕がない（計）』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

世帯年収別にみると、『余裕がある（計）』はおおむね世帯年収が多くなるほど割合が高くなる傾向にあり、年収1,100万円以上の世帯でいずれも7割を超え、特に年収2,000万円以上では9割を超え多くなっている。一方、『余裕がない（計）』は年収200万円未満の世帯で7割を超え、年収200万円以上500万円未満の世帯でいずれも5割半ばから約6割と多くなっている。

生活程度（問3 P14）との関係でみると、“下”と答えた人では『余裕がない（計）』が9割半ばと多くなっている。（図1-2-5）

図1-2-5 暮らしの余裕—世帯年収別、生活程度別



(注) 『余裕がある（計）』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計

『余裕がない（計）』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

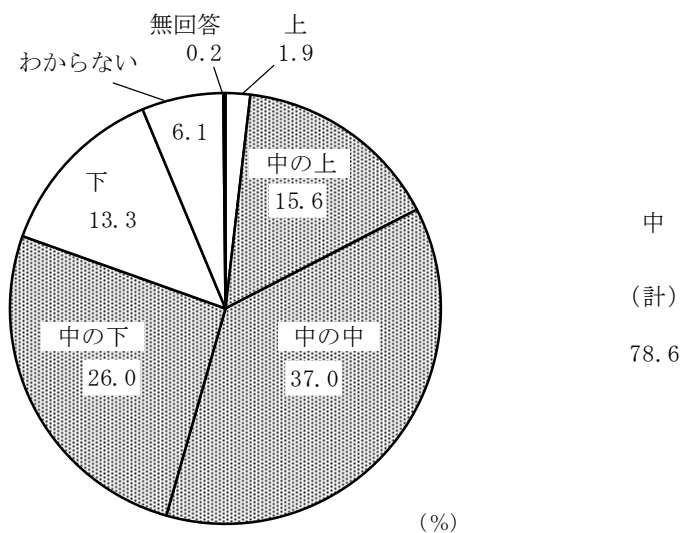
※1-3 生活程度

図1-3-1

(全員の方に)

問3 お宅さまの生活程度は、世間一般からみて、次のうちどれに入りますか。(○は1つ)

(n = 1,883)



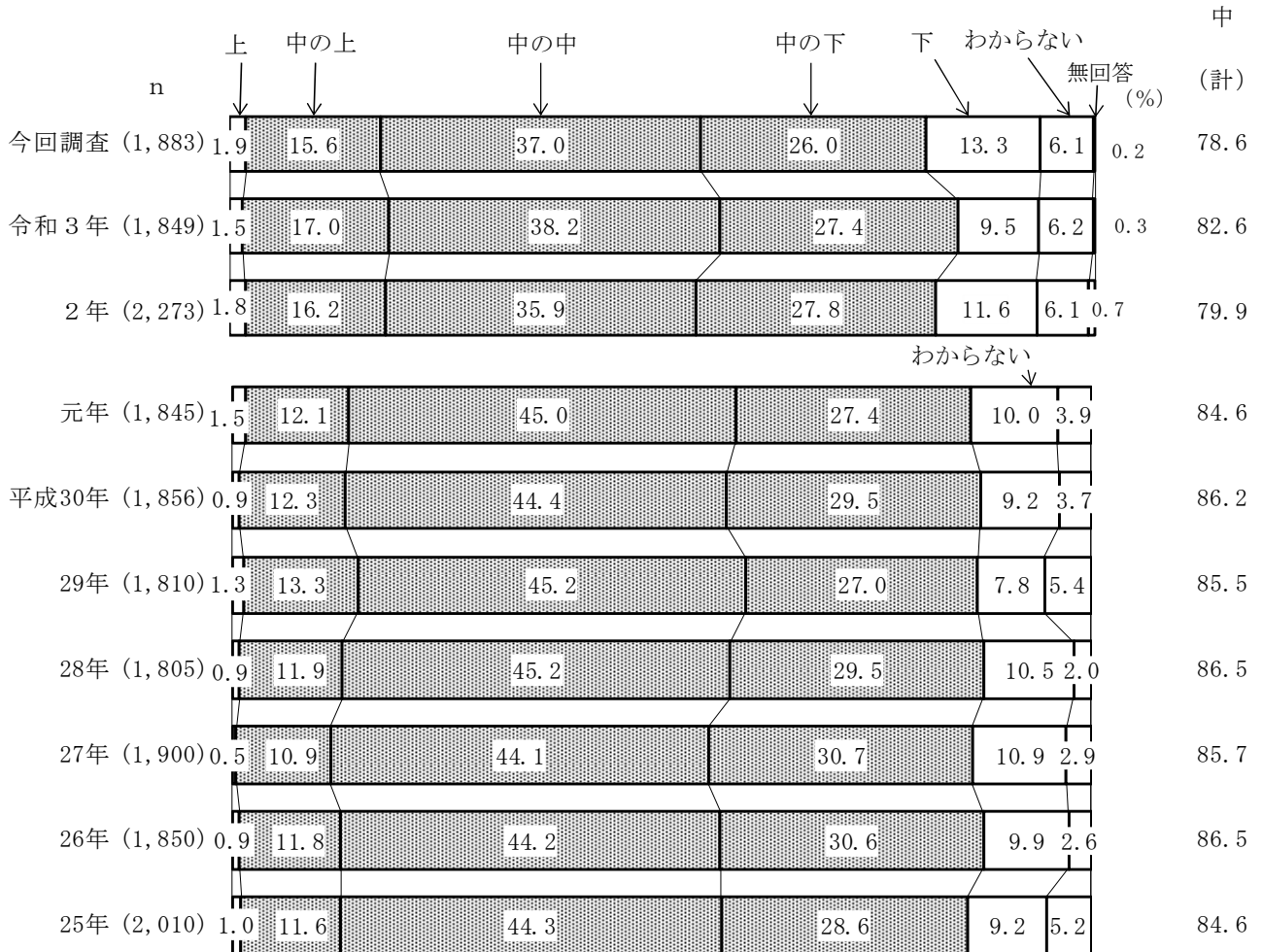
(注)『中 (計)』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

5段階に分けた生活程度がどれにあたると思うか聞いたところ、「上」2%、「中の上」16%、「中の中」37%、「中の下」26%、「下」13%となっている。「中の上」「中の中」「中の下」を合わせた『中 (計)』は79%となっている。(図1-3-1)

生活程度を過去の調査結果と比較すると、『中（計）』は昨年より4ポイント減少している。

(図1-3-2)

図1-3-2 生活程度－過去の調査結果



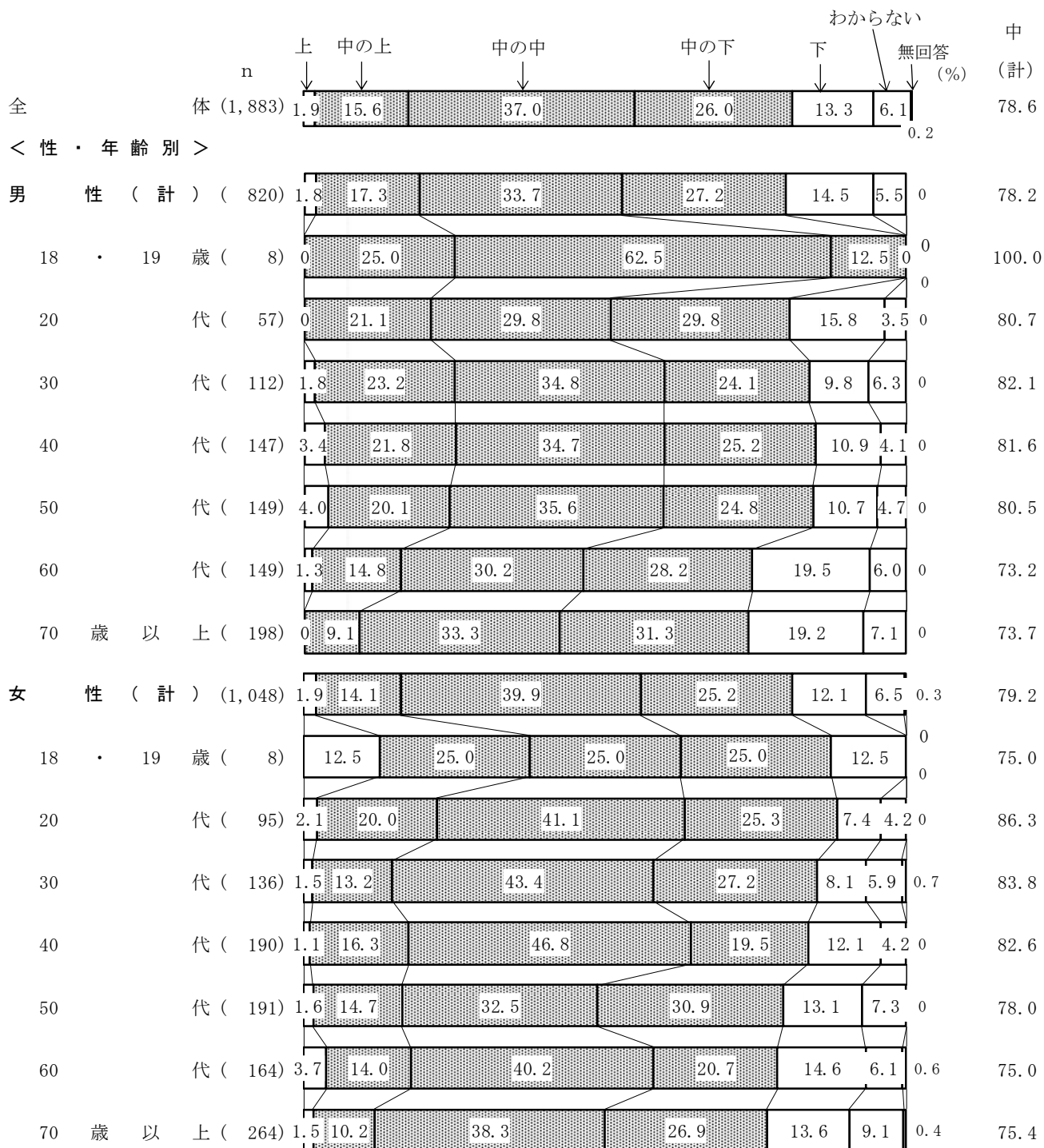
(注1) 『中（計）』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、「下」は男性60代で約2割、男性70歳以上で2割近くとなっている。

(図1-3-3)

図1-3-3 生活程度一性・年齢別

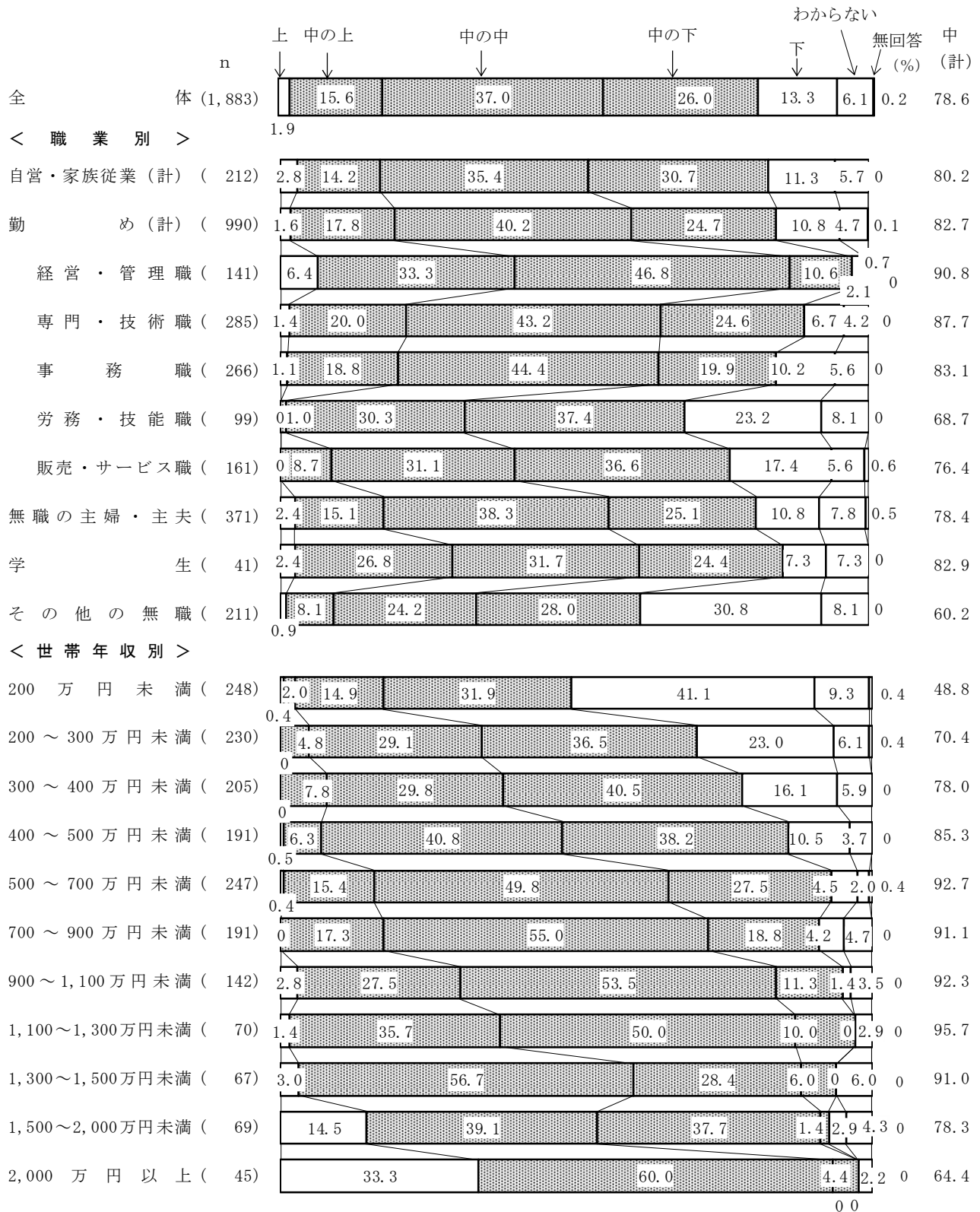


(注) 『中 (計)』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

職業別にみると、『中（計）』は経営・管理職で9割を超えて多くなっている。一方、「下」はその他の無職で3割を超えている。

世帯年収別にみると、『中（計）』は年収500万円以上1,500万円未満の世帯で9割台と多くなっている。一方、「下」は年収200万円未満の世帯で4割を超えて多くなっている。（図1-3-4）

図1-3-4 生活程度－職業別、世帯年収別



(注) 『中（計）』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

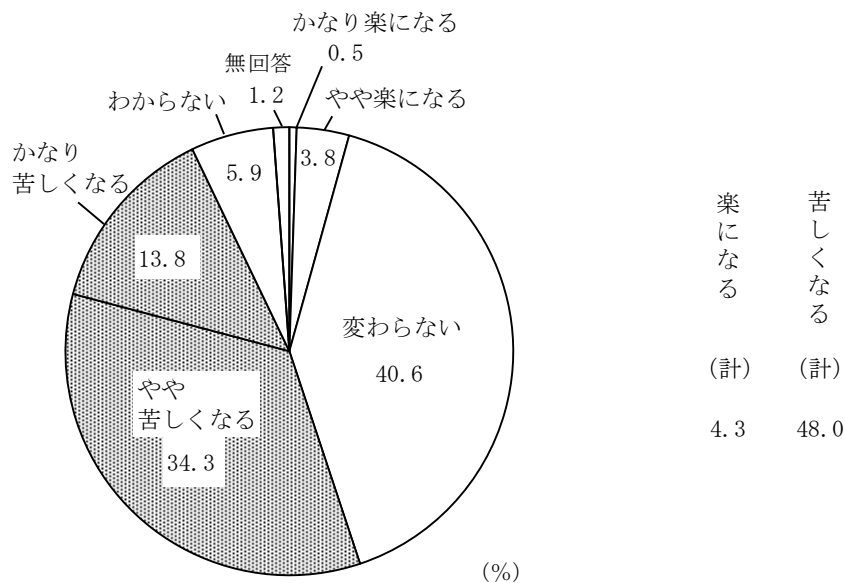
※1-4 これからの暮らしむき

図1-4-1

(全員の方に)

問4 あなたの暮らしむきは、これから1年間楽になると思いますか、苦しくなると思いますか。それとも変わらないと思いますか。(○は1つ)

(n=1,883)



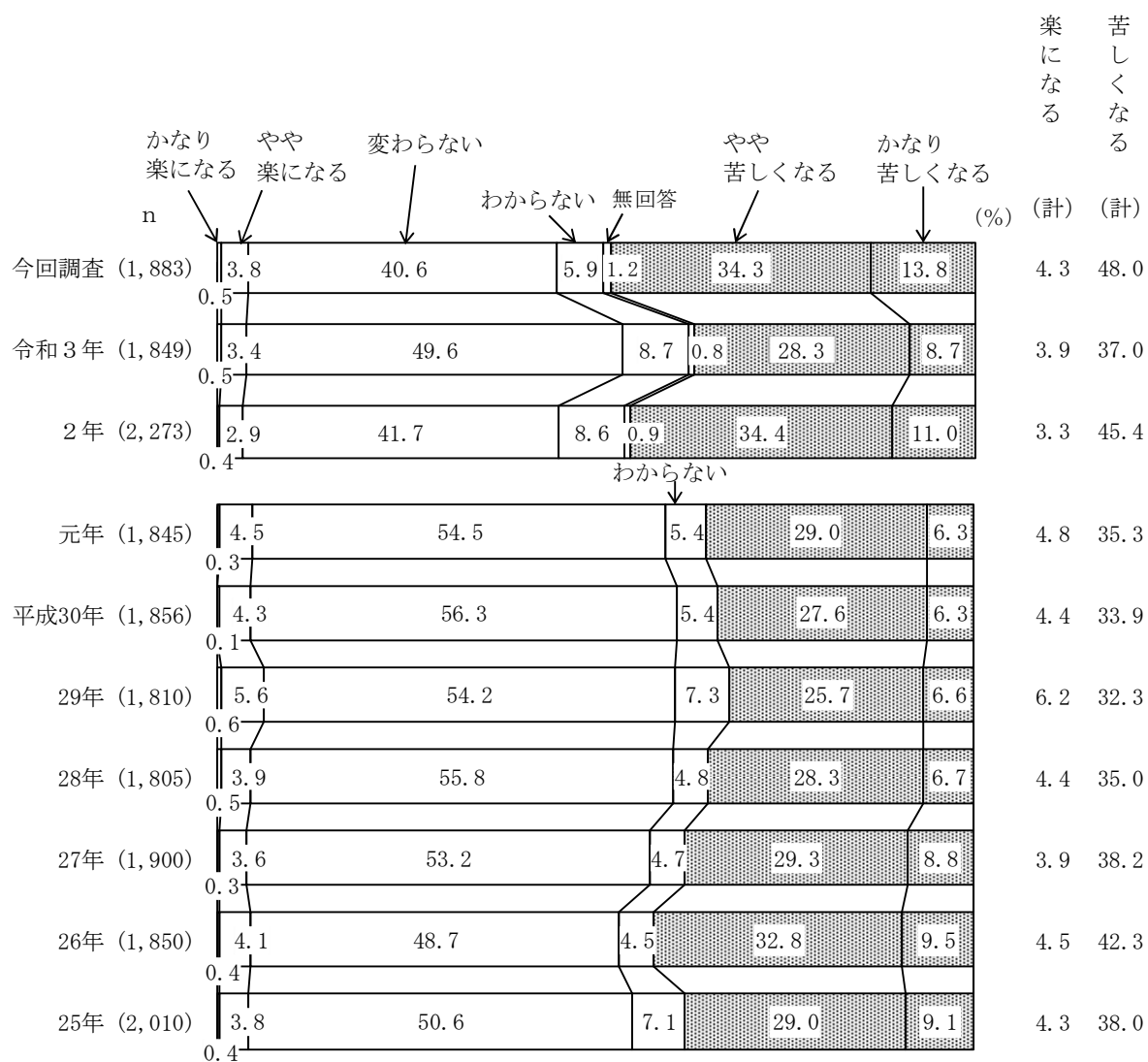
(注) 『楽になる (計)』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計
 『苦しくなる (計)』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

これから1年間の暮らしむきを聞いたところ、『楽になる (計)』は4%、『苦しくなる (計)』は48%となっており、「変わらない」が41%となっている。(図1-4-1)

これからの暮らしむきを過去の調査結果と比較すると、『苦しくなる（計）』は昨年よりも11ポイント増加している。一方、「変わらない」は9ポイント減少している。（図1-4-2）

なお、これからの暮らしむきの平成元年からの調査結果を巻末の付属資料（P163 表2）に掲載している。

図1-4-2 これからの暮らしむき－過去の調査結果



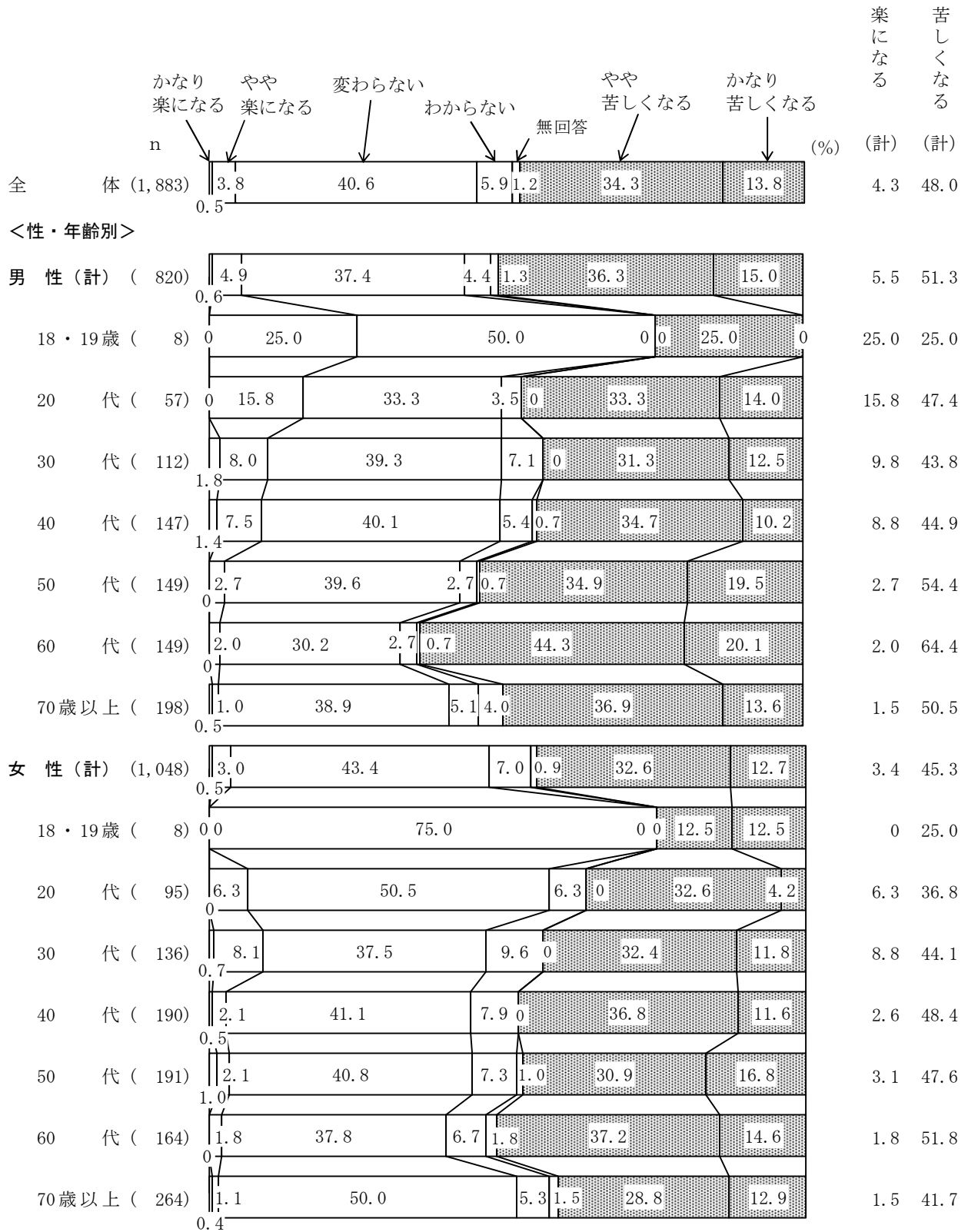
(注1) 『楽になる（計）』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計

『苦しくなる（計）』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、『苦しくなる（計）』は男性60代で6割半ばと多くなっている。（図1-4-3）

図1-4-3 これからの暮らしむき－性・年齢別

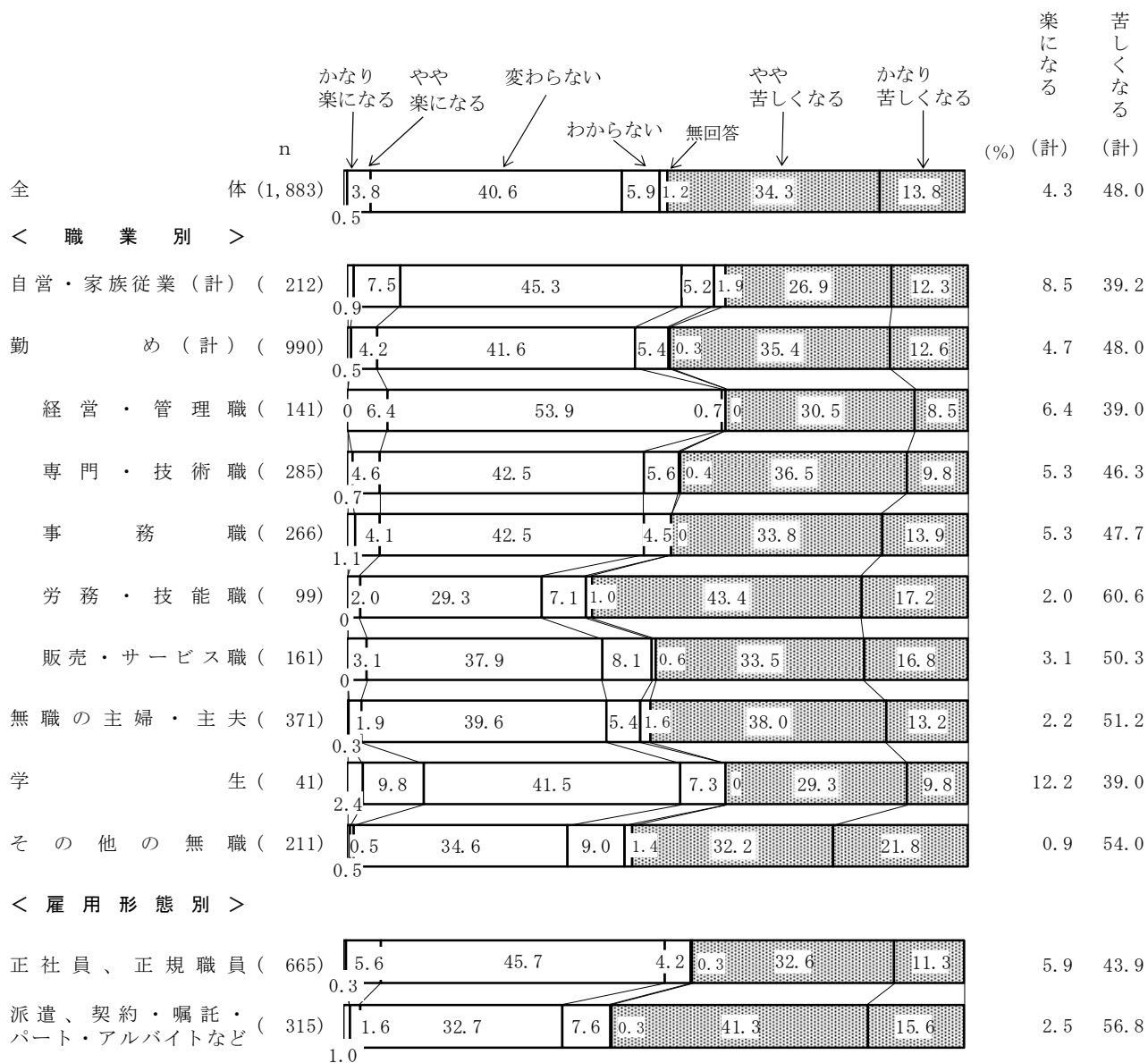


(注) 『楽になる (計)』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計
 『苦しくなる (計)』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

職業別にみると、『苦しくなる（計）』は労務・技能職で6割を超え多くなっている。

雇用形態別にみると、「変わらない」は正社員、正規職員で4割半ばと、派遣、契約・嘱託・パート・アルバイトなどよりも13ポイント高くなっている。（図1-4-4）

図1-4-4 これからの暮らしむき－職業別、雇用形態別



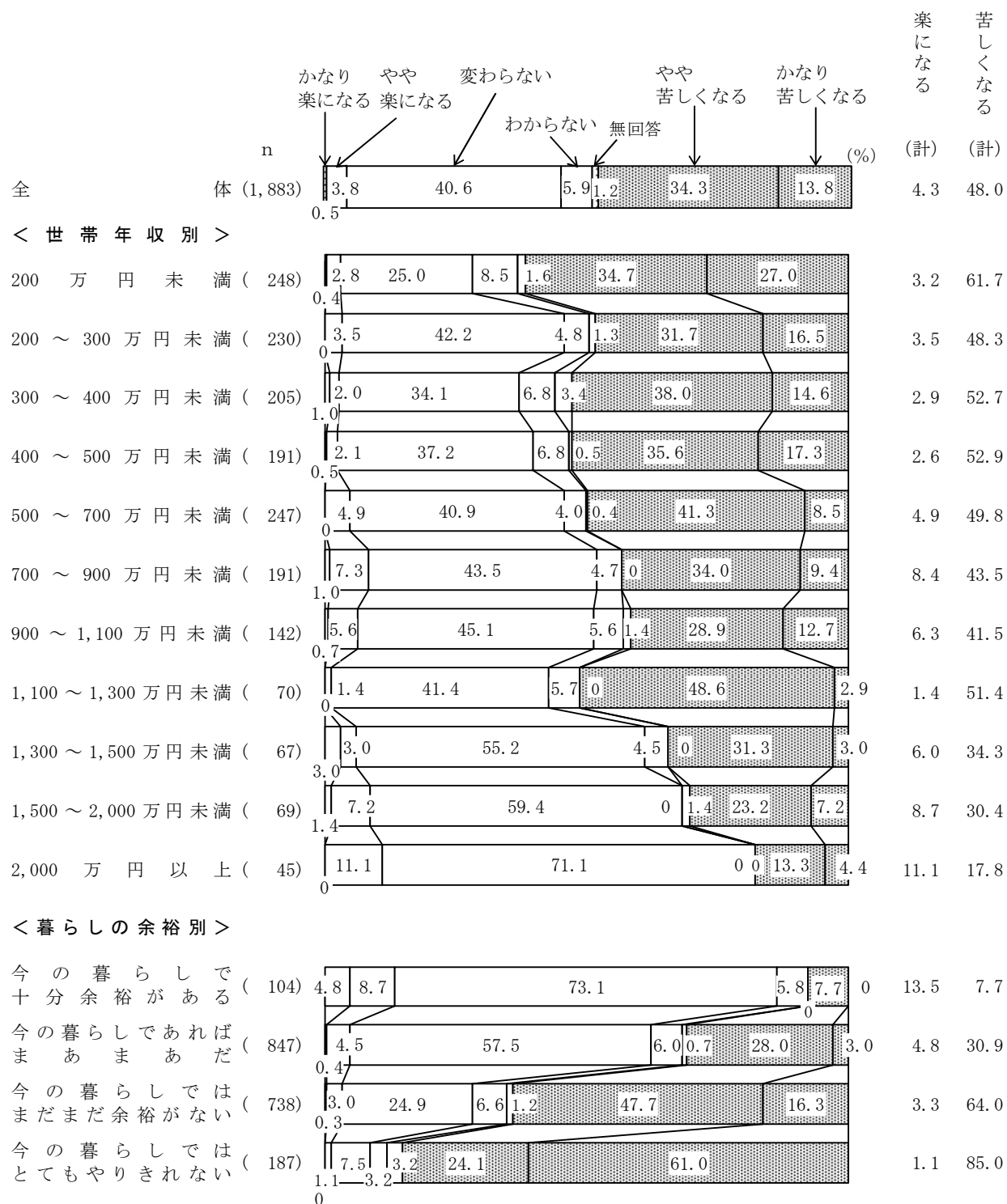
(注) 『楽になる (計)』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計

『苦しくなる (計)』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

世帯年収別にみると、『苦しくなる（計）』は年収200万円未満で6割を超えて多くなっている。

暮らしの余裕（問2 P9）との関係でみると、『苦しくなる（計）』は余裕の度合いが低くなるほど割合が高くなる傾向にあり、“今の暮らしではとてもやりきれない”と答えた人では8割半ば、“今の暮らしではまだまだ余裕がない”と答えた人では6割半ばと多くなっている。（図1-4-5）

図1-4-5 これからの暮らしむき－世帯年収別、暮らしの余裕別



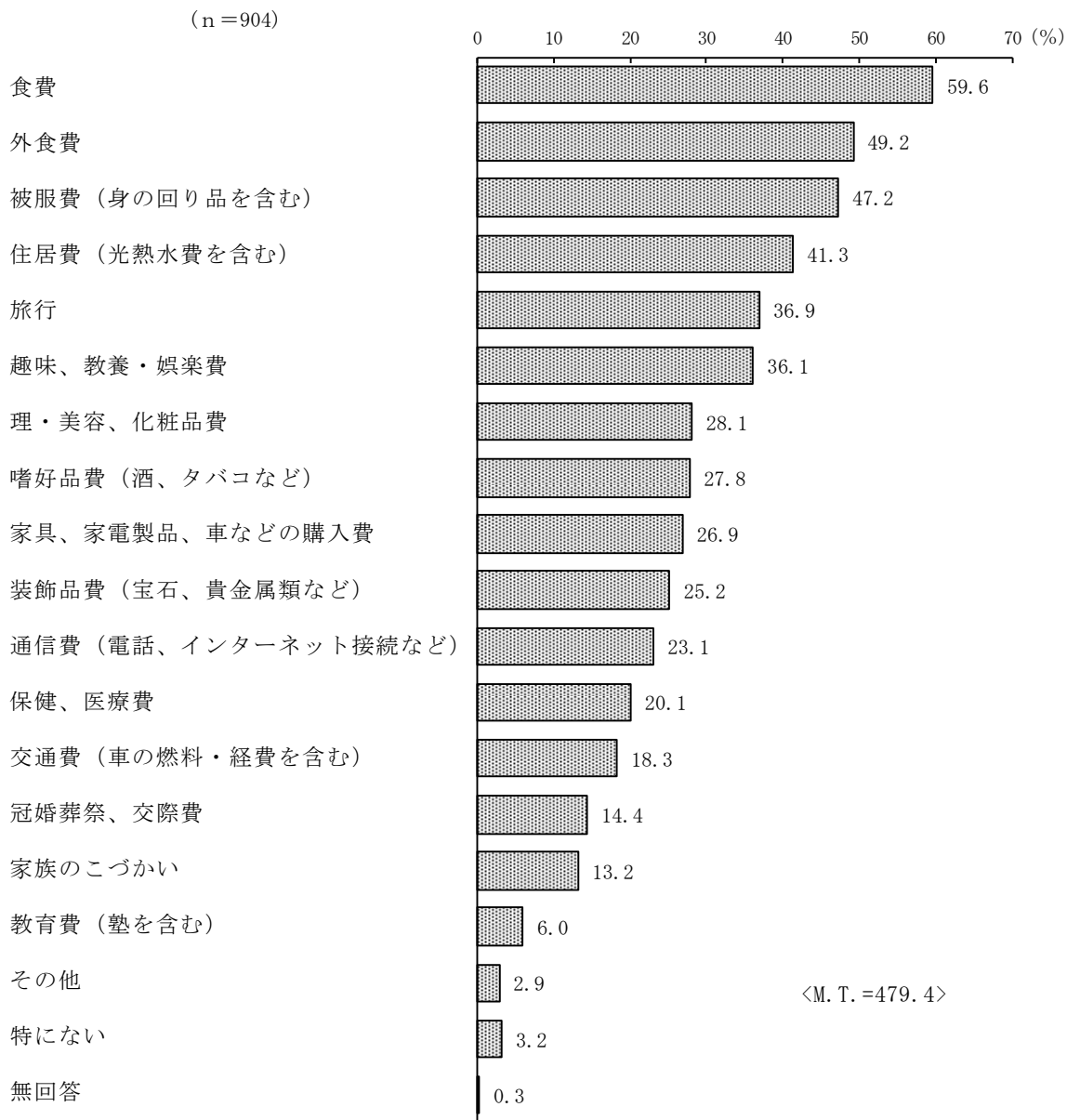
(注) 『楽になる（計）』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計
『苦しくなる（計）』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

※1-5 今後切りつめていくもの

図1-5-1

(問4で「4 やや苦しくなる」「5 かなり苦しくなる」と答えた方に)

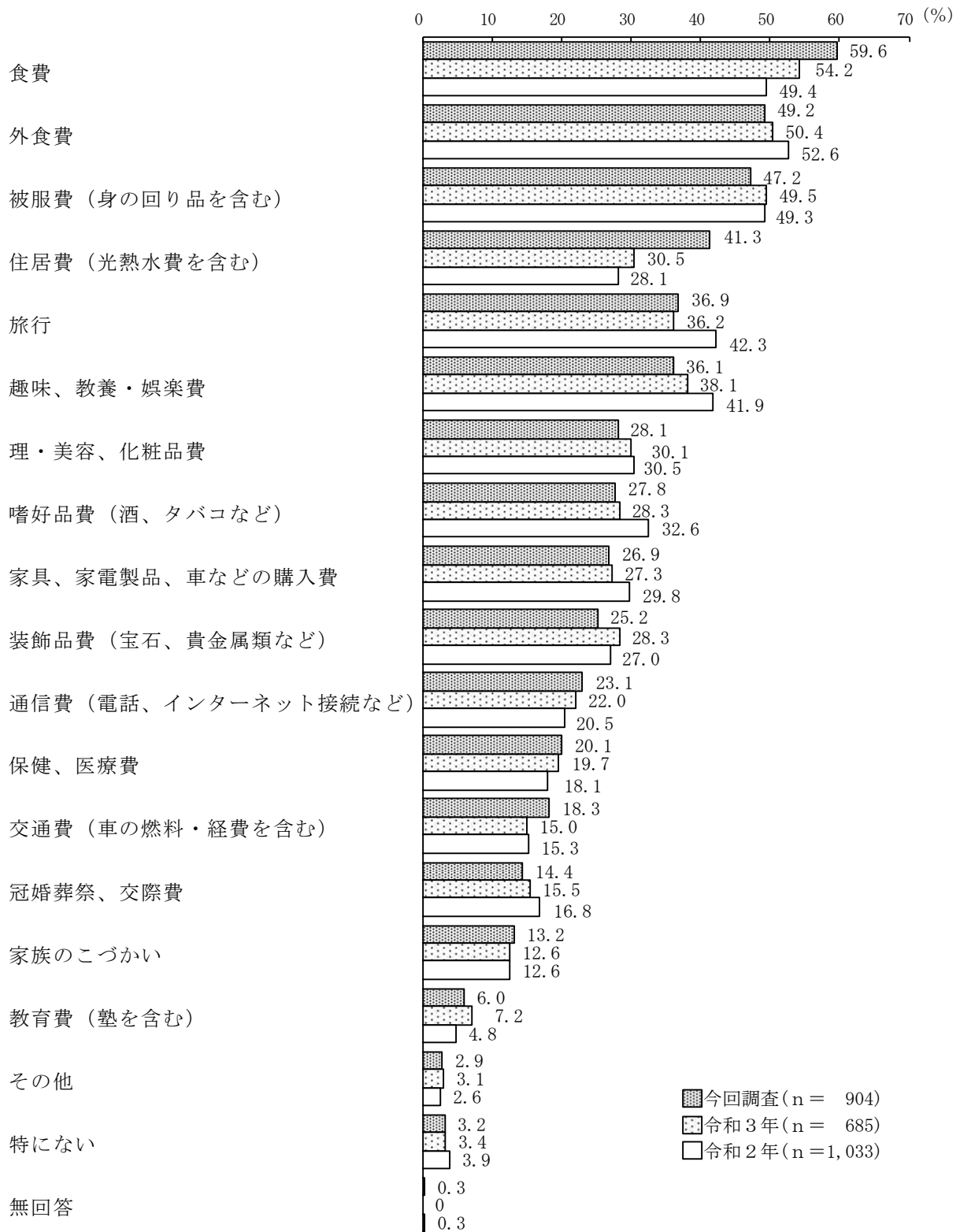
問4-1 では、今後、切りつめていこうと思うものがありますか。次の中から当てはまるものをいくつかもお選びください。(〇はいくつでも)(M. A.)



これから1年間の暮らしむきが苦しくなると答えた人(904人)に、今後切りつめていこうと思うものを聞いたところ、「食費」が60%で最も多く、次いで「外食費」49%、「被服費(身の回り品を含む)」47%、「住居費(光熱水費を含む)」41%、「旅行」37%などの順となっている。(図1-5-1)

今後切りつめていくものを過去の調査結果と比較すると、「住居費」は昨年よりも11ポイント増加している。また「食費」も5ポイント増加している。(図1-5-2)

図1-5-2 今後切りつめていくもの—過去の調査結果



性・年齢別にみると、「被服費（身の回り品を含む）」は女性で5割半ばと男性よりも15ポイント高く、特に女性60代で6割半ばと多くなっている。また、「理・美容、化粧品費」も女性は4割近くと、男性より21ポイント高くなっている。

生活程度（問3 P14）との関係でみると、「食費」は“下”と答えた人で7割半ばと多くなっている。また、「住居費（光熱水費を含む）」も“下”と答えた人で5割を超えて多くなっている。（表1-5-1）

表1-5-1 今後切りつめていくもの一性・年齢別、生活程度別

(%)

		食費	外食費	被服費（身の回り品を含む）	住居費（光熱水費を含む）	旅行	趣味、教養・娯楽費	理・美容、化粧品費	嗜好品費（酒、タバコなど）	家具、家電製品、車などの購入費	装飾品費（宝石、貴金属類など）	通信費（電話、インターネット接続など）	保健、医療費	交通費（車の燃料・経費を含む）	冠婚葬祭、交際費	家族のこづかい	教育費（塾を含む）	その他	特になし	無回答
全 体	904	59.6	49.2	47.2	41.3	36.9	36.1	28.1	27.8	26.9	25.2	23.1	20.1	18.3	14.4	13.2	6.0	2.9	3.2	0.3
<性・年齢別>																				
男 性（計）	421	57.7	50.1	39.2	41.1	39.9	37.8	16.9	31.4	28.7	18.5	24.2	21.1	22.3	14.3	16.6	7.8	2.4	4.0	0.2
18・19歳	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-
20代	27	44.4	33.3	33.3	14.8	25.9	29.6	18.5	29.6	29.6	25.9	33.3	11.1	18.5	14.8	7.4	7.4	-	7.4	-
30代	49	61.2	55.1	40.8	32.7	30.6	40.8	18.4	32.7	34.7	24.5	18.4	12.2	18.4	16.3	22.4	14.3	2.0	2.0	-
40代	66	47.0	57.6	40.9	31.8	51.5	43.9	21.2	34.8	28.8	22.7	27.3	13.6	27.3	15.2	24.2	19.7	1.5	4.5	-
50代	81	55.6	53.1	44.4	43.2	40.7	43.2	23.5	37.0	37.0	22.2	23.5	17.3	22.2	8.6	17.3	9.9	1.2	6.2	-
60代	96	64.6	47.9	33.3	45.8	40.6	35.4	10.4	32.3	26.0	15.6	29.2	21.9	22.9	16.7	12.5	3.1	2.1	4.2	-
70歳以上	100	62.0	47.0	40.0	52.0	39.0	32.0	13.0	23.0	21.0	10.0	19.0	36.0	22.0	15.0	14.0	-	5.0	2.0	1.0
女 性（計）	475	61.1	48.8	54.3	41.1	34.5	34.9	38.3	24.8	25.7	31.6	22.1	19.2	14.9	14.7	10.3	4.2	3.4	2.5	0.4
18・19歳	2	50.0	50.0	100.0	50.0	-	50.0	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
20代	35	60.0	48.6	42.9	28.6	40.0	48.6	40.0	20.0	22.9	20.0	17.1	14.3	14.3	20.0	11.4	11.4	-	5.7	-
30代	60	51.7	55.0	56.7	30.0	33.3	33.3	51.7	26.7	23.3	41.7	11.7	8.3	10.0	13.3	8.3	6.7	3.3	3.3	-
40代	92	50.0	44.6	48.9	25.0	31.5	25.0	33.7	29.3	19.6	28.3	25.0	10.9	10.9	8.7	6.5	7.6	3.3	6.5	-
50代	91	64.8	53.8	58.2	46.2	35.2	47.3	41.8	34.1	29.7	31.9	29.7	18.7	16.5	16.5	14.3	2.2	5.5	2.2	-
60代	85	65.9	52.9	65.9	50.6	32.9	31.8	42.4	22.4	36.5	44.7	20.0	22.4	18.8	10.6	15.3	2.4	2.4	-	2.4
70歳以上	110	69.1	41.8	48.2	52.7	37.3	31.8	28.2	16.4	21.8	22.7	21.8	31.8	17.3	20.9	7.3	0.9	3.6	-	-
<生活程度別>																				
上	5	20.0	20.0	60.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	40.0	20.0	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-
中の上	82	35.4	47.6	41.5	22.0	36.6	29.3	25.6	29.3	28.0	39.0	15.9	11.0	14.6	14.6	6.1	7.3	1.2	12.2	-
中の中	272	51.1	43.4	46.0	33.8	33.1	32.4	22.4	22.1	26.8	27.6	18.8	13.6	12.9	9.2	12.1	5.9	1.5	3.3	-
中の下	314	64.6	55.4	49.0	43.0	41.4	40.1	29.6	28.0	25.8	21.3	24.5	19.7	19.7	12.4	14.3	5.4	3.2	2.2	-
下	180	75.6	50.6	48.9	52.8	38.3	38.9	34.4	35.6	28.3	25.6	28.9	31.7	26.1	22.8	18.3	7.8	5.6	0.6	1.1

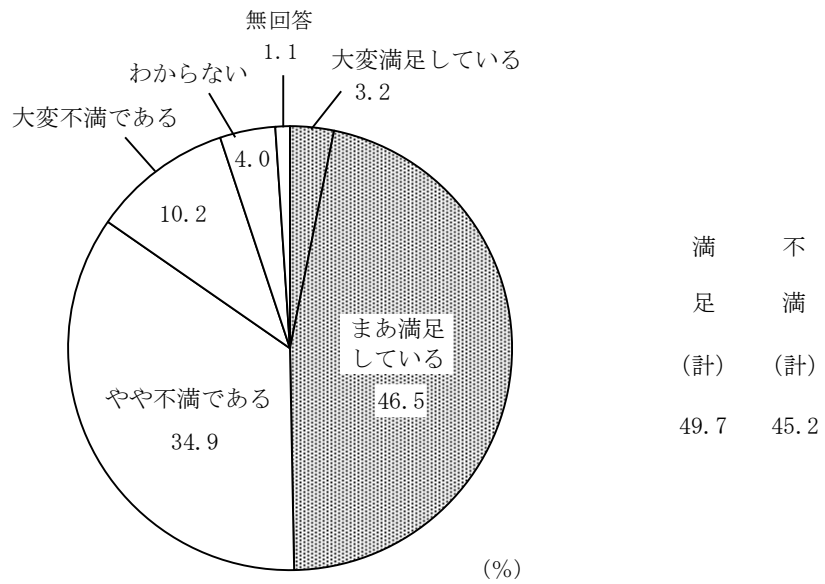
※1-6 生活満足度

図1-6-1

(全員の方に)

問5 あなたは、現在のご自分の生活に満足していますか。(○は1つ)

(n=1,883)



(注) 『満足 (計)』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計
 『不満 (計)』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

現在の生活に満足しているかどうか聞いたところ、『満足 (計)』は50%、『不満 (計)』は45%となっている。(図1-6-1)

生活満足度の過去の調査結果と比較すると、昨年と特に大きな差はみられない。(図1-6-2)

なお、生活満足度の平成元年からの調査結果を巻末の付属資料 (P164 表3、P165 図4) に掲載している。

図1-6-2 生活満足度—過去の調査結果

n	生活満足度						満 足 (計)	不 満 (計)
	大変 満足している	まあ 満足している	わからない	無回答	やや 不満である	大変 不満である		
今回調査 (1,883)	3.2	46.5	4.0	1.1	34.9	10.2	49.7	45.2
令和3年 (1,849)	3.7	47.4	4.9	1.0	34.2	8.7	51.1	42.9
2年 (2,273)	3.1	45.8	4.4	1.5	35.6	9.6	48.9	45.2
元年 (1,845)	4.4	48.8	6.3		33.2	7.3	53.2	40.5
平成30年 (1,856)	4.5	49.9	4.7		33.6	7.2	54.4	40.8
29年 (1,810)	4.5	49.4	5.8		33.3	7.0	54.0	40.2
28年 (1,805)	4.4	49.3	4.8		33.1	8.4	53.7	41.6
27年 (1,900)	3.0	47.8	4.1		35.9	9.1	50.8	45.1
26年 (1,850)	3.6	49.4	3.6		34.0	9.5	53.0	43.5
25年 (2,010)	4.3	49.5	4.9		32.6	8.7	53.8	41.3

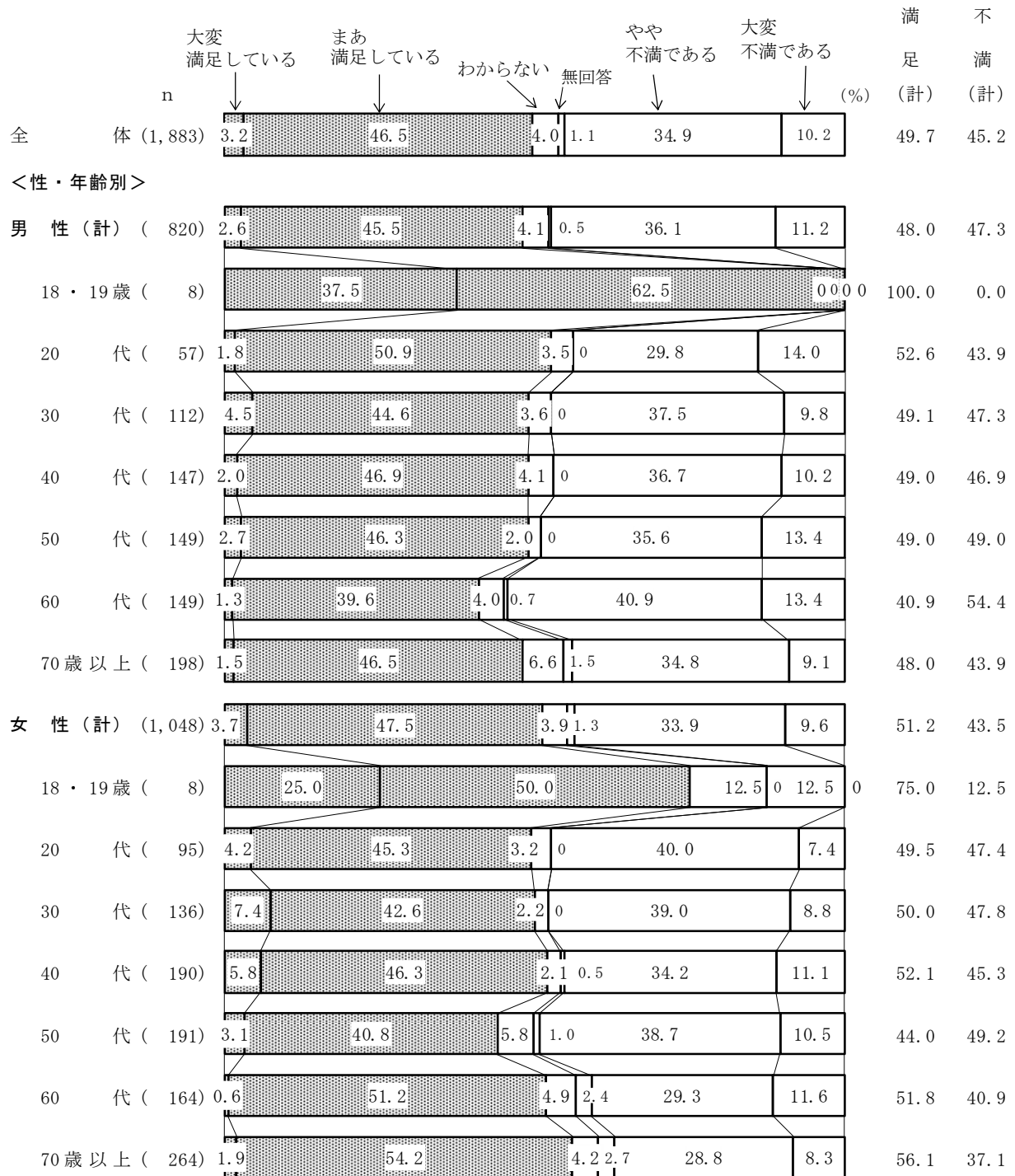
(注1) 『満足 (計)』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計

『不満 (計)』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法 (インターネット回答併用) で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、『不満（計）』は男性60代で5割半ばと多くなっている。（図1-6-3）

図1-6-3 生活満足度－性・年齢別



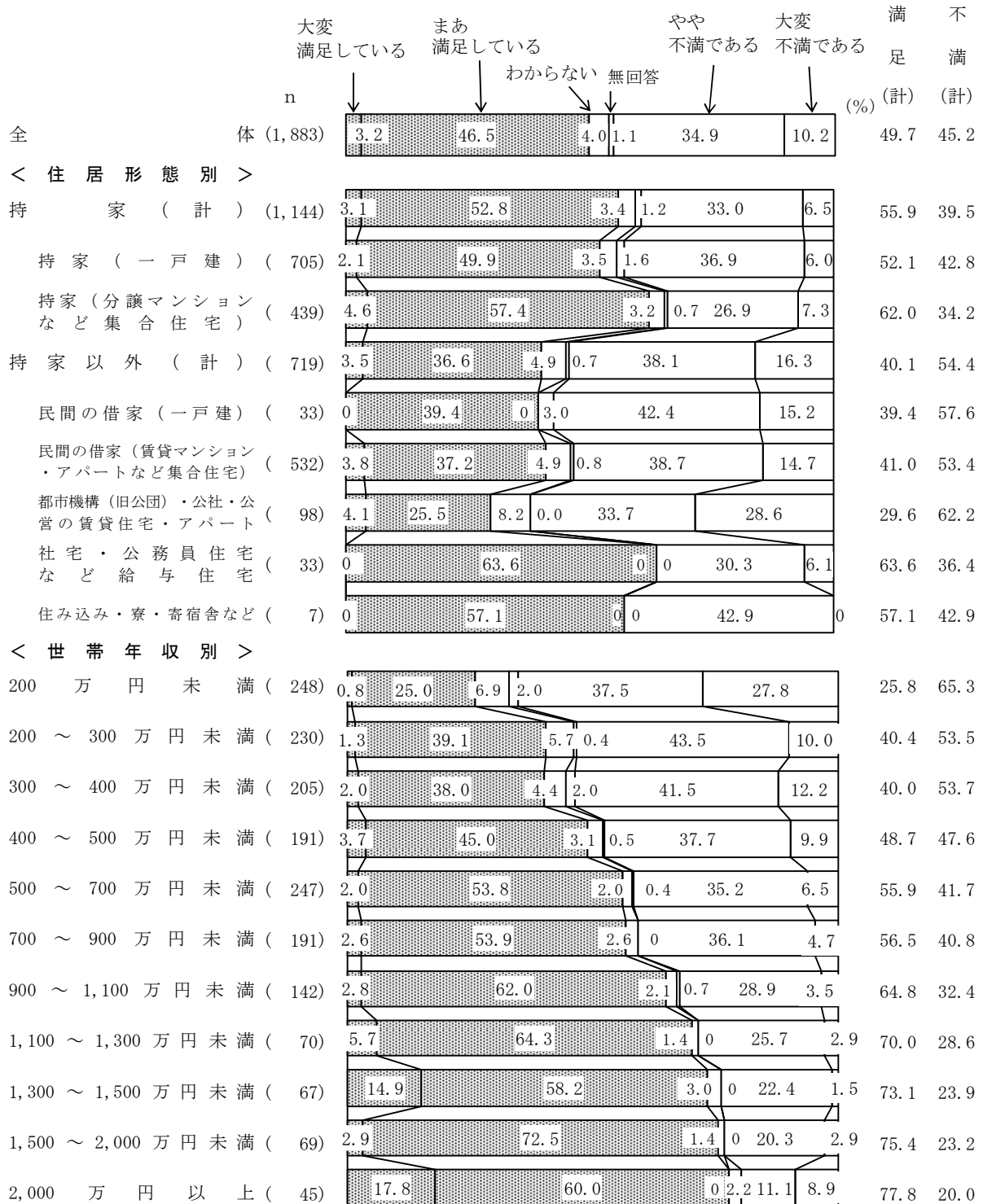
（注）『満足（計）』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計

『不満（計）』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

住居形態別にみると、『満足（計）』は持家（計）で5割半ばとなっており、持家以外（計）よりも16ポイント高くなっている。一方、『不満（計）』は持家以外（計）で5割半ばと多くなっている。

世帯年収別にみると、『満足（計）』はおおむね年収が多くなるほど割合が高くなる傾向がある。一方、『不満（計）』はおおむね年収が少なくなるほど割合が高くなる傾向にあり、年収200万円未満の世帯で6割半ばと多くなっている。（図1-6-4）

図1-6-4 生活満足度—住居形態別、世帯年収別



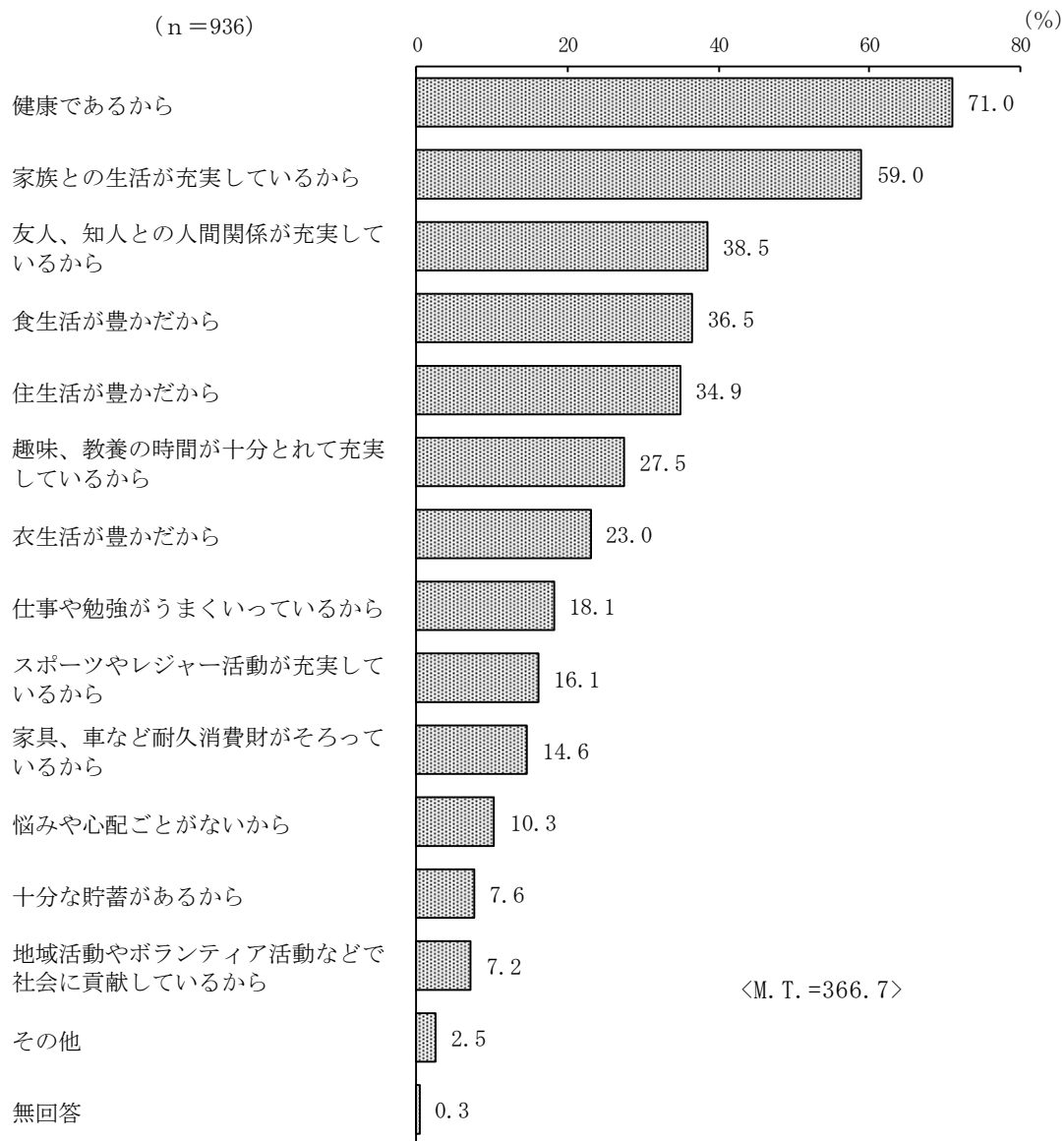
(注) 『満足（計）』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計
『不満（計）』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

※1-7 満足の原因

図1-7-1

(問5で「1 大変満足している」「2 まあ満足している」と答えた方に)

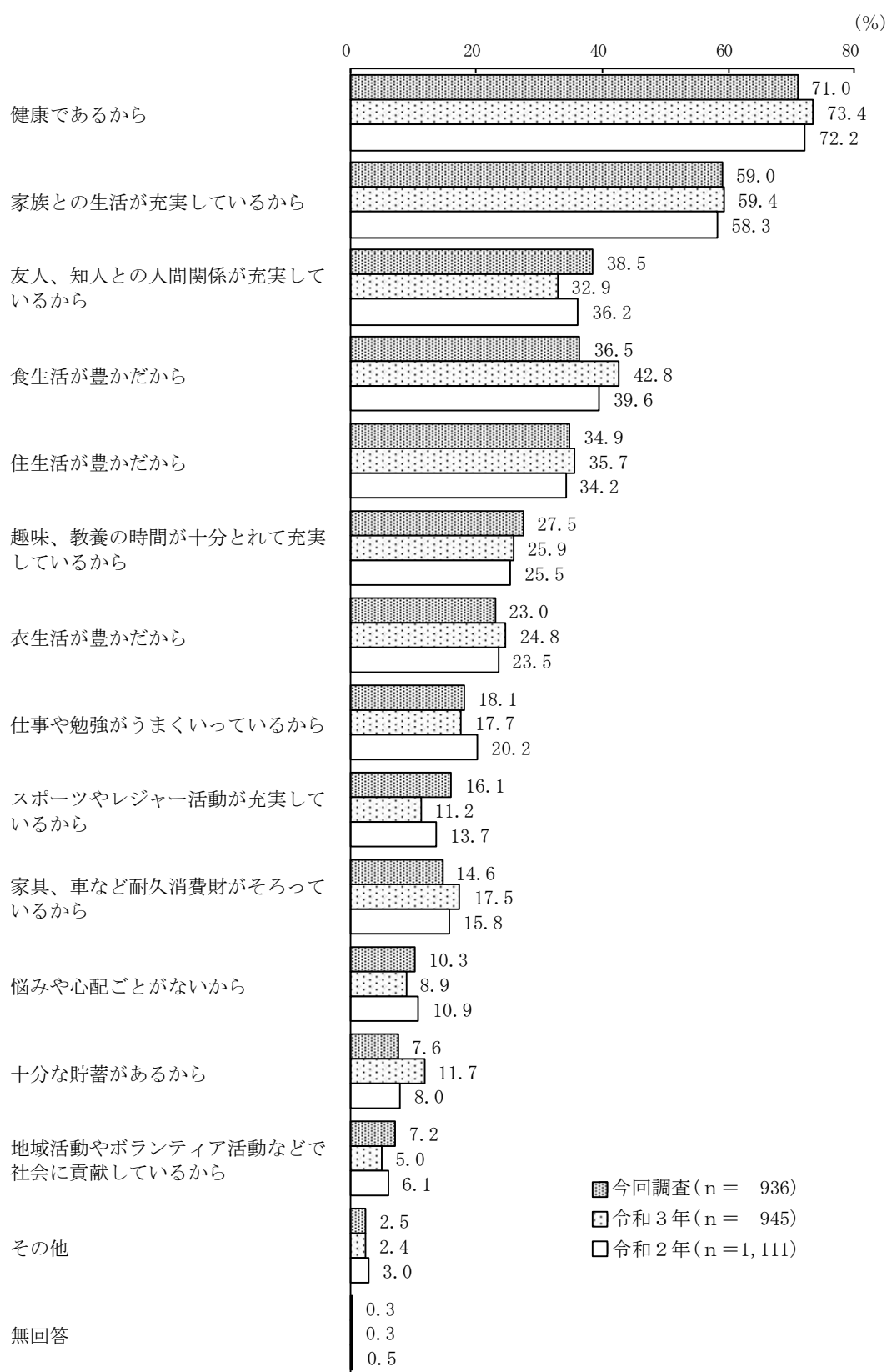
問5-1 どのような理由で満足されていますか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも) (M. A.)



現在の生活に満足しているという人 (936人) にその理由を聞いたところ、「健康であるから」が71%で最も多く、次いで「家族との生活が充実しているから」59%、「友人、知人との人間関係が充実しているから」39%、「食生活が豊かだから」37%、「住生活が豊かだから」35%、「趣味、教養の時間が十分とれて充実しているから」28%などの順となっている。(図1-7-1)

満足の理由を過去の調査結果と比較すると、「友人、知人との人間関係が充実しているから」は昨年よりも6ポイント増加している。一方「食生活が豊かだから」は6ポイント減少している。(図1-7-2)

図1-7-2 満足の理由—過去の調査結果



性・年齢別にみると、「友人、知人との人間関係が充実しているから」は女性が4割半ばと、男性よりも13ポイント高く、特に女性20代で6割を超え多くなっている。「食生活が豊かだから」は男性30代、女性20代で5割半ばと多くなっている。

生活程度(問3 P14)との関係でみると、多くの項目で、生活程度が高いほど割合も高くなっている。
(表1-7-1)

表1-7-1 満足の理由－性・年齢別、生活程度別

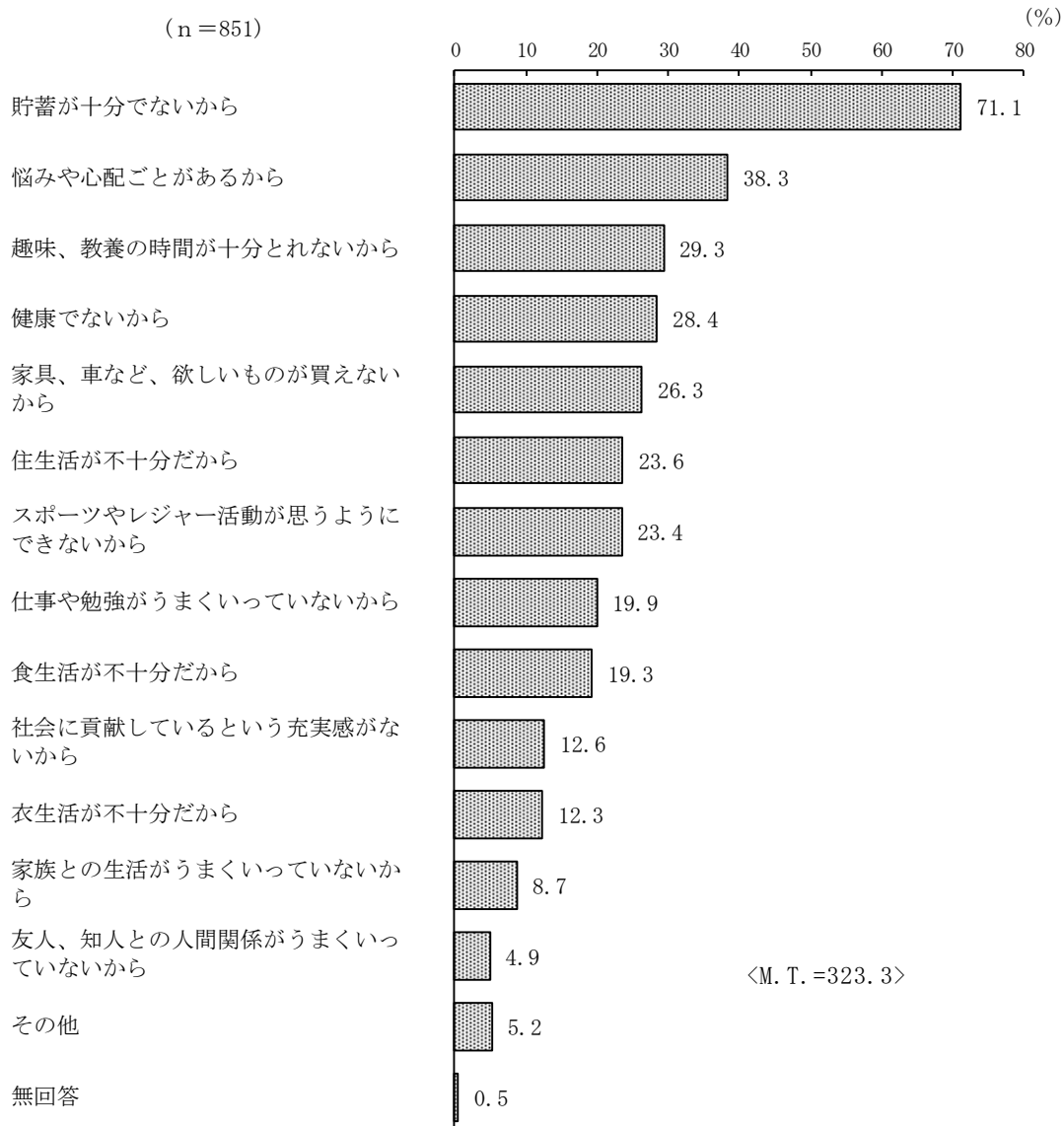
		(%)														
	n	健康であるから	家族との生活が充実しているから	友人、知人との人間関係が充実しているから	食生活が豊かだから	住生活が豊かだから	趣味、教養の時間が十分とれて充実しているから	衣生活が豊かだから	仕事や勉強がうまくいっているから	スポーツやレジャー活動が充実しているから	家具、車など耐久消費財がそろっているから	悩みや心配ごとがないから	十分な貯蓄があるから	地域活動やボランティア活動などで社会に貢献しているから	その他	無回答
全体	936	71.0	59.0	38.5	36.5	34.9	27.5	23.0	18.1	16.1	14.6	10.3	7.6	7.2	2.5	0.3
< 性・年齢別 >																
男性(計)	394	71.8	56.1	31.2	35.0	33.2	26.6	19.0	21.8	19.3	13.5	10.9	7.9	5.1	2.8	0.5
18・19歳	8	75.0	37.5	50.0	37.5	12.5	25.0	12.5	50.0	12.5	-	-	-	-	12.5	-
20代	30	73.3	33.3	43.3	43.3	33.3	26.7	20.0	30.0	20.0	6.7	10.0	3.3	3.3	3.3	-
30代	55	74.5	67.3	36.4	56.4	52.7	23.6	36.4	40.0	14.5	16.4	7.3	10.9	3.6	-	-
40代	72	66.7	62.5	26.4	44.4	38.9	23.6	27.8	16.7	13.9	13.9	2.8	4.2	1.4	2.8	1.4
50代	73	78.1	60.3	26.0	38.4	37.0	31.5	16.4	21.9	31.5	17.8	16.4	13.7	4.1	1.4	-
60代	61	72.1	50.8	19.7	19.7	21.3	23.0	8.2	21.3	24.6	11.5	13.1	6.6	3.3	1.6	-
70歳以上	95	68.4	53.7	37.9	20.0	24.2	29.5	11.6	10.5	13.7	12.6	14.7	7.4	11.6	5.3	1.1
女性(計)	537	70.6	60.9	43.8	37.6	36.3	27.9	26.1	15.5	14.0	15.6	9.9	7.4	8.8	2.2	0.2
18・19歳	6	66.7	50.0	66.7	50.0	50.0	66.7	33.3	33.3	16.7	16.7	-	16.7	-	-	-
20代	47	72.3	55.3	61.7	55.3	46.8	36.2	42.6	25.5	10.6	17.0	2.1	4.3	2.1	2.1	-
30代	68	73.5	73.5	38.2	42.6	38.2	17.6	32.4	13.2	10.3	14.7	4.4	10.3	4.4	-	-
40代	99	75.8	65.7	36.4	40.4	36.4	23.2	30.3	19.2	9.1	13.1	6.1	3.0	6.1	-	-
50代	84	76.2	67.9	36.9	28.6	31.0	32.1	20.2	21.4	17.9	15.5	8.3	6.0	8.3	3.6	-
60代	85	72.9	54.1	45.9	29.4	27.1	28.2	21.2	20.0	15.3	15.3	5.9	4.7	14.1	3.5	-
70歳以上	148	60.8	54.1	47.3	37.2	39.9	29.1	20.9	4.1	16.9	17.6	20.9	12.2	12.2	3.4	0.7
< 生活程度別 >																
上	32	78.1	81.3	62.5	75.0	71.9	34.4	50.0	21.9	21.9	25.0	25.0	18.8	12.5	-	-
中の上	241	75.9	66.0	40.2	53.1	51.0	32.8	34.0	26.1	23.7	19.1	8.7	15.8	6.2	1.2	0.4
中の中	471	69.6	56.7	37.6	29.5	30.4	27.0	18.9	15.1	13.8	13.4	10.0	5.1	7.2	3.0	0.2
中の下	137	67.2	54.0	32.8	24.1	19.0	18.2	10.9	14.6	11.7	9.5	10.2	1.5	6.6	2.9	0.7
下	17	70.6	35.3	29.4	23.5	17.6	17.6	17.6	17.6	5.9	5.9	23.5	-	11.8	11.8	-

※1-8 不満の理由

図1-8-1

(問5で「3 やや不満である」「4 大変不満である」と答えた方に)

問5-2 どのような理由で不満であると感じていますか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)(M. A.)



現在の生活に不満であるという人(851人)にその理由を聞いたところ、「貯蓄が十分でないから」が71%で最も多く、次いで「悩みや心配ごとがあるから」38%、「趣味、教養の時間が十分とれないから」29%、「健康でないから」28%、「家具、車など、欲しいものが買えないから」26%などの順となっている。(図1-8-1)

不満の理由を過去の調査結果と比較すると、「スポーツ・レジャー活動が思うようにできないから」は昨年より8ポイント減少している。(表1-8-1)

表1-8-1 不満の理由—過去の調査結果

																	(%)
	n	貯蓄が十分でないから	悩みや心配ごとがあるから	趣味、教養の時間が十分とれないから	健康でないから	家具、車など、欲しいものが買えないから	住生活が不十分だから	スポーツやレジャー活動が思うようにできないから	仕事や勉強がうまくいっていないから	食生活が不十分だから	社会に貢献しているという充実感がないから	衣生活が不十分だから	家族との生活がうまくいっていないから	友人、知人との人間関係がうまくいっていないから	その他	(無回答 令和元年以前は「わからない」)	(%)
今回調査	851	71.1	38.3	29.3	28.4	26.3	23.6	23.4	19.9	19.3	12.6	12.3	8.7	4.9	5.2	0.5	
令和3年	794	68.0	37.0	30.5	24.9	25.2	21.0	31.2	20.7	13.9	13.4	8.3	8.1	3.9	8.9	-	
2年	1,028	69.1	36.6	31.9	26.1	25.1	19.9	32.0	23.4	14.7	15.7	10.5	8.9	5.8	7.3	0.2	
元年	747	68.0	26.0	25.8	22.9	20.9	18.1	15.4	15.7	12.4	9.5	8.6	5.4	1.9	6.8	0.9	
平成30年	758	64.0	26.1	27.8	26.6	21.6	16.8	18.9	13.9	9.9	7.7	7.4	7.3	1.7	6.6	0.9	
29年	728	64.0	30.1	29.7	23.2	22.5	15.4	21.0	19.9	9.6	8.4	7.8	6.2	2.5	5.1	1.4	
28年	750	63.1	24.1	27.1	24.9	19.2	21.5	16.5	15.2	12.4	9.9	10.1	6.1	2.0	5.2	1.1	
27年	856	65.5	24.1	28.2	23.1	19.9	17.8	17.4	14.6	13.8	10.0	7.6	5.1	2.7	5.3	1.3	
26年	804	71.5	25.9	28.2	25.0	23.5	19.9	18.4	16.0	14.1	8.1	10.4	5.2	2.1	5.3	0.9	
25年	830	66.9	26.1	25.8	22.0	24.5	19.5	17.5	16.9	10.6	9.3	7.3	5.1	2.3	6.4	2.4	

(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、「悩みや心配ごとがあるから」は女性で4割を超え男性より10ポイント高くなっている。「健康でないから」は女性70歳以上で6割近くと多くなっている。

生活程度（問3 P14）との関係でみると、多くの項目で、生活程度が低いほど割合が高くなる傾向にある。（表1-8-2）

表1-8-2 不満の理由－性・年齢別、生活程度別

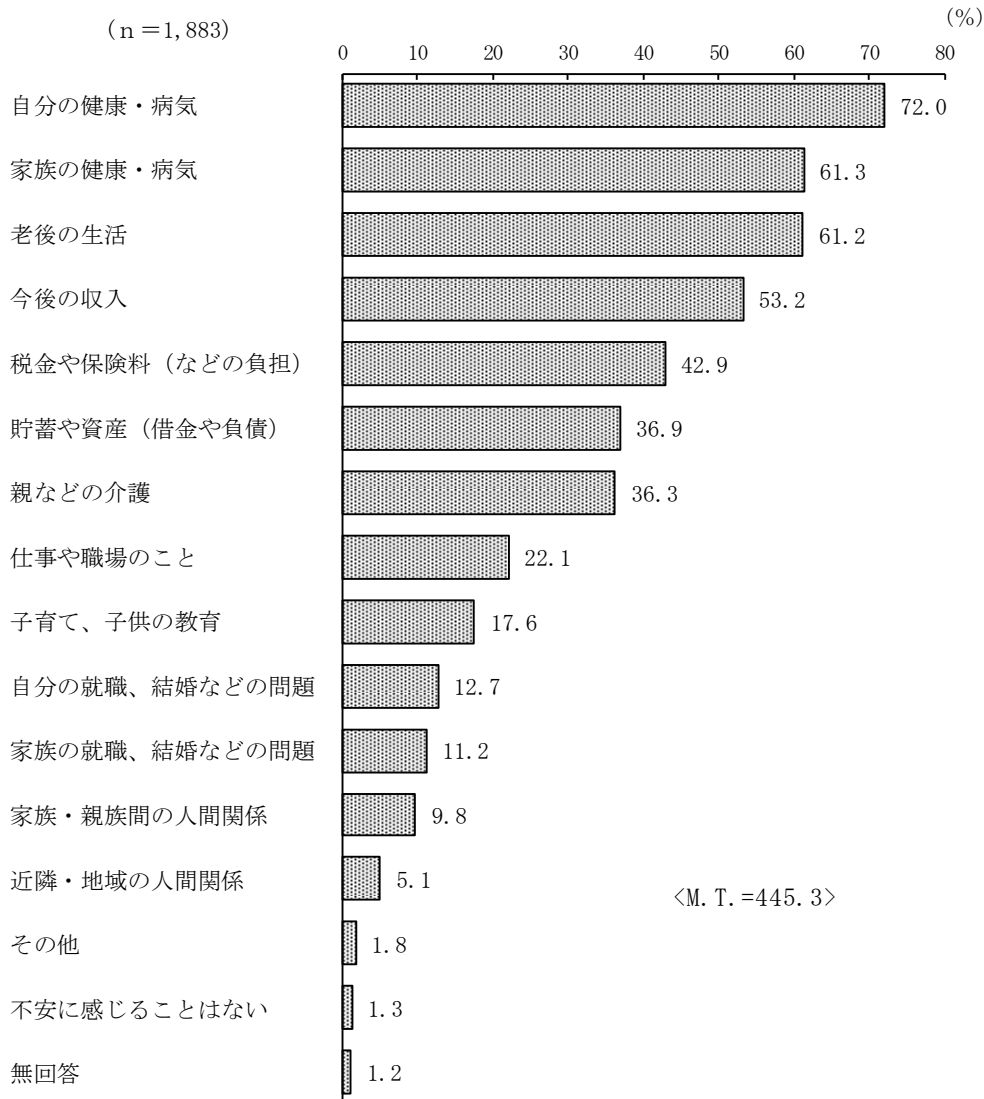
		(%)														
	n	貯蓄が十分でないから	悩みや心配ごとがあるから	趣味、教養の時間が十分とれないから	健康でないから	家具、車など、欲しいものが買えないから	住生活が不十分だから	スポーツやレジャー活動が思うようにできないから	仕事や勉強がうまくいっていないから	食生活が不十分だから	社会に貢献しているという充実感がないから	衣生活が不十分だから	家族との生活がうまくいっていないから	友人、知人との人間関係がうまくいっていないから	その他	無回答
全 体	851	71.1	38.3	29.3	28.4	26.3	23.6	23.4	19.9	19.3	12.6	12.3	8.7	4.9	5.2	0.5
< 性・年齢別 >																
男 性 (計)	388	71.6	33.0	29.1	23.5	28.9	25.5	25.0	19.6	21.6	11.9	11.6	7.2	5.7	5.4	0.5
18・19 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20 代	25	72.0	32.0	36.0	4.0	40.0	24.0	20.0	36.0	32.0	20.0	16.0	4.0	20.0	4.0	-
30 代	53	81.1	28.3	35.8	5.7	32.1	26.4	24.5	18.9	28.3	9.4	7.5	5.7	13.2	5.7	-
40 代	69	73.9	44.9	34.8	15.9	46.4	34.8	34.8	33.3	15.9	11.6	14.5	14.5	4.3	4.3	-
50 代	73	76.7	26.0	37.0	19.2	34.2	20.5	27.4	26.0	16.4	9.6	15.1	6.8	5.5	4.1	-
60 代	81	70.4	29.6	27.2	29.6	19.8	32.1	24.7	17.3	23.5	9.9	12.3	8.6	2.5	2.5	-
70 歳以上	87	60.9	35.6	13.8	43.7	13.8	16.1	17.2	1.1	21.8	14.9	6.9	2.3	1.1	10.3	2.3
女 性 (計)	456	71.1	42.8	29.4	32.5	24.3	22.4	22.1	20.2	17.1	12.9	13.2	10.1	4.2	5.0	0.2
18・19 歳	1	100.0	-	100.0	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
20 代	45	88.9	42.2	33.3	4.4	48.9	6.7	8.9	28.9	13.3	-	17.8	11.1	-	2.2	-
30 代	65	80.0	35.4	40.0	18.5	33.8	27.7	29.2	30.8	15.4	13.8	15.4	9.2	6.2	4.6	-
40 代	86	64.0	44.2	34.9	19.8	29.1	30.2	27.9	22.1	18.6	16.3	11.6	17.4	3.5	9.3	-
50 代	94	73.4	46.8	30.9	30.9	20.2	24.5	23.4	24.5	17.0	14.9	11.7	9.6	7.4	2.1	-
60 代	67	70.1	44.8	20.9	46.3	22.4	20.9	22.4	17.9	17.9	16.4	19.4	9.0	6.0	6.0	-
70 歳以上	98	61.2	41.8	19.4	58.2	8.2	17.3	16.3	5.1	18.4	11.2	8.2	5.1	1.0	5.1	1.0
< 生活程度別 >																
上	3	66.7	-	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-
中の上	46	60.9	32.6	26.1	15.2	21.7	8.7	28.3	32.6	8.7	15.2	6.5	21.7	4.3	8.7	-
中の中	206	61.7	38.3	35.0	18.0	24.3	16.5	29.6	16.0	6.8	13.1	7.3	10.2	2.9	4.9	-
中の下	326	75.8	36.5	27.6	27.0	25.2	20.2	19.0	19.9	16.9	10.4	9.2	7.1	5.5	4.0	1.2
下	211	75.4	41.7	27.0	41.7	31.3	37.4	24.2	20.9	37.4	15.6	25.1	7.1	5.7	6.6	-

※1-9 今後の生活の不安

図1-9-1

(全員の方に)

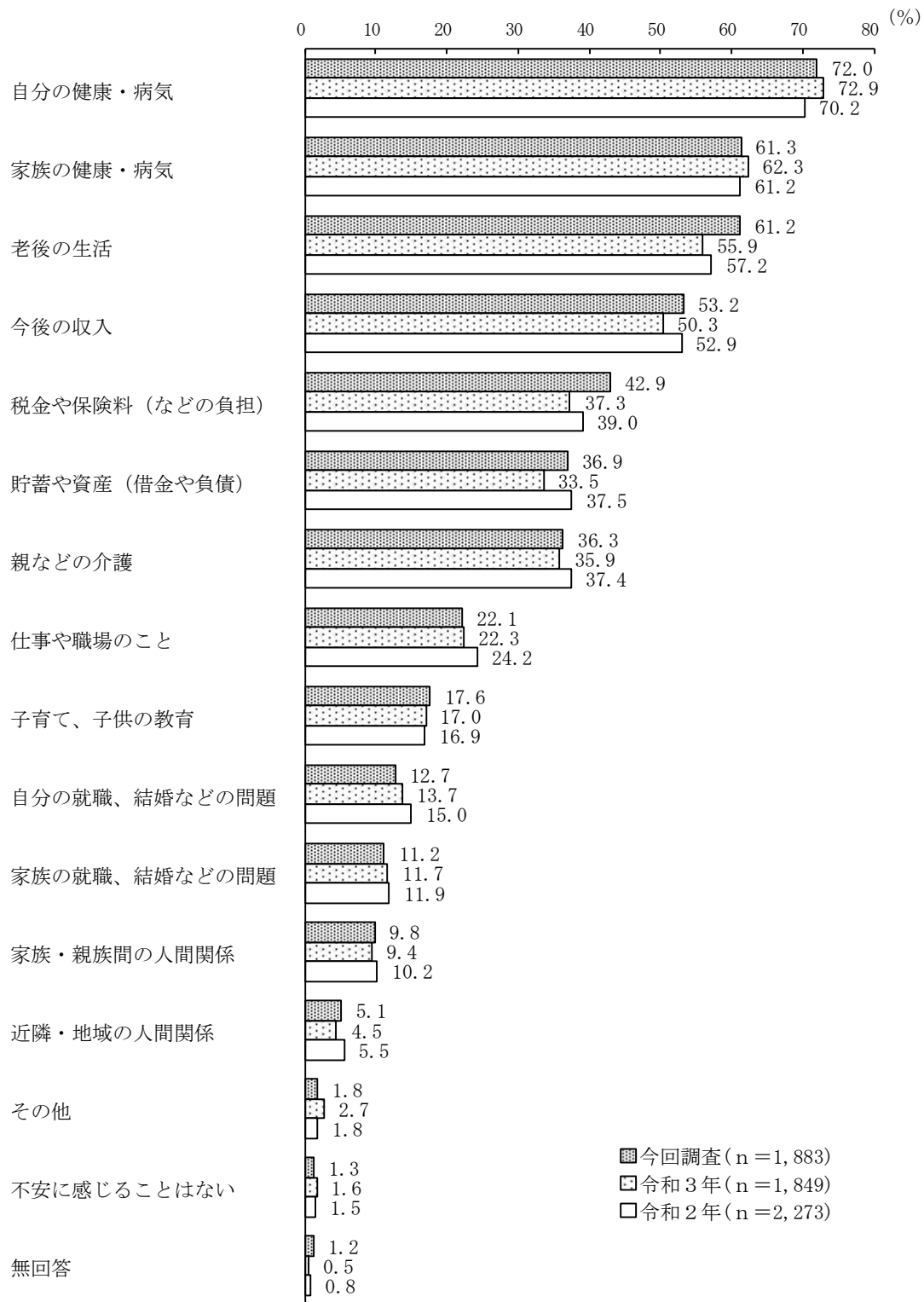
問6 あなたが、今後の生活を考えたとき、不安に感じることはありませんか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)(M. A.)



今後の生活で不安に感じることを聞いたところ、「自分の健康・病気」が72%で最も多く、次いで「家族の健康・病気」、「老後の生活」61%、「今後の収入」53%、「税金や保険料 (などの負担)」43%、「貯蓄や資産 (借金や負債)」37%、「親などの介護」36%などの順となっている。(図1-9-1)

今後の生活の不安を過去の調査結果と比較すると、「税金や保険料(などの負担)」は昨年よりも6ポイント増加し、「老後の生活」は5ポイント増加している。(図1-9-2)

図1-9-2 今後の生活の不安—過去の調査結果



性・年齢別にみると、「自分の健康・病気」は年齢が高くなるほど割合が高くなっており、男女とも60代以上で8割台と多くなっている。「家族の健康・病気」は女性60代で7割を超え、「老後の生活」は男性50代、女性50代、60代で7割半ばから8割近くと多くなっている。「今後の収入」は男性20代、50代、女性30代で7割を超えて多くなっている。(表1-9-1)

表1-9-1 今後の生活の不安－性・年齢別

		(%)															
	n	自分の健康・病気	家族の健康・病気	老後の生活	今後の収入	税金や保険料(などの負担)	貯蓄や資産(借金や負債)	親などの介護	仕事や職場のこと	子育て、子供の教育	自分の就職、結婚などの問題	家族の就職、結婚などの問題	家族・親族間の人間関係	近隣・地域の人間関係	その他	不安に感じることはない	無回答
全 体	1,883	72.0	61.3	61.2	53.2	42.9	36.9	36.3	22.1	17.6	12.7	11.2	9.8	5.1	1.8	1.3	1.2
< 性・年齢別 >																	
男 性 (計)	820	70.1	57.0	60.2	54.9	44.1	39.6	34.3	23.3	17.1	10.9	9.6	8.5	4.8	2.2	1.5	1.5
18・19歳	8	25.0	12.5	25.0	37.5	50.0	25.0	12.5	12.5	12.5	62.5	-	12.5	-	12.5	25.0	-
20代	57	45.6	38.6	26.3	70.2	57.9	57.9	43.9	33.3	19.3	28.1	5.3	8.8	3.5	-	-	-
30代	112	60.7	53.6	38.4	65.2	52.7	46.4	44.6	35.7	44.6	19.6	5.4	10.7	5.4	2.7	0.9	0.9
40代	147	63.9	60.5	59.2	59.9	46.9	54.4	65.3	34.0	30.6	19.7	10.2	6.1	4.1	1.4	2.0	0.7
50代	149	69.1	63.1	76.5	72.5	47.7	47.7	48.3	32.9	14.8	6.7	15.4	13.4	5.4	1.3	-	-
60代	149	81.2	51.0	70.5	54.4	43.6	36.2	18.8	15.4	6.0	4.0	12.1	8.1	7.4	2.0	1.3	1.3
70歳以上	198	81.3	63.1	64.6	28.8	30.8	16.7	4.5	4.5	1.0	0.5	7.1	5.6	3.0	3.5	2.0	4.0
女 性 (計)	1,048	73.7	65.0	62.2	52.2	42.0	35.0	38.3	21.3	18.3	14.1	12.5	10.9	5.4	1.5	1.2	0.8
18・19歳	8	75.0	75.0	12.5	50.0	25.0	37.5	25.0	12.5	25.0	62.5	-	-	-	-	-	-
20代	95	45.3	52.6	37.9	63.2	51.6	55.8	36.8	34.7	27.4	48.4	5.3	15.8	6.3	-	1.1	-
30代	136	65.4	69.9	50.7	70.6	57.4	53.7	57.4	39.7	50.7	30.9	10.3	15.4	7.4	1.5	-	0.7
40代	190	67.4	66.8	63.2	60.0	39.5	44.7	65.3	30.0	37.9	14.7	16.3	12.6	4.2	-	1.6	0.5
50代	191	75.9	64.9	74.3	63.9	48.7	43.5	56.0	27.7	10.5	9.4	18.3	12.0	7.3	3.1	2.1	0.5
60代	164	81.7	72.0	78.7	50.6	37.2	28.0	28.0	11.6	1.8	4.9	14.6	9.8	3.7	2.4	-	0.6
70歳以上	264	86.0	61.0	58.7	25.8	31.1	9.1	3.4	2.3	-	0.4	8.3	5.7	4.9	1.5	1.9	1.5

世帯年収別にみると、「自分の健康・病気」は年収200万円未満の世帯で8割半ばと多くなっている。「親などの介護」は年収900～1,500万円未満の世帯で5割台と多くなっている。

生活満足度（問5 P26）との関係でみると、『不満（計）』は『満足（計）』よりも「貯蓄や資産（借金や負債）」が30ポイント、「今後の収入」が29ポイント、「税金や保険料（などの負担）」が20ポイント高くなっている。（表1-9-2）

表1-9-2 今後の生活の不安－世帯年収別、生活満足度別

		(%)															
	n	自分の健康・病気	家族の健康・病気	老後の生活	今後の収入	税金や保険料（などの負担）	貯蓄や資産（借金や負債）	親などの介護	仕事や職場のこと	子育て、子供の教育	自分の就職、結婚などの問題	家族の就職、結婚などの問題	家族・親族間の人間関係	近隣・地域の人間関係	その他	不安に感じることはない	無回答
全 体	1,883	72.0	61.3	61.2	53.2	42.9	36.9	36.3	22.1	17.6	12.7	11.2	9.8	5.1	1.8	1.3	1.2
< 世帯年収別 >																	
200 万円 未 満	248	84.7	46.0	64.5	50.0	41.5	27.8	19.4	15.7	6.5	16.9	8.5	9.7	8.9	3.6	0.8	0.4
200～300万円未満	230	78.3	57.4	61.7	50.9	40.9	29.6	21.7	15.7	6.5	11.7	10.0	6.5	3.5	1.3	1.7	1.7
300～400万円未満	205	71.7	60.0	63.9	55.1	45.4	38.0	25.4	24.9	4.9	17.1	9.8	11.2	5.9	1.0	2.0	1.5
400～500万円未満	191	68.6	71.7	66.5	60.7	47.6	42.9	39.3	25.1	13.6	17.3	12.0	8.9	5.2	2.6	1.0	0.5
500～700万円未満	247	68.4	62.8	62.3	54.7	41.3	41.3	40.5	26.3	18.6	12.1	8.5	11.7	2.8	2.8	0.8	2.0
700～900万円未満	191	68.6	64.4	59.2	55.5	44.0	45.5	48.7	22.5	29.3	8.9	14.7	7.3	3.1	0.5	1.0	0.5
900～1,100万円未満	142	72.5	73.2	59.9	58.5	45.1	43.0	55.6	26.8	33.8	7.0	14.8	11.3	3.5	1.4	1.4	0.7
1,100～1,300万円未満	70	65.7	67.1	57.1	52.9	47.1	40.0	52.9	32.9	38.6	8.6	14.3	14.3	8.6	1.4	-	1.4
1,300～1,500万円未満	67	64.2	65.7	55.2	58.2	41.8	38.8	55.2	23.9	49.3	11.9	19.4	4.5	1.5	-	3.0	-
1,500～2,000万円未満	69	55.1	55.1	55.1	46.4	42.0	34.8	43.5	23.2	31.9	8.7	8.7	10.1	10.1	-	1.4	1.4
2,000 万円 以 上	45	62.2	68.9	53.3	31.1	28.9	20.0	55.6	13.3	26.7	4.4	13.3	11.1	2.2	4.4	-	2.2
< 生活満足度別 >																	
大変満足している	60	63.3	68.3	36.7	21.7	25.0	16.7	36.7	13.3	33.3	6.7	11.7	6.7	1.7	-	6.7	1.7
まあ満足している	876	72.7	66.9	55.5	41.1	34.9	23.6	37.0	17.6	17.4	8.4	10.0	8.1	3.3	1.6	2.1	1.6
やや不満である	658	69.6	56.1	67.6	67.3	52.0	52.9	37.5	27.2	18.7	15.7	11.9	9.7	5.8	2.0	0.3	0.6
大変不満である	193	73.6	57.0	72.5	75.1	60.1	53.4	36.3	31.6	15.5	25.4	16.6	18.1	9.3	2.6	-	-
満 足（計）	936	72.1	67.0	54.3	39.9	34.3	23.2	37.0	17.3	18.4	8.3	10.1	8.0	3.2	1.5	2.4	1.6
不 満（計）	851	70.5	56.3	68.7	69.1	53.8	53.0	37.3	28.2	18.0	17.9	12.9	11.6	6.6	2.1	0.2	0.5

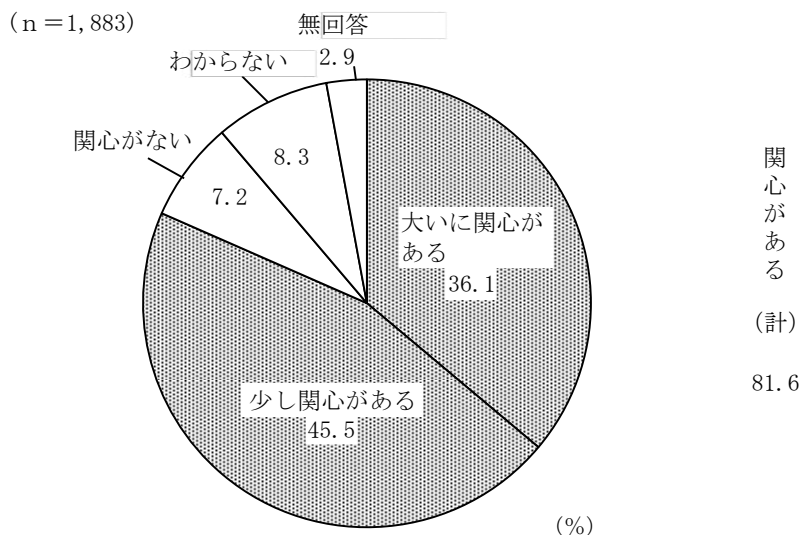
(注) 『満足（計）』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計
『不満（計）』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

※1-10 税金への関心度とその内容

図1-10-1

(全員の方に)

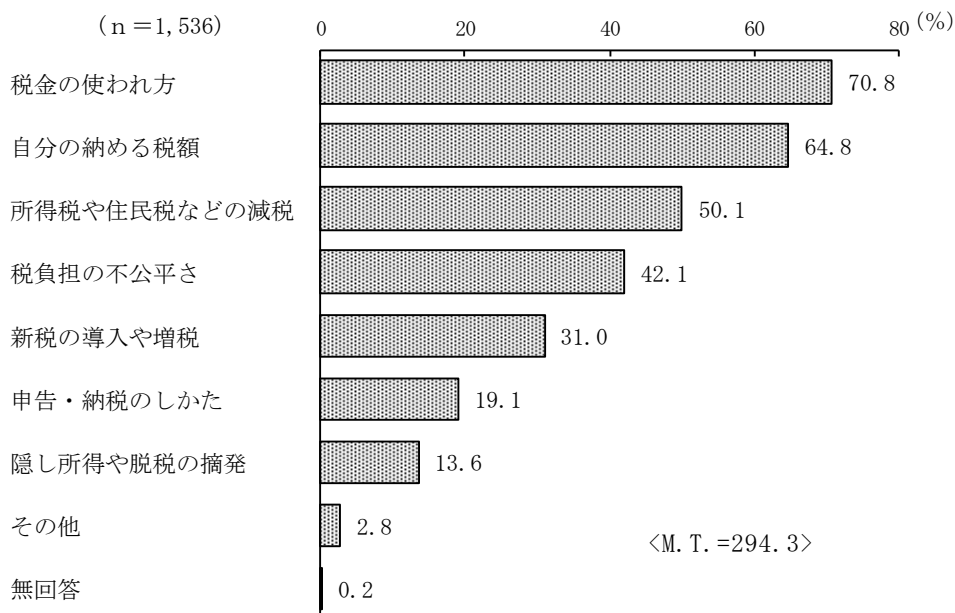
問7 あなたは、税金について関心がありますか。(○は1つ)



(注)『関心がある (計)』は「大いに関心がある」「少し関心がある」の合計

(問7で「1 大いに関心がある」「2 少し関心がある」と答えた方に)

問7-1 では、今、あなたが関心をもっているのはどのようなことですか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(○はいくつでも)(M. A.)

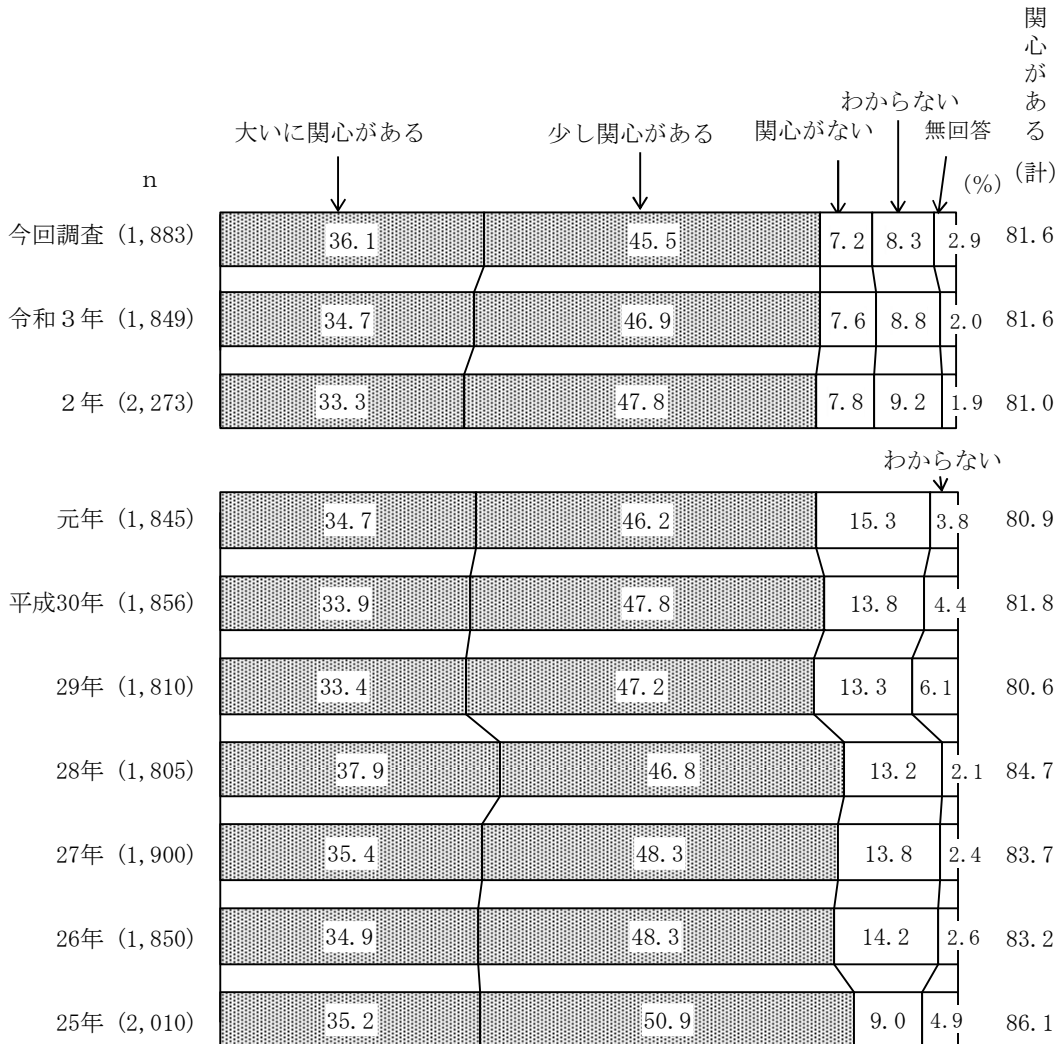


税金について関心があるかどうか聞いたところ、『関心がある (計)』は82%、「関心がない」は7%となっている。

税金に『関心がある (計)』と答えた人 (1,536人) にその内容を聞いたところ、「税金の使われ方」71%が最も多く、次いで「自分の納める税額」65%、「所得税や住民税などの減税」50%などの順となっている。(図1-10-1)

税金への関心度を過去の調査結果と比較すると、昨年と大きな差はみられない。(図1-10-2)

図1-10-2 税金への関心度－過去の調査結果



(注1) 『関心がある (計)』は「大いに興味がある」「少し興味がある」の合計

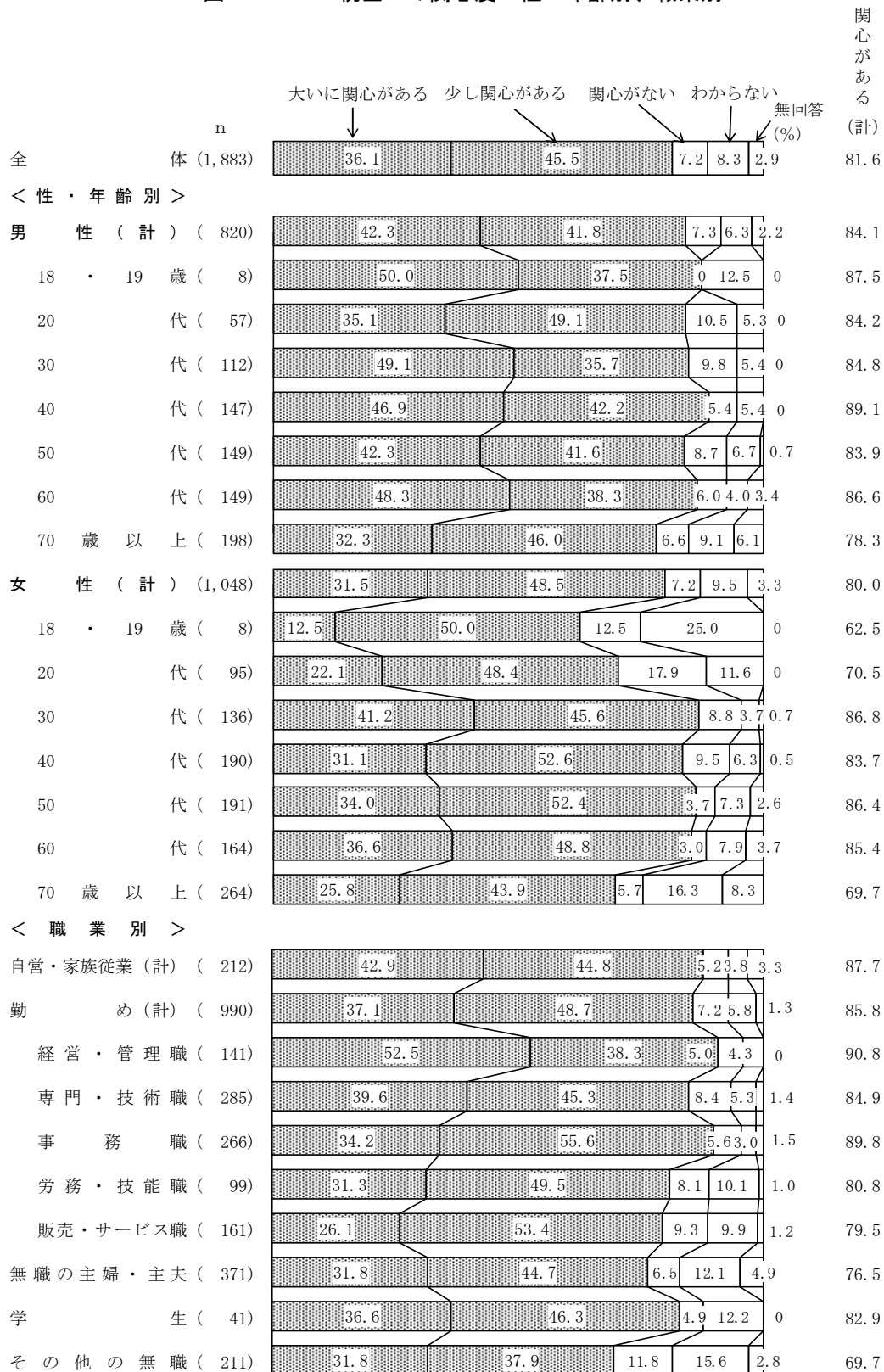
(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、男性は『関心がある（計）』が8割半ばと、女性よりも4ポイント高く、特に男性40代では9割近くと多くなっている。

職業別にみると、『関心がある（計）』は経営・管理職、事務職で9割前後と多くなっている

(図1-10-3)

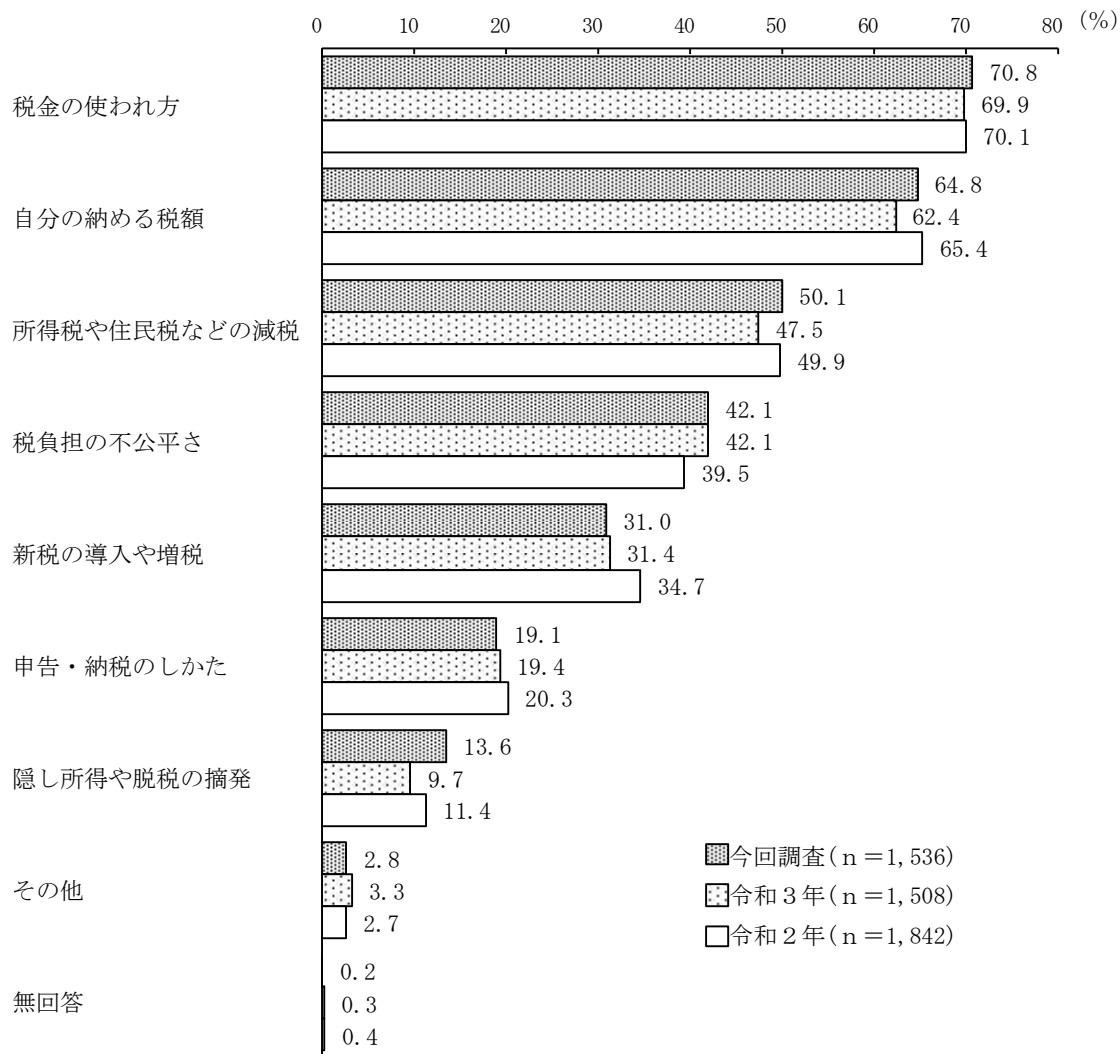
図1-10-3 税金への関心度－性・年齢別、職業別



(注) 『関心がある (計)』は「大いに関心がある」「少し関心がある」の合計

税金について関心がある内容を過去の調査結果と比較すると、「隠し所得や脱税の摘発」は昨年より4ポイント、「所得税や住民税などの減税」は3ポイント増加している。(図1-10-4)

図1-10-4 税金への関心の内容－過去の調査結果



性・年齢別にみると、「税金の使われ方」は女性が7割半ばと男性よりも9ポイント高くなっている。「新税の導入や増税」では、男性30代で4割半ばと多くなっている。(表1-10-1)

表1-10-1 税金への関心の内容－性・年齢別

(%)

	n	税金の使われ方	自分の納める税額	減所得税や住民税などの	税負担の不公平さ	新税の導入や増税	申告・納税のしかた	隠し所得や脱税の摘発	その他	無回答
全 体	1,536	70.8	64.8	50.1	42.1	31.0	19.1	13.6	2.8	0.2
< 性・年齢別 >										
男 性 (計)	690	65.8	67.5	52.6	42.5	32.5	18.0	13.6	3.0	0.1
18・19 歳	7	57.1	42.9	14.3	28.6	57.1	14.3	28.6	14.3	-
20 代	48	60.4	77.1	58.3	35.4	33.3	20.8	18.8	6.3	-
30 代	95	73.7	71.6	61.1	45.3	44.2	21.1	16.8	1.1	-
40 代	131	65.6	69.5	54.2	51.1	33.6	18.3	11.5	3.1	-
50 代	125	65.6	74.4	60.8	46.4	28.8	20.0	12.0	3.2	-
60 代	129	57.4	72.9	51.2	41.1	27.9	17.8	12.4	1.6	-
70 歳 以上	155	70.3	51.6	40.6	34.2	29.7	13.5	13.5	3.9	0.6
女 性 (計)	838	74.8	62.6	48.1	41.9	29.8	20.0	13.7	2.6	0.2
18・19 歳	5	60.0	60.0	-	20.0	40.0	60.0	-	-	-
20 代	67	71.6	67.2	52.2	38.8	26.9	28.4	11.9	3.0	-
30 代	118	79.7	74.6	59.3	44.1	36.4	20.3	16.1	1.7	0.8
40 代	159	72.3	72.3	46.5	42.8	29.6	25.8	13.8	3.1	-
50 代	165	78.8	62.4	51.5	49.1	33.9	15.2	12.1	1.8	-
60 代	140	77.1	57.1	47.1	43.6	26.4	18.6	18.6	2.9	-
70 歳 以上	184	70.1	49.5	39.7	33.7	25.5	16.3	10.9	3.3	0.5

職業別にみると、「自分の納める税額」は専門・技術職で7割半ばと多くなっている。

世帯年収別にみると、「自分の納める税額」は年収1,500～2,000万円未満の世帯で約8割と多くなっている。一方、年収200万円未満の世帯で5割を超える程度と少なくなっている。(表1-10-2)

表1-10-2 税金への関心の内容－職業別、世帯年収別

	n	税金の 使われ方	自分の 納める 税額	減所得 税や 住民 税など の	税負担 の 不公平 さ	新税の 導入 や 増税	申告・ 納税の しかた	隠し 所得 や 脱税 の 摘発	その他	無 回答
全 体	1,536	70.8	64.8	50.1	42.1	31.0	19.1	13.6	2.8	0.2
< 職 業 別 >										
自営・家族従業(計)	186	69.4	65.1	51.6	37.1	30.6	19.4	11.8	3.2	-
勤 め(計)	849	70.4	71.7	54.9	45.9	31.3	18.5	14.5	2.2	0.1
経営・管理職	128	65.6	72.7	49.2	50.8	28.9	21.1	14.1	3.9	-
専門・技術職	242	70.2	74.0	56.6	50.8	33.5	19.8	14.5	2.5	-
事務職	239	73.6	71.5	53.6	43.9	34.3	16.7	13.8	1.7	0.4
労務・技能職	80	70.0	67.5	58.8	47.5	35.0	13.8	18.8	1.3	-
販売・サービス職	128	75.8	68.8	57.8	35.9	25.0	19.5	15.6	2.3	-
無職の主婦・主夫	284	75.7	51.8	42.3	41.2	29.2	16.5	12.3	2.5	0.4
学 生	34	73.5	58.8	38.2	47.1	32.4	35.3	14.7	5.9	-
そ の 他 の 無 職	147	66.0	54.4	38.8	31.3	32.7	22.4	12.9	4.8	0.7
< 世 帯 年 収 別 >										
200 万 円 未 満	163	76.1	52.1	37.4	31.9	33.7	20.9	13.5	3.7	0.6
200～300万円未満	179	70.9	62.0	48.0	35.2	25.1	22.3	15.6	2.2	-
300～400万円未満	166	70.5	61.4	55.4	44.6	30.7	14.5	16.9	3.0	0.6
400～500万円未満	166	69.3	67.5	54.8	45.8	32.5	17.5	16.3	1.8	-
500～700万円未満	202	67.8	65.8	56.4	43.1	37.6	19.8	9.9	1.5	-
700～900万円未満	167	71.3	70.7	50.3	38.3	28.1	15.0	12.6	1.2	0.6
900～1,100万円未満	128	73.4	68.0	49.2	43.8	31.3	20.3	14.1	3.9	-
1,100～1,300万円未満	67	76.1	65.7	52.2	50.7	31.3	14.9	13.4	3.0	-
1,300～1,500万円未満	62	62.9	71.0	48.4	50.0	30.6	17.7	11.3	6.5	-
1,500～2,000万円未満	66	60.6	80.3	42.4	45.5	27.3	13.6	12.1	4.5	-
2,000 万 円 以 上	41	70.7	63.4	56.1	53.7	31.7	14.6	7.3	4.9	-

2 住んでいる地域

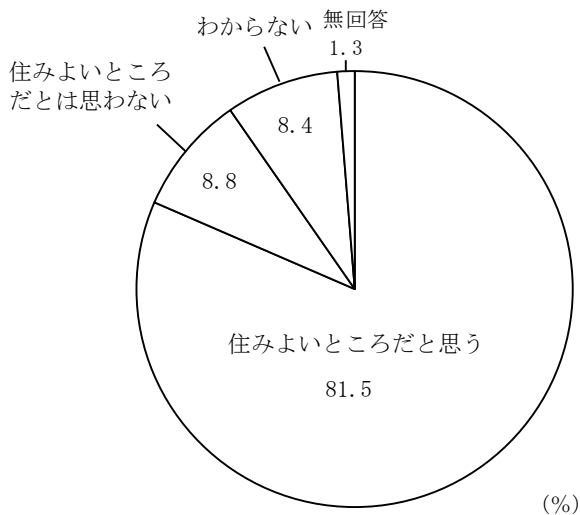
※2-1 地域の住みよさ

図2-1-1

(全員の方に)

問8 ところで、あなたが、今住んでいらっしゃるところは、住みよいところだと思いますか。それとも、思いませんか。(○は1つ)

(n=1,883)

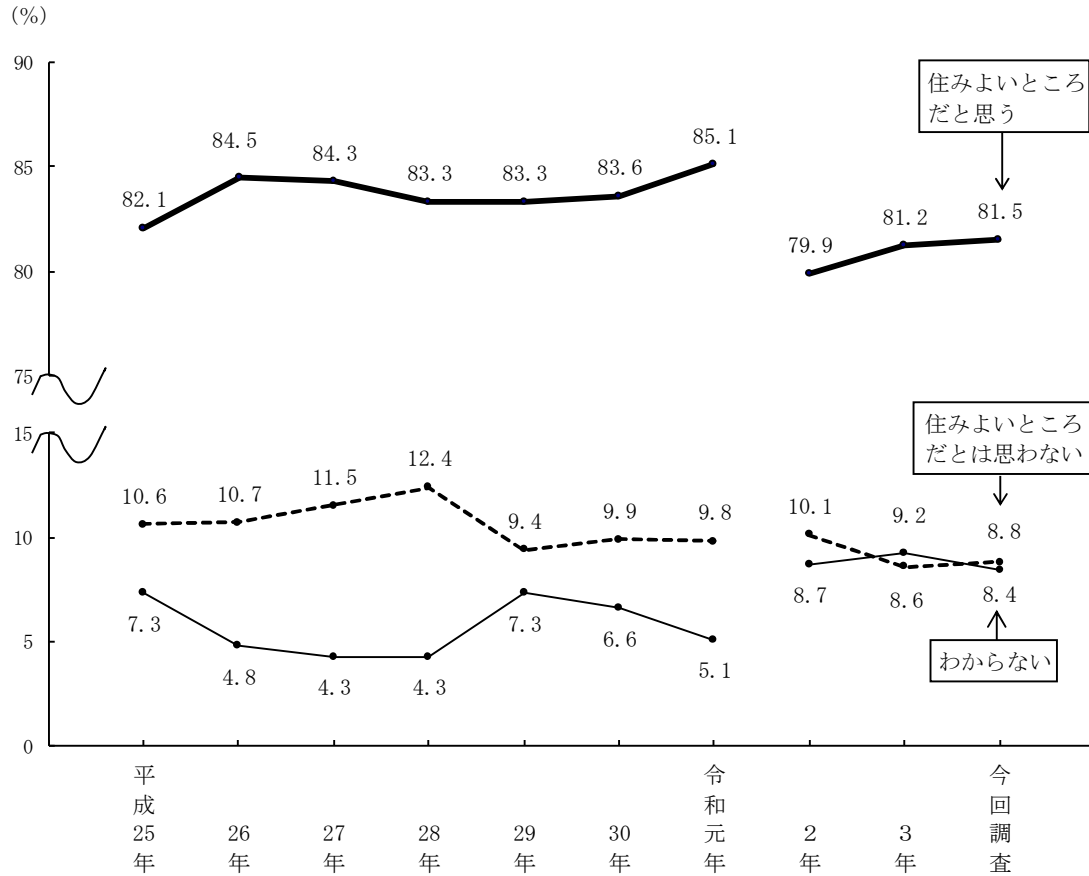


今住んでいるところが住みよいところだと思うか聞いたところ、「住みよいところだと思う」は82%、「住みよいところだとは思わない」は9%、「わからない」は8%となっている。(図2-1-1)

地域の住みよさを過去の調査結果と比較すると、昨年と大きな差はみられない。(図2-1-2)

なお、地域の住みよさの平成元年からの調査結果を巻末の付属資料 (P166 図5) に掲載している。

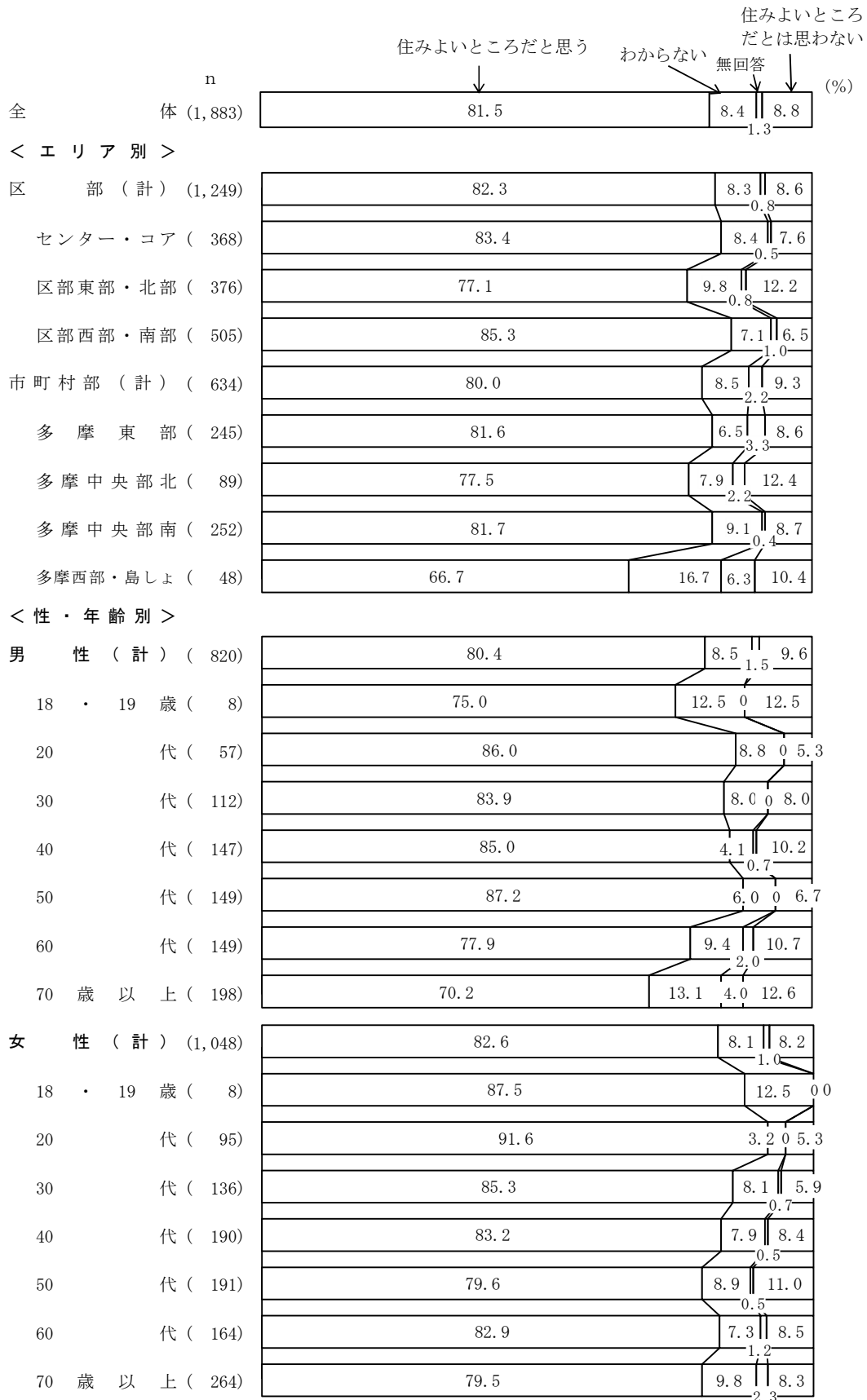
図2-1-2 地域の住みよさー過去の調査結果



(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

エリア別にみると、「住みよいところだと思う」は区部西部・南部で8割半ばと多くなっている。
 性・年齢別にみると、女性20代で9割を超えて多くなっている。(図2-1-3)

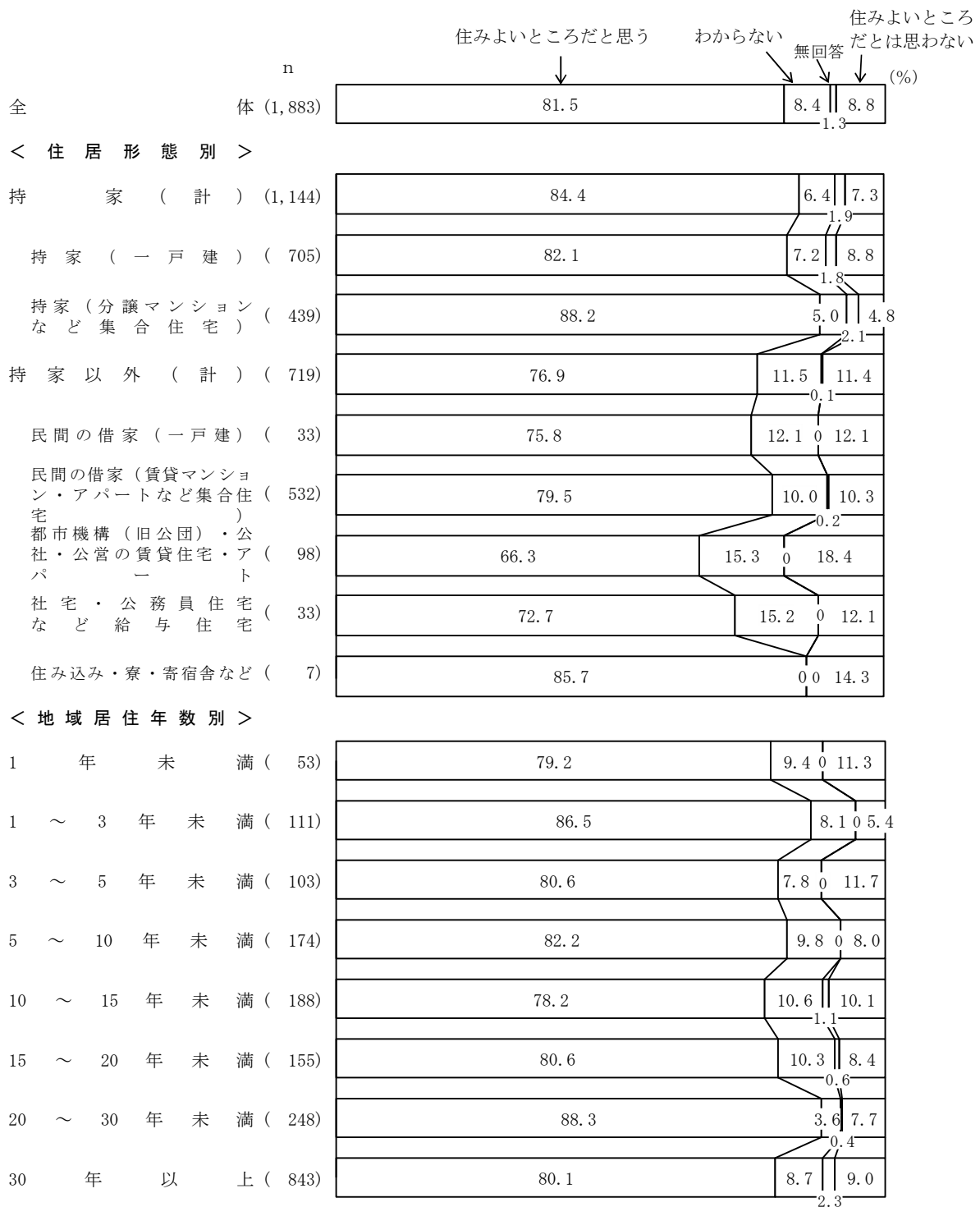
図2-1-3 地域の住みよさーエリア別、性・年齢別



住居形態別にみると、「住みよいところだと思う」は持家（計）が8割半ばと、持家以外（計）よりも8ポイント高くなっている。

地域居住年数別にみると、「住みよいところだと思う」は20年～30年未満で9割近くと多くなっている。
 (図2-1-4)

図2-1-4 地域の住みよさ－住居形態別、地域居住年数別

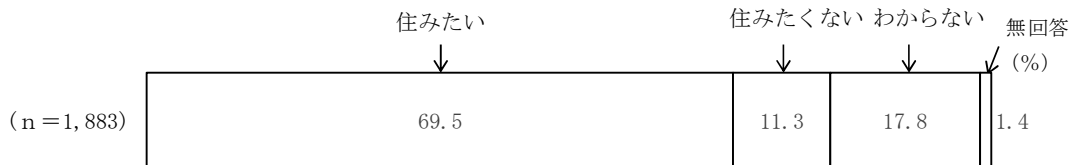


※2-2 地域定住意向

図2-2-1

(全員の方に)

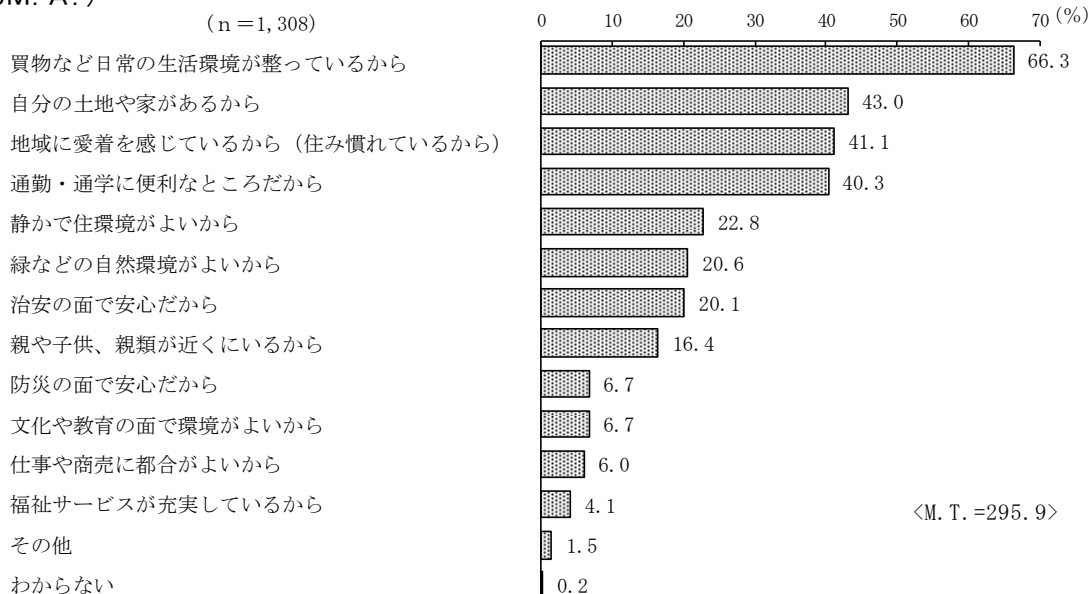
問9 あなたは、今お住まいのこの地域に今後もずっと住みたいと思いますか、それとも、住みたくないと思いますか。あなたの今のお気持ちをお答えください。(○は1つ)



(問9で「1 住みたい」と答えた方に)

問9-1 住みたいと思うのはなぜですか。次の中から3つまでお答えください。(○は3つまで)

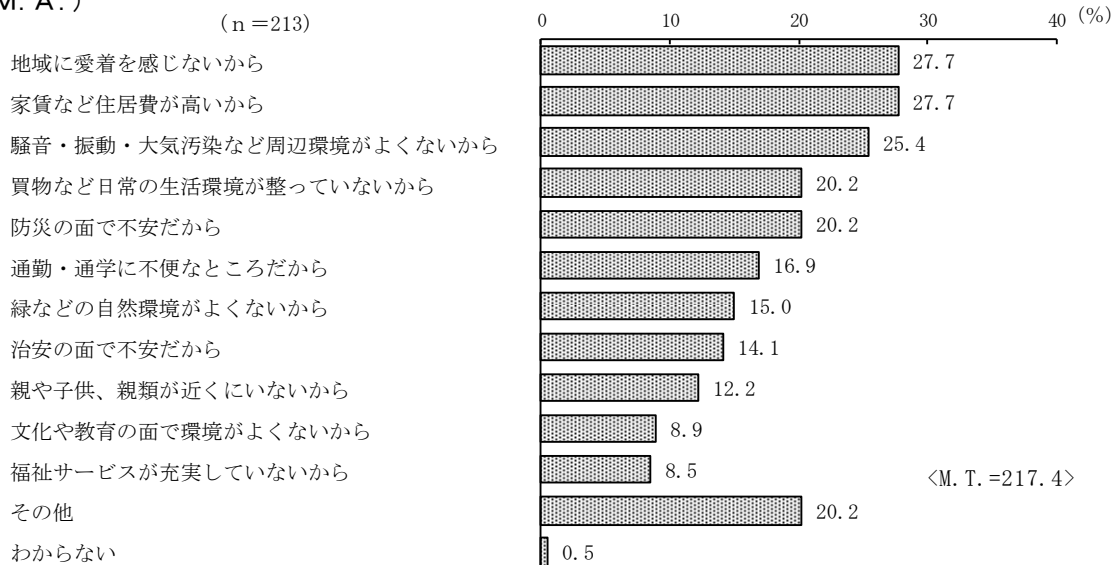
(3M. A.)



(問9で「2 住みたくない」と答えた方に)

問9-2 住みたくないと思うのはなぜですか。次の中から3つまでお答えください。(○は3つまで)

(3M. A.)



今住んでいる地域に今後も住みたいと思うかどうか聞いたところ、「住みたい」は70%、「住みたくない」は11%となっている。

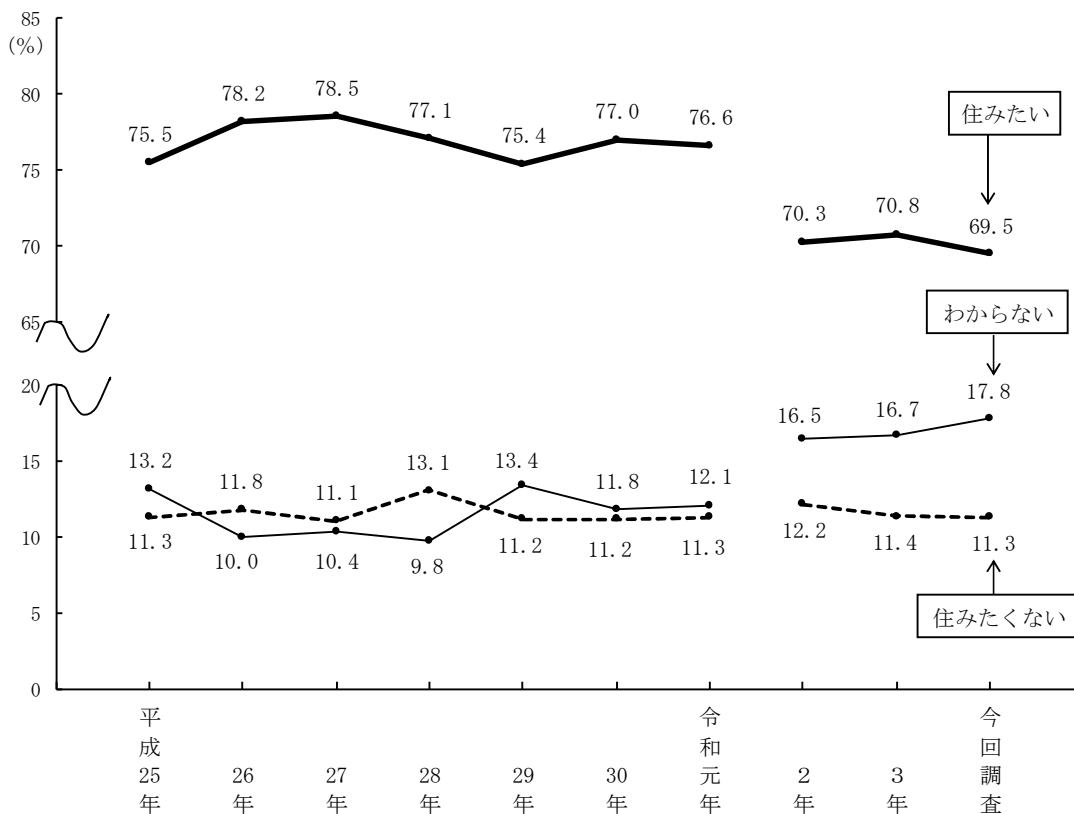
「住みたい」と答えた人（1,308人）に、その理由を聞いたところ、「買物など日常の生活環境が整っているから」が66%で最も多く、次いで「自分の土地や家があるから」43%、「地域に愛着を感じているから（住み慣れているから）」41%、「通勤・通学に便利なところだから」40%、「静かで住環境がよいから」23%などの順となっている。

「住みたくない」と答えた人（213人）に、その理由を聞いたところ、「地域に愛着を感じないから」「家賃など住居費が高いから」が28%で最も多く、次いで「騒音・振動・大気汚染など周辺環境がよくないから」25%、「買物など日常の生活環境が整っていないから」「防災の面で不安だから」20%などの順となっている。（図2-2-1）

地域定住意向を過去の調査結果と比較すると、昨年との大きな差はみられない。（図2-2-2）

なお、地域定住意向の平成元年からの調査結果を巻末の付属資料（P167 図6）に掲載している。

図2-2-2 地域定住意向—過去の調査結果



（注）令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

エリア別にみると、「住みたくない」が区部東部・北部エリアで1割半ばとなっている。
 性・年齢別にみると、「住みたい」が女性60代以上で8割近くと多くなっている。(図2-2-3)

図2-2-3 地域定住意向－エリア別、性・年齢別

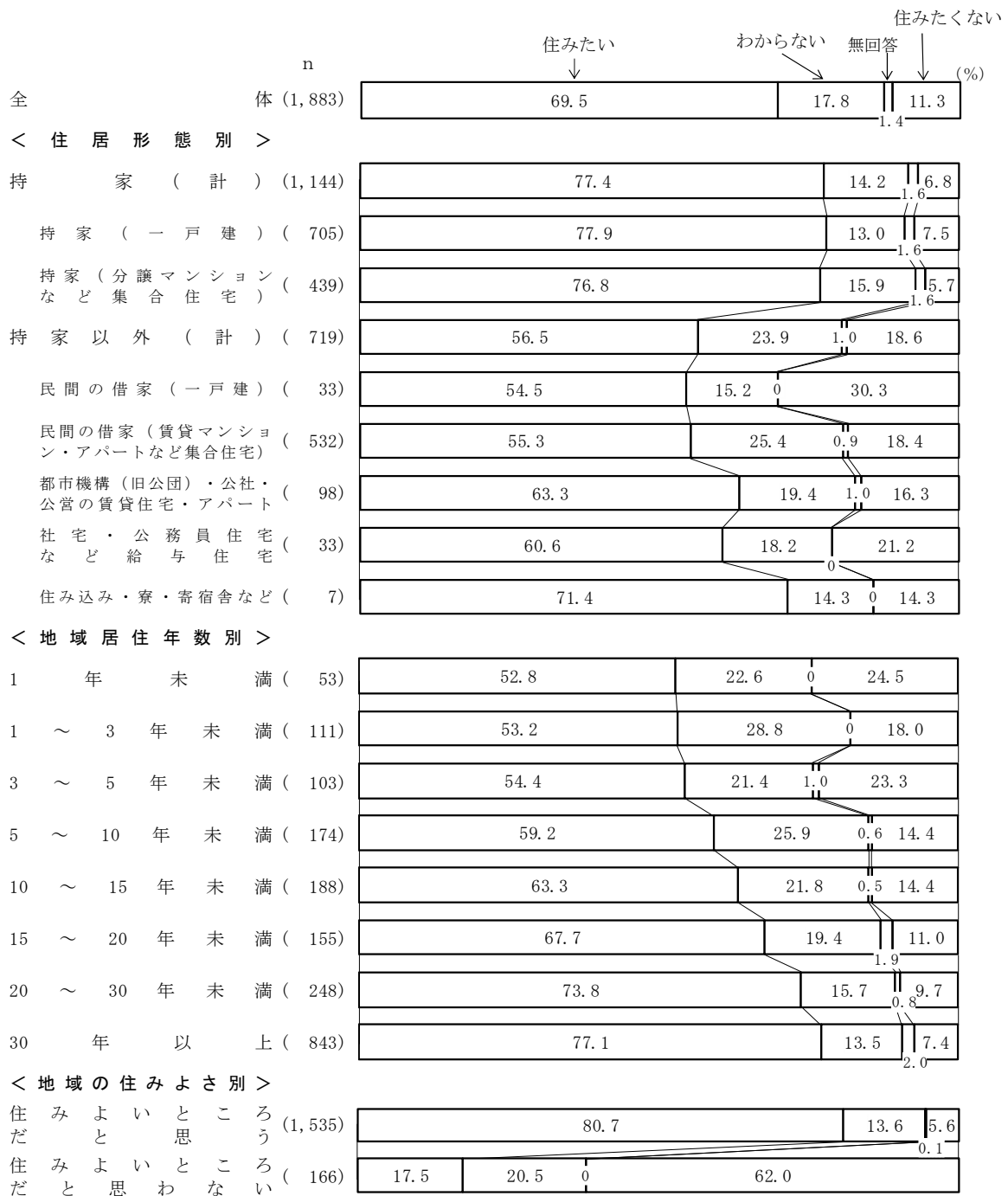
n		住みたい	わからない	無回答	住みたくない	(%)
全	体 (1,883)	69.5	17.8	1.4	11.3	
< エリア別 >						
区	部 (計) (1,249)	68.5	18.9	1.0	11.7	
	センター・コア (368)	69.6	17.7	0.5	12.2	
	区部東部・北部 (376)	62.5	22.6	1.1	13.8	
	区部西部・南部 (505)	72.1	17.0	1.2	9.7	
市町村部	(計) (634)	71.5	15.6	2.4	10.6	
	多摩東部 (245)	71.0	15.1	2.9	11.0	
	多摩中央部北 (89)	76.4	11.2	2.2	10.1	
	多摩中央部南 (252)	70.6	17.5	2.0	9.9	
	多摩西部・島しょ (48)	68.8	16.7	2.1	12.5	
< 性・年齢別 >						
男	性 (計) (820)	69.3	17.3	1.5	12.0	
	18・19歳 (8)	62.5	12.5	0	25.0	
	20代 (57)	57.9	24.6	0	17.5	
	30代 (112)	58.9	20.5	0	20.5	
	40代 (147)	69.4	20.4	0	10.2	
	50代 (149)	72.5	18.1	0	9.4	
	60代 (149)	71.8	16.8	2.0	9.4	
	70歳以上 (198)	74.2	11.1	4.5	10.1	
女	性 (計) (1,048)	69.8	18.3	1.0	10.9	
	18・19歳 (8)	75.0	25.0	0	0	
	20代 (95)	57.9	25.3	0	16.8	
	30代 (136)	60.3	24.3	0.7	14.7	
	40代 (190)	65.3	23.2	0	11.6	
	50代 (191)	65.4	22.5	0.5	11.5	
	60代 (164)	79.3	12.2	1.2	7.3	
	70歳以上 (264)	79.2	9.8	2.7	8.3	

住居形態別にみると、「住みたい」は持家（計）で8割近くと、持家以外（計）よりも21ポイント高くなっている。

地域居住年数別にみると、「住みたい」はおおむね居住年数が増えるほど割合が高く、30年以上で8割近くと多くなっている。一方、「住みたくない」は1年未満で2割半ばと多くなっている。

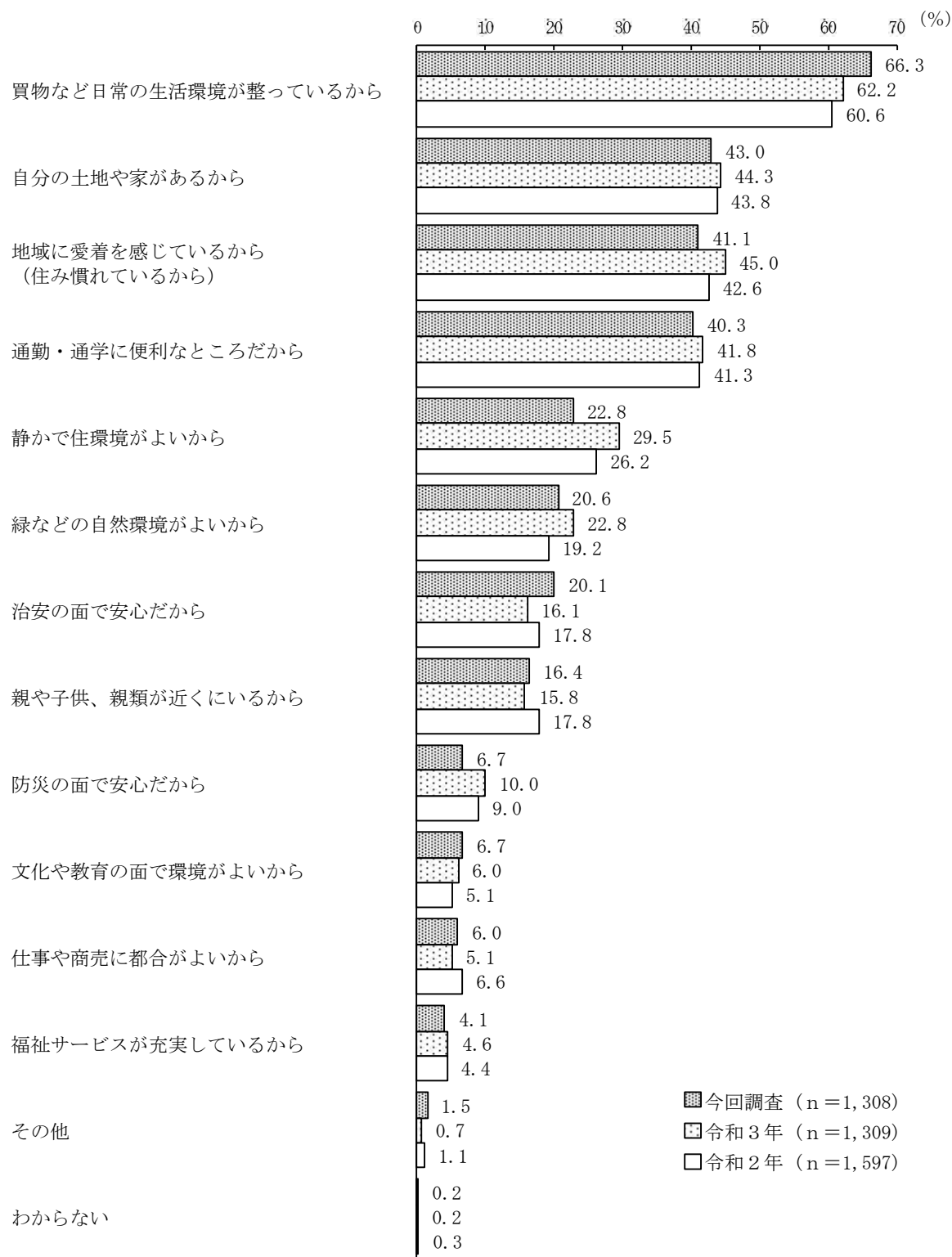
地域の住みよさ（問8 P46）との関係でみると、「住みたい」は住んでいる地域が“住みよいところだと思う”と答えた人で8割を超えて多くなっている。一方、「住みたくない」は“住みよいところだとは思わない”と答えた人で6割を超えて多くなっている。（図2-2-4）

図2-2-4 地域定住意向－住居形態別、地域居住年数別、地域の住みよさ別



居住地域に住みたい理由を過去の調査結果と比較すると、「買物など日常の生活環境が整っているから」が昨年より4ポイント増加している。一方、「静かで住環境がよいから」は昨年より7ポイント、「地域に愛着を感じているから（住み慣れているから）」は4ポイント減少している。（図2-2-5）

図2-2-5 居住地域に住みたい理由—過去の調査結果



居住地域に住みたい理由をエリア別にみると、「通勤・通学に便利なところだから」は区部（計）では5割近くと、市町村部（計）よりも23ポイント高くなっている。一方、市町村部（計）では区部（計）よりも「緑などの自然環境がよいから」が21ポイント、「自分の土地や家があるから」が11ポイント高くなっている。

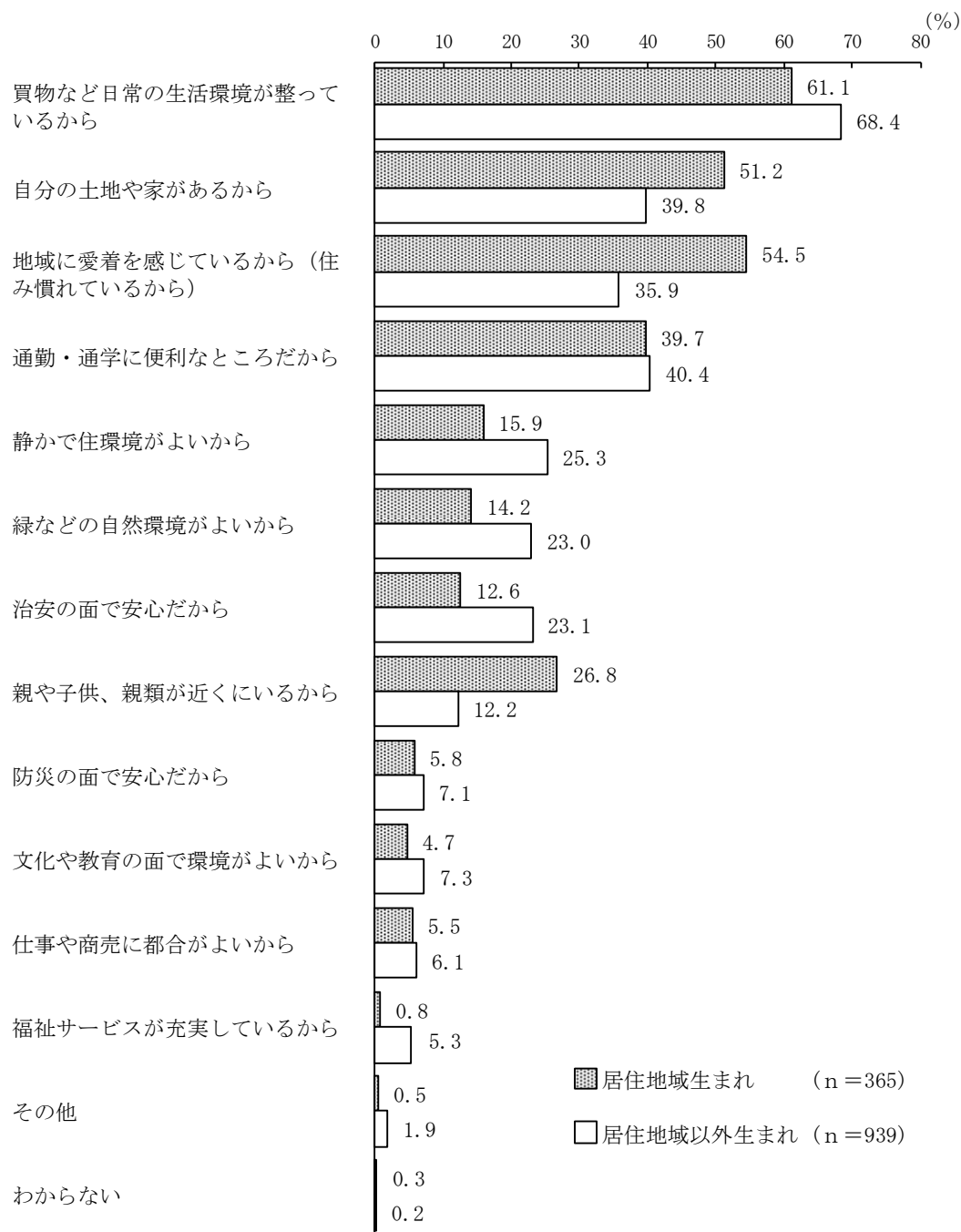
性・年齢別にみると、「通勤・通学に便利なところだから」は男性20代、女性30代で7割近くと多くなっている。「自分の土地や家があるから」は男女とも70歳以上で5割半ばから6割を超えて多くなっている。（表2-2-1）

表2-2-1 居住地域に住みたい理由－エリア別、性・年齢別

(%)																
	n	整買 つて いる から	自 分 の 土 地 や 家 が あ る か ら	ら 地 域 に 愛 着 を 感 じ て い る か ら （ 住 み 慣 れ を 感 じ て い る か ら ）	だ 通 勤 ら ・ 通 学 に 便 利 な と こ ろ	静 か で 住 環 境 が よ い か ら	ら 緑 な ど の 自 然 環 境 が よ い か ら	治 安 の 面 で 安 心 だ か ら	る 親 や 子 供 、 親 類 が 近 く に い る	防 災 の 面 で 安 心 だ か ら	い 文 化 や 教 育 の 面 で 環 境 が よ い	ら 仕 事 や 商 売 に 都 合 が よ い	る 福 祉 サ ー ビ ス が 充 実 し て い る	そ の 他	わ か ら な い	
全 体	1,308	66.3	43.0	41.1	40.3	22.8	20.6	20.1	16.4	6.7	6.7	6.0	4.1	1.5	0.2	
＜ エリア別 ＞																
区 部（計）	855	65.7	39.3	41.3	48.2	20.2	13.5	22.0	15.7	5.8	8.1	7.1	4.7	1.8	0.2	
センター・コア	256	59.8	39.1	39.8	53.1	12.5	8.2	25.4	16.4	3.9	10.9	9.8	4.3	1.6	0.4	
区部東部・北部	235	66.0	39.1	43.0	42.1	20.4	12.8	14.9	17.0	6.0	4.7	6.4	6.8	3.0	0.4	
区部西部・南部	364	69.8	39.6	41.2	48.6	25.5	17.6	24.2	14.3	7.1	8.2	5.8	3.6	1.1	-	
市町村部（計）	453	67.3	50.1	40.8	25.4	27.6	34.2	16.6	17.9	8.4	4.0	3.8	3.1	1.1	0.2	
多摩東部	174	71.8	42.0	36.8	22.4	28.7	35.1	19.0	18.4	5.7	5.2	3.4	4.0	1.1	0.6	
多摩中央部北	68	60.3	51.5	45.6	29.4	20.6	29.4	7.4	20.6	13.2	1.5	4.4	-	1.5	-	
多摩中央部南	178	69.1	53.9	39.3	28.7	27.0	32.6	14.6	16.9	7.3	3.9	3.9	3.4	-	-	
多摩西部・島しょ	33	48.5	69.7	60.6	15.2	39.4	48.5	33.3	15.2	18.2	3.0	3.0	3.0	6.1	-	
＜ 性・年齢別 ＞																
男 性（計）	568	64.4	43.3	38.9	41.2	25.0	21.1	17.1	15.8	7.0	7.2	6.5	1.9	1.1	0.4	
18・19歳	5	60.0	40.0	20.0	-	60.0	20.0	20.0	-	20.0	-	20.0	-	-	-	
20代	33	60.6	9.1	18.2	69.7	33.3	15.2	15.2	9.1	3.0	9.1	9.1	-	-	-	
30代	66	57.6	31.8	37.9	54.5	25.8	22.7	24.2	19.7	6.1	13.6	9.1	6.1	-	-	
40代	102	68.6	31.4	35.3	64.7	21.6	18.6	14.7	16.7	3.9	9.8	7.8	1.0	1.0	-	
50代	108	63.0	49.1	41.7	50.9	24.1	16.7	17.6	13.9	9.3	3.7	4.6	1.9	1.9	-	
60代	107	63.6	49.5	41.1	35.5	20.6	17.8	12.1	15.0	3.7	8.4	9.3	0.9	1.9	0.9	
70歳以上	147	67.3	55.8	43.5	10.9	27.9	29.3	19.0	17.7	10.9	4.1	2.7	2.0	0.7	0.7	
女 性（計）	731	67.7	43.0	43.0	39.4	21.1	20.2	22.6	17.0	6.6	6.2	5.5	5.7	1.9	0.1	
18・19歳	6	33.3	50.0	50.0	33.3	16.7	33.3	-	16.7	-	-	-	16.7	-	-	
20代	55	63.6	12.7	32.7	58.2	14.5	10.9	40.0	18.2	7.3	3.6	1.8	1.8	5.5	-	
30代	82	69.5	24.4	34.1	67.1	14.6	13.4	15.9	17.1	3.7	7.3	7.3	6.1	2.4	-	
40代	124	74.2	31.5	36.3	57.3	16.1	12.9	28.2	18.5	4.8	7.3	7.3	4.8	2.4	0.8	
50代	125	68.0	39.2	38.4	55.2	24.0	16.8	24.0	13.6	8.8	4.0	6.4	3.2	1.6	-	
60代	130	66.2	52.3	43.8	24.6	22.3	26.9	20.8	17.7	6.9	6.2	5.4	2.3	1.5	-	
70歳以上	209	66.0	61.2	55.0	12.9	25.8	27.3	18.2	17.2	7.2	7.2	4.3	10.5	1.0	-	

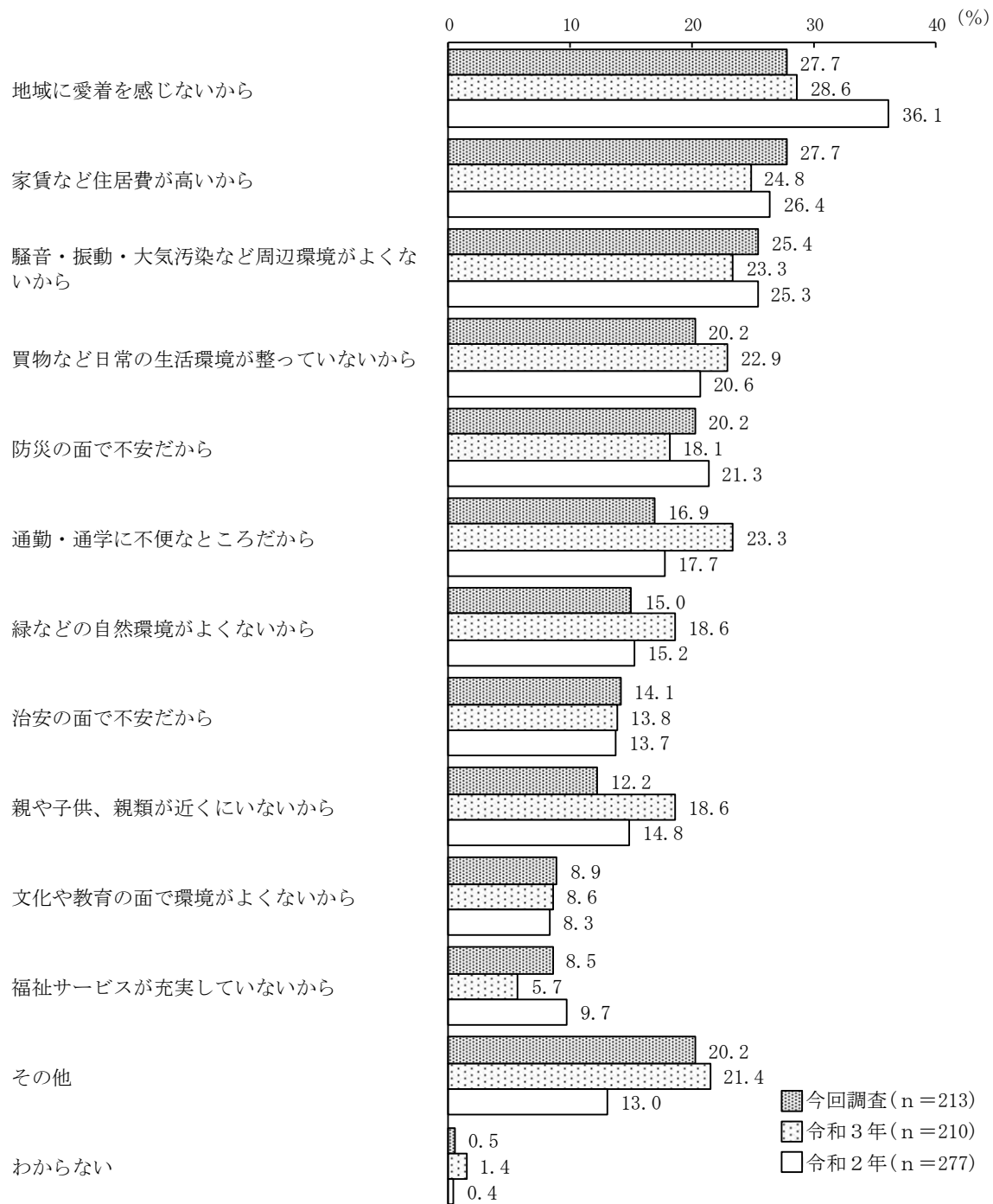
地域生まれか否か別にみると、居住地域生まれの人は居住地域以外生まれの人よりも「地域に愛着を感じているから（住み慣れているから）」が19ポイント高くなっている。一方、居住地域以外生まれの人は居住地域生まれの人よりも「治安の面で安心だから」で11ポイント高くなっている。（図2-2-6）

図2-2-6 居住地域に住みたい理由—地域生まれか否か別



居住地に住みたくない理由を過去の調査結果と比較すると、「通勤・通学に不便なところだから」、「親や子供、親類が近くにいないから」が昨年よりも6ポイント減少している。一方「家賃など住居費が高いから」は昨年より3ポイント増加している。(図2-2-7)

図2-2-7 居住地に住みたくない理由—過去の調査結果



エリア別にみると、区部東部・北部では「防災の面で不安だから」が4割半ばと多くなっている。

性別にみると、女性は「買物など日常の生活環境が整っていないから」が3割近くと男性よりも18ポイント高くなっている。

年齢別にみると、特に大きな差はみられない。(表2-2-2)

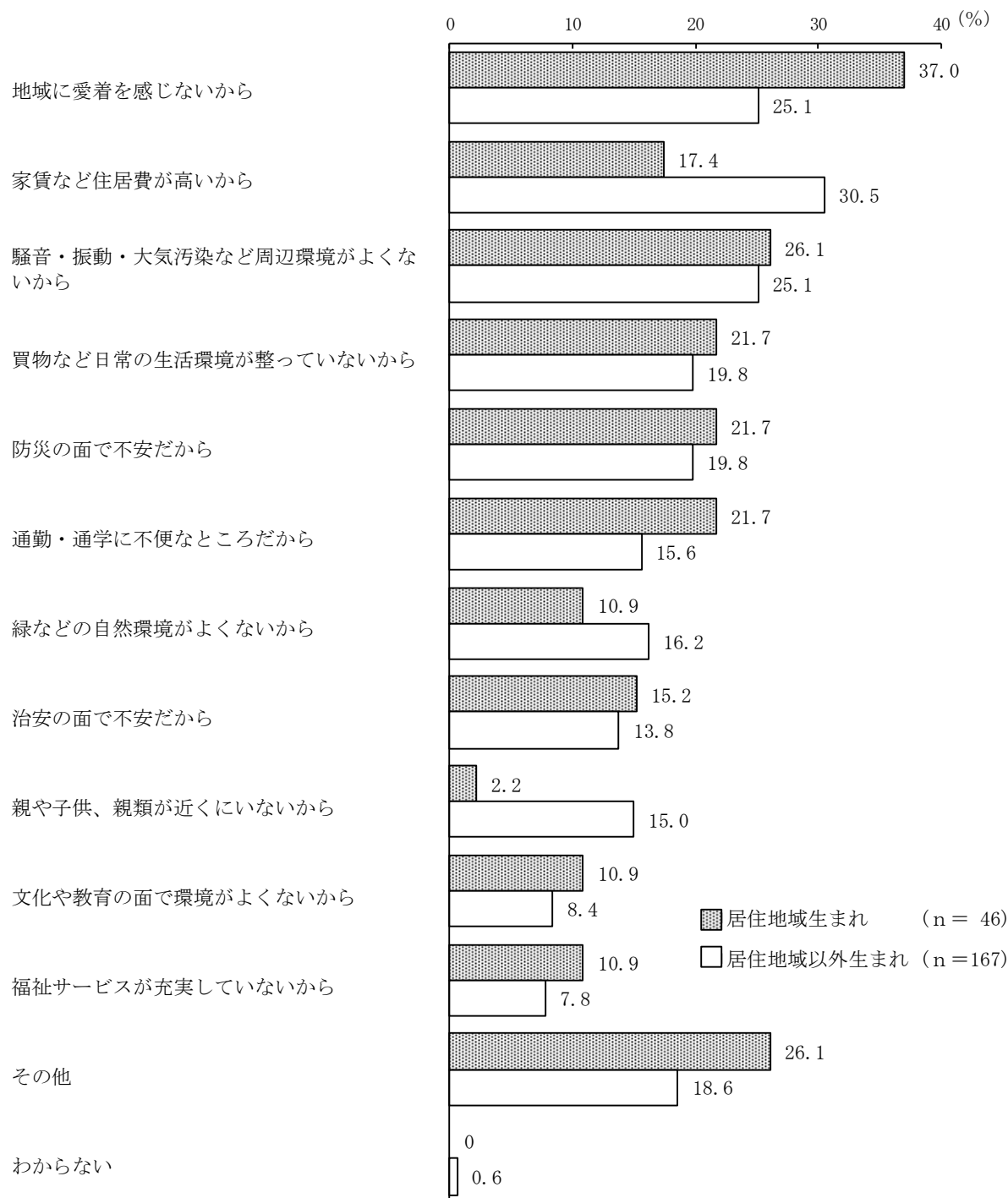
表2-2-2 居住地域に住みたくない理由－エリア別、性別、年齢別

(%)

	n	地域に愛着を感じないから	家賃など住居費が高いから	周辺音・振動がよくないから	騒音・振動・大気汚染など	買物など日常の生活環境が整っていないから	防災の面で不安だから	通勤・通学に不便なところ	緑などの自然環境がよくないから	治安の面で不安だから	親や子供、親類が近くにいないから	文化や教育の面で環境がよくないから	福祉サービスが充実していないから	その他	わからない
全体	213	27.7	27.7	25.4	20.2	20.2	16.9	15.0	14.1	12.2	8.9	8.5	20.2	0.5	
< エリア別 >															
区部(計)	146	26.7	32.2	27.4	14.4	26.0	8.9	17.1	15.8	9.6	8.2	7.5	20.5	0.7	
センター・コア	45	28.9	40.0	33.3	17.8	20.0	8.9	22.2	8.9	13.3	6.7	6.7	24.4	-	
区部東部・北部	52	23.1	26.9	23.1	15.4	44.2	7.7	9.6	25.0	7.7	11.5	5.8	13.5	1.9	
区部西部・南部	49	28.6	30.6	26.5	10.2	12.2	10.2	20.4	12.2	8.2	6.1	10.2	24.5	-	
市町村部(計)	67	29.9	17.9	20.9	32.8	7.5	34.3	10.4	10.4	17.9	10.4	10.4	19.4	-	
多摩東部	27	37.0	29.6	25.9	33.3	11.1	40.7	18.5	7.4	14.8	11.1	11.1	14.8	-	
多摩中央部北	9	22.2	-	11.1	44.4	11.1	-	11.1	11.1	22.2	-	22.2	33.3	-	
多摩中央部南	25	28.0	12.0	24.0	20.0	4.0	36.0	-	16.0	20.0	8.0	4.0	20.0	-	
多摩西部・島しょ	6	16.7	16.7	-	66.7	-	50.0	16.7	-	16.7	33.3	16.7	16.7	-	
< 性別 >															
男性	98	28.6	30.6	29.6	10.2	19.4	15.3	16.3	14.3	12.2	5.1	9.2	20.4	1.0	
女性	114	26.3	25.4	21.9	28.1	21.1	18.4	14.0	14.0	11.4	12.3	7.9	19.3	-	
< 年齢別 >															
18・19歳	2	100.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	
20代	26	30.8	23.1	7.7	34.6	15.4	30.8	3.8	3.8	23.1	3.8	-	23.1	-	
30代	43	25.6	23.3	32.6	9.3	14.0	18.6	16.3	20.9	14.0	11.6	7.0	9.3	-	
40代	37	27.0	35.1	24.3	21.6	16.2	10.8	27.0	13.5	13.5	10.8	10.8	24.3	-	
50代	36	16.7	33.3	19.4	16.7	19.4	25.0	11.1	13.9	8.3	2.8	5.6	33.3	-	
60代	26	30.8	30.8	46.2	15.4	34.6	15.4	11.5	19.2	11.5	11.5	11.5	15.4	-	
70歳以上	42	31.0	23.8	21.4	26.2	26.2	7.1	16.7	11.9	4.8	11.9	14.3	14.3	2.4	

地域生まれか否か別にみると、「家賃など住居費が高いから」、「親や子供、親類が近くにいないから」は居住地域以外生まれの人で居住地域生まれの人よりも13ポイント高くなっている。一方「地域に愛着を感じないから」は居住地域生まれの人で居住地域以外生まれの人よりも12ポイント高くなっている。
 (図2-2-8)

図2-2-8 居住地域に住みたくない理由—地域生まれか否か別



3 東京

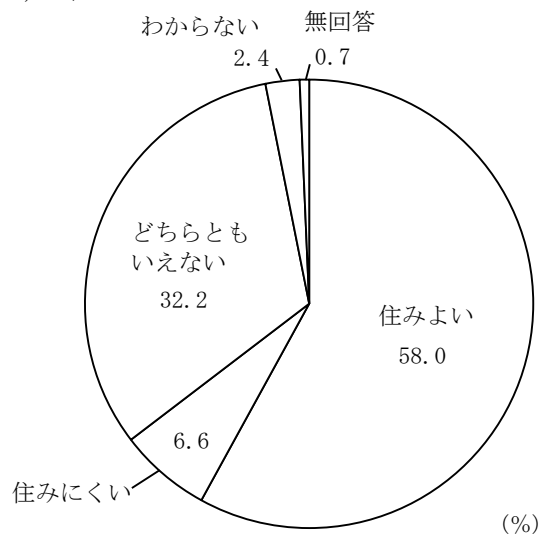
※3-1 東京の住みよさ

図3-1-1

(全員の方に)

問10 あなたにとって東京は、一般的にみて住みよいところですか、それとも、住みにくいところですか。(○は1つ)

(n=1,883)



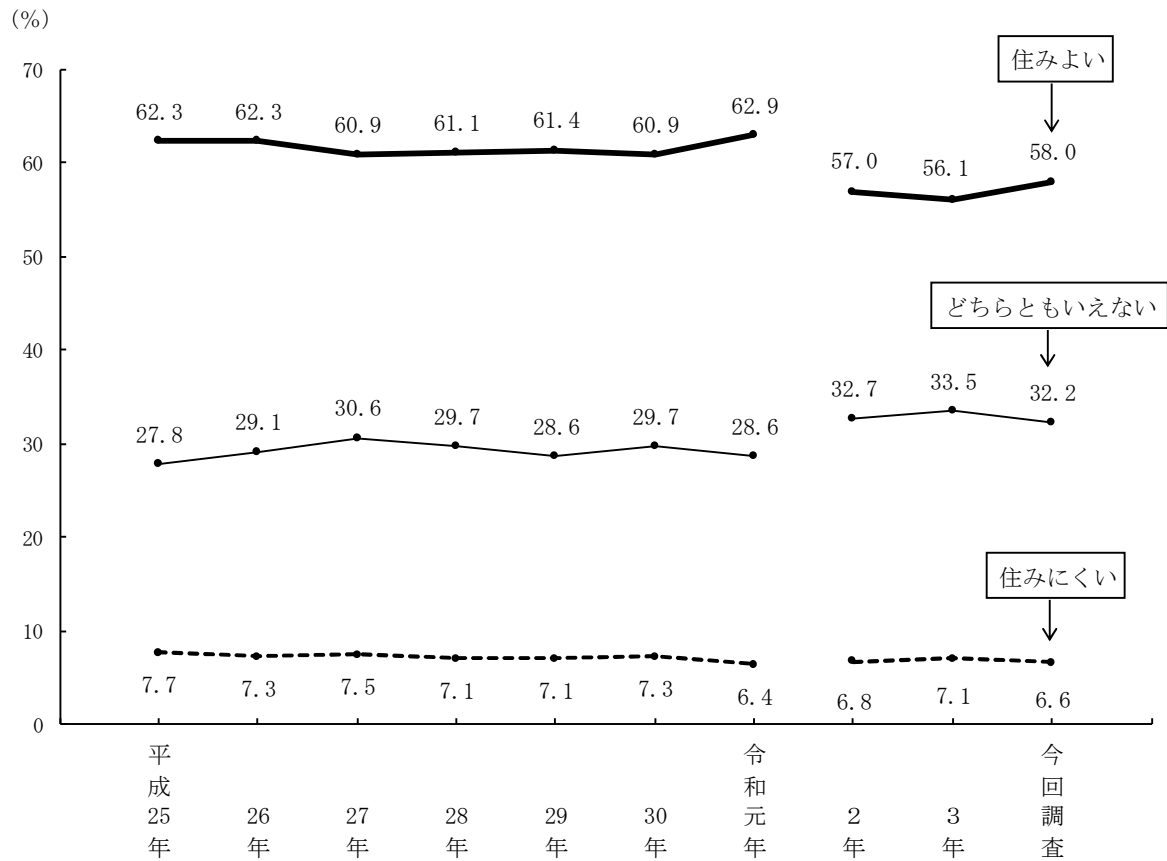
東京は一般的にみて住みよいところだと思うか聞いたところ、「住みよい」は58%、「住みにくい」は7%、「どちらともいえない」は32%となっている。(図3-1-1)

東京の住みよさを過去の調査結果と比較すると、「住みよい」は昨年より2ポイント増加している。

(図3-1-2)

なお、東京の住みよさの平成元年からの調査結果を巻末の付属資料（P168 図7）に掲載している。

図3-1-2 東京の住みよさー過去の調査結果

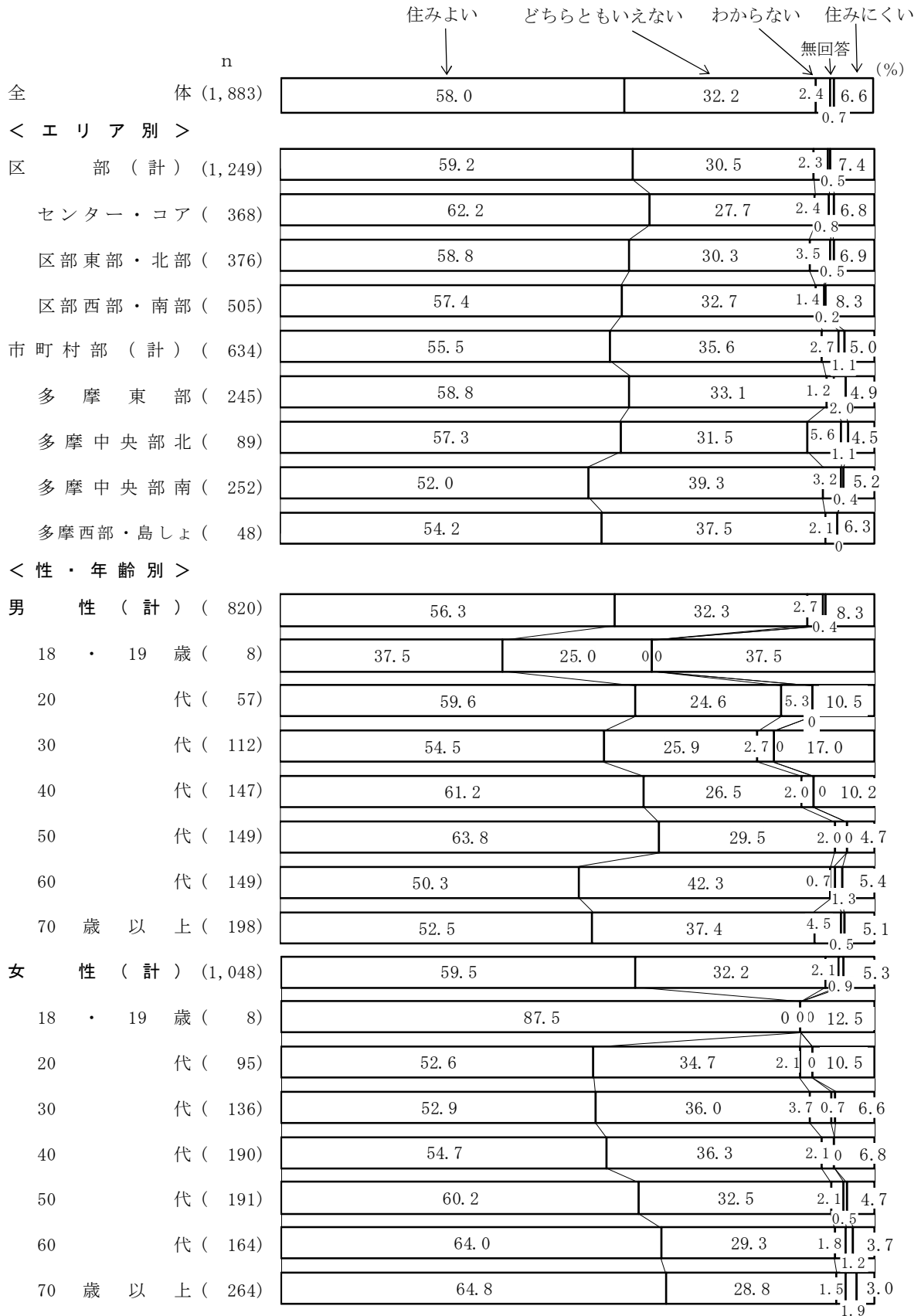


(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

エリア別にみると、特に大きな差はみられない。

性・年齢別にみると、「住みにくい」は男性30代で2割近くとなっている。(図3-1-3)

図3-1-3 東京の住みよさ－エリア別、性・年齢別

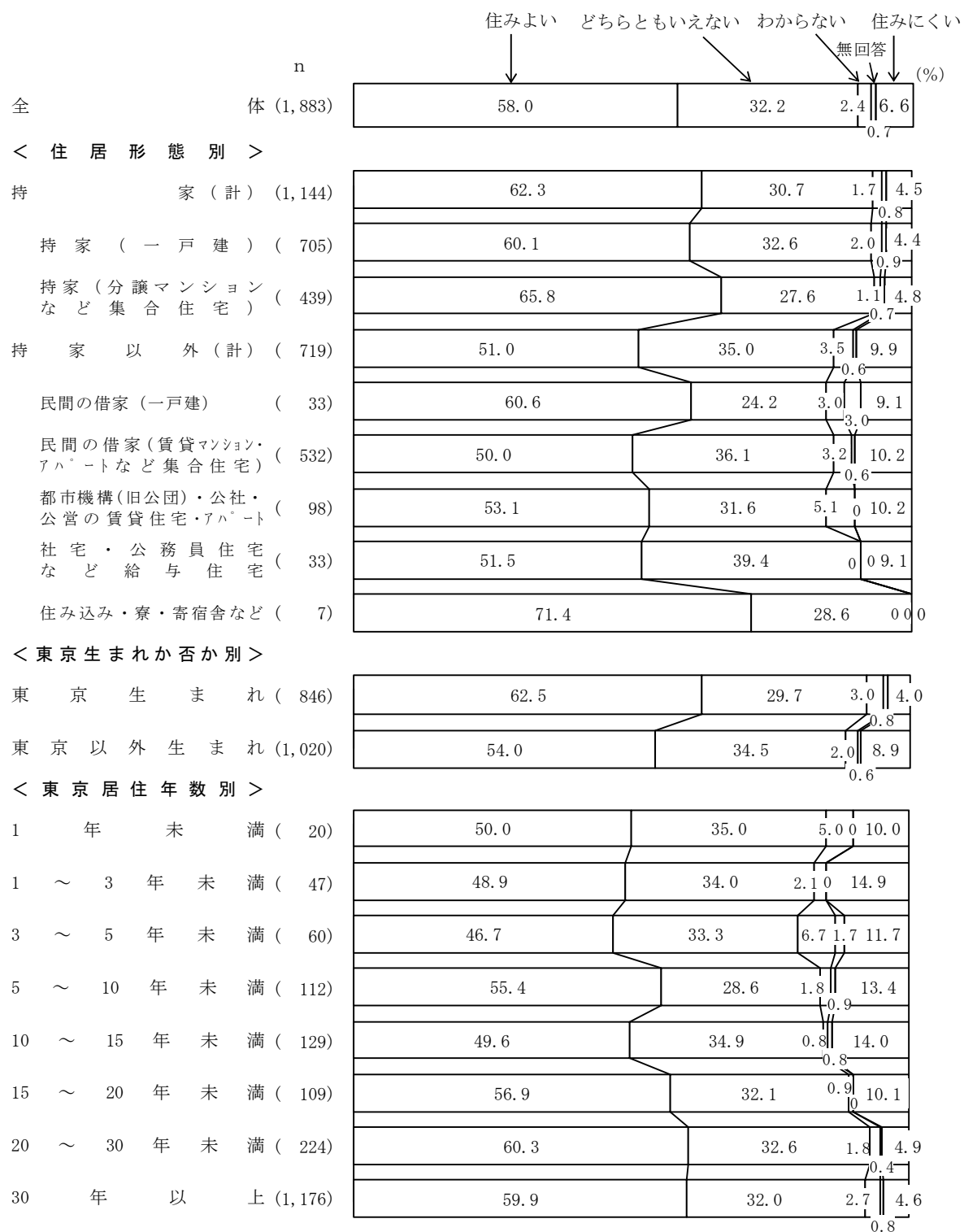


住居形態別にみると、「住みよい」は持家（計）で6割を超えて、持家以外（計）よりも11ポイント高くなっている。

東京生まれか否か別にみると、「住みよい」は東京生まれの人で6割を超えて多く、東京以外生まれの人よりも9ポイント高くなっている。

東京居住年数別にみると、「住みよい」は20～30年未満で6割を超え、30年以上で約6割と多くなっている。（図3-1-4）

図3-1-4 東京の住みよさ－住居形態別、東京生まれか否か別、東京居住年数別



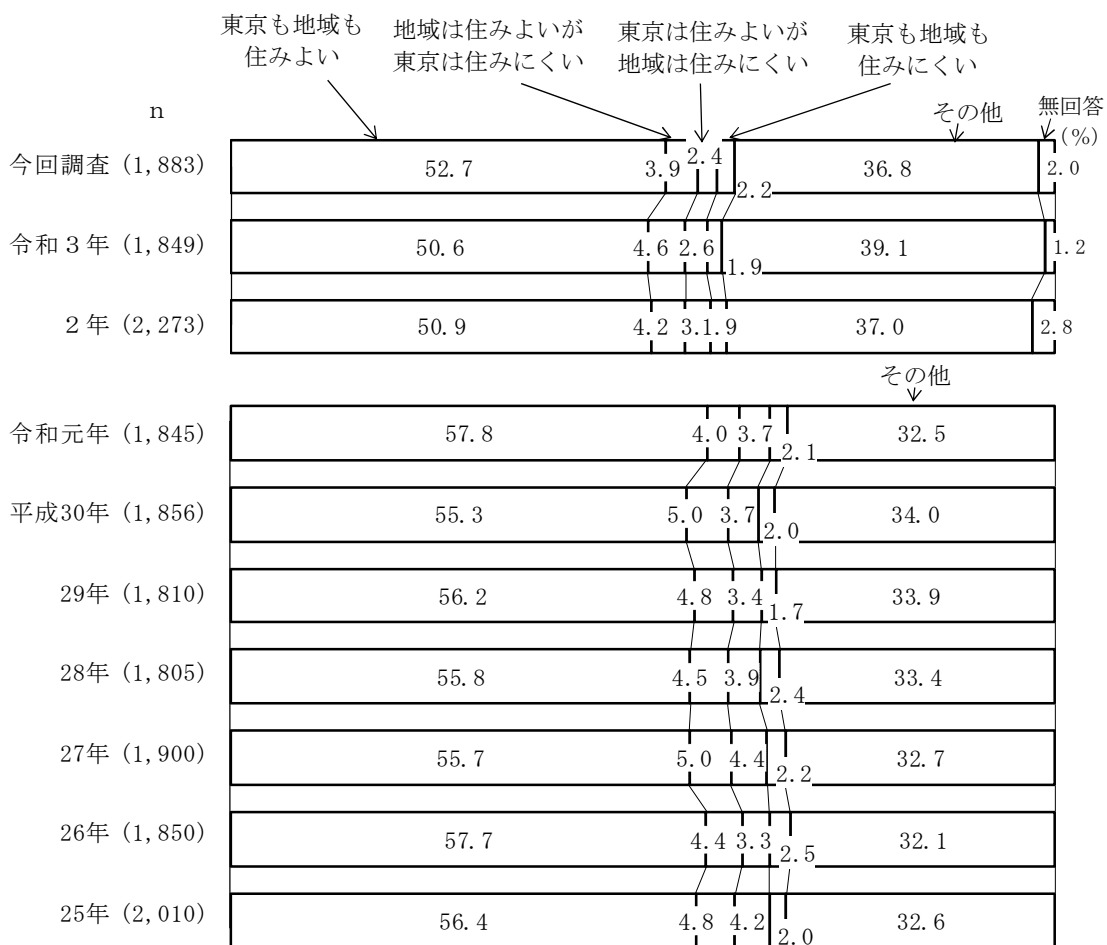
東京の住みよさと地域の住みよさ（問8 P46）を組み合わせると、「東京も地域も住みよい」53%、「地域は住みよいが東京は住みにくい」4%、「東京は住みよいが、地域は住みよいところだとは思わない」「東京も地域も住みよいとは思わない」は2%となっている。（表3-1-1）

表3-1-1 東京と地域の住みよさ

(n = 1, 883)		(%)			
東京の住みよさ \ 地域の住みよさ	住みよい	住みにくい	どちらともいえない わからない	無回答	
住みよいところだと思う	52.7	3.9	24.3	0.6	
住みよいところだとは思わない	2.4	2.2	4.1	0.1	
わからない	2.1	0.6	5.7	-	
無回答	0.7	-	0.5	0.1	

東京の住みよさと地域の住みよさの組み合わせを過去と比較すると、「東京も地域も住みよい」が昨年より2ポイント増加している。（図3-1-5）

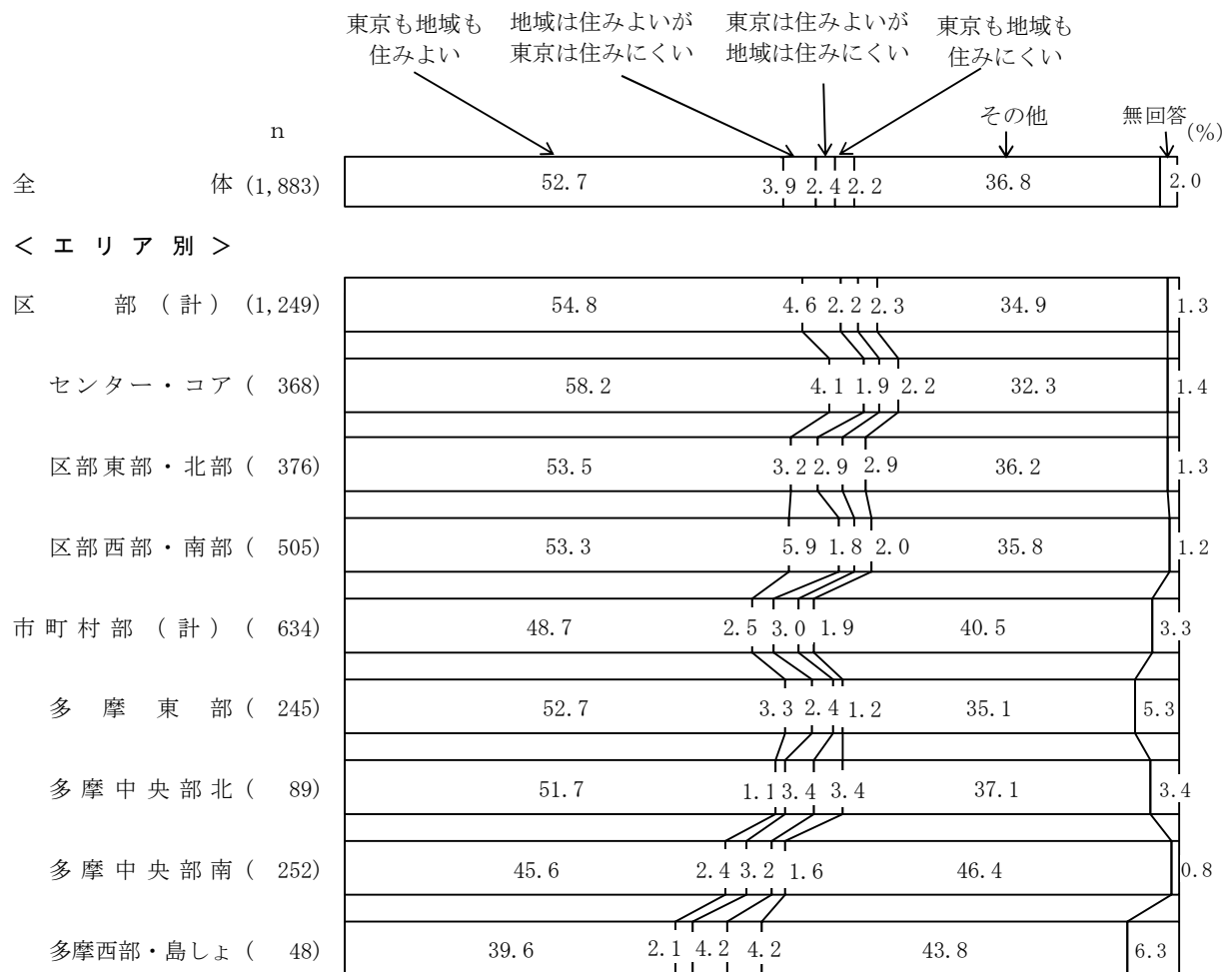
図3-1-5 東京と地域の住みよさー過去の調査結果



(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

エリア別にみると、「東京も地域も住みよい」は区部（計）で5割半ばと、市町村部（計）より6ポイント高くなっている。（図3-1-6）

図3-1-6 東京と地域の住みよさ－エリア別

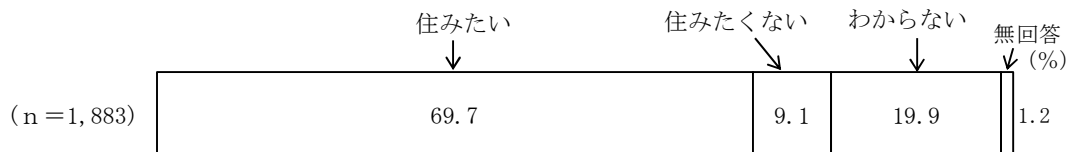


※3-2 東京定住意向

図3-2-1

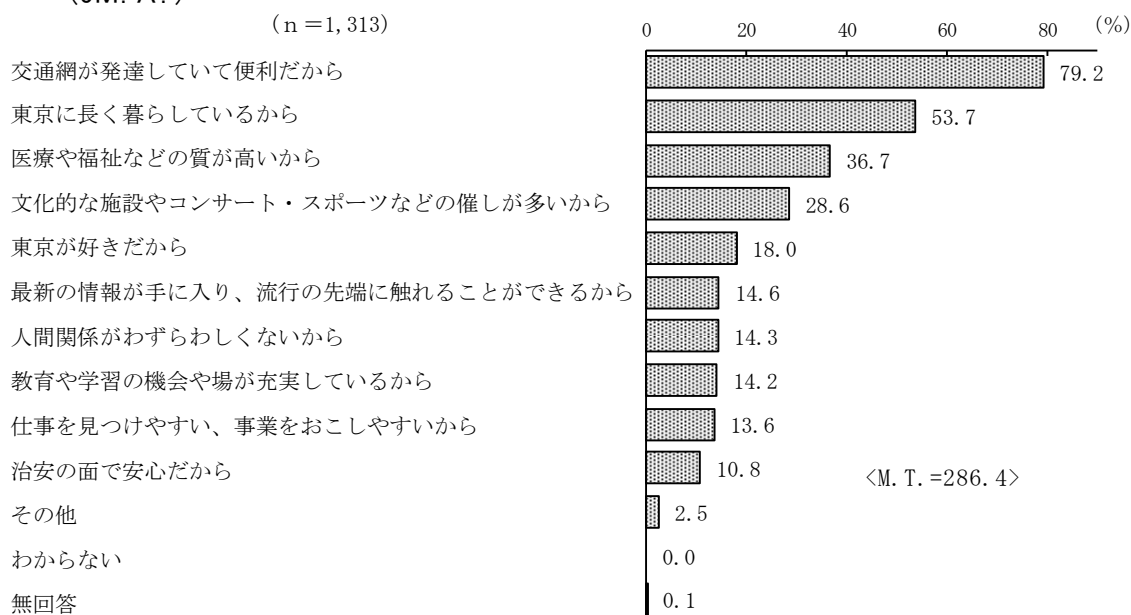
(全員の方に)

問11 あなたは、東京に今後もずっと住みたいと思いますか、それとも、住みたくないと思いますか。あなたの今のお気持ちをお答えください。(○は1つ)



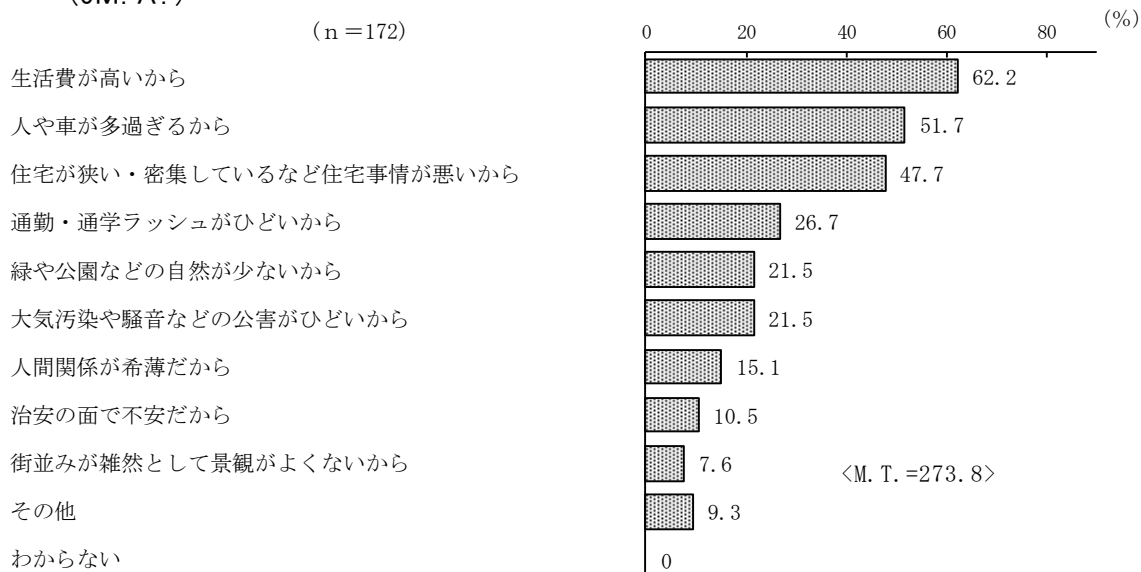
(問11で「1 住みたい」と答えた方に)

問11-1 住みたいと思うのはなぜですか。次の中から3つまでお答えください。(○は3つまで)
(3M. A.)



(問11で「2 住みたくない」と答えた方に)

問11-2 住みたくないと思うのはなぜですか。次の中から3つまでお答えください。(○は3つまで)
(3M. A.)



東京に今後もずっと住みたいと思うか聞いたところ、「住みたい」は70%、「住みたくない」は9%となっている。

「住みたい」と答えた人(1,313人)にその理由を聞いたところ、「交通網が発達していて便利だから」が79%で最も多く、次いで「東京に長く暮らしているから」54%、「医療や福祉などの質が高いから」37%、「文化的な施設やコンサート・スポーツなどの催しが多いから」29%などの順となっている。

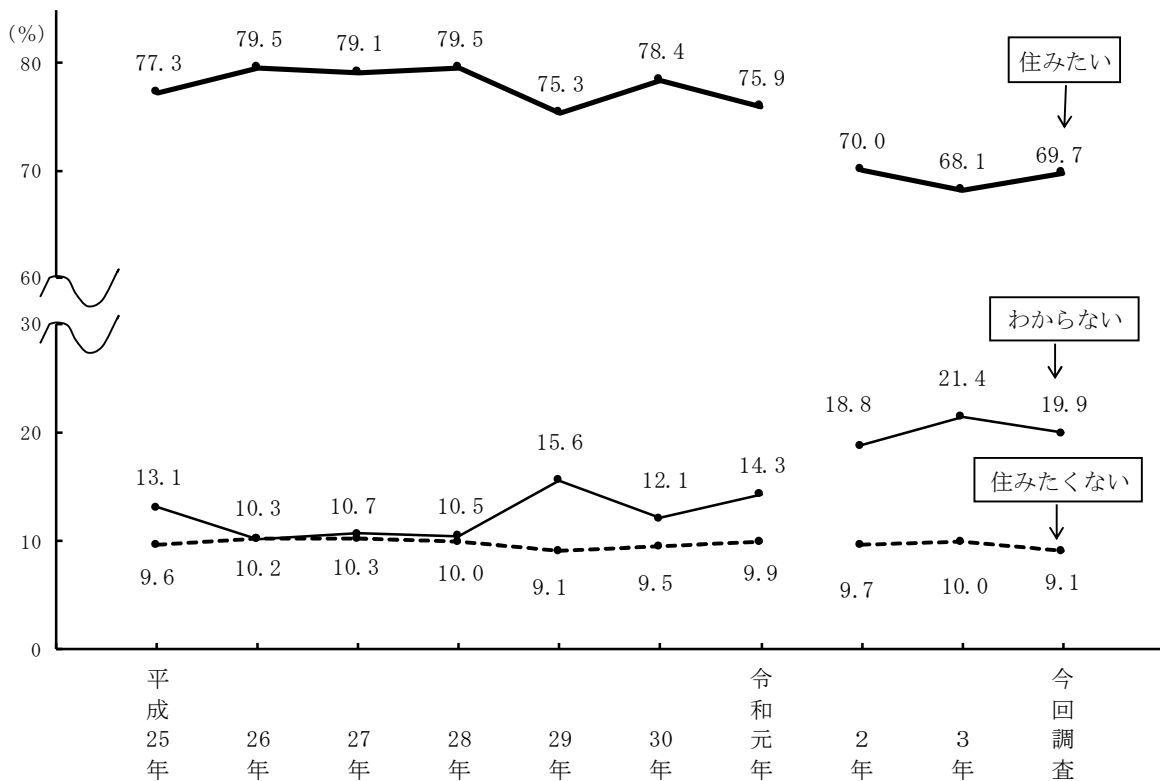
「住みたくない」と答えた人(172人)にその理由を聞いたところ、「生活費が高いから」が62%で最も多く、次いで「人や車が多過ぎるから」52%、「住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから」48%、「通勤・通学ラッシュがひどいから」27%などの順となっている。(図3-2-1)

東京定住意向を過去の調査結果と比較すると、「住みたい」は昨年より2ポイント増加している。

(図3-2-2)

なお、東京定住意向の平成元年からの調査結果を巻末の付属資料(P169 図8)に掲載している。

図3-2-2 東京定住意向—過去の調査結果



(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

エリア別にみると、特に大きな差はみられない。

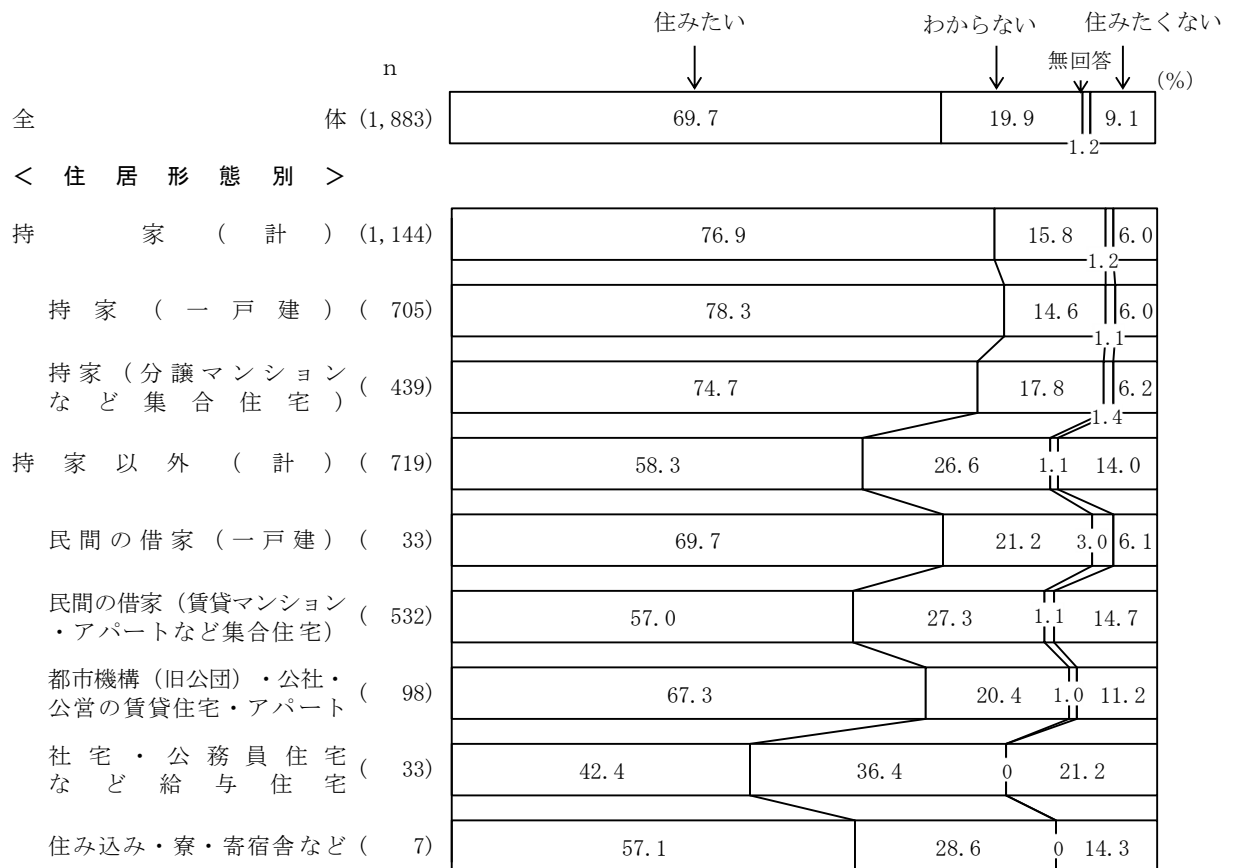
性・年齢別にみると、「住みたい」は女性60代以上で8割を超え、男性70歳以上で8割近くと多くなっている。(図3-2-3)

図3-2-3 東京定住意向－エリア別、性・年齢別

n		住みたい	わからない	無回答	住みたくない	(%)
全	体 (1,883)	69.5	17.8	1.4	11.3	
< エリア別 >						
区	部 (計) (1,249)	68.5	18.9	1.0	11.7	
	センター・コア (368)	69.6	17.7	0.5	12.2	
	区部東部・北部 (376)	62.5	22.6	1.1	13.8	
	区部西部・南部 (505)	72.1	17.0	1.2	9.7	
市町村部	(計) (634)	71.5	15.6	2.4	10.6	
	多摩東部 (245)	71.0	15.1	2.9	11.0	
	多摩中央部北 (89)	76.4	11.2	2.2	10.1	
	多摩中央部南 (252)	70.6	17.5	2.0	9.9	
	多摩西部・島しょ (48)	68.8	16.7	2.1	12.5	
< 性・年齢別 >						
男	性 (計) (820)	69.3	17.3	1.5	12.0	
	18・19歳 (8)	62.5	12.5	0	25.0	
	20代 (57)	57.9	24.6	0	17.5	
	30代 (112)	58.9	20.5	0	20.5	
	40代 (147)	69.4	20.4	0	10.2	
	50代 (149)	72.5	18.1	0	9.4	
	60代 (149)	71.8	16.8	2.0	9.4	
	70歳以上 (198)	74.2	11.1	4.5	10.1	
女	性 (計) (1,048)	69.8	18.3	1.0	10.9	
	18・19歳 (8)	75.0	25.0	0	0	
	20代 (95)	57.9	25.3	0	16.8	
	30代 (136)	60.3	24.3	0.7	14.7	
	40代 (190)	65.3	23.2	0	11.6	
	50代 (191)	65.4	22.5	0.5	11.5	
	60代 (164)	79.3	12.2	1.2	7.3	
	70歳以上 (264)	79.2	9.8	2.7	8.3	

住居形態別にみると、「住みたい」は持家（計）で8割近くと、持家以外（計）よりも19ポイント高く
なっている。一方、「住みたくない」は持家以外（計）で1割半ばとなっている。（図3-2-4）

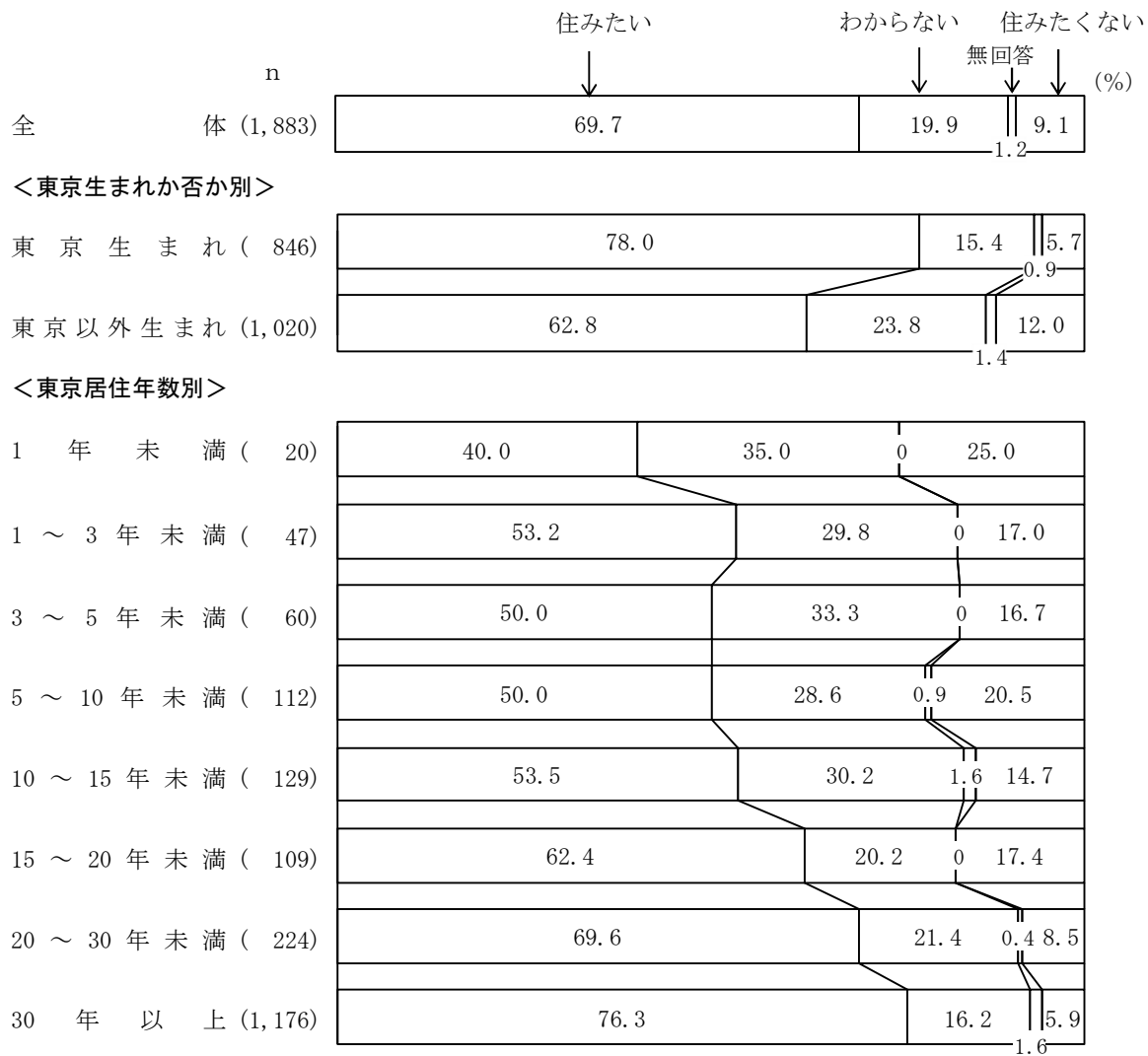
図3-2-4 東京定住意向－住居形態別



東京生まれか否か別にみると、「住みたい」は東京生まれの人で8割近くと、東京以外生まれの人よりも15ポイント高くなっている。

東京居住年数別にみると、おおむね年数が長いほど「住みたい」が増加する傾向があり、30年以上で7割半ばと多くなっている。(図3-2-5)

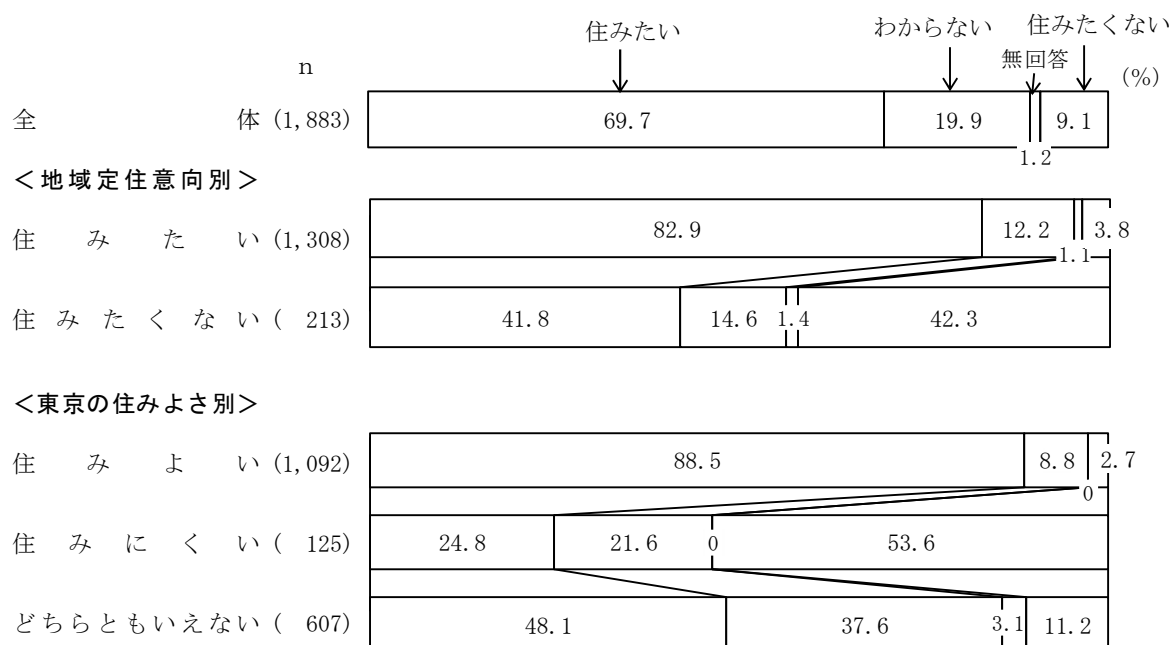
図3-2-5 東京定住意向－東京生まれか否か別、東京居住年数別



地域定住意向（問9 P50）別との関係でみると、住んでいる地域に“住みたい”と答えた人で、東京に「住みたい」と思っている人は8割を超えて多くなっている。一方、地域に“住みたくない”と答えた人で、東京にも「住みたくない」と思っている人は4割を超えている。

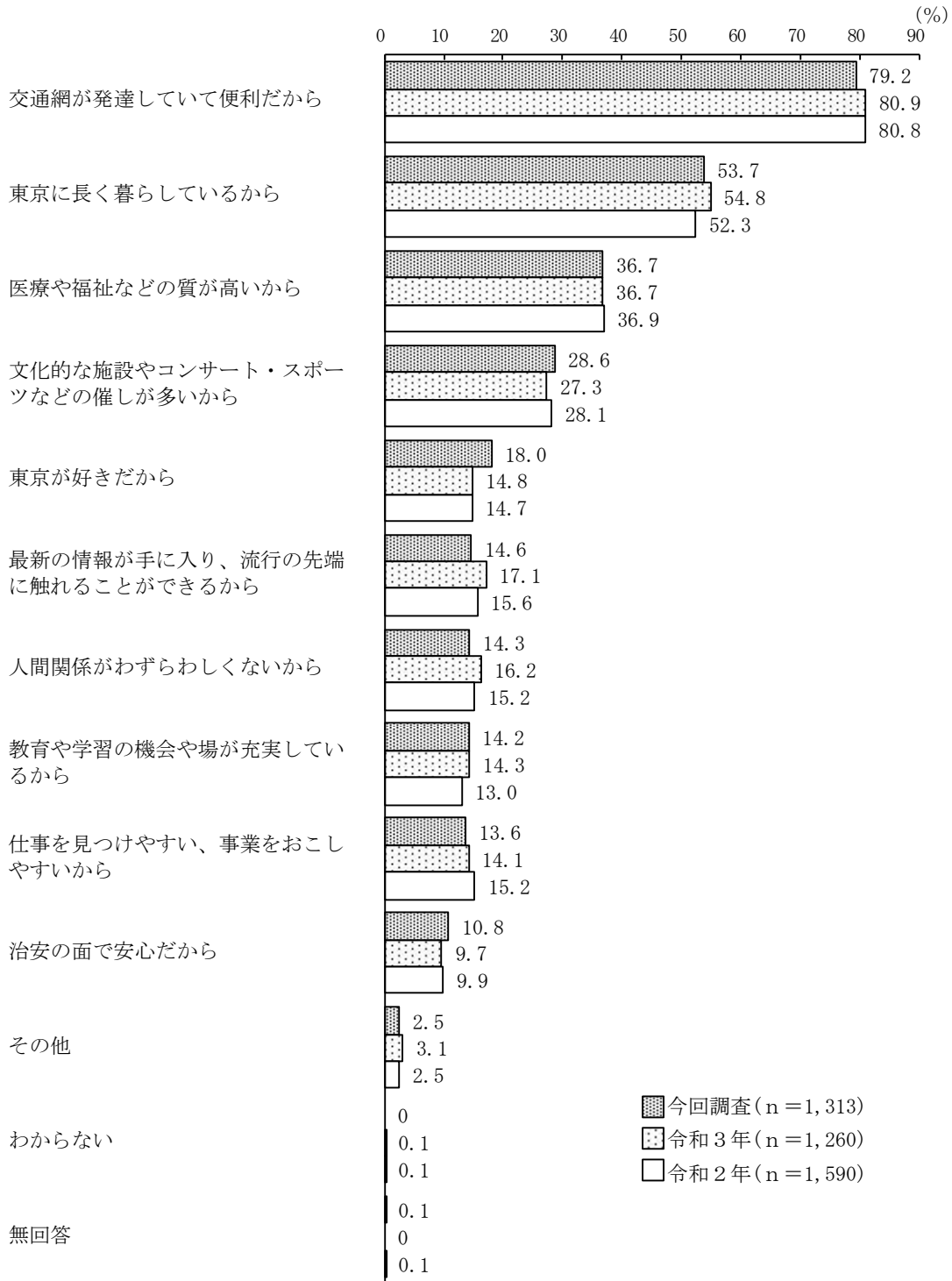
東京の住みよさ（問10 P60）別との関係でみると、東京は“住みよい”と答えた人で、東京に「住みたい」と思っている人は9割近くと多くなっている。一方、東京は“住みにくい”と答えた人で東京に「住みたくない」と思っている人は、5割半ばと多くなっている。（図3-2-6）

図3-2-6 東京定住意向－地域定住意向別、東京の住みよさ別



東京に住みたい理由を過去の調査結果と比較すると、「東京が好きだから」は昨年より3ポイント増加している。一方「最新の情報が手に入り、流行の先端に触れることができるから」は3ポイント減少している。(図3-2-7)

図3-2-7 東京に住みたい理由－過去の調査結果



東京に住みたい理由をエリア別にみると、市町村部（計）は「東京に長く暮らしているから」が6割近くと、区部（計）より7ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「東京に長く暮らしているから」は男性70歳以上で7割を超え多くなっている。「医療や福祉などの質が高いから」は女性60歳以上で5割以上と多くなっている。また、「文化的な施設やコンサート・スポーツなどの催しが多いから」は女性20代で5割を超え多くなっている。

(表3-2-1)

表3-2-1 東京に住みたい理由－エリア別、性・年齢別

		(%)													
	n	交通網が発達して いて便利だから	東京に長く暮らして いるから	医療や福祉などの質 が高いから	文化的な施設やコンサ ート・ス	東京が好きだから	最新の情報が手に入り、 流行の先	人間関係がわずらわしく ないから	教育や学習の機会や場 が充実して	仕事を見つけやすい、 事業をおこ	治安の面で安心だから	その他	わからない	無回答	
全体	1,313	79.2	53.7	36.7	28.6	18.0	14.6	14.3	14.2	13.6	10.8	2.5	-	0.1	
< エリア別 >															
区部（計）	864	80.1	51.3	37.0	29.2	19.1	15.4	15.5	14.4	14.6	10.9	2.5	-	-	
センター・コア	259	78.0	53.3	34.7	29.7	21.6	16.2	13.1	14.3	15.8	10.4	2.3	-	-	
区部東部・北部	258	83.7	54.3	38.0	23.3	16.7	12.8	16.7	12.0	10.1	12.4	2.3	-	-	
区部西部・南部	347	79.0	47.6	38.0	33.1	19.0	16.7	16.4	16.1	17.0	10.1	2.9	-	-	
市町村部（計）	449	77.5	58.4	36.1	27.6	15.8	13.1	12.0	14.0	11.8	10.7	2.4	-	0.2	
多摩東部	179	77.7	59.2	35.2	26.8	18.4	16.2	12.3	17.3	14.5	8.4	2.2	-	0.6	
多摩中央部北	60	73.3	58.3	36.7	28.3	10.0	5.0	10.0	15.0	13.3	8.3	1.7	-	-	
多摩中央部南	172	80.8	54.1	36.6	29.1	12.8	12.2	12.2	10.5	9.9	8.7	3.5	-	-	
多摩西部・島しょ	38	68.4	73.7	36.8	23.7	26.3	15.8	13.2	13.2	5.3	34.2	-	-	-	
< 性・年齢別 >															
男性（計）	558	79.6	53.9	32.6	27.4	17.0	15.9	12.2	13.6	12.9	10.4	2.3	-	-	
18・19歳	3	100.0	66.7	-	66.7	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	
20代	36	83.3	25.0	2.8	44.4	11.1	50.0	11.1	16.7	19.4	2.8	2.8	-	-	
30代	73	75.3	43.8	17.8	39.7	16.4	27.4	16.4	26.0	28.8	5.5	1.4	-	-	
40代	91	89.0	38.5	27.5	35.2	19.8	20.9	7.7	20.9	24.2	8.8	1.1	-	-	
50代	100	79.0	49.0	39.0	30.0	19.0	15.0	14.0	16.0	10.0	6.0	2.0	-	-	
60代	99	75.8	63.6	31.3	19.2	18.2	14.1	8.1	11.1	7.1	7.1	2.0	-	-	
70歳以上	156	77.6	71.2	46.8	16.0	15.4	1.3	14.7	3.2	3.2	20.5	3.8	-	-	
女性（計）	746	79.0	53.6	39.8	29.8	18.8	13.7	16.1	14.7	14.1	11.3	2.7	-	0.1	
18・19歳	4	75.0	25.0	25.0	75.0	-	25.0	25.0	50.0	50.0	-	-	-	-	
20代	54	88.9	40.7	14.8	51.9	25.9	33.3	11.1	14.8	27.8	-	1.9	-	-	
30代	80	77.5	51.3	17.5	33.8	21.3	15.0	17.5	26.3	26.3	6.3	2.5	-	-	
40代	122	75.4	48.4	27.9	32.0	19.7	17.2	9.8	33.6	23.0	7.4	4.1	-	0.8	
50代	140	80.7	49.3	45.0	30.0	15.7	12.1	12.9	12.1	20.0	10.7	2.1	-	-	
60代	132	81.1	53.8	50.0	30.3	16.7	11.4	13.6	7.6	5.3	12.1	3.0	-	-	
70歳以上	214	76.6	64.0	51.9	20.1	19.2	8.4	23.8	5.1	1.9	18.2	2.3	-	-	

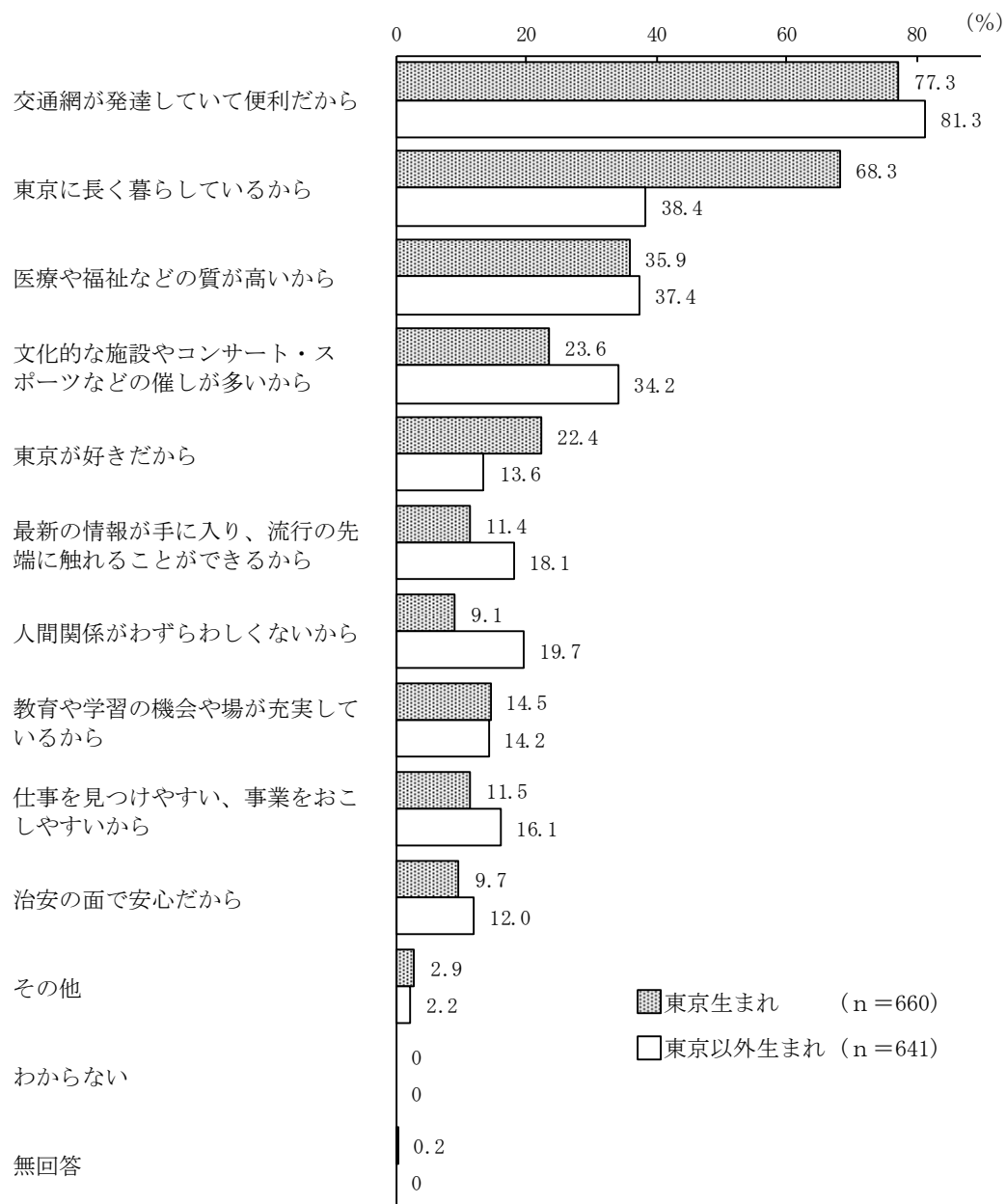
職業別にみると、「交通網が発達していて便利だから」は勤め（計）で8割を超え多くなっている。「医療や福祉などの質が高いから」はその他の無職で約5割と多くなっている。（表3-2-2）

表3-2-2 東京に住みたい理由－職業別

		(%)												
	n	交通網が発達して いて便利だから	東京に長く暮らして いるから	医療や福祉などの 質が高いから	文化的な施設やコン サート・ス ポーツなどの催しが多 いから	東京が好きだから	最新の情報が手に入り、 流行の先端に触れること ができるから	人間関係がわずらわしく ないから	教育や学習の機会や場 が充実しているから	仕事を見つけやすい、 事業をおこしやすいから	治安の面で安心だから	その他	わからない	無回答
全 体	1,313	79.2	53.7	36.7	28.6	18.0	14.6	14.3	14.2	13.6	10.8	2.5	-	0.1
< 職 業 別 >														
自営・家族従業（計）	145	72.4	58.6	32.4	24.1	23.4	15.9	16.6	13.8	15.9	14.5	4.1	-	-
勤 め（計）	657	83.3	48.9	31.4	33.9	16.7	17.4	11.1	19.2	19.5	6.1	2.0	-	0.2
経営・管理職	92	78.3	38.0	30.4	39.1	20.7	23.9	7.6	26.1	18.5	3.3	1.1	-	-
専門・技術職	180	83.9	41.1	30.6	41.1	12.2	22.2	7.2	25.0	20.6	5.6	3.3	-	-
事務職	182	86.3	51.1	29.1	34.6	19.8	13.2	13.7	18.7	19.2	8.2	2.2	-	0.5
労務・技能職	67	82.1	59.7	37.3	23.9	13.4	9.0	14.9	9.0	16.4	7.5	-	-	-
販売・サービス職	117	83.8	59.8	34.2	23.9	18.8	15.4	12.0	11.1	22.2	5.1	1.7	-	-
無職の主婦・主夫	289	77.2	58.1	45.7	24.2	19.4	10.4	18.7	10.4	3.8	15.2	3.1	-	-
学 生	28	85.7	39.3	14.3	57.1	17.9	39.3	7.1	17.9	25.0	3.6	-	-	-
そ の 他 の 無 職	150	74.7	62.0	50.0	18.0	14.0	6.7	21.3	2.0	2.7	17.3	2.7	-	-

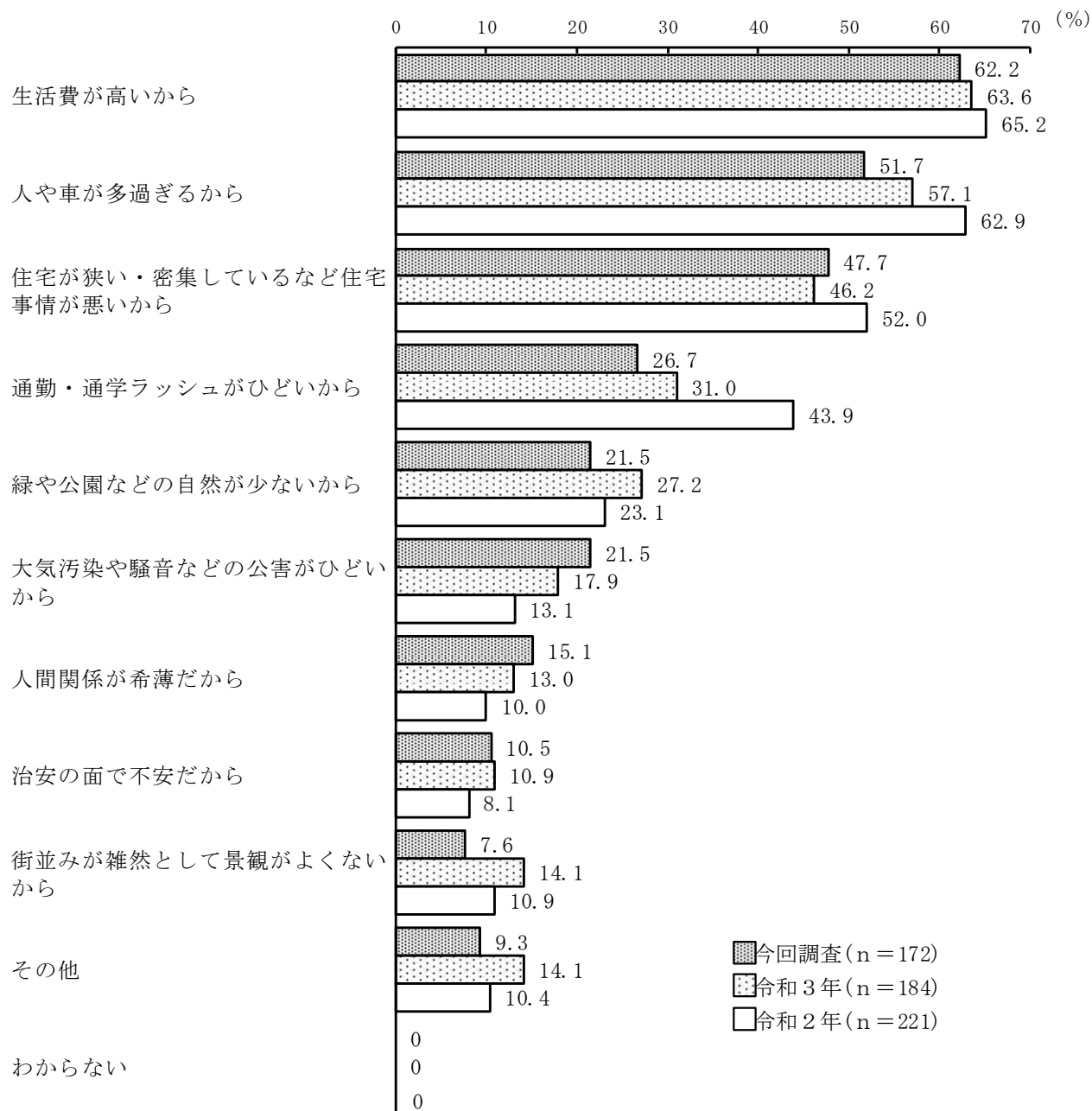
東京生まれか否か別にみると、東京生まれの人は東京以外生まれの人よりも「東京に長く暮らしているから」が30ポイント高くなっている。一方、東京以外生まれの人は東京生まれの人よりも「文化的な施設やコンサート・スポーツなどの催しが多いから」、「人間関係がわずらわしくないから」で11ポイント高くなっている。(図3-2-8)

図3-2-8 東京に住みたい理由—東京生まれか否か別



東京に住みたくない理由を過去の調査結果と比較すると、「街並みが雑然として景観がよくないから」は昨年より7ポイント、「緑や公園などの自然が少ないから」は6ポイント減少している。一方「大気汚染や騒音などの公害がひどい」は4ポイント増加している。(図3-2-9)

図3-2-9 東京に住みたくない理由－過去の調査結果



エリア別にみると、特に大きな差はみられない。

性別にみると、「生活費が高いから」は男性で7割近くと、女性より12ポイント高くなっている。

年齢別にみると、特に大きな差はみられない。(表3-2-3)

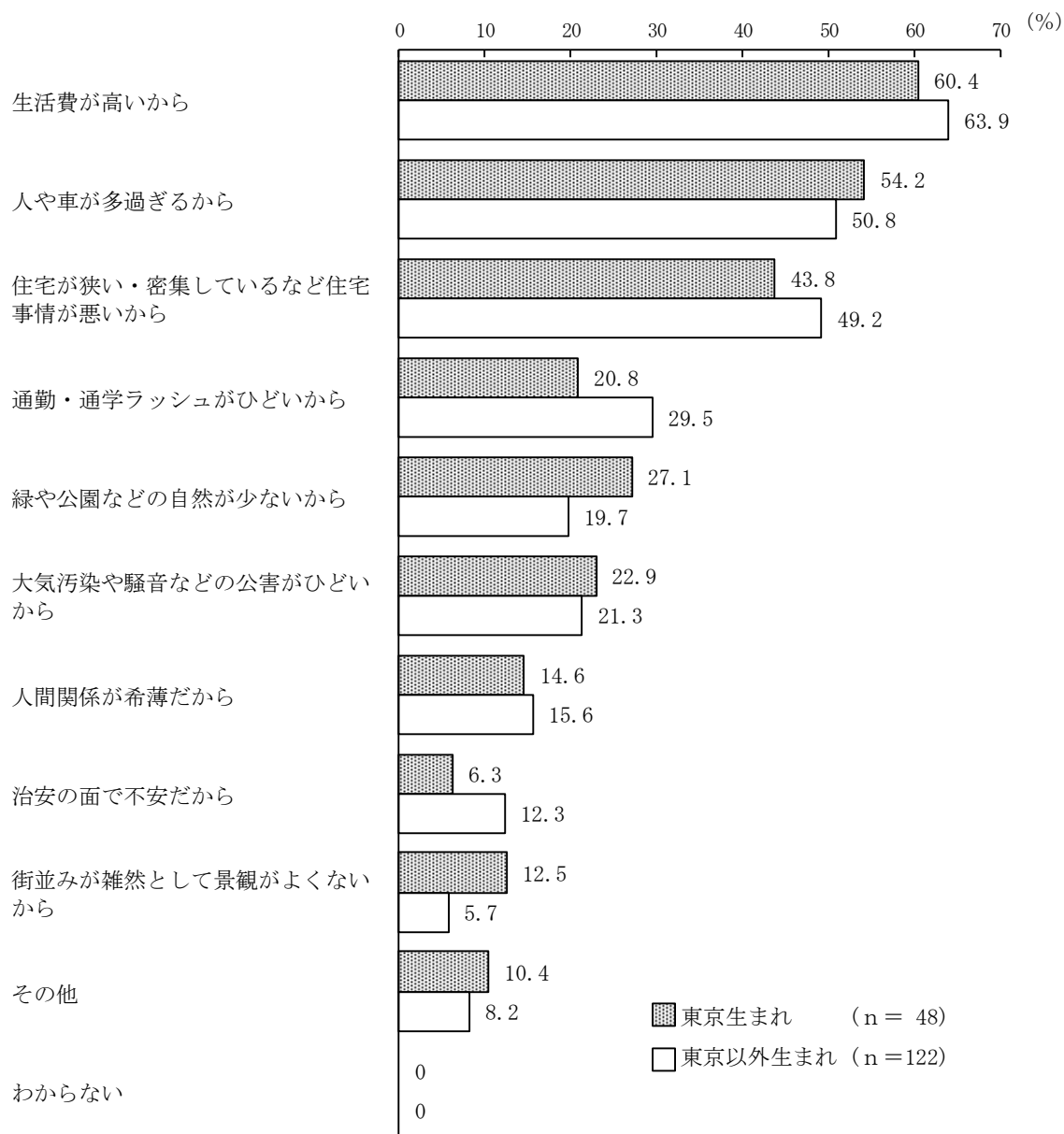
表3-2-3 東京に住みたくない理由—エリア別、性別、年齢別

(%)												
	n	生活費が高いから	人や車が多過ぎるから	住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから	通勤・通学ラッシュがひどいから	緑や公園などの自然が少ないから	大気汚染や騒音などの公害がひどいから	人間関係が希薄だから	治安の面で不安だから	街並みが雑然として景観がよくないから	その他	わからない
全 体	172	62.2	51.7	47.7	26.7	21.5	21.5	15.1	10.5	7.6	9.3	-
< エリア別 >												
区 部 (計)	126	65.9	51.6	51.6	25.4	24.6	19.0	13.5	7.9	7.9	8.7	-
センター・コア	37	62.2	56.8	67.6	37.8	27.0	32.4	8.1	5.4	13.5	2.7	-
区部 東部・北部	41	70.7	41.5	58.5	17.1	14.6	12.2	19.5	12.2	4.9	7.3	-
区部 西部・南部	48	64.6	56.3	33.3	22.9	31.3	14.6	12.5	6.3	6.3	14.6	-
市町村部 (計)	46	52.2	52.2	37.0	30.4	13.0	28.3	19.6	17.4	6.5	10.9	-
多摩 東 部	16	50.0	50.0	31.3	25.0	25.0	18.8	25.0	31.3	12.5	6.3	-
多摩 中央 部 北	8	87.5	50.0	12.5	-	-	50.0	25.0	12.5	-	-	-
多摩 中央 部 南	21	38.1	57.1	47.6	42.9	9.5	28.6	14.3	9.5	4.8	19.0	-
多摩西部・島しょ	1	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-
< 性 別 >												
男 性	90	67.8	54.4	45.6	30.0	16.7	18.9	12.2	7.8	5.6	8.9	-
女 性	79	55.7	48.1	51.9	24.1	27.8	24.1	16.5	13.9	10.1	10.1	-
< 年 齢 別 >												
18 ・ 19 歳	4	25.0	25.0	25.0	50.0	50.0	50.0	25.0	-	-	25.0	-
20 代	21	66.7	57.1	28.6	47.6	14.3	9.5	4.8	14.3	9.5	9.5	-
30 代	29	62.1	58.6	58.6	27.6	24.1	13.8	6.9	-	3.4	6.9	-
40 代	38	57.9	55.3	63.2	34.2	26.3	26.3	15.8	10.5	7.9	10.5	-
50 代	28	64.3	53.6	42.9	25.0	10.7	25.0	10.7	10.7	7.1	17.9	-
60 代	22	59.1	40.9	50.0	27.3	22.7	31.8	9.1	13.6	13.6	4.5	-
70 歳 以 上	28	67.9	42.9	39.3	-	25.0	14.3	35.7	17.9	7.1	3.6	-

東京生まれか否か別にみると、東京以外生まれの人は東京生まれの人より「通学・通勤ラッシュがひどいから」が9ポイント高くなっている。一方、東京生まれの人は東京以外生まれの人より「緑や公園などの自然が少ないから」、「街並みが雑然として景観がよくないから」が7ポイント高くなっている。

(図3-2-10)

図3-2-10 東京に住みたくない理由—東京生まれか否か別



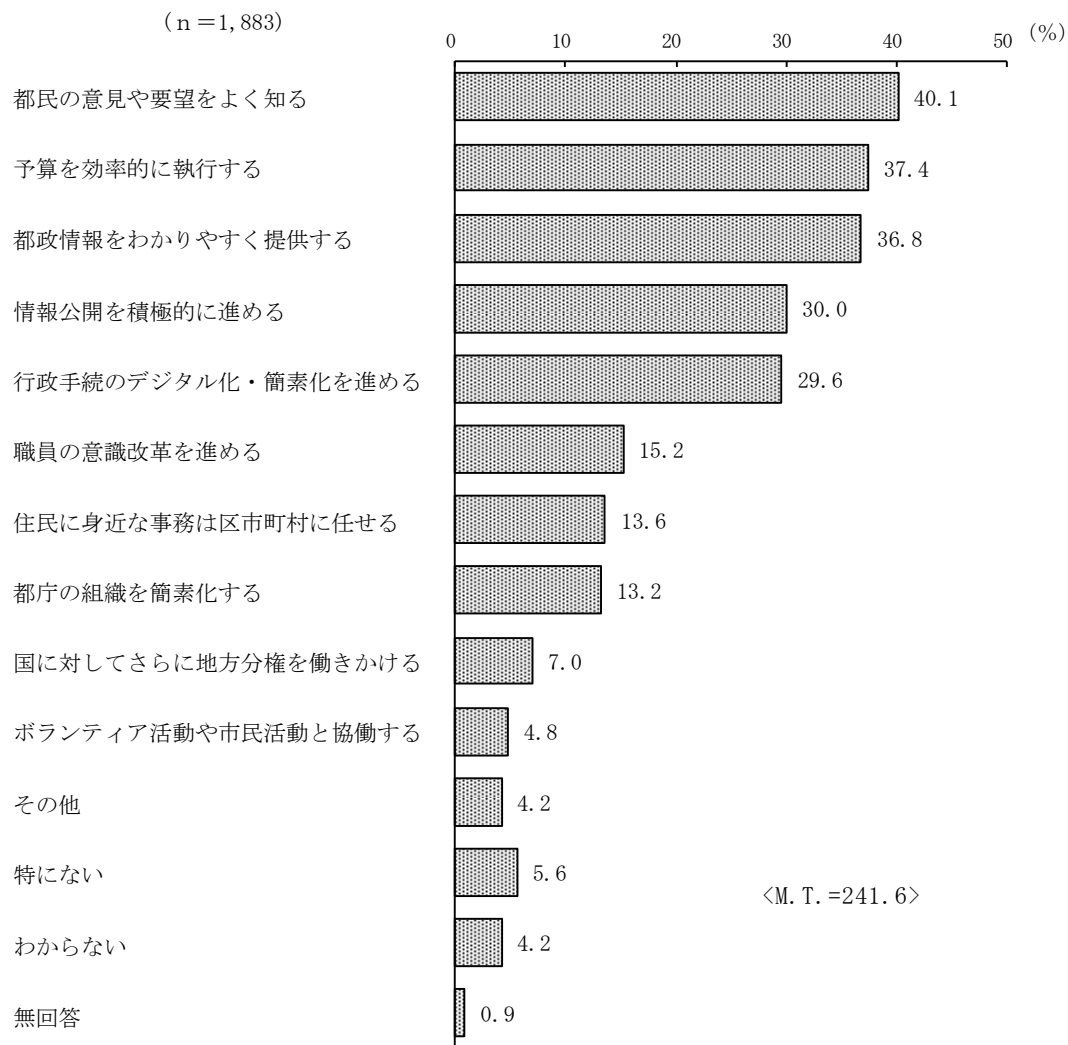
4 都政への要望

※4-1 これからの都政の進め方

図4-1-1

(全員の方に)

問12 あなたは、これからの都政の進め方に対して、どんなことを望みますか。次の中から特に望むことを3つまでお選びください。(〇は3つまで) (3M. A.)

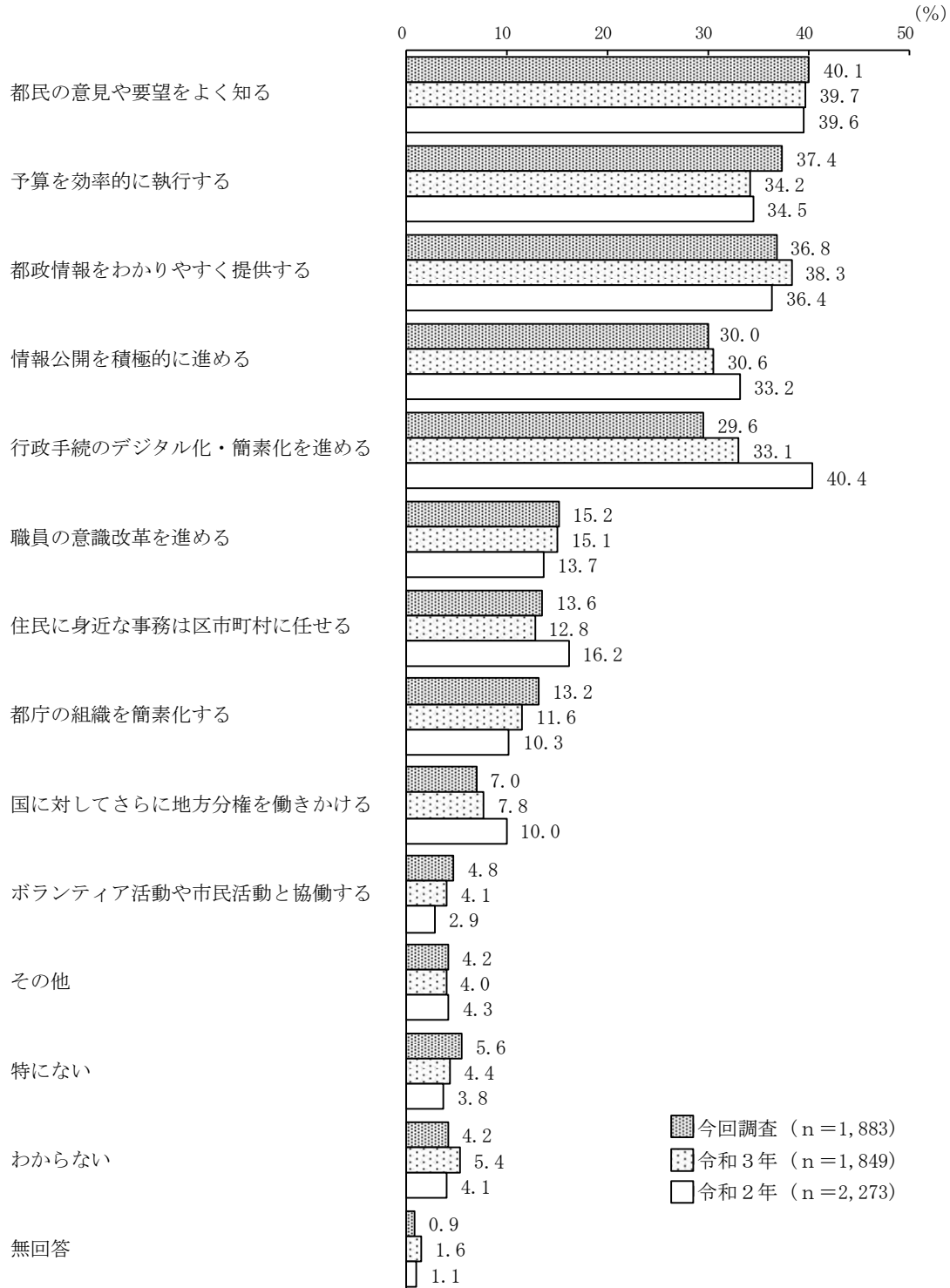


これからの都政の進め方に対して、特に望むことを3つまで選んでもらったところ、「都民の意見や要望をよく知る」が40%で最も多く、次いで「予算を効率的に執行する」「都政情報をわかりやすく提供する」37%、「情報公開を積極的に進める」「行政手続のデジタル化・簡素化を進める」30%などの順となっている。(図4-1-1)

これからの都政の進め方を過去の調査結果と比較すると、「行政手続きのデジタル化・簡素化を進める」は4ポイント減少している。一方、「予算を効率的に執行する」は3ポイント増加している。

(図4-1-2)

図4-1-2 これからの都政の進め方—過去の調査結果



(注) 「行政手続きのデジタル化・簡素化を進める」は令和2年までは「事務手続きを簡素化する」

エリア別にみると、「行政手続のデジタル化・簡素化を進める」は区部・西部南部で4割近くと多くなっている。

性・年齢別にみると、「都民の意見や要望をよく知る」は女性で4割半ばと、男性よりも12ポイント高く、「都政情報をわかりやすく提供する」は女性で4割を超え男性より10ポイント高くなっている。

(表4-1-1)

表4-1-1 これからの都政の進め方—エリア別、性・年齢別

		(%)															
	n	知る 都民の 意見や 要望を よく	予算を 効率的 に執行 する	都政情 報をわ かりや すく	情報公 開を積 極的に 進め	行政手 続のデ ジタル 化・	職員 の意識 改革を 進める	住民に 身近な 事務は 区市	都庁の 組織を 簡素化 する	権を働 きかけ る	国に対 してさ らに地 方分	活動と 協働す る	ポラン ティ ア活 動や市 民	その他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体	1,883	40.1	37.4	36.8	30.0	29.6	15.2	13.6	13.2	7.0	4.8	4.2	5.6	4.2	0.9		
＜ エリア別 ＞																	
区 部 (計)	1,249	40.6	37.5	35.5	31.2	32.2	15.4	11.3	14.0	6.5	4.3	4.2	5.5	3.9	1.0		
センター・コア	368	40.2	38.3	32.6	30.7	34.5	14.1	10.3	15.2	7.6	4.6	3.8	5.7	3.5	1.4		
区部東部・北部	376	39.6	33.0	32.7	30.6	23.7	15.2	12.2	13.6	6.9	4.3	2.7	7.4	7.4	0.5		
区部西部・南部	505	41.6	40.2	39.8	32.1	36.8	16.4	11.3	13.5	5.3	4.2	5.7	4.0	1.6	1.0		
市町村部 (計)	634	39.1	37.2	39.3	27.4	24.6	14.8	18.1	11.7	7.9	5.7	4.1	5.7	4.7	0.8		
多摩東部	245	36.3	37.6	35.5	28.2	27.3	12.2	21.6	12.7	9.8	7.3	3.3	5.7	4.1	1.2		
多摩中央部北	89	31.5	34.8	41.6	23.6	27.0	10.1	13.5	6.7	6.7	1.1	4.5	7.9	6.7	1.1		
多摩中央部南	252	43.3	35.7	40.9	27.8	22.2	17.5	16.3	12.3	6.3	4.8	5.2	4.4	5.2	0.4		
多摩西部・島しょ	48	45.8	47.9	45.8	29.2	18.8	22.9	18.8	12.5	8.3	10.4	2.1	8.3	2.1	-		
＜ 性・年齢別 ＞																	
男 性 (計)	820	33.7	37.4	31.3	30.6	34.1	14.1	14.1	16.2	9.1	4.5	5.1	6.8	2.8	0.7		
18・19歳	8	25.0	25.0	12.5	37.5	37.5	25.0	-	-	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	-		
20代	57	36.8	42.1	28.1	22.8	43.9	5.3	5.3	14.0	7.0	7.0	7.0	5.3	3.5	-		
30代	112	39.3	41.1	34.8	27.7	51.8	14.3	6.3	16.1	4.5	3.6	8.0	4.5	3.6	0.9		
40代	147	38.8	44.2	32.0	33.3	44.2	13.6	12.9	12.9	5.4	4.1	4.8	4.8	0.7	-		
50代	149	30.9	41.6	24.2	27.5	35.6	12.8	18.1	18.8	12.8	4.7	4.7	6.7	2.0	0.7		
60代	149	33.6	32.2	30.9	37.6	28.9	16.8	11.4	18.8	7.4	3.4	2.0	10.1	2.7	0.7		
70歳以上	198	28.3	30.3	36.4	29.3	16.7	15.7	21.7	16.2	13.1	5.1	5.6	7.6	4.0	1.5		
女 性 (計)	1,048	45.4	37.5	41.0	29.5	26.3	16.2	13.1	11.0	5.2	5.0	3.4	4.6	5.2	1.0		
18・19歳	8	25.0	37.5	37.5	37.5	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
20代	95	42.1	42.1	43.2	25.3	40.0	3.2	5.3	7.4	3.2	4.2	5.3	9.5	5.3	-		
30代	136	55.9	42.6	39.0	31.6	45.6	15.4	7.4	4.4	2.2	2.9	0.7	3.7	2.9	-		
40代	190	47.9	43.2	36.3	28.4	30.0	18.9	11.1	12.6	4.7	4.2	4.7	3.2	3.7	0.5		
50代	191	49.2	36.6	43.5	36.1	28.3	16.8	7.3	9.9	2.1	3.7	2.1	3.1	3.7	-		
60代	164	44.5	34.8	42.1	30.5	20.7	22.0	16.5	15.9	7.9	6.7	4.3	3.0	3.0	2.4		
70歳以上	264	37.9	31.4	42.4	25.0	10.2	15.9	22.7	12.5	8.7	6.8	3.8	6.4	9.8	2.3		

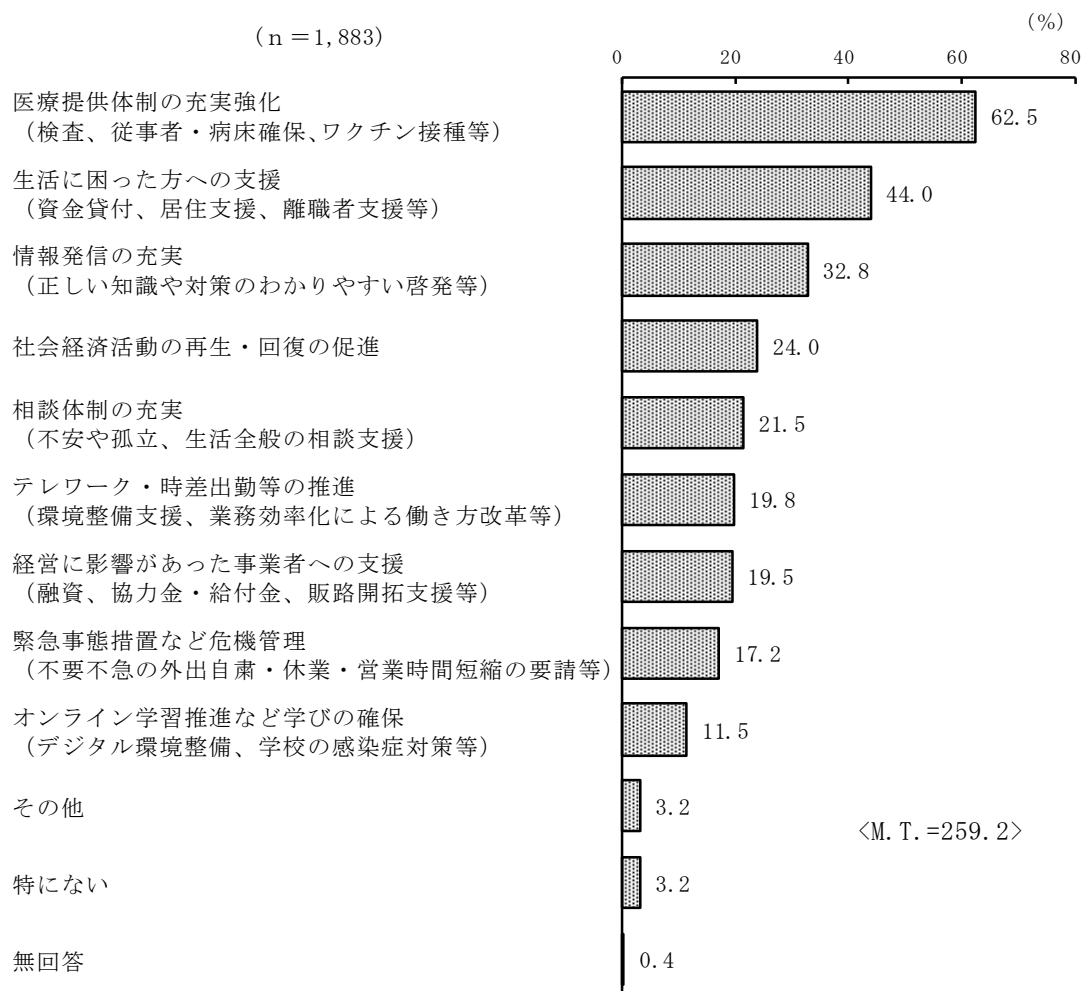
※4-2 新型コロナウイルス感染症対策

図4-2-1

(全員の方に)

問13 新型コロナウイルス感染症の流行が続いています。

あなたは、「新型コロナウイルス感染症に関する対策」について、都にどのようなことを望みますか。次の中から特に望むことを3つまでお選びください。(〇は3つまで) (3M. A.)

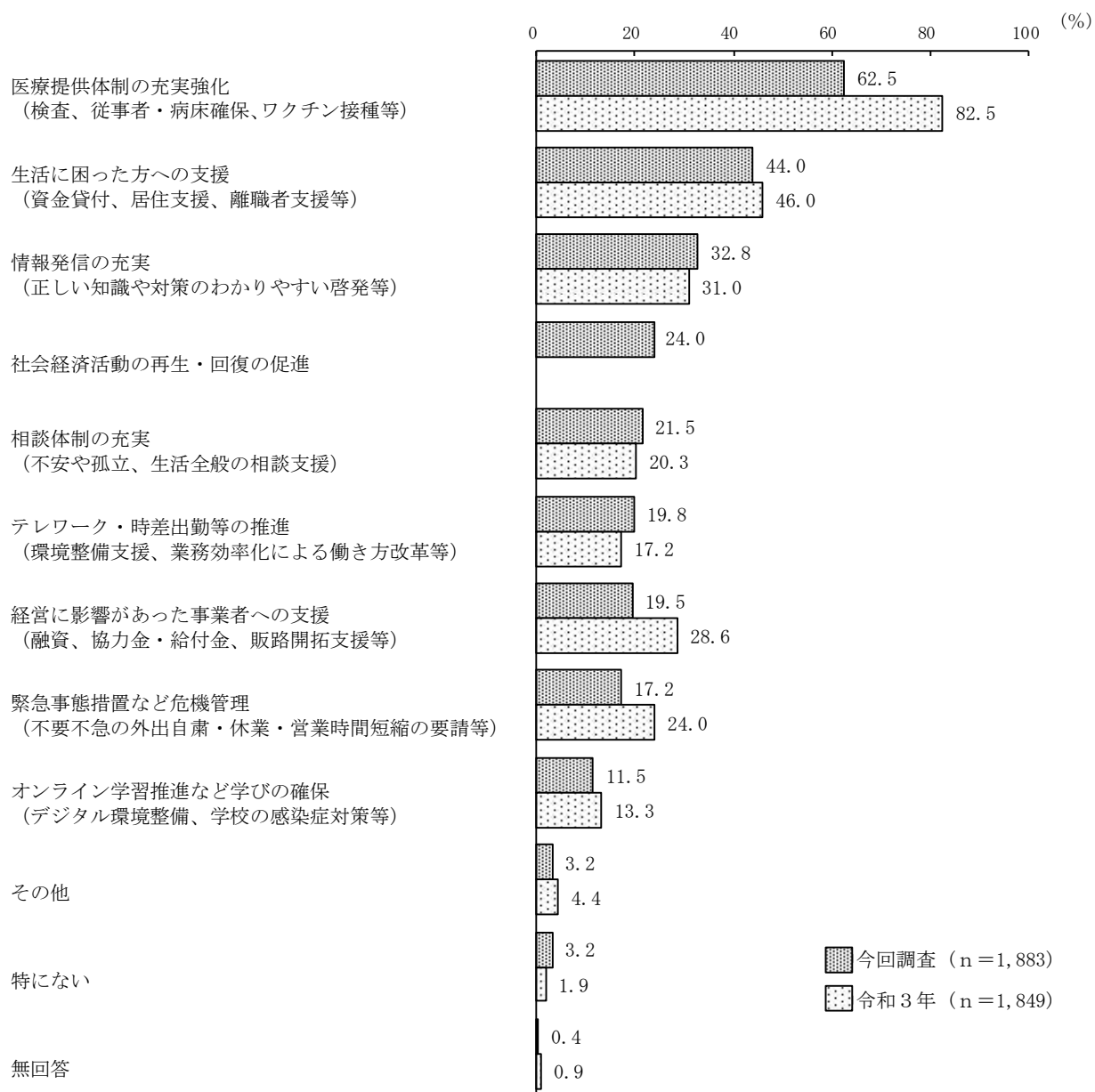


新型コロナウイルス感染症対策について、都に特に望むことを3つまで選んでもらったところ、「医療提供体制の充実強化」が63%で最も多く、次いで「生活に困った方への支援」44%、「情報発信の充実」33%、「社会経済活動の再生・回復の促進」24%などの順となっている。(図4-2-1)

新型コロナウイルス感染症対策について都に望むことを、昨年と比較すると、「医療提供体制の充実強化（検査、従事者・病床確保、ワクチン接種等）」は昨年より20ポイント減少している。

(図4-2-2)

図4-2-2 新型コロナウイルス感染症対策—過去の調査結果



(注1) 「社会経済活動の再生・回復の促進」は今回調査より追加

(注2) 令和2年調査は選択肢項目名が異なるため2年比較とした

エリア別にみると、「医療提供体制の充実強化」は市町村部（計）で7割近くと多くなっている。

性・年齢別にみると、「医療提供体制の充実強化」は女性60代以上で7割半ば、「情報発信の充実」は女性70歳以上で4割半ばと多くなっている。「テレワーク・時差出勤等の推進」は男性30代、女性20代、30代で約4割から4割半ばと多くなっている。（表4-2-1）

表4-2-1 新型コロナウイルス感染症対策—エリア別、性・年齢別

	n	ン査医 接療 種提 等事 者・ 病 床 充 実 保 ワ ク チ	等貸生 付活 、居 住 支 援 、 離 職 者 支 援 （ 資 金	や情 報 発 信 の 充 実 （ 正 し い 知 識	進社 会 経 済 活 動 の 再 生 ・ 回 復 の 促	生相 談 体 制 の 充 実 （ 不 安 や 孤 立、	よ（ 環 境 整 備 支 援、 業 務 効 率 の 推 進	テレ ワ ー ク ・ 時 差 出 勤 等 の 推 進	販路 開 拓 支 援 等	経営 に 影 響 が あ つ た 事 業 者 へ の 支 援 （ 融 資、 協 力 金 ・ 給 付 金、	時 間 短 縮 の 要 請 等	緊 急 事 態 措 置 な ど 危 機 管 理 （ 不 急 の 外 出 自 粛 ・ 休 業 ・ 営 業	校 の 感 染 症 対 策 等	オ ン ラ イ ン 学 習 推 進 な ど 学 び 学 ぶ の 環 境 整 備	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全 体	1,883	62.5	44.0	32.8	24.0	21.5	19.8	19.5	17.2	11.5	3.2	3.2	0.4				
< エリア別 >																	
区 部（計）	1,249	60.2	43.2	32.5	25.8	19.7	21.0	20.3	17.4	12.0	3.4	3.2	0.3				
センター・コア	368	62.5	44.8	34.5	26.4	17.1	23.9	18.5	17.1	11.4	4.6	2.2	0.5				
区部東部・北部	376	60.1	43.6	30.3	22.6	23.1	18.6	21.0	17.0	11.7	3.2	4.3	-				
区部西部・南部	505	58.6	41.6	32.7	27.7	19.0	20.6	21.0	17.8	12.7	2.8	3.2	0.4				
市町村部（計）	634	67.0	45.6	33.3	20.5	25.1	17.4	18.0	16.9	10.6	2.8	3.3	0.5				
多摩東部	245	67.8	48.2	32.7	20.4	27.3	18.4	21.2	15.5	11.4	2.9	1.6	-				
多摩中央部北	89	70.8	42.7	41.6	15.7	24.7	12.4	12.4	15.7	4.5	1.1	3.4	3.4				
多摩中央部南	252	63.9	46.0	29.8	23.0	21.4	18.3	17.5	17.9	11.9	3.6	4.8	-				
多摩西部・島しょ	48	72.9	35.4	39.6	16.7	33.3	16.7	14.6	20.8	10.4	2.1	4.2	-				
< 性・年齢別 >																	
男 性（計）	820	58.9	45.0	31.5	25.6	19.8	18.0	19.4	18.3	11.8	4.5	3.7	0.2				
18・19歳	8	25.0	37.5	12.5	25.0	25.0	37.5	25.0	-	25.0	-	12.5	-				
20代	57	29.8	47.4	19.3	33.3	10.5	28.1	26.3	12.3	15.8	1.8	7.0	1.8				
30代	112	39.3	41.1	26.8	33.9	9.8	40.2	25.0	9.8	22.3	5.4	4.5	-				
40代	147	56.5	40.1	23.8	34.0	15.6	26.5	23.1	17.0	21.8	3.4	3.4	-				
50代	149	58.4	40.3	37.6	25.5	18.1	15.4	19.5	20.8	10.1	9.4	1.3	-				
60代	149	70.5	53.7	32.2	22.8	25.5	6.0	17.4	24.8	4.0	3.4	1.3	-				
70歳以上	198	73.2	47.5	38.9	14.6	27.8	6.6	12.6	19.7	4.0	3.0	5.6	0.5				
女 性（計）	1,048	65.3	42.9	33.9	23.0	22.9	21.2	19.6	16.4	11.4	2.3	2.9	0.5				
18・19歳	8	50.0	25.0	-	25.0	12.5	25.0	25.0	25.0	37.5	-	-	-				
20代	95	47.4	53.7	21.1	23.2	11.6	46.3	23.2	10.5	14.7	2.1	3.2	-				
30代	136	48.5	41.9	24.3	36.0	13.2	39.7	31.6	10.3	14.7	2.2	2.2	-				
40代	190	63.2	36.8	23.2	34.2	22.6	27.4	20.5	12.1	22.6	2.1	1.6	-				
50代	191	66.0	42.9	37.7	23.6	23.6	18.8	19.9	14.1	9.4	3.7	2.6	-				
60代	164	75.6	42.7	41.5	17.7	33.5	11.0	17.1	28.0	6.7	1.2	1.8	1.2				
70歳以上	264	75.4	44.7	44.7	11.0	25.4	6.1	12.5	18.9	3.8	2.3	4.9	1.1				

職業別にみると、「医療提供体制の充実強化」は無職の主婦・主夫で7割半ばと高くなっている。「生活に困った方への支援」は労務・技能職、販売・サービス職、その他の無職で5割半ばから6割近くと高くなっている。

生活程度（問3 P14）との関係でみると、「生活に困った方への支援」は生活程度が低いほど割合が高くなっている。（表4-2-2）

表4-2-2 新型コロナウイルス感染症対策—職業別、生活程度別

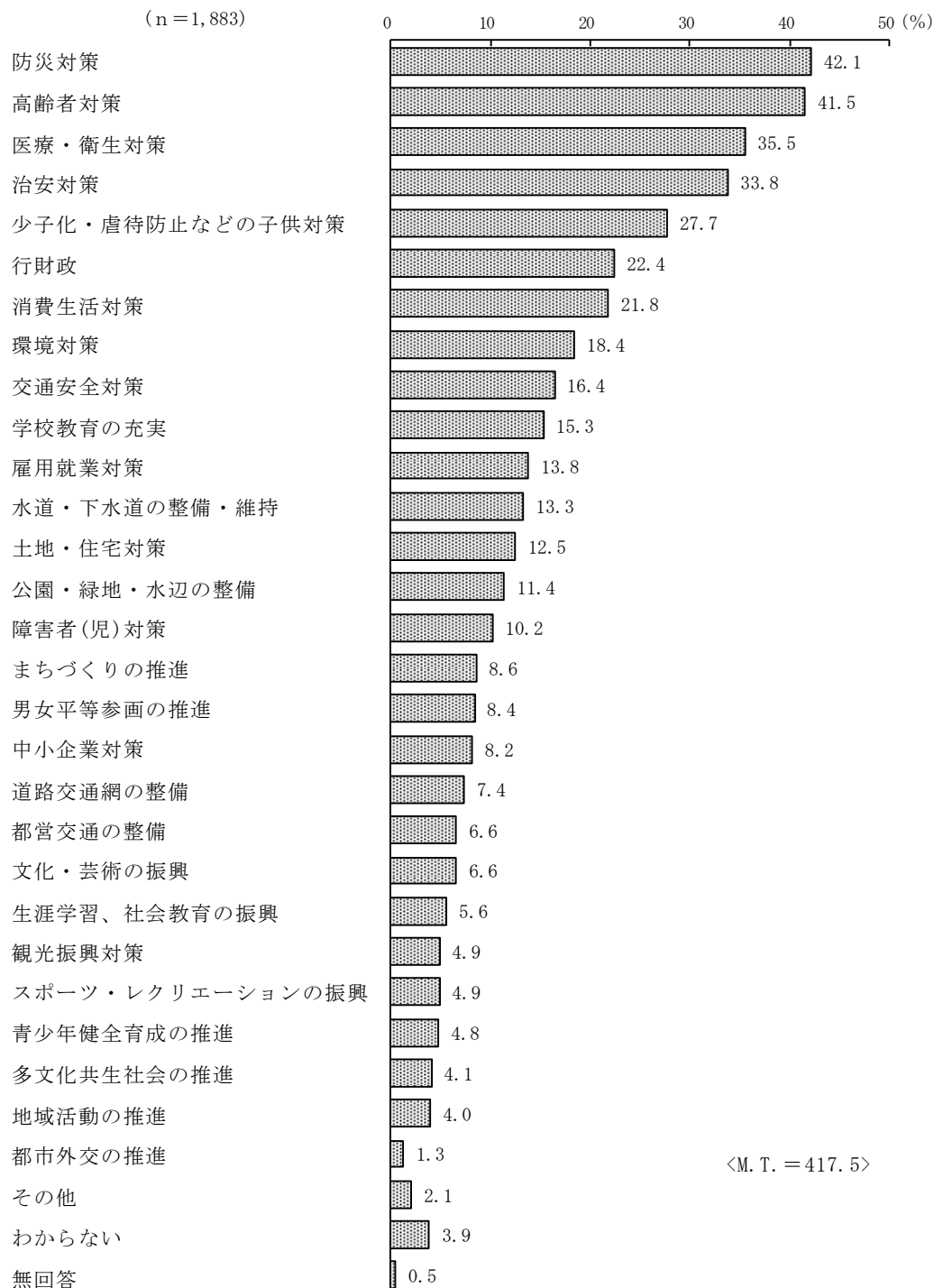
		(%)																											
	n	ン 接 種 等	査 、 従 事 者 ・ 病 床 確 保 、 ワ ク チ	医 療 提 供 体 制 の 充 実 強 化	貸 付 、 居 住 支 援 、 離 職 者 支 援	生 活 に 困 つ た 方 へ の 支 援 （ 資 金	や 情 報 発 信 の 充 実 （ 正 し い 啓 発 等 ）	進 社 会 経 済 活 動 の 再 生 ・ 回 復 の 促	生 活 全 体 の 充 実 （ 不 安 や 孤 立 、 相 談 支 援	よ る 環 境 整 備 支 援 、 時 差 出 勤 等 の 推 進	テ レ ワ ー ク 支 援 、 業 務 効 率 の 推 進	販 路 開 拓 支 援 等	支 援 （ 融 資 、 協 力 金 ・ 給 付 金 、 経 営 に 影 響 が あ つ た 事 業 者 へ の	時 間 短 縮 の 要 請 等	要 不 急 の 外 出 自 粛 ・ 休 業 ・ 営 業	緊 急 事 態 措 置 な ど 危 機 管 理 （ 不	校 の 感 染 症 対 策 等	確 保 （ デ ジ タ ル 学 習 推 進 な ど	オ ン ラ イ ン 学 習 推 進 な ど	学 び の	そ の 他	特 に な い	無 回 答						
全	体	1,883	62.5	44.0	32.8	24.0	21.5	19.8	19.5	17.2	11.5	3.2	3.2	0.4															
< 職 業 別 >																													
自	営	・	家	族	従	業	（	計	）	212	50.9	44.3	35.4	25.0	16.0	15.6	43.4	18.9	5.7	4.2	4.7	0.5							
勤	め	（	計	）	990	60.7	42.0	29.8	28.2	19.0	27.8	19.8	15.9	14.9	3.4	2.4	-												
経	営	・	管	理	職	141	60.3	31.9	26.2	29.1	21.3	25.5	19.9	19.9	5.0	1.4	-												
専	門	・	技	術	職	285	57.9	38.6	28.1	26.3	14.7	31.6	22.5	15.8	3.5	3.2	-												
事	務	職	266	62.8	39.1	30.1	31.2	18.4	38.0	14.7	13.9	11.7	3.8	1.9	-														
労	務	・	技	能	職	99	60.6	57.6	35.4	29.3	21.2	7.1	20.2	18.2	6.1	2.0	1.0	-											
販	売	・	サ	ー	ビ	ス	職	161	64.0	54.7	31.7	23.0	23.6	20.5	26.7	14.3	9.3	1.2	3.7	-									
無	職	の	主	婦	・	主	夫	371	74.9	43.4	39.4	18.1	25.1	9.4	11.1	19.7	9.2	2.2	2.4	0.8									
学	生	41	41.5	48.8	22.0	34.1	12.2	34.1	17.1	14.6	26.8	-	2.4	-															
そ	の	他	の	無	職	211	63.5	53.6	33.6	16.1	34.6	6.6	8.1	17.1	4.3	4.3	5.7	-											
< 生 活 程 度 別 >																													
上	35	54.3	25.7	34.3	34.3	17.1	31.4	22.9	14.3	17.1	2.9	5.7	-																
中	の	上	293	66.2	33.8	29.7	29.4	17.4	26.6	16.4	17.7	19.1	4.8	1.4	-														
中	の	中	697	64.0	38.7	36.9	23.7	19.7	22.1	19.1	17.5	12.6	2.3	3.7	0.4														
中	の	下	490	61.8	49.2	31.6	24.7	24.1	17.1	21.8	19.0	9.0	3.3	2.4	0.2														
下	250	58.0	63.6	26.0	18.4	25.2	11.6	21.6	12.4	4.8	4.0	3.6	0.4																

※4-3 都政への要望

図4-3-1

(全員の方に)

問14 これからの都政全体について考えた場合、次にあげたことのどれに力を入れてほしいと思いますか。特に都に力を入れて取り組んでもらいたいものを5つまでお選びください。(〇は5つまで)
(5M. A.)

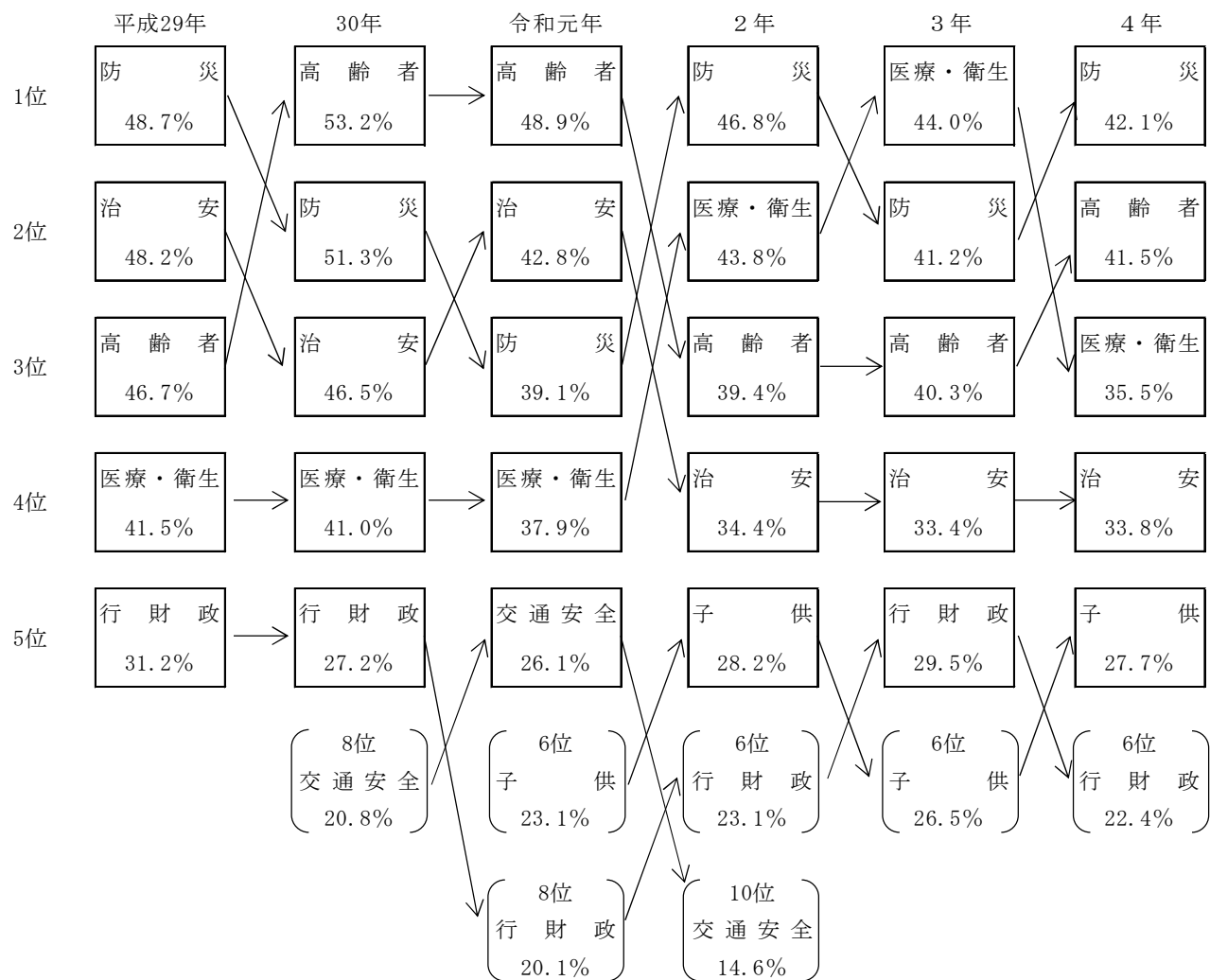


東京都が実施している諸施策をあげ、特に力を入れてほしい施策を5つまで選んでもらった。要望の上位5位は、第1位「防災対策」、第2位「高齢者対策」とともに42%、第3位「医療・衛生対策」36%、第4位「治安対策」34%、第5位「少子化・虐待防止などの子供対策」28%の順となっている。(図4-3-1)

都政への要望の過去の調査結果と比較すると、昨年第2位だった「防災」が第1位となっている。また、昨年第1位だった「衛生・医療対策」は9ポイント減少し第3位に、昨年第3位だった「高齢者対策」は1ポイント増加し第2位となっている。(図4-3-2)

なお、都政への要望の平成元年からの調査結果を巻末の付属資料(P170~171 表4)に掲載している。

図4-3-2 都政への要望—過去の調査の上位5位推移



(注1) 「子供」：「少子化・虐待防止などの子供対策」

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

都政への要望をエリア別にみると、区部では区部東部・北部で第2位となった以外は「防災対策」が第1位となっている。また、市町村部では「高齢者対策」が全てのエリアで第1位となっている。

(表4-3-1)

表4-3-1 都政への要望上位5位-エリア別

		(%)				
	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体	1,883	防 災 42.1	高 齢 者 41.5	医 療 ・ 衛 生 35.5	治 安 33.8	子 供 27.7
区 部 (計)	1,249	防 災 43.9	高 齢 者 39.1	治 安 34.3	医 療 ・ 衛 生 34.3	子 供 27.7
センター・コア	368	防 災 45.1	高 齢 者 35.3	治 安 34.2	医 療 ・ 衛 生 31.5	子 供 26.4
区部東部・北部	376	高 齢 者 45.7	防 災 45.5	治 安 36.4	医 療 ・ 衛 生 34.3	子 供 29.0
区部西部・南部	505	防 災 41.8	高 齢 者 36.8	医 療 ・ 衛 生 36.2	治 安 32.9	子 供 27.7
市町村部 (計)	634	高 齢 者 46.2	防 災 38.6	医 療 ・ 衛 生 38.0	治 安 32.6	子 供 27.8
多摩東部	245	高 齢 者 44.9	防 災 38.4	医 療 ・ 衛 生 35.5	治 安 32.7	子 供 27.8
多摩中央部北	89	高 齢 者 / 医 療 ・ 衛 生 40.4		防 災 38.2	消 費 生 活 34.8	子 供 30.3
多摩中央部南	252	高 齢 者 46.8	防 災 39.7	医 療 ・ 衛 生 38.5	治 安 34.1	消 費 生 活 28.6
多摩西部・島しょ	48	高 齢 者 60.4	医 療 ・ 衛 生 43.8	防 災 35.4	治 安 33.3	子 供 / 交 通 安 全 25.0

性・年齢別にみると、「防災対策」は男性40代、50代と女性40代で第1位、「高齢者対策」は、男性60代以上、女性50代以上で第1位となっている。「子供対策」は、男性30代、女性20代、30代で第1位となっている。(表4-3-2)

表4-3-2 都政への要望上位5位－性・年齢別

(%)

	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体	1,883	防 災 42.1	高 齢 者 41.5	医 療 ・ 衛 生 35.5	治 安 33.8	子 供 27.7
男 性 (計)	820	防 災 41.2	高 齢 者 40.1	治 安 32.0	医 療 ・ 衛 生 30.0	子 供 26.0
18 ・ 19 歳	8	子供／行財政／学校教育／雇用就業／まちづくり／道路交通／観光振興／スポーツ 25.0				
20 代	57	行 財 政 40.4	子 供 38.6	治 安 29.8	消 費 生 活 22.8	学 校 教 育 21.1
30 代	112	子 供 43.8	防災／治安／行財政 26.8			消 費 生 活 25.0
40 代	147	防 災 38.1	治 安 37.4	高 齢 者 30.6	子 供 29.3	行 財 政 25.2
50 代	149	防 災 49.7	医 療 ・ 衛 生 41.6	治 安 38.9	高 齢 者 38.3	消 費 生 活 23.5
60 代	149	高 齢 者 54.4	防 災 49.0	医 療 ・ 衛 生 33.6	治 安 27.5	行 財 政 23.5
70 歳 以 上	198	高 齢 者 62.6	防 災 48.5	医 療 ・ 衛 生 37.4	治 安 30.8	消 費 生 活 30.3
女 性 (計)	1,048	防 災 42.9	高 齢 者 42.6	医 療 ・ 衛 生 40.0	治 安 35.3	子 供 29.4
18 ・ 19 歳	8	防災／男女平等参画 50.0		医療・衛生／学校教育 37.5		高齢者対策など 計5項目* 25.0
20 代	95	子 供 44.2	男 女 平 等 参 画 の 推 進 32.6	医 療 ・ 衛 生 31.6	治 安 26.3	防 災 ／ 行 財 政 24.2
30 代	136	子 供 52.9	防 災 41.9	学 校 教 育 35.3	治 安 31.6	医 療 ・ 衛 生 30.9
40 代	190	防災／医療・衛生 38.9		治 安 36.8	子 供 33.7	行 財 政 ／ 学 校 教 育 25.3
50 代	191	高 齢 者 48.7	防 災 47.1	医 療 ・ 衛 生 40.3	治 安 31.9	消 費 生 活 24.6
60 代	164	高 齢 者 59.1	防 災 51.2	医 療 ・ 衛 生 49.4	治 安 34.8	環 境 26.8
70 歳 以 上	264	高 齢 者 65.2	防 災 44.7	医療・衛生／治安 42.4		消 費 生 活 21.6

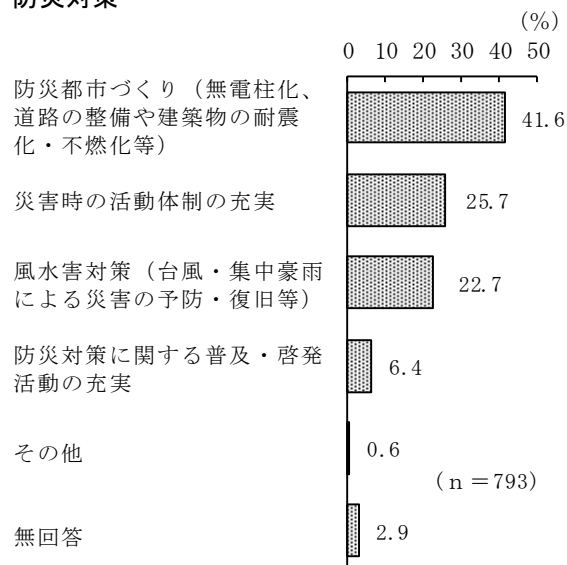
* 高齢者／治安／環境／雇用就業／まちづくり

4-4 具体的な要望施策

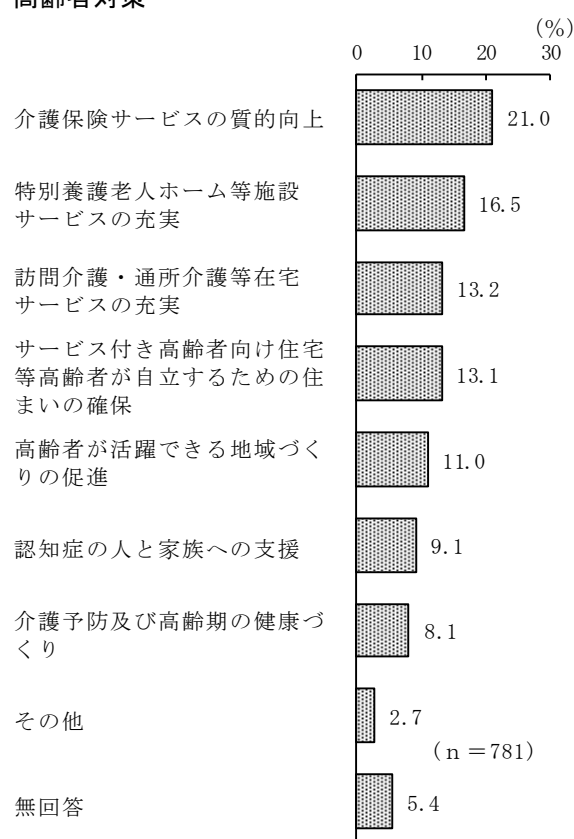
5つまで選んでもらった要望の各分野について、具体的な内容を示して1つだけ答えてもらった結果が図4-4である。(図4-4)

図4-4 具体的な要望施策

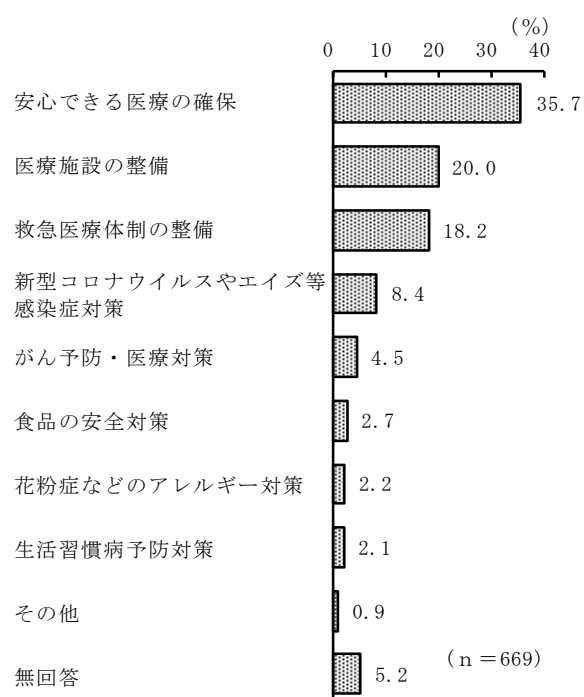
1 防災対策



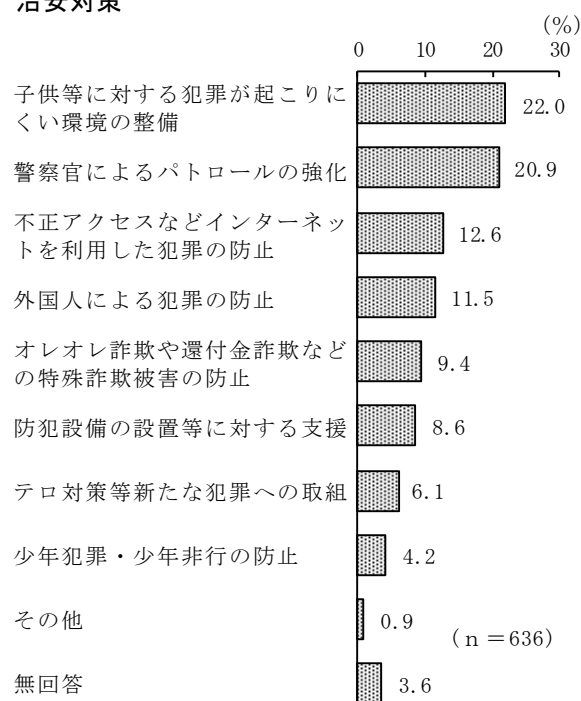
2 高齢者対策



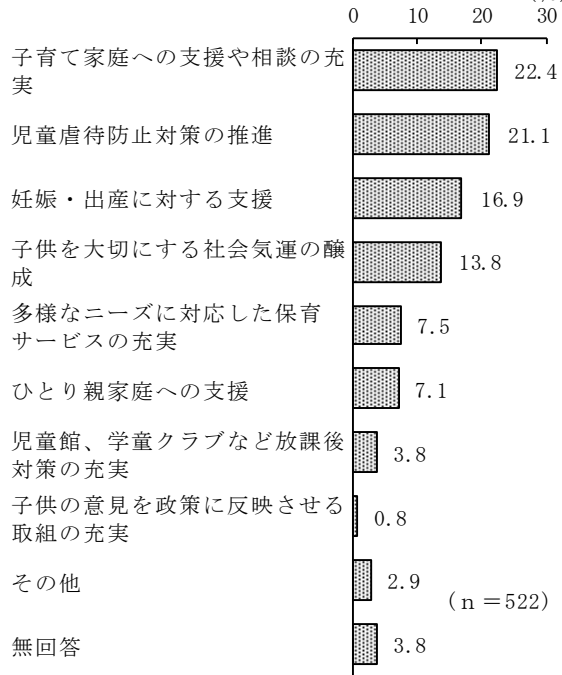
3 医療・衛生対策



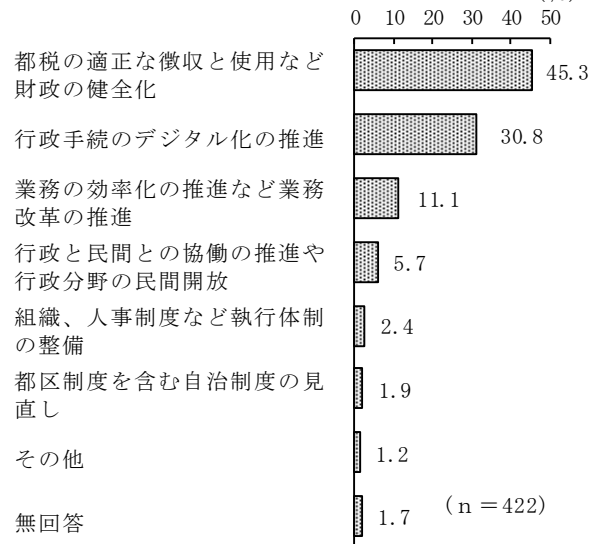
4 治安対策



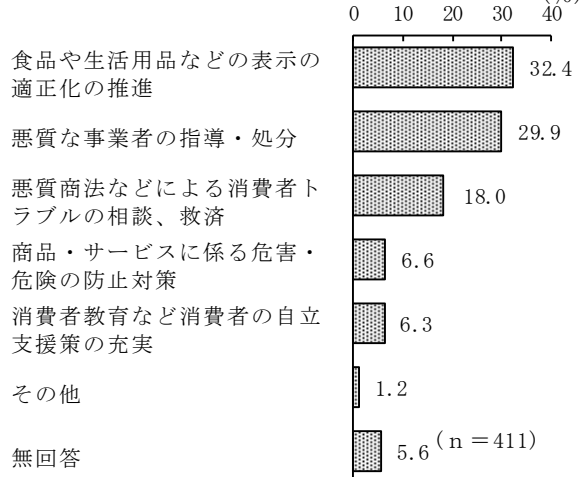
5 少子化・虐待防止などの子供対策 (%)



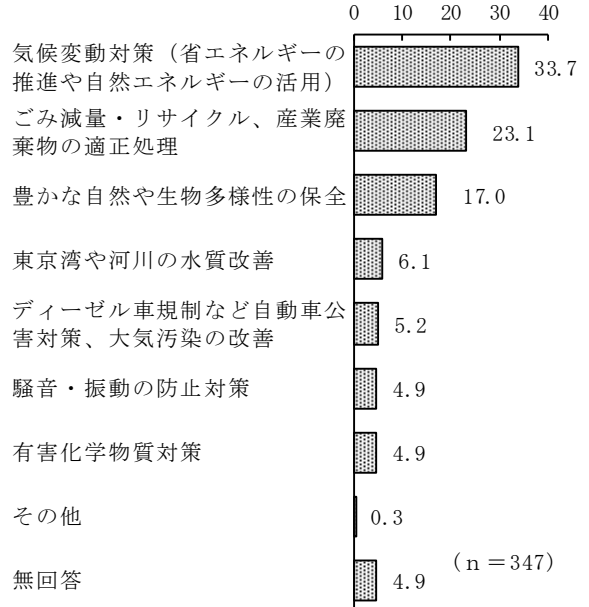
6 行財政 (%)



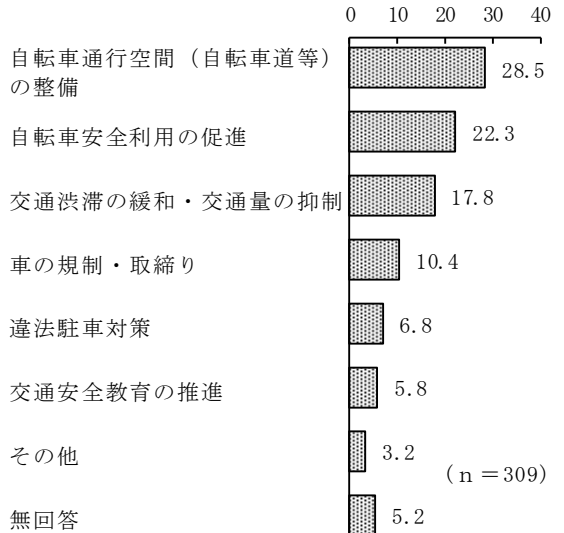
7 消費生活対策 (%)



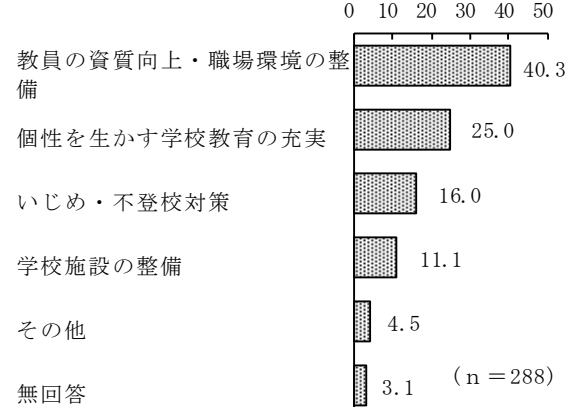
8 環境対策 (%)



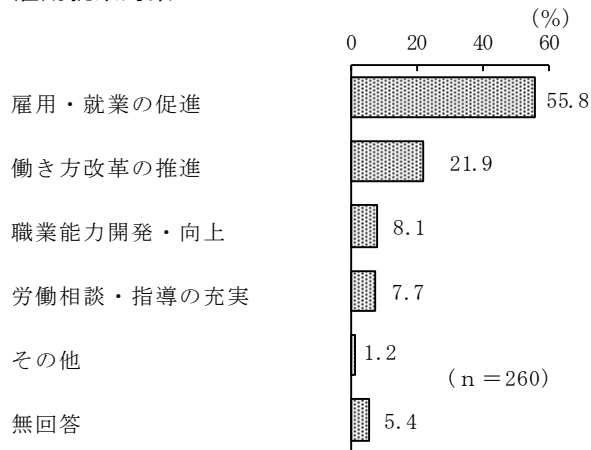
9 交通安全対策 (%)



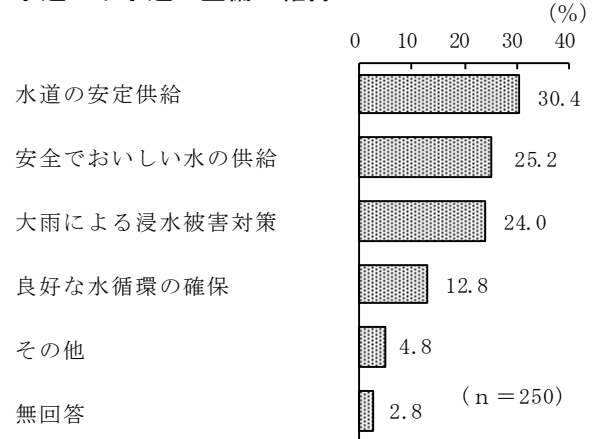
10 学校教育の充実 (%)



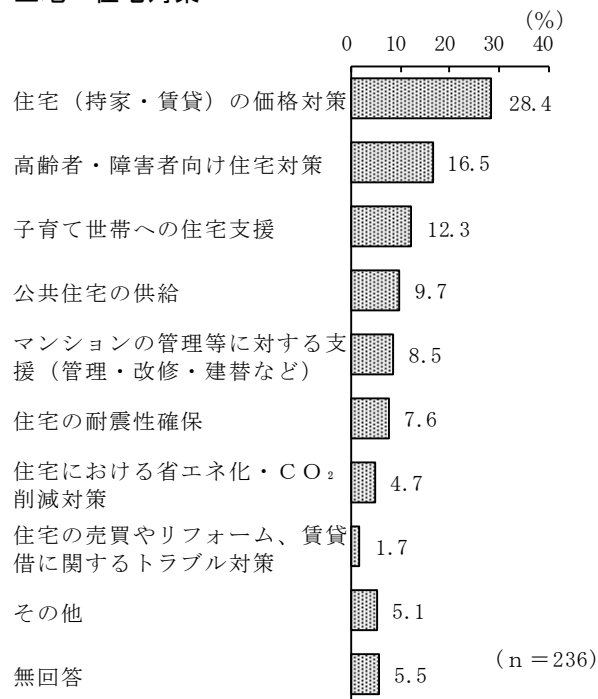
11 雇用就業対策



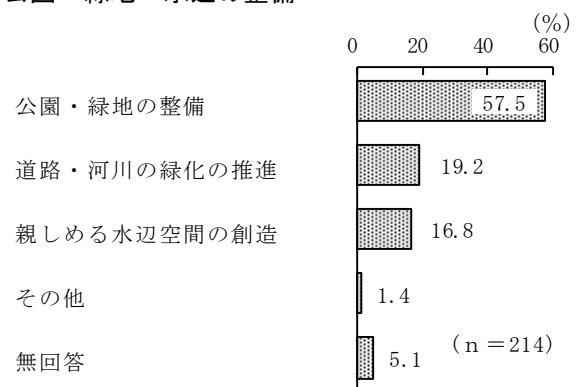
12 水道・下水道の整備・維持



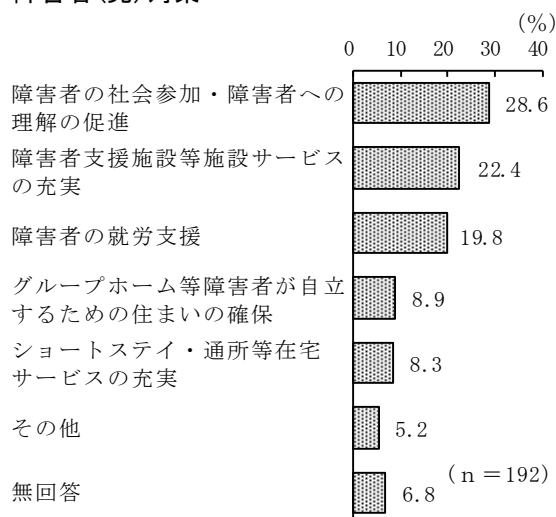
13 土地・住宅対策



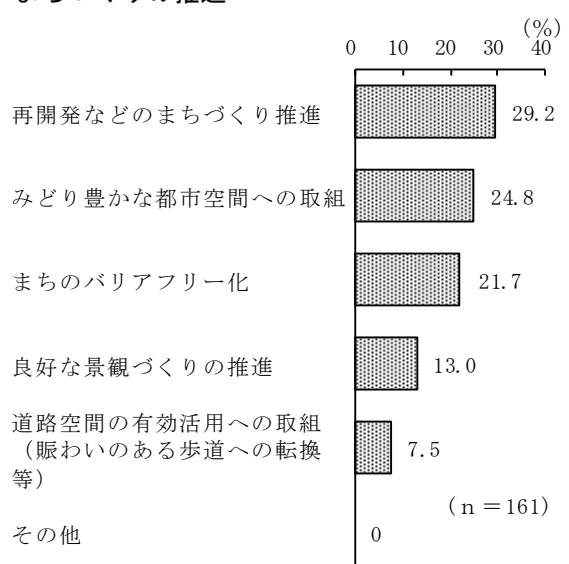
14 公園・緑地・水辺の整備



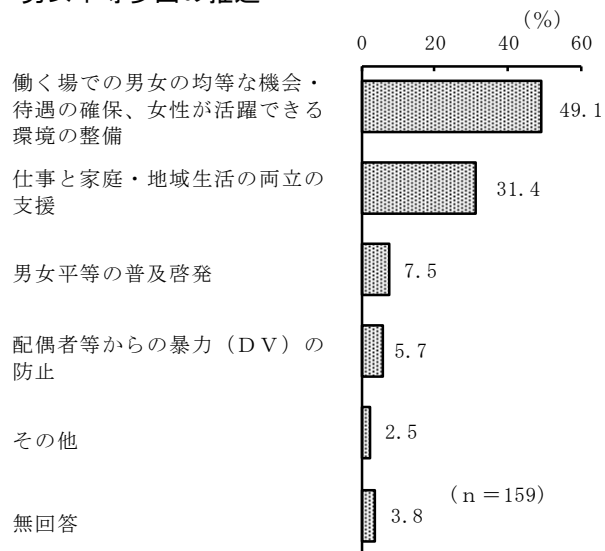
15 障害者(児)対策



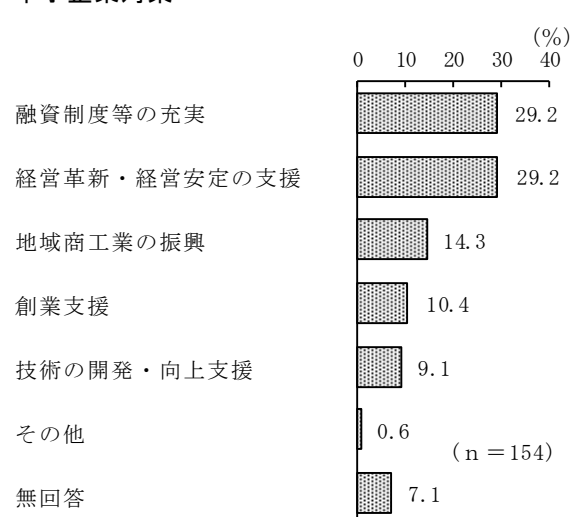
16 まちづくりの推進



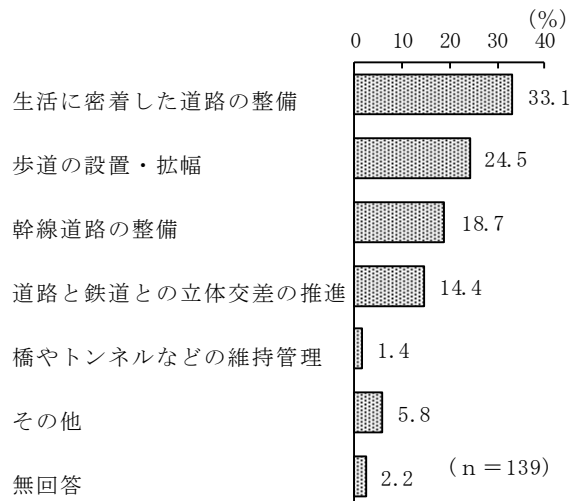
17 男女平等参画の推進



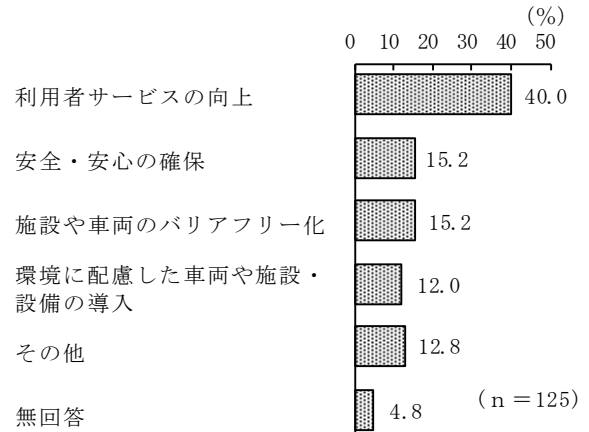
18 中小企業対策



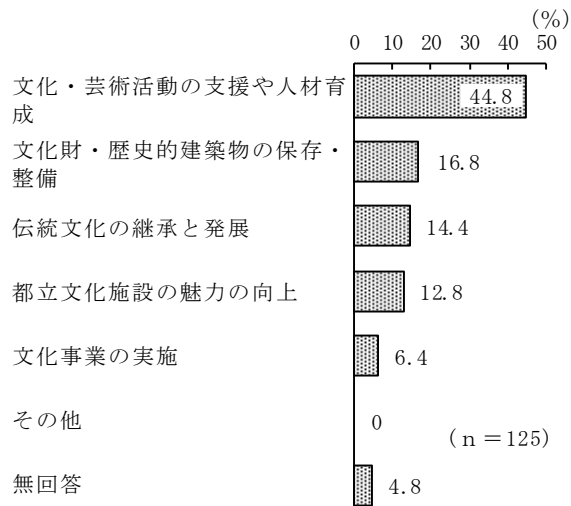
19 道路交通網の整備



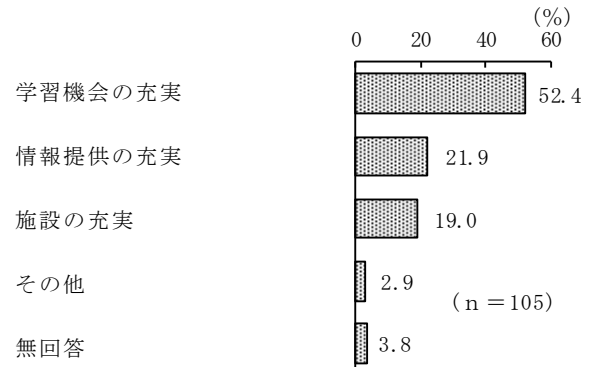
20 都営交通の整備



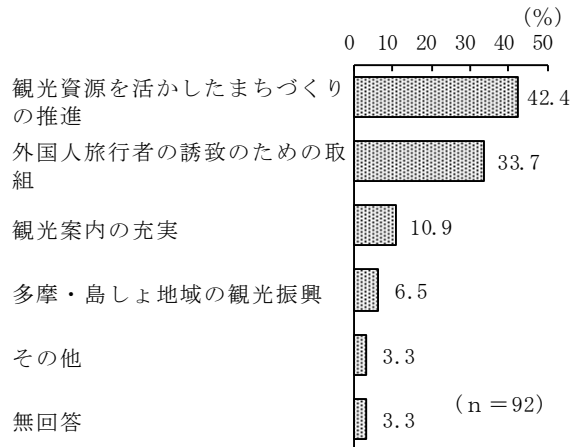
20 文化・芸術の振興



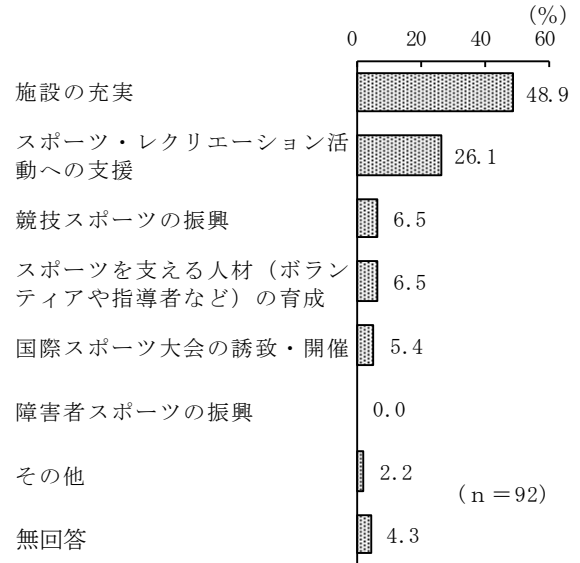
22 生涯学習、社会教育の振興



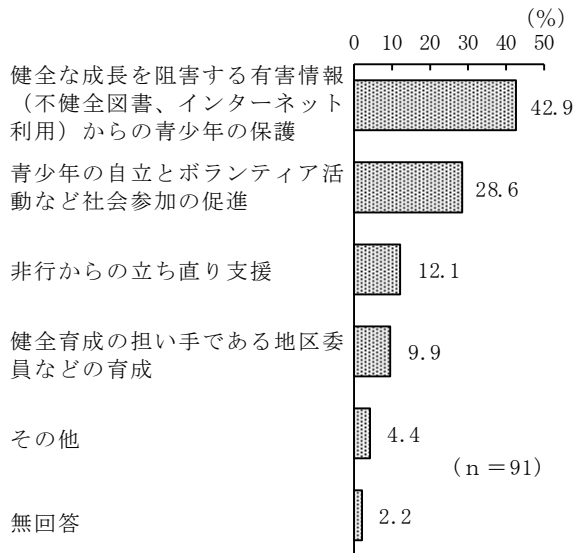
23 観光振興対策



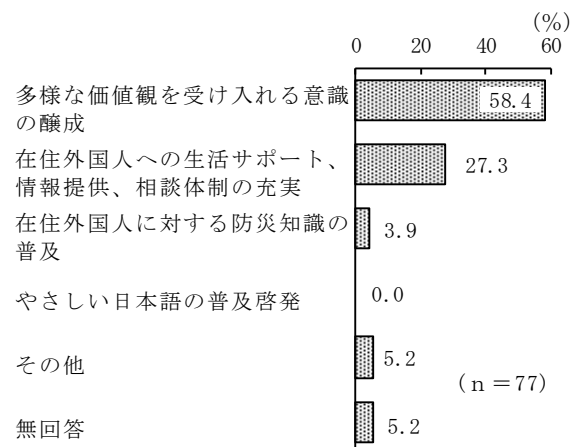
23 スポーツ・レクリエーションの振興



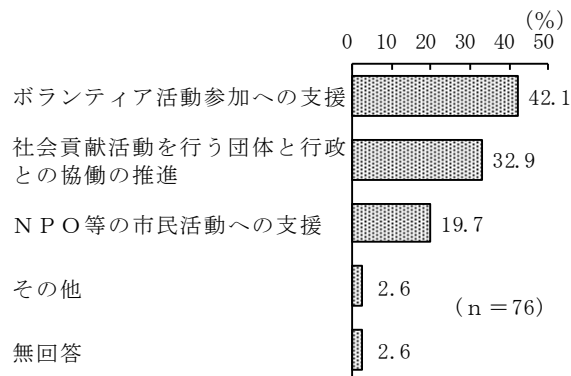
25 青少年健全育成の推進



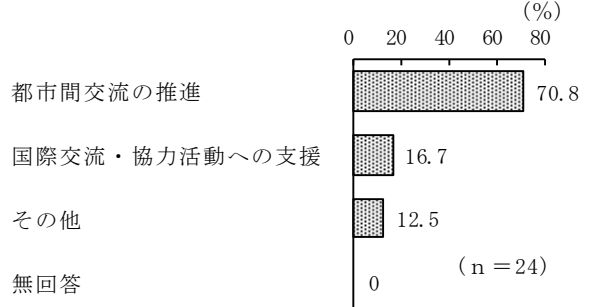
26 多文化共生社会の推進



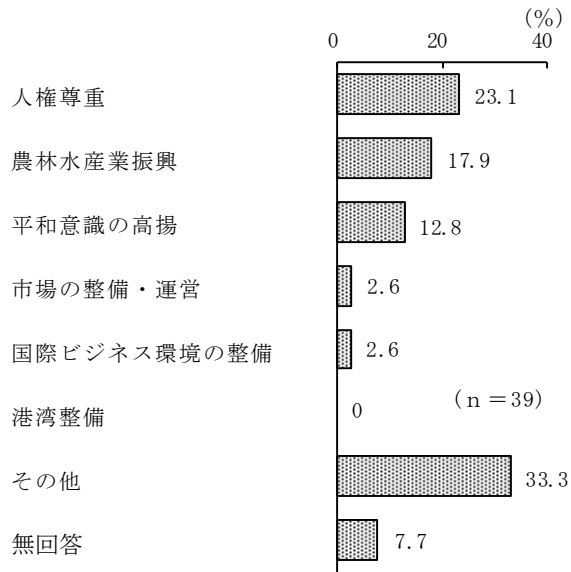
27 地域活動の推進



28 都市外交の推進



29 その他



5 東京の文化

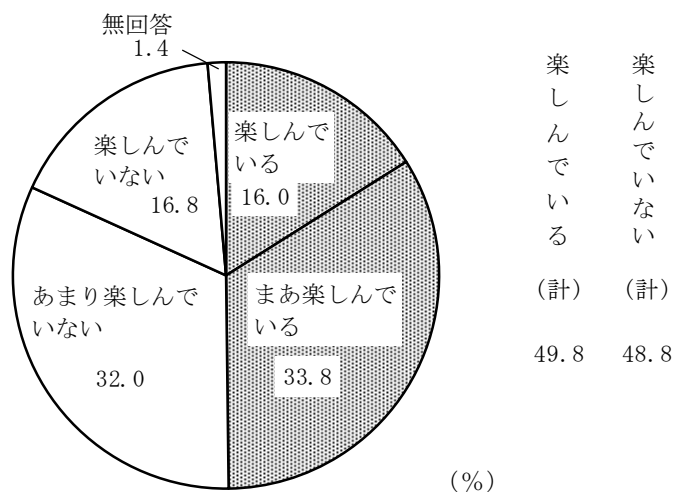
※5-1 文化的な環境

図5-1-1

(全員の方に)

問15 東京には美術館や劇場、映画館など文化施設が集中し、さまざまな展覧会や公演が行われていますが、あなたはこうした文化的な環境を楽しんでいますか。(○は1つ)

(n = 1,883)

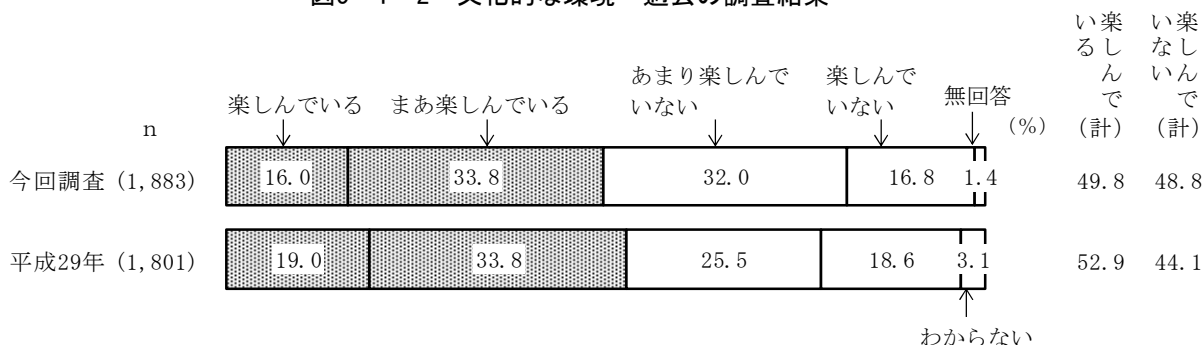


(注) 『楽しんでいる (計)』は「楽しんでいる」「まあ楽しんでいる」の合計
『楽しんでいない (計)』は「楽しんでいない」「あまり楽しんでいない」の合計

美術館や劇場、映画館など東京の文化施設で行われているさまざまな展覧会や公演といった、文化的な環境を楽しんでいるかを聞いたところ、『楽しんでいる (計)』は50%、『楽しんでいない (計)』は49%となっている。(図5-1-1)

今回は、調査方法が前回と異なるため、文化的な環境を前回の調査結果と単純に比較することはできないが、『楽しんでいる (計)』が3ポイント減少し、『楽しんでいない (計)』が5ポイント増加している。(図5-1-2)

図5-1-2 文化的な環境—過去の調査結果



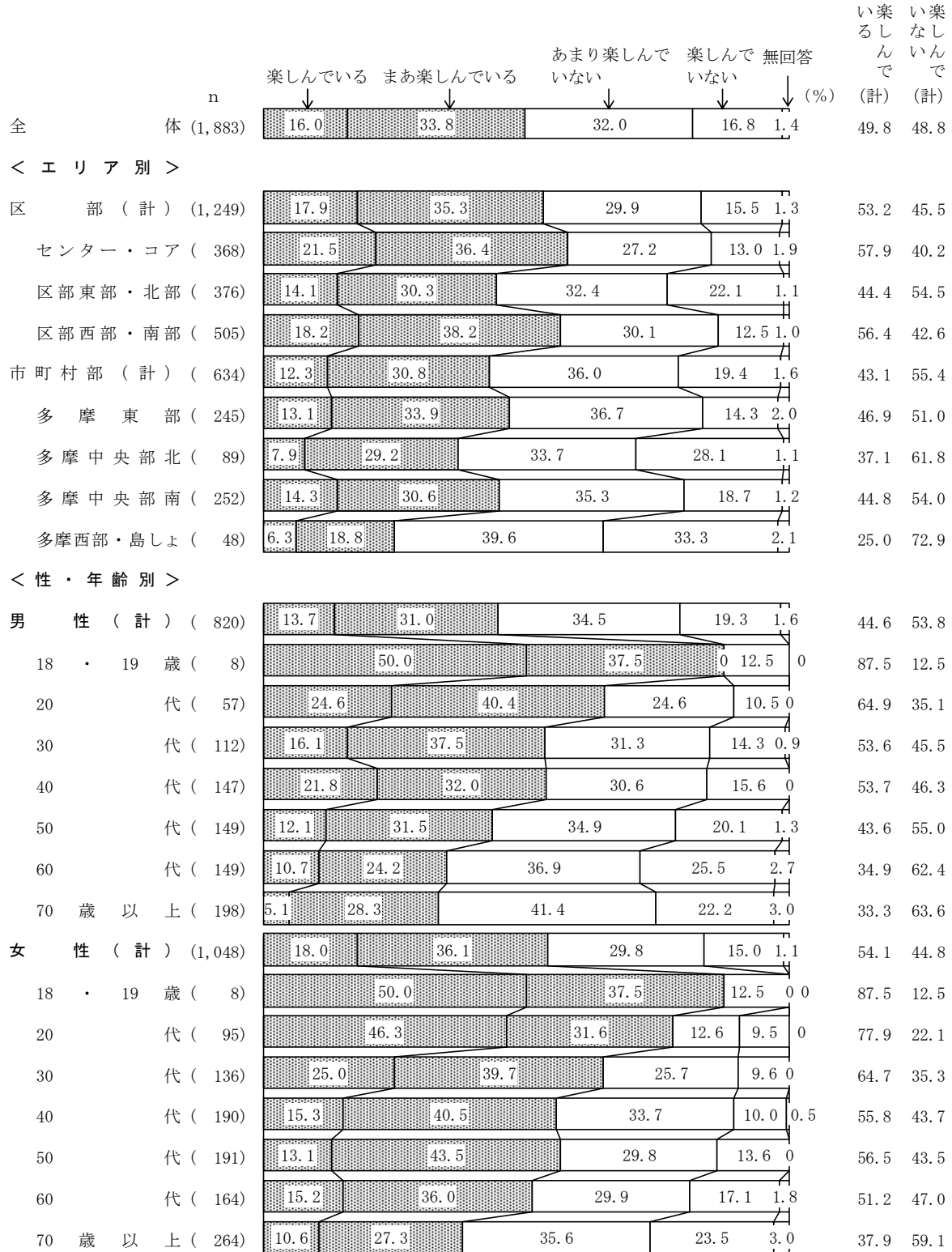
(注1) 平成29年は「文化に関する世論調査 (平成29年11月調査)」
※「わからない」は今回調査で削除

(注2) 平成29年の調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回調査は郵送法 (インターネット回答併用) で実施したため留意が必要

エリア別にみると、『楽しんでいる（計）』は区部（計）で5割を超えて、市町村部（計）よりも10ポイント高く、センターコアで6割近くと多くなっている。

性・年齢別にみると、『楽しんでいる（計）』は女性で5割半ばと、男性よりも10ポイント高く、女性20代で8割近くと多くなっている。（図5-1-3）

図5-1-3 文化的な環境—エリア別、性・年齢別



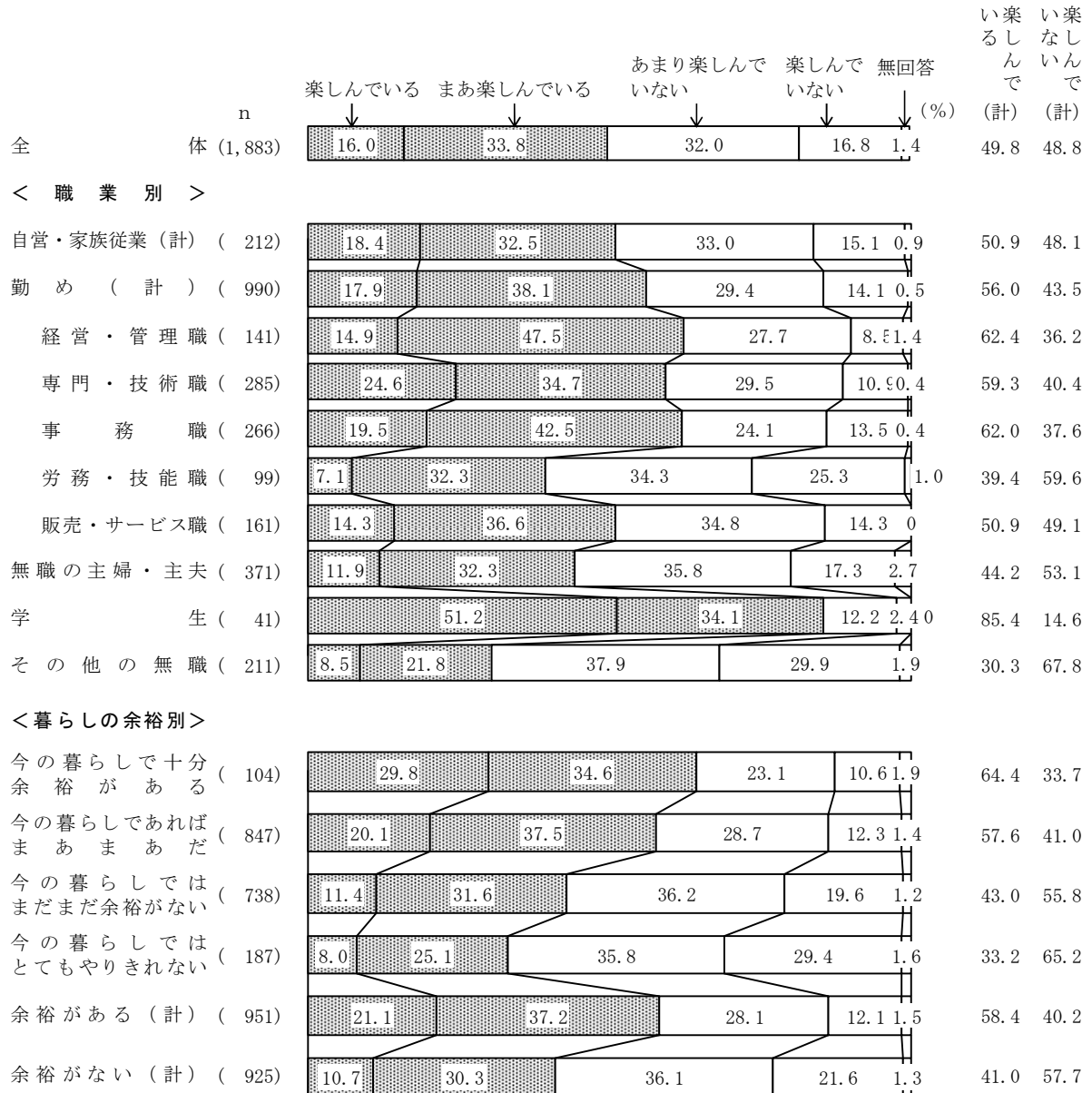
(注) 『楽しんでいる（計）』は「楽しんでいる」「まあ楽しんでいる」の合計
『楽しんでいる（計）』は「楽しんでいる」「あまり楽しんでいる」の合計

職業別にみると、『楽しんでいる（計）』は経営・管理職、事務職で6割を超えて多くなっている。

『楽しんでいない（計）』はその他の無職で7割近くと多くなっている。

暮らしの余裕別にみると、『楽しんでいる（計）』は“余裕がある（計）”で6割近くと、“余裕がない（計）”よりも17ポイント高くなっている。（図5-1-4）

図5-1-4 文化的な環境—職業別、暮らしの余裕別



(注1) 『楽しんでいる（計）』は「楽しんでいる」「まあ楽しんでいる」の合計

『楽しんでいない（計）』は「楽しんでいない」「あまり楽しんでいない」の合計

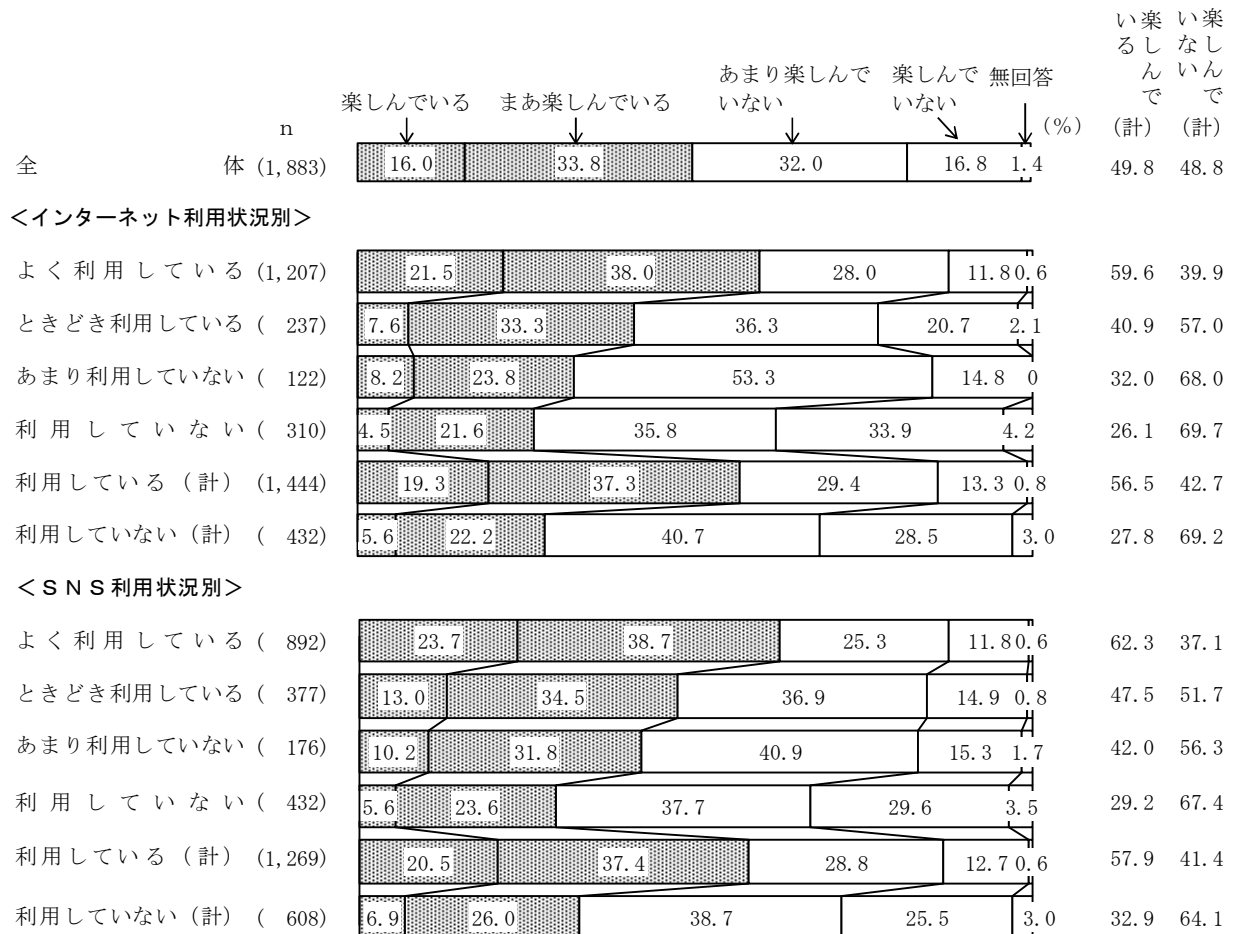
(注2) 『余裕がある（計）』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計

『余裕がない（計）』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

インターネット利用状況別にみると、『楽しんでいる（計）』は“利用している（計）”で6割近くと、“利用していない（計）”よりも29ポイント高くなっている。

SNS利用状況別にみると、『楽しんでいる（計）』は“利用している（計）”で6割近くと、“利用していない（計）”よりも25ポイント高くなっている。（図5-1-5）

図5-1-5 文化的な環境—インターネット利用状況別、SNS利用状況別



(注1) 『楽しんでいる（計）』は「楽しんでいる」「まあ楽しんでいる」の合計
『楽しんでいる（計）』は「楽しんでいる」「あまり楽しんでいる」の合計
(注2) 『利用している（計）』は「よく利用している」「ときどき利用している」の合計
『利用していない（計）』は「利用していない」「あまり利用していない」の合計

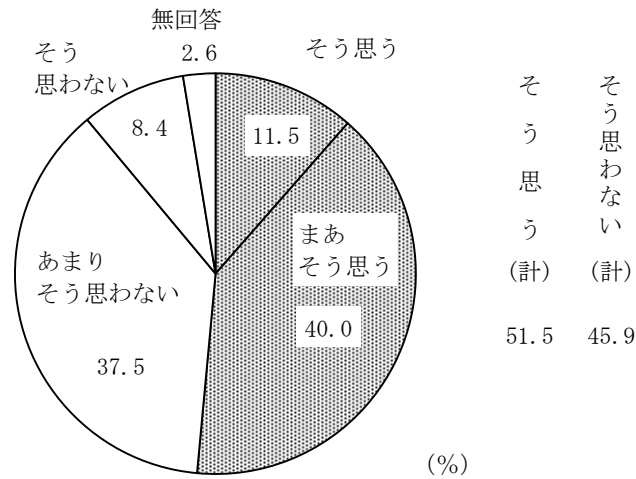
※5-2 東京は世界的な文化都市か

図5-2-1

(全員の方に)

問16 パリ、ロンドン、ニューヨークといった文化的な個性を持つ都市に比べて、東京も同じように世界的な文化都市だと思いますか。(○は1つ)

(n=1,883)

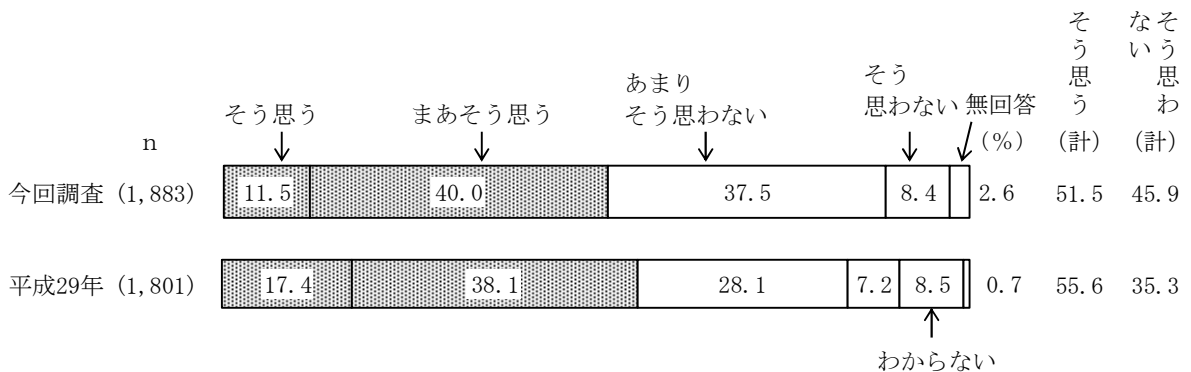


(注) 『そう思う (計)』は「そう思う」「まあそう思う」の合計
 『そう思わない (計)』は「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計

パリ、ロンドン、ニューヨークといった文化的な個性を持つ都市に比べて、東京も同じように世界的な文化都市だと思うか聞いたところ、『そう思う (計)』は52%、『そう思わない (計)』は46%となっている。(図5-2-1)

今回は、調査方法が前回と異なるため、東京は世界的な文化都市かを前回の調査結果と単純に比較することはできないが、『そう思う (計)』は4ポイント減少し、『そう思わない (計)』は11ポイント増加している。(図5-2-2)

図5-2-2 東京は世界的な文化都市かー過去の調査結果



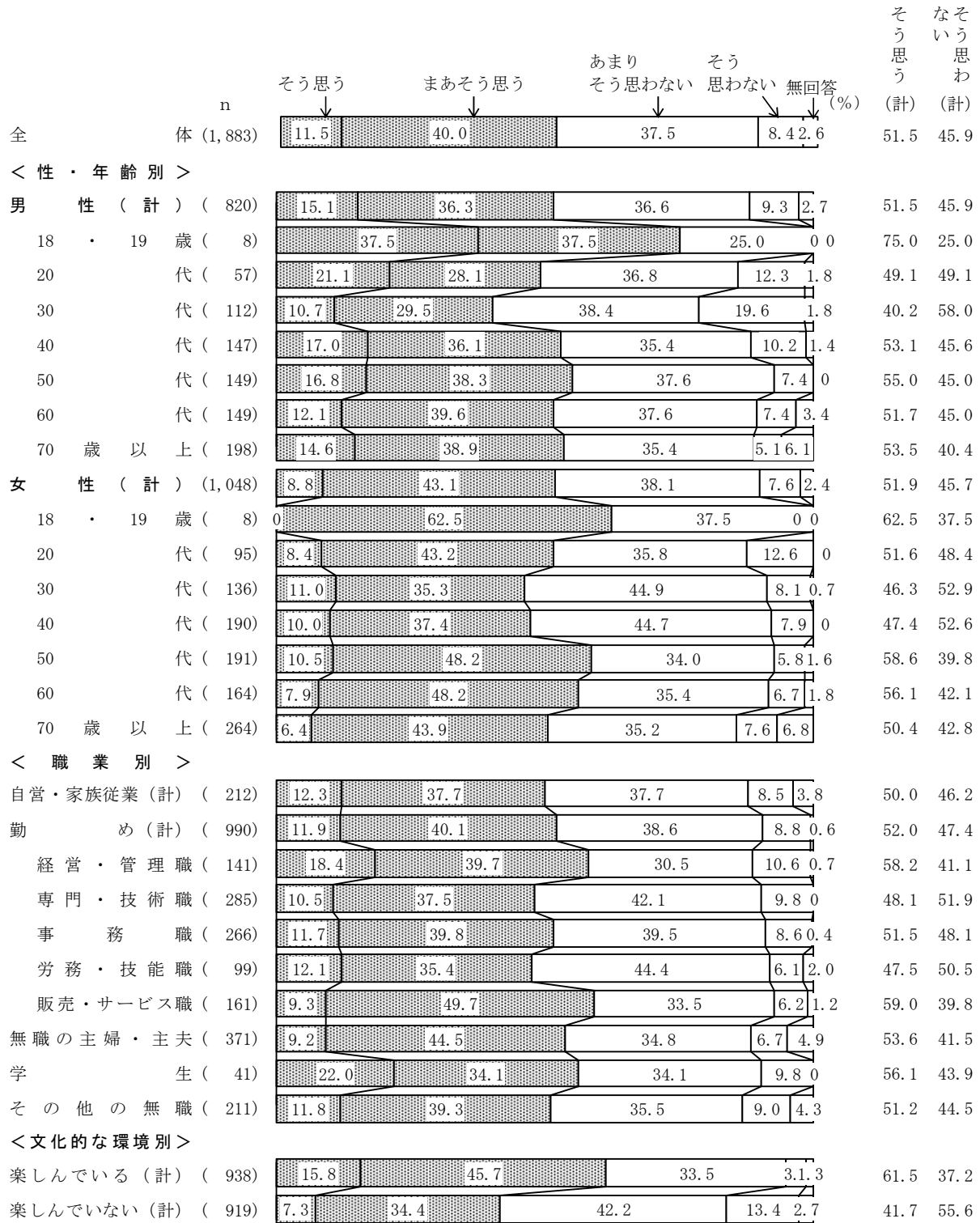
(注1) 平成29年は「文化に関する世論調査 (平成29年11月調査)」

※「わからない」は今回調査で削除

(注2) 平成29年の調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回調査は郵送法 (インターネット回答併用) で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、『そう思う (計)』は男性30代で6割近くと多くなっている。
 職業別にみると、『そう思う (計)』は販売・サービス職で6割近くと多くなっている。
 文化的な環境別でみると、『そう思う (計)』は“楽しんでいる (計)”で6割を超えて、“楽しんでいない (計)”よりも20ポイント高くなっている。(図5-2-3)

図5-2-3 東京は世界的な文化都市かー性・年齢別、職業別、文化的な環境別



(注1) 『そう思う (計)』は「そう思う」「まあそう思う」の合計
 『そう思う (計)』は「そう思う」「あまりそう思う」の合計
 (注2) 『楽しんでいる (計)』は「楽しんでいる」「まあ楽しんでいる」の合計
 『楽しんでいない (計)』は「楽しんでいない」「あまり楽しんでいない」の合計

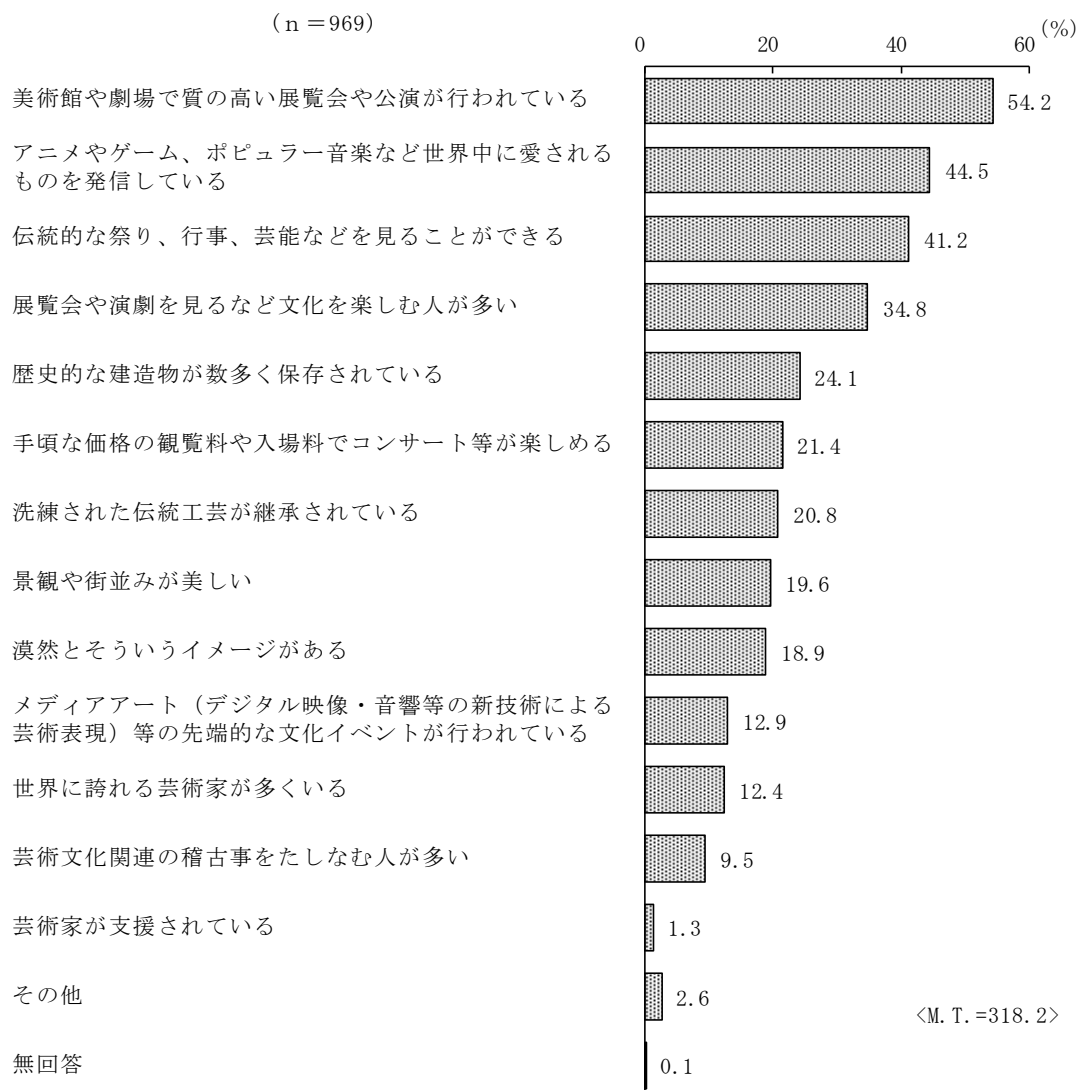
※5-3 文化都市であると思う理由

図5-3-1

(問16で「1. そう思う」「2. まあそう思う」と答えた方に)

問16-1 そう思うのはなぜですか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。

(○はいくつでも)(M. A.)

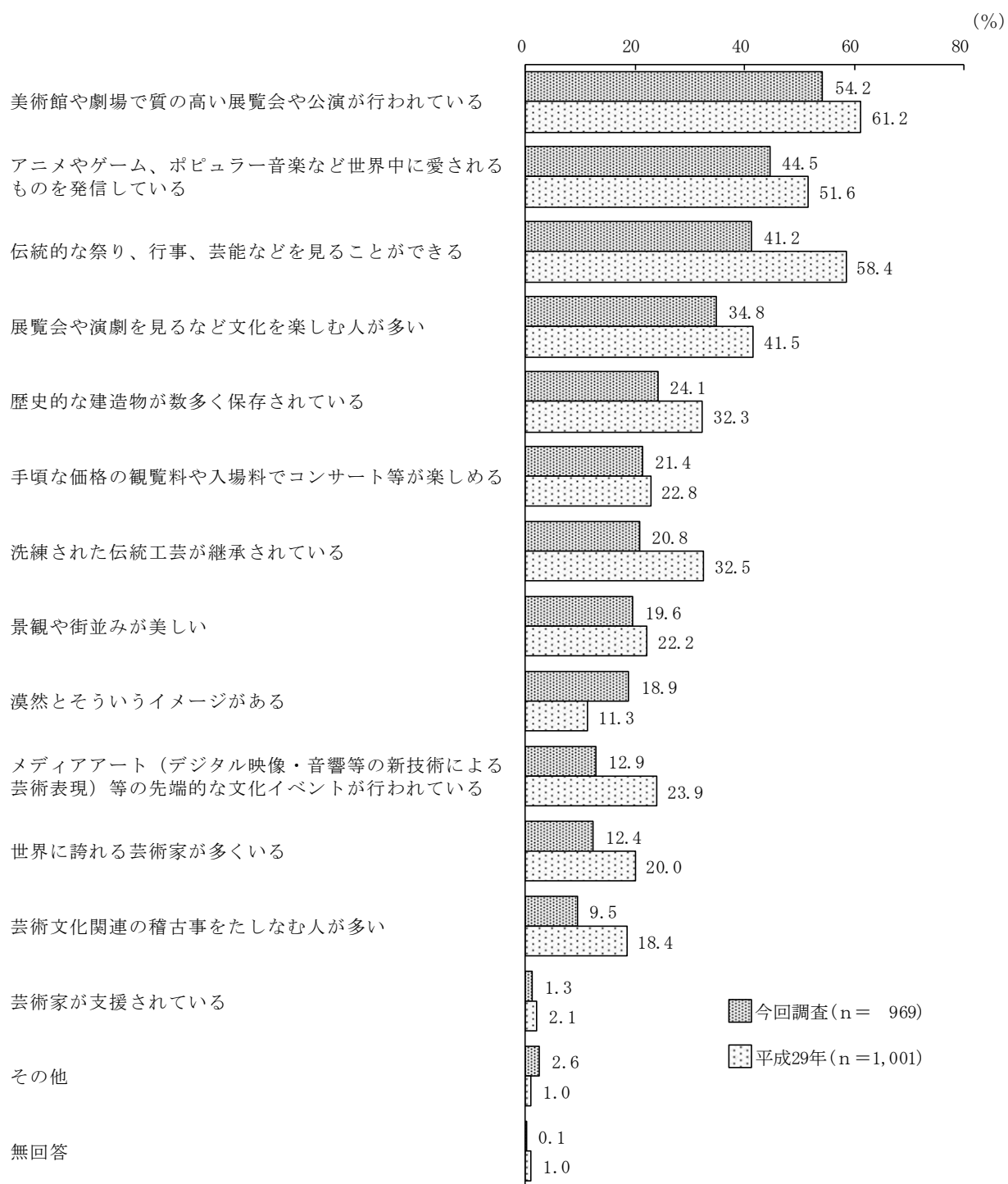


東京は世界的な文化都市だと思うと答えた人(969人)にその理由を聞いたところ、「美術館や劇場で質の高い展覧会や公演が行われている」が54%と最も多く、次いで「アニメやゲーム、ポピュラー音楽など世界中に愛されるものを発信している」45%、「伝統的な祭り、行事、芸能などを見ることができる」41%、「展覧会や演劇を見るなど文化を楽しむ人が多い」35%、「歴史的な建造物が数多く保存されている」24%などの順となっている。(図5-3-1)

今回は、調査方法が前回と異なるため、東京は文化都市であると思う理由を前回の調査結果と単純に比較することはできないが、「伝統的な祭り、行事、芸能などを見ることが出来る」は17ポイント減少している。また「洗練された伝統工芸が継承されている」は12ポイント減少している。

(図 5-3-2)

図 5-3-2 東京が文化都市であると思う理由—過去の調査結果



(注1) 平成29年は「文化に関する世論調査（平成29年11月調査）」

(注2) 平成29年の調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回調査は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、「美術館や劇場で質の高い展覧会や公演が行われている」は女性60代以上で6割半ばと多くなっている。「アニメやゲーム、ポピュラー音楽など世界中に愛されるものを発信している」は女性20代で7割近くと多くなっている。

職業別にみると、「アニメやゲーム、ポピュラー音楽など世界中に愛されるものを発信している」は販売・サービス職で約6割、専門・技術職で6割近くと多くなっている。(表5-3-1)

表5-3-1 文化都市であると思う理由－性・年齢別、職業別

		(%)																	
		n	美術 館や 劇場 で質 の高 い展 覧会 や公 演が 行わ れて いる	界中 に愛 され るも のを 発信 して いる	アニメ やゲ ーム 、ポ ピュ ラー 音楽 など 世 界中 に愛 され るも のを 発信 して いる	伝 統 的 祭 り、 行 事、 芸 能 な どを 見 るこ とが でき る	展 覧 会 や 演 劇 を 見 る な ど 文 化 を 楽 し む 人 が多 い	歴 史 的 な 建 造 物 が 数 多 く 保 存 さ れ て い る	手 頃 な 価 格 の 観 覧 料 や 入 場 料 で コ ン サ ー ト 等 が 楽 し め る	洗 練 さ れ た 伝 統 工 芸 が 継 承 さ れ て い る	景 観 や 街 並 み が 美 し い	漠 然 と そ う い う イ メ ー ジ が あ る	文 化 イ ベ ン ト が 行 わ れ て い る	メ デ イ ア ア ー ト (デ ジ タ ル 映 像 ・ 音 響 等 の 新 技 術 に よ る 芸 術 表 現) 等 の 先 端 的 な 文 化 イ ベ ン ト が 行 わ れ て い る	世 界 に 誇 れ る 芸 術 家 が 多 く い る	い 芸 術 文 化 関 連 の 稽 古 事 を た し な む 人 が 多 い	芸 術 家 が 支 援 さ れ て い る	そ の 他	無 回 答
全	体	969	54.2	44.5	41.2	34.8	24.1	21.4	20.8	19.6	18.9	12.9	12.4	9.5	1.3	2.6	0.1		
< 性・年齢別 >																			
男	性 (計)	422	52.6	43.1	42.7	35.3	25.4	22.3	17.8	20.4	19.4	12.1	10.0	11.1	1.4	4.3	0.2		
	18・19歳	6	50.0	50.0	33.3	-	33.3	33.3	-	33.3	16.7	16.7	-	-	16.7	-	-		
	20代	28	28.6	67.9	25.0	25.0	17.9	25.0	7.1	14.3	21.4	35.7	3.6	14.3	3.6	-	-		
	30代	45	44.4	62.2	46.7	26.7	28.9	20.0	4.4	15.6	8.9	13.3	8.9	17.8	-	2.2	-		
	40代	78	46.2	59.0	53.8	35.9	16.7	26.9	14.1	17.9	24.4	11.5	10.3	12.8	1.3	3.8	-		
	50代	82	61.0	36.6	37.8	41.5	25.6	19.5	15.9	22.0	22.0	7.3	6.1	11.0	1.2	6.1	-		
	60代	77	55.8	37.7	40.3	42.9	20.8	20.8	19.5	18.2	19.5	14.3	7.8	9.1	-	2.6	-		
	70歳以上	106	58.5	25.5	43.4	33.0	34.9	21.7	30.2	25.5	17.9	7.5	17.0	8.5	1.9	6.6	0.9		
女	性 (計)	544	55.5	45.6	40.1	34.6	23.2	20.8	23.2	18.9	18.6	13.6	14.2	8.3	1.3	1.3	-		
	18・19歳	5	20.0	60.0	40.0	20.0	-	20.0	20.0	-	20.0	20.0	20.0	-	-	-	-		
	20代	49	34.7	69.4	32.7	14.3	16.3	12.2	20.4	16.3	14.3	18.4	10.2	4.1	4.1	-	-		
	30代	63	39.7	63.5	49.2	31.7	25.4	22.2	19.0	11.1	19.0	22.2	20.6	7.9	-	-	-		
	40代	90	46.7	56.7	45.6	33.3	16.7	24.4	18.9	22.2	14.4	20.0	12.2	8.9	2.2	1.1	-		
	50代	112	60.7	47.3	37.5	33.9	24.1	17.9	18.8	21.4	19.6	13.4	10.7	7.1	0.9	1.8	-		
	60代	92	66.3	40.2	34.8	45.7	21.7	21.7	26.1	17.4	19.6	13.0	19.6	7.6	1.1	1.1	-		
	70歳以上	133	66.2	22.6	40.6	37.6	30.1	22.6	30.8	21.1	21.1	3.8	12.8	11.3	0.8	2.3	-		
< 職業別 >																			
自	営・家族 従業 (計)	106	53.8	35.8	36.8	34.9	31.1	14.2	26.4	17.9	16.0	10.4	11.3	13.2	1.9	2.8	-		
勤	め (計)	515	51.1	53.6	43.3	36.1	21.4	23.3	17.9	18.1	18.1	15.0	11.1	9.5	1.2	2.3	-		
	経営・管理職	82	53.7	46.3	43.9	37.8	22.0	22.0	9.8	30.5	18.3	9.8	9.8	11.0	-	2.4	-		
	専門・技術職	137	54.7	58.4	44.5	32.8	20.4	23.4	15.3	15.3	15.3	19.7	12.4	10.9	1.5	1.5	-		
	事務職	137	45.3	52.6	49.6	33.6	21.9	24.1	16.8	13.1	17.5	11.7	10.2	8.8	-	1.5	-		
	労務・技能職	47	55.3	46.8	40.4	40.4	25.5	25.5	36.2	19.1	25.5	12.8	17.0	8.5	2.1	6.4	-		
	販売・サービス職	95	51.6	60.0	32.6	40.0	22.1	22.1	18.9	20.0	20.0	16.8	10.5	7.4	2.1	2.1	-		
無	職の主婦・主夫	199	60.8	34.2	39.7	34.7	27.6	20.6	24.1	19.6	22.1	9.5	16.1	9.5	1.0	2.5	-		
学	生	23	26.1	56.5	26.1	17.4	26.1	21.7	8.7	21.7	13.0	17.4	8.7	4.3	4.3	-	-		
そ	の他の無職	108	63.0	30.6	39.8	34.3	21.3	19.4	25.0	25.9	22.2	13.0	14.8	8.3	1.9	3.7	0.9		

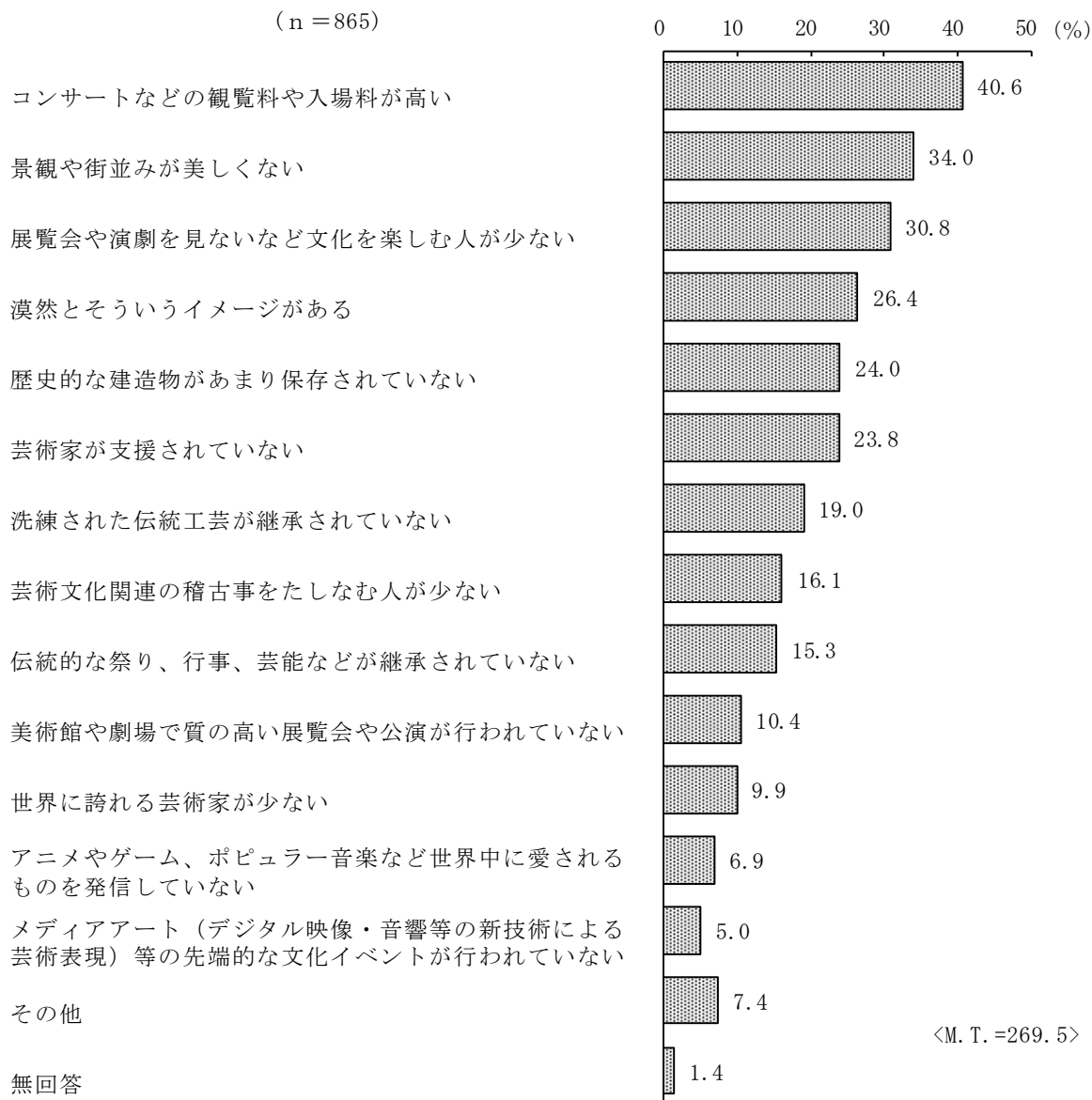
※5-4 文化都市であると思わない理由

図5-4-1

(問16で「3. あまりそう思わない」「4. そう思わない」と答えた方に)

問16-2 そう思わないのはなぜですか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。

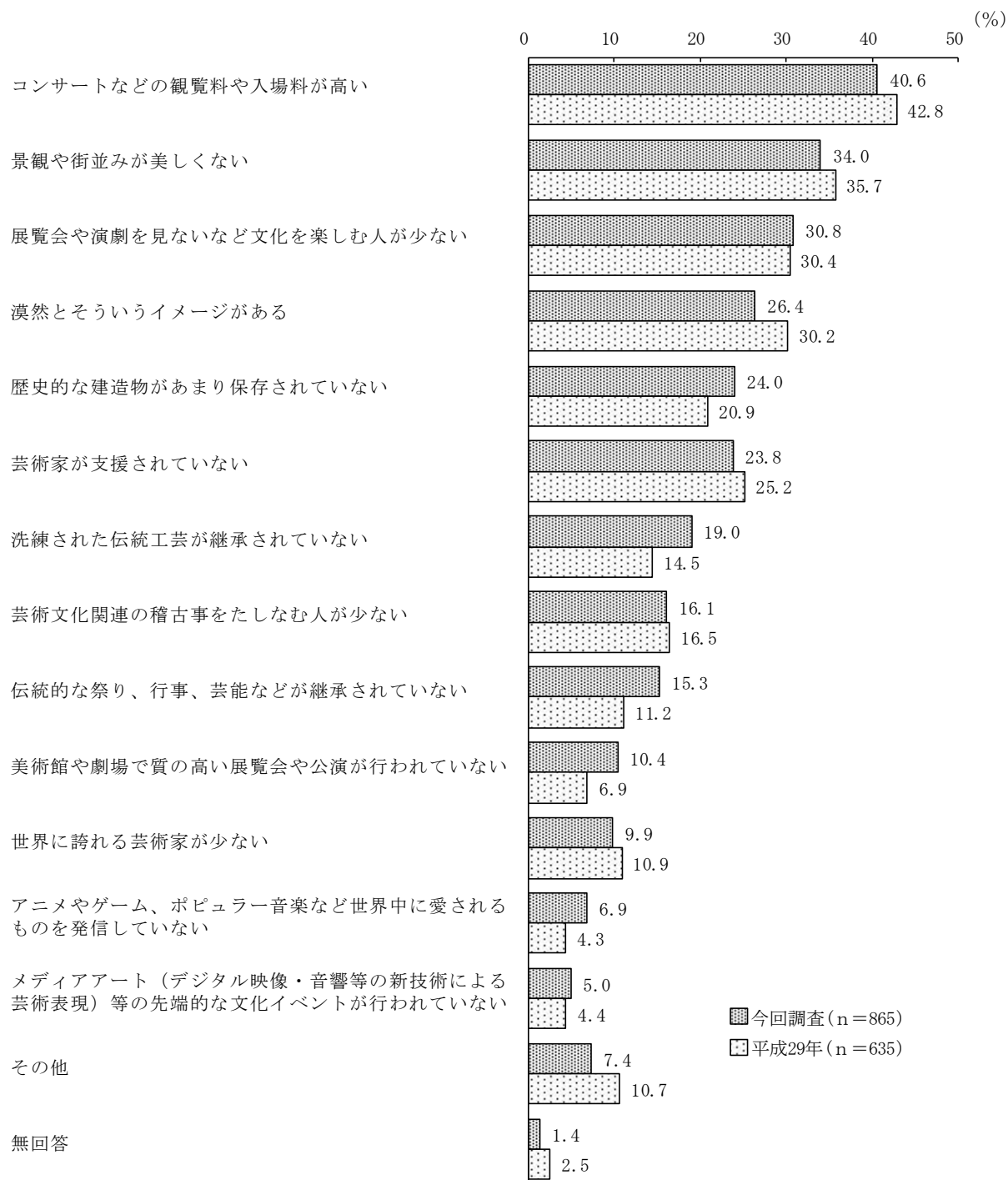
(○はいくつでも)(M. A.)



東京は世界的な文化都市だと思わないと答えた人(865人)にその理由を聞いたところ、「コンサートなどの観覧料や入場料が高い」が41%と最も多く、次いで「景観や街並みが美しくない」34%、「展覧会や演劇を見ないなど文化を楽しむ人が少ない」31%、「漠然とそういうイメージがある」26%、「歴史的な建造物があまり保存されていない」24%などの順となっている。(図5-4-1)

今回は、調査方法が前回と異なるため、東京は文化都市であると思わない理由を前回の調査結果と単純に比較することはできないが、「洗練された伝統工芸が継承されていない」は5ポイント増加している。一方「漠然とそういうイメージがある」は4ポイント減少している。(図5-4-2)

図5-4-2 東京が文化都市であると思わない理由—過去の調査結果



(注1) 平成29年は「文化に関する世論調査（平成29年11月調査）」

(注2) 平成29年の調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回調査は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、「コンサートなどの観覧料や入場料が高い」は女性で4割半ばと、男性よりも13ポイント高く、女性50代で6割近くと多くなっている。

職業別にみると、「景観や街並みが美しくない」は経営・管理職で約5割と多く、「歴史的な建造物があまり保存されていない」は経営・管理職で約4割と多くなっている。(表5-4-1)

表5-4-1 文化都市であると思わない理由－性・年齢別、職業別

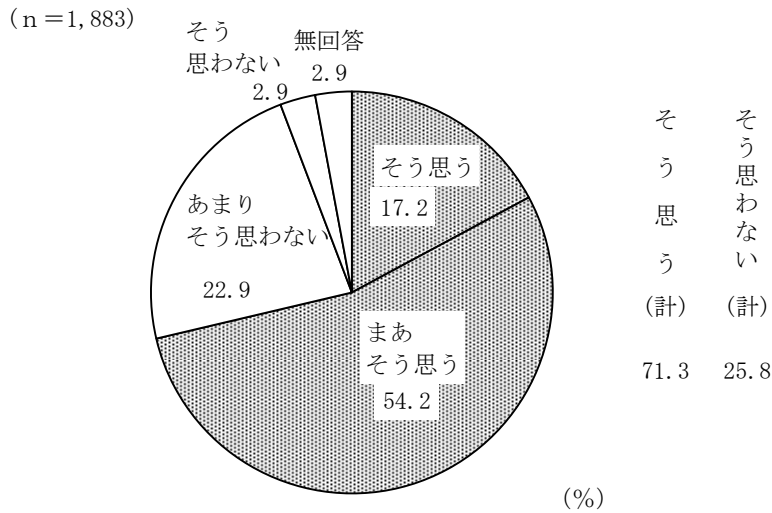
		n	コンサートなどの観覧料や入場料が高い	景観や街並みが美しくない	人が少ない	展覧会や演劇を見ないなど文化を楽しむ	漠然とそういうイメージがある	歴史的な建造物があまり保存されていない	芸術家が支援されていない	洗練された伝統工芸が継承されていない	芸術文化関連の稽古事をたしなむ人が少ない	伝統的な祭り、行事、芸能などが継承されていない	美術館や劇場で質の高い展覧会や公演が行われていない	世界に誇れる芸術家が少ない	界中に愛されるものを発信していない	アニメやゲーム、ポピュラー音楽など世	文化イベントが行われていない	の新技术による芸術表現等の先端的な	メディアアート(デジタル映像・音響等)	その他	無回答
全	体	865	40.6	34.0	30.8	26.4	24.0	23.8	19.0	16.1	15.3	10.4	9.9	6.9	5.0	7.4	1.4				
< 性・年齢別 >																					
男	性 (計)	376	33.5	38.3	32.2	26.1	28.7	21.5	17.6	17.0	19.4	12.2	11.7	7.7	5.3	9.0	0.5				
18	・ 19 歳	2	50.0	-	-	50.0	50.0	-	-	50.0	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-				
20	代	28	14.3	10.7	35.7	39.3	21.4	28.6	17.9	14.3	10.7	3.6	14.3	7.1	3.6	10.7	-				
30	代	65	21.5	44.6	35.4	29.2	32.3	21.5	13.8	21.5	18.5	13.8	16.9	9.2	7.7	7.7	-				
40	代	67	35.8	38.8	35.8	25.4	28.4	22.4	17.9	16.4	17.9	13.4	11.9	14.9	9.0	7.5	-				
50	代	67	37.3	46.3	28.4	19.4	34.3	17.9	23.9	17.9	23.9	13.4	9.0	9.0	3.0	13.4	-				
60	代	67	20.9	38.8	34.3	23.9	25.4	28.4	16.4	19.4	20.9	10.4	11.9	4.5	6.0	6.0	1.5				
70	歳以上	80	55.0	36.3	27.5	26.3	26.3	16.3	16.3	11.3	18.8	12.5	8.8	1.3	2.5	10.0	1.3				
女	性 (計)	479	46.3	30.7	29.2	26.7	20.7	25.7	20.0	15.4	12.1	9.0	8.1	6.5	4.8	6.3	1.9				
18	・ 19 歳	3	-	33.3	66.7	33.3	-	66.7	-	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-				
20	代	46	28.3	39.1	47.8	34.8	13.0	37.0	13.0	21.7	17.4	13.0	10.9	15.2	4.3	2.2	-				
30	代	72	43.1	31.9	40.3	29.2	15.3	26.4	16.7	18.1	12.5	6.9	4.2	9.7	9.7	4.2	-				
40	代	100	40.0	33.0	30.0	32.0	18.0	28.0	18.0	19.0	12.0	7.0	9.0	5.0	2.0	7.0	-				
50	代	76	57.9	32.9	21.1	23.7	23.7	25.0	26.3	10.5	11.8	9.2	11.8	6.6	6.6	10.5	-				
60	代	69	55.1	39.1	17.4	21.7	23.2	26.1	26.1	11.6	8.7	11.6	10.1	5.8	5.8	11.6	-				
70	歳以上	113	49.6	17.7	25.7	22.1	26.5	17.7	19.5	13.3	12.4	8.8	5.3	1.8	2.7	2.7	8.0				
< 職業別 >																					
自	営・家族従業 (計)	98	32.7	23.5	27.6	28.6	17.3	32.7	17.3	19.4	9.2	14.3	15.3	7.1	9.2	12.2	-				
勤	め (計)	469	39.9	38.2	34.8	24.5	26.4	25.2	19.0	17.9	18.1	10.0	10.9	8.5	5.8	7.0	-				
経	営・管理職	58	32.8	50.0	41.4	17.2	39.7	29.3	20.7	17.2	31.0	15.5	10.3	15.5	5.2	6.9	-				
専	門・技術職	148	38.5	31.8	36.5	25.0	29.7	29.1	23.0	20.9	17.6	12.2	13.5	12.8	9.5	5.4	-				
事	務職	128	41.4	37.5	28.1	27.3	24.2	25.0	15.6	16.4	15.6	6.3	10.2	2.3	3.9	10.2	-				
労	務・技能職	50	42.0	44.0	38.0	26.0	18.0	26.0	22.0	16.0	24.0	10.0	4.0	8.0	2.0	4.0	-				
販	売・サービス職	64	46.9	45.3	39.1	23.4	23.4	18.8	15.6	20.3	12.5	9.4	10.9	6.3	4.7	3.1	-				
無	職の主婦・主夫	154	45.5	30.5	28.6	29.2	22.7	17.5	22.7	13.6	11.0	10.4	7.1	4.5	2.6	3.9	2.6				
学	生の無職	18	33.3	50.0	50.0	33.3	27.8	55.6	22.2	22.2	27.8	11.1	11.1	11.1	-	5.6	-				
そ	の他の無職	94	44.7	30.9	16.0	29.8	21.3	17.0	13.8	6.4	9.6	7.4	5.3	3.2	2.1	10.6	4.3				

※5-5 海外発信

図5-5-1

(全員の方に)

問17 歌舞伎などの伝統文化からアニメなどの現代文化まで、幅広く楽しめる日本の芸術文化の魅力は、海外に発信されていると思いますか。(〇は1つ)

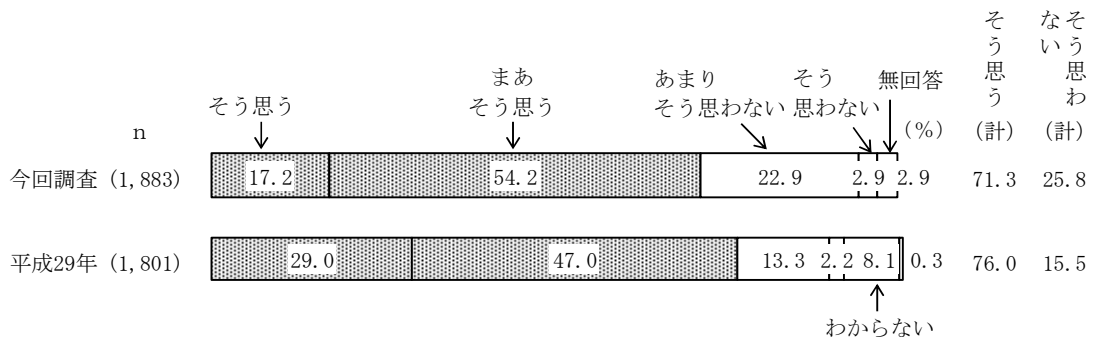


(注) 『そう思う (計)』は「そう思う」「まあそう思う」の合計
『そう思わない (計)』は「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計

歌舞伎などの伝統文化からアニメなどの現代文化まで、幅広く楽しめる日本の芸術文化の魅力は、海外に発信されていると思うか聞いたところ、『そう思う (計)』は71%、『そう思わない (計)』は26%となっている。(図5-5-1)

今回は、調査方法が前回と異なるため、日本の芸術文化の魅力が海外発信されているかを前回の調査結果と単純に比較することはできないが、『そう思う (計)』が5ポイントの減少、『そう思わない (計)』が10ポイントの増加となっている。(図5-5-2)

図5-5-2 海外発信—過去の調査結果



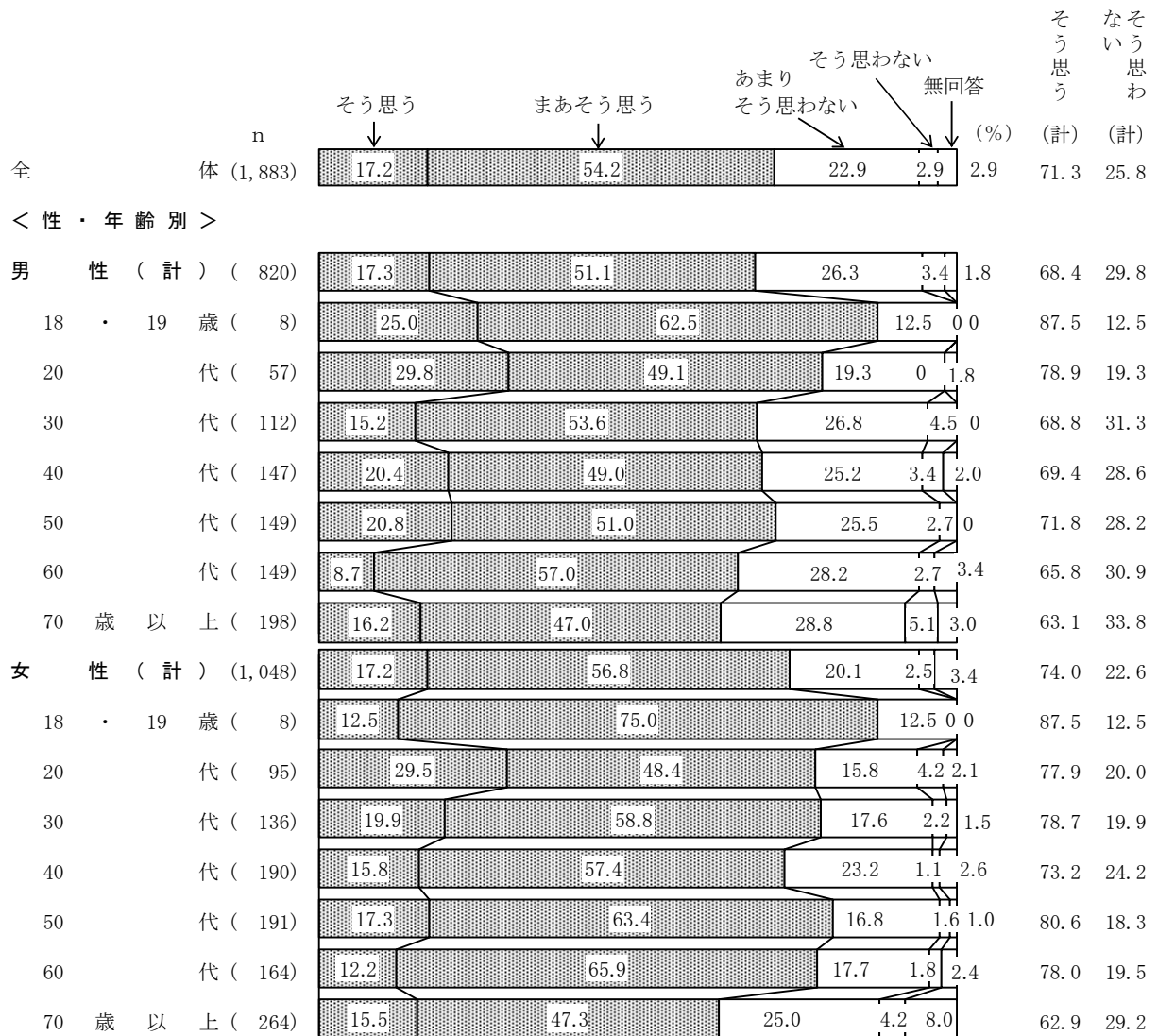
(注1) 平成29年は「文化に関する世論調査 (平成29年11月調査)」

※「わからない」は今回調査で削除

(注2) 平成29年の調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回調査は郵送法 (インターネット回答併用) で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、『そう思う（計）』は女性で7割半ばと、男性よりも6ポイント高く、女性50代で8割を超えて多くなっている。（図5-5-3）

図5-5-3 海外発信一性・年齢別



(注) 『そう思う (計)』は「そう思う」「まあそう思う」の合計
『そう思わない (計)』は「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計

6 都民の文化活動

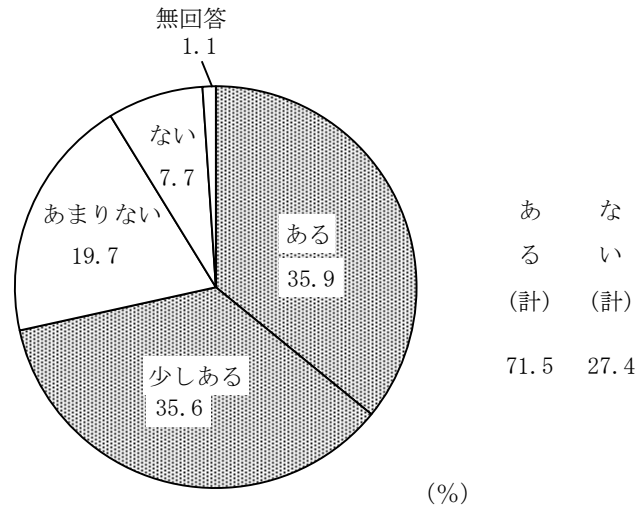
※6-1 文化鑑賞・文化イベント参加への興味・関心

図6-1-1

(全員の方に)

問18 あなたは、芸術や文化を鑑賞したり、文化イベントに参加したりすることに興味・関心がありますか。(○は1つ)

(n=1,883)

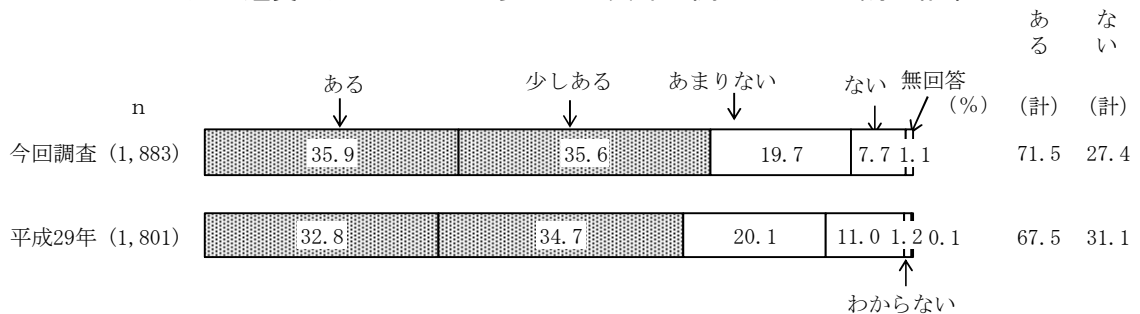


(注) 『ある (計)』は「ある」「少しある」の合計
『ない (計)』は「ない」「あまりない」の合計

芸術や文化を鑑賞したり、文化イベントに参加したりすることに興味・関心があるか聞いたところ、『ある (計)』は72%、『ない (計)』は27%となっている。(図6-1-1)

今回は、調査方法が前回と異なるため、文化鑑賞・文化イベント参加への興味・関心を前回の調査結果と単純に比較することはできないが、『ある (計)』が4ポイントの増加、『ない (計)』が4ポイントの減少となっている。(図6-1-2)

図6-1-2 文化鑑賞・文化イベント参加への興味・関心—過去の調査結果



(注1) 平成29年は「文化に関する世論調査 (平成29年11月調査)」

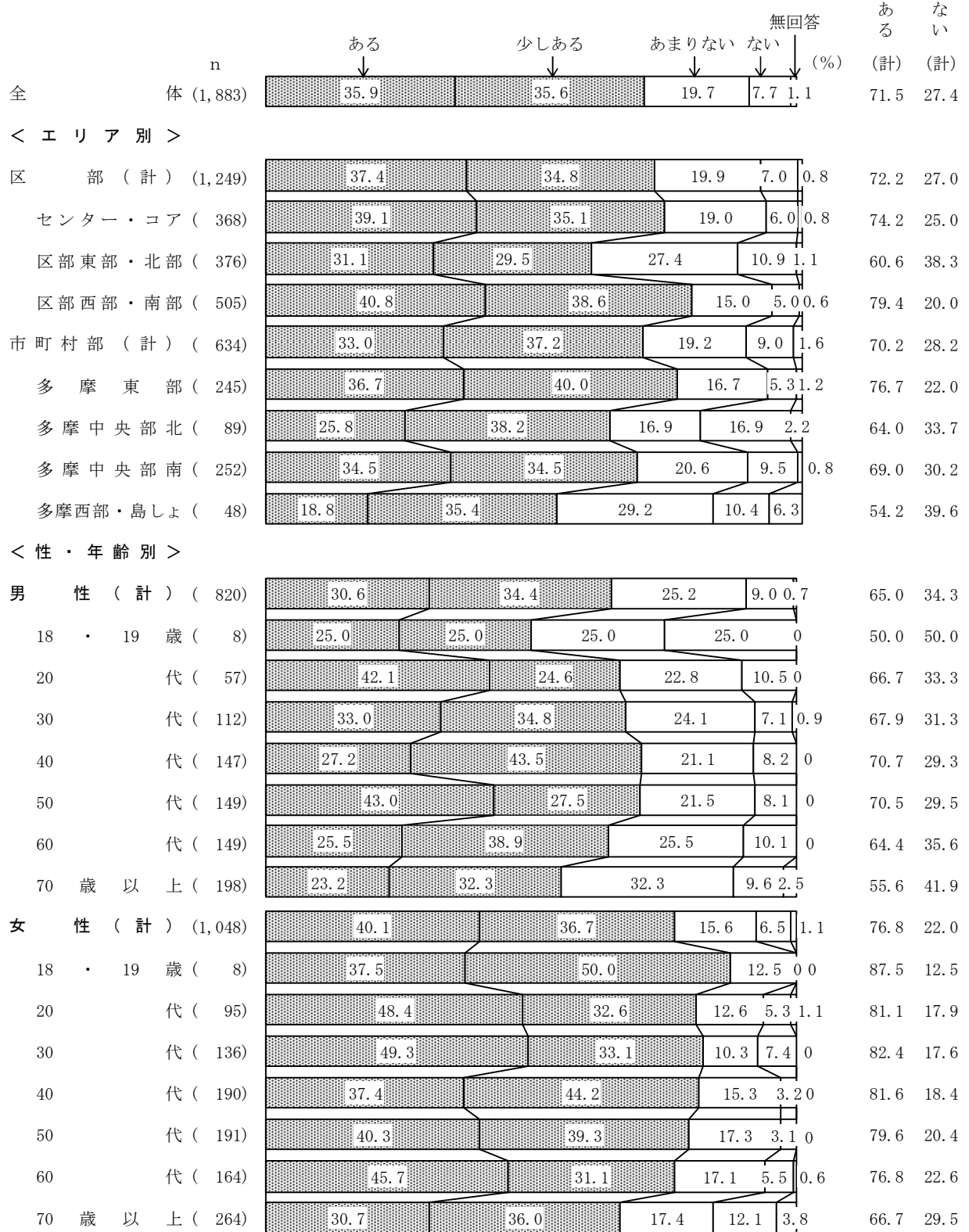
※「わからない」は今回調査で削除

(注2) 平成29年の調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回調査は郵送法 (インターネット回答併用) で実施したため留意が必要

エリア別にみると、『ある（計）』は区部西部・南部で8割近くと多くなっている。

性・年齢別にみると、『ある（計）』は女性で8割近くと、男性よりも12ポイント高く、女性20代から40代で8割を超え、女性50代で約8割と多くなっている。（図6-1-3）

図6-1-3 文化鑑賞・文化イベント参加への興味・関心—エリア別、性・年齢別



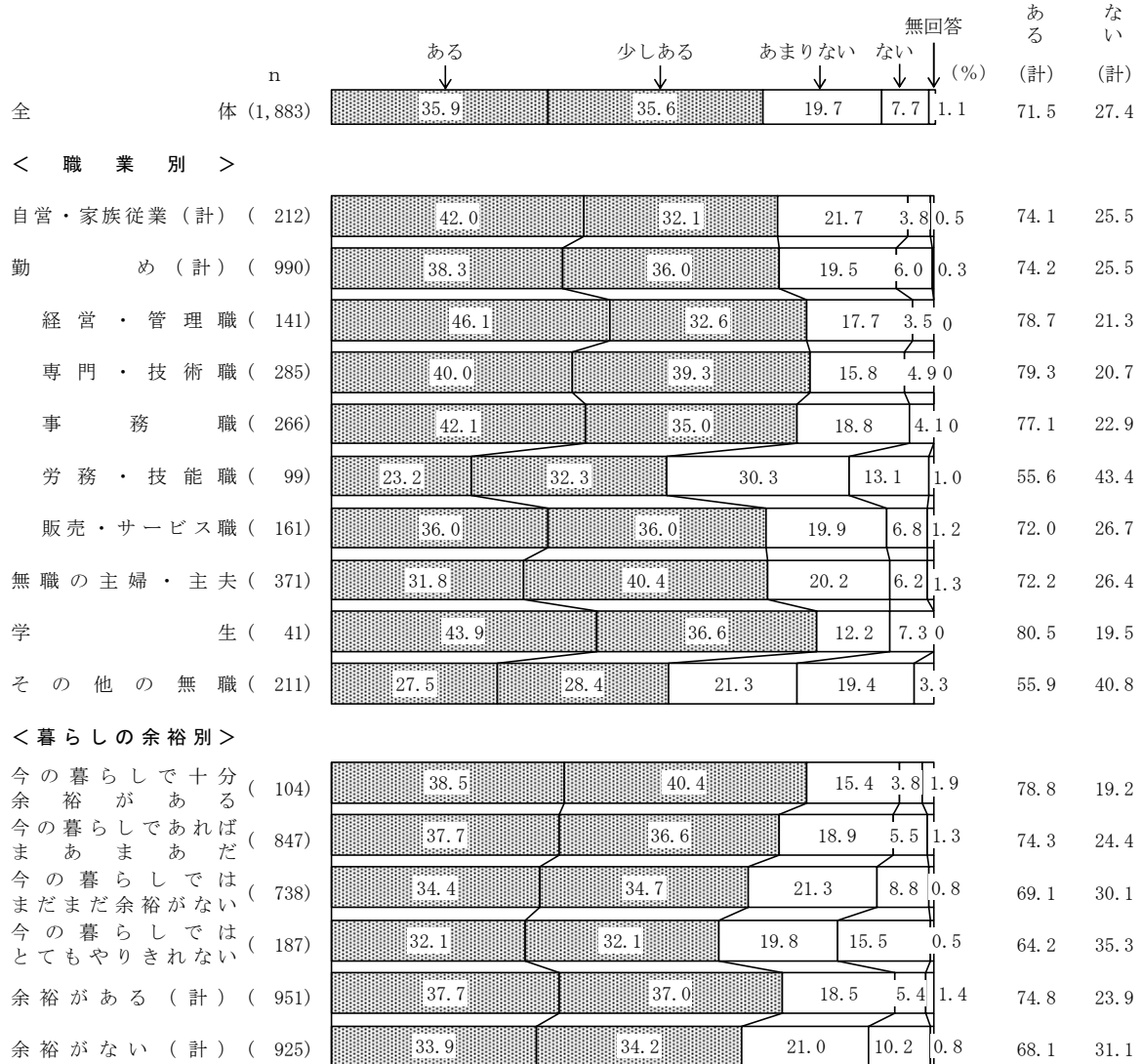
(注) 『ある（計）』は「ある」「少しある」の合計
『ない（計）』は「ない」「あまりない」の合計

職業別にみると、『ある（計）』は経営・管理職、専門・技術職で8割近くと多くなっている。

暮らしの余裕別にみると、『ある（計）』は“余裕がある（計）”で7割半ばと、“余裕がない（計）”よりも7ポイント高くなっている。一方、『ない（計）』は“余裕がない（計）”で3割を超え、“余裕がある（計）”よりも7ポイント高くなっている。

(図6-1-4)

図6-1-4 文化鑑賞・文化イベント参加への興味・関心－職業別、暮らしの余裕別



(注1) 『ある（計）』は「ある」「少しある」の合計

『ない（計）』は「ない」「あまりない」の合計

(注2) 『余裕がある（計）』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計

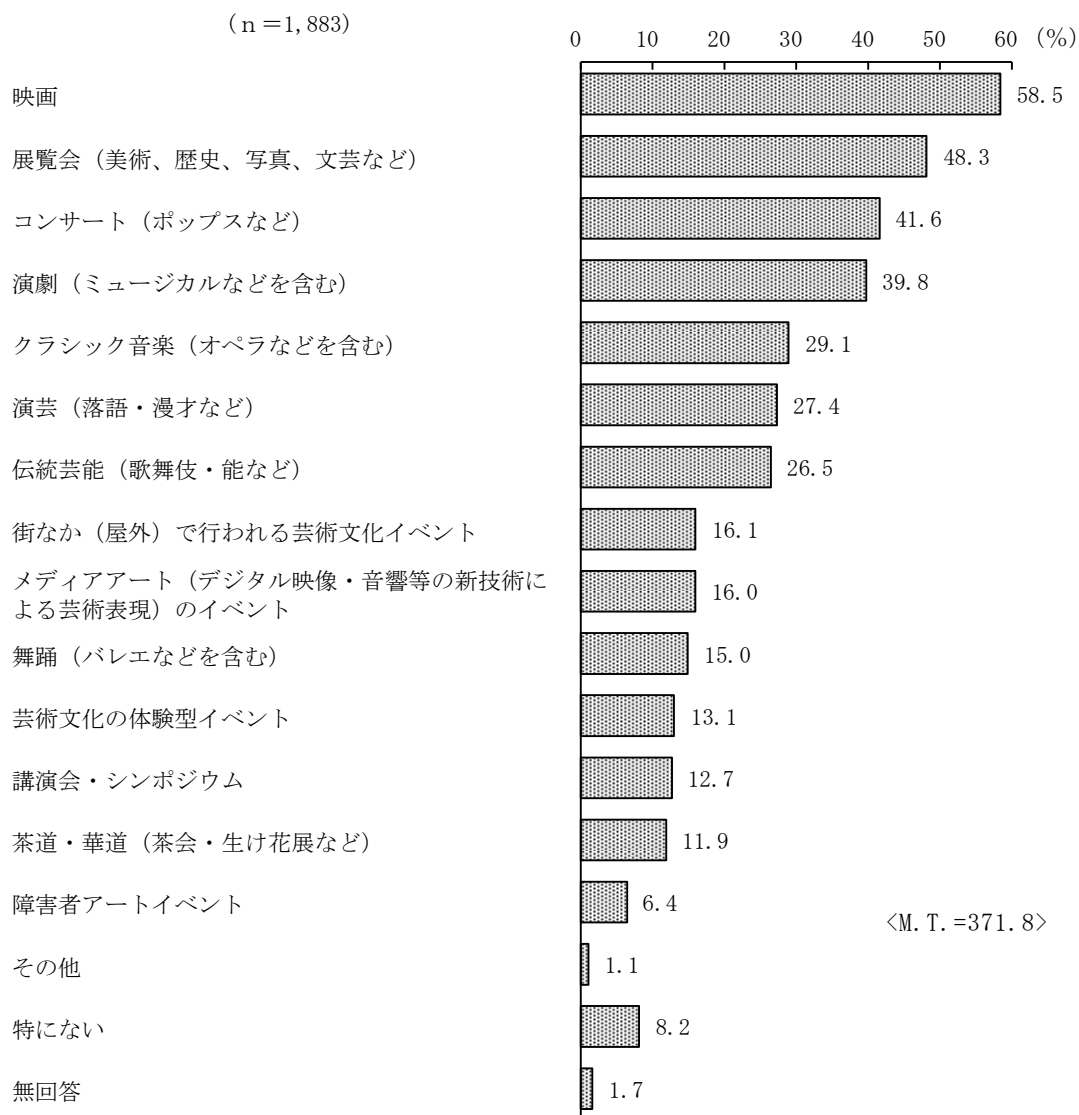
『余裕がない（計）』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

6-2 文化鑑賞・文化イベント参加への意向

図6-2-1

(全員の方に)

問19 あなたは、どのような芸術や文化を鑑賞したり、文化イベントに参加したりしたいですか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください（習い事等ご自身が主体となった活動は含みません）。（〇はいくつでも）（M. A.）



どのような芸術や文化を鑑賞したり、文化イベントに参加したりしたいか聞いたところ、「映画」が59%と最も多く、次いで「展覧会 (美術、歴史、写真、文芸など)」48%、「コンサート (ポップスなど)」42%、「演劇 (ミュージカルなどを含む)」40%、「クラシック音楽 (オペラなどを含む)」29%などの順となっている。(図6-2-1)

エリア別にみると、「映画」はセンターコアで6割半ばと多くなっている。「展覧会（美術、歴史、写真、文芸など）」は区部西部・南部で5割半ばと多くなっている。

性・年齢別にみると、「映画」は女性で6割を超え、男性よりも5ポイント高く、女性20代、30代で7割半ばと多くなっている。「展覧会（美術、歴史、写真、文芸など）」は女性で5割を超え、男性よりも7ポイント高くなっている。（表6-2-1）

表6-2-1 文化鑑賞・文化イベント参加への意向－エリア別、性・年齢別

		(%)																	
		n	映画	展覧会（美術、歴史、写真、文芸など）	コンサート（ポップスなど）	演劇（ミュージカルなどを含む）	クラシック音楽（オペラなどを含む）	演芸（落語・漫才など）	伝統芸能（歌舞伎・能など）	ストリート（屋外）で行われる芸術文化イベント	メディアアート（デジタル映像・音響等の新技術による芸術表現）のイベント	舞踊（バレエなどを含む）	芸術文化の体験型イベント	講演会・シンポジウム	茶道・華道（茶会・生け花展など）	障害者アートイベント	その他	特にない	無回答
全	体	1,883	58.5	48.3	41.6	39.8	29.1	27.4	26.5	16.1	16.0	15.0	13.1	12.7	11.9	6.4	1.1	8.2	1.7
< エリア別 >																			
区	部（計）	1,249	60.2	48.8	42.0	41.6	30.3	27.9	27.2	16.7	16.8	16.2	14.4	12.1	12.9	6.3	0.9	7.8	1.6
	センター・コア	368	63.6	47.8	43.2	41.8	32.9	28.8	29.3	21.2	17.4	17.7	15.2	11.7	12.0	6.5	0.8	7.1	1.1
	区部東部・北部	376	55.1	41.8	35.9	35.1	24.5	26.6	20.7	14.4	13.0	12.0	10.9	10.4	11.2	7.4	1.3	12.0	2.9
	区部西部・南部	505	61.6	54.7	45.5	46.3	32.9	28.1	30.5	15.2	19.2	18.2	16.4	13.7	14.9	5.3	0.6	5.1	1.0
市	町村部（計）	634	55.2	47.3	41.0	36.1	26.7	26.5	25.1	14.8	14.4	12.8	10.6	13.9	10.1	6.6	1.4	9.1	1.9
	多摩東部	245	56.3	53.1	43.7	36.7	31.8	30.2	26.5	18.0	18.4	14.3	12.2	14.3	12.7	6.9	0.8	7.3	1.6
	多摩中央部北	89	55.1	36.0	34.8	29.2	23.6	27.0	19.1	11.2	10.1	5.6	5.6	15.7	5.6	6.7	3.4	13.5	2.2
	多摩中央部南	252	56.7	46.8	42.1	37.3	24.6	24.6	25.8	12.7	13.9	14.3	11.1	13.1	9.9	7.1	1.6	8.7	1.2
	多摩西部・島しょ	48	41.7	41.7	33.3	39.6	16.7	16.7	25.0	16.7	4.2	10.4	8.3	12.5	6.3	2.1	-	12.5	6.3
< 性・年齢別 >																			
男	性（計）	820	56.0	44.5	38.3	28.7	25.2	32.9	20.7	16.5	16.7	8.3	11.5	13.2	7.3	4.8	1.1	11.0	1.3
	18・19歳	8	87.5	37.5	37.5	25.0	37.5	50.0	37.5	25.0	-	12.5	-	12.5	12.5	-	-	12.5	-
	20代	57	70.2	31.6	47.4	36.8	22.8	17.5	10.5	15.8	33.3	3.5	15.8	7.0	3.5	7.0	1.8	10.5	-
	30代	112	56.3	44.6	43.8	27.7	29.5	30.4	23.2	17.9	24.1	8.0	17.0	8.9	10.7	4.5	0.9	8.0	0.9
	40代	147	61.9	46.9	49.7	40.1	25.9	34.7	25.2	23.8	23.8	9.5	17.7	9.5	9.5	6.1	0.7	5.4	0.7
	50代	149	60.4	44.3	45.0	30.2	30.9	36.2	23.5	18.8	18.1	14.8	15.4	15.4	12.8	4.0	2.0	11.4	-
	60代	149	57.0	46.3	39.6	25.5	23.5	31.5	17.4	12.8	12.1	6.0	8.7	18.1	2.7	5.4	0.7	12.1	1.3
	70歳以上	198	41.9	45.5	18.2	19.7	19.7	35.4	18.7	11.1	5.6	5.6	2.0	14.6	4.0	3.5	1.0	15.7	3.5
女	性（計）	1,048	60.8	51.3	44.4	48.7	32.1	23.0	30.9	15.7	15.6	20.2	14.5	12.2	15.6	7.7	1.0	6.0	2.0
	18・19歳	8	100.0	62.5	62.5	37.5	12.5	25.0	12.5	-	12.5	25.0	12.5	12.5	37.5	-	-	-	-
	20代	95	73.7	49.5	56.8	63.2	25.3	22.1	20.0	15.8	26.3	17.9	27.4	4.2	16.8	3.2	-	2.1	-
	30代	136	75.0	55.9	58.1	61.8	30.1	28.7	30.9	28.7	26.5	17.6	26.5	8.8	22.8	9.6	-	3.7	0.7
	40代	190	63.7	48.9	60.0	50.0	36.3	22.1	29.5	22.6	24.2	23.2	20.5	10.5	15.3	10.5	1.1	1.6	0.5
	50代	191	65.4	56.0	52.9	54.5	33.5	21.5	31.4	14.1	13.6	22.0	16.2	14.7	15.7	9.9	1.6	4.7	-
	60代	164	61.0	56.7	40.2	53.7	33.5	21.3	33.5	12.8	12.2	24.4	7.9	17.1	11.6	5.5	1.8	4.3	0.6
	70歳以上	264	42.0	44.3	17.4	28.8	31.1	23.1	34.5	7.6	3.4	16.3	2.3	13.3	13.3	6.4	1.1	14.0	6.8

職業別にみると、「映画」は専門・技術職で約7割、販売・サービス職で7割近くと多くなっている。「展覧会（美術、歴史、写真、文芸など）」は経営・管理職で6割近く、専門・技術職、無職の主婦・主夫で5割半ばと多くなっている。

インターネット利用状況別にみると、「コンサート（ポップスなど）」は“利用している（計）”で5割近くと、“利用していない（計）”よりも28ポイント高くなっている。

SNS利用状況別にみると、「特にない」と「その他」を除くすべての項目で“利用している（計）”が“利用していない（計）”より高くなっている。（表6-2-2）

表6-2-2 文化鑑賞・文化イベント参加への意向－職業別、インターネット利用状況別、SNS利用状況別

	n	映画	展覧会（美術、歴史、写真、文芸など）	コンサート（ポップスなど）	演劇（ミュージカルなどを含む）	クラシック音楽（オペラなどを含む）	演芸（落語・漫才など）	伝統芸能（歌舞伎・能など）	街なか（屋外）で行われる芸術文化イベント	メデアアート（デジタル映像・音響等の新技術による芸術表現）のイベント	舞踊（バレエなどを含む）	芸術文化の体験型イベント	講演会・シンポジウム	茶道・華道（茶会・生け花展など）	障害者アートイベント	その他	特にない	無回答	
全体	1,883	58.5	48.3	41.6	39.8	29.1	27.4	26.5	16.1	16.0	15.0	13.1	12.7	11.9	6.4	1.1	8.2	1.7	
< 職業別 >																			
自営・家族従業（計）	212	58.0	48.6	40.1	32.5	29.2	30.2	23.1	16.0	18.9	13.2	14.6	14.6	9.4	6.6	-	8.0	1.9	
勤め（計）	990	64.9	48.9	51.7	45.1	28.9	27.7	26.8	19.2	19.9	14.9	16.5	12.4	13.0	6.2	1.2	5.8	0.4	
経営・管理職	141	61.0	58.2	48.2	36.9	38.3	34.8	28.4	29.8	24.1	16.3	19.9	20.6	16.3	4.3	2.1	4.3	-	
専門・技術職	285	69.5	54.7	54.0	51.2	29.8	23.2	28.4	21.1	21.4	16.1	20.4	11.2	13.0	9.1	1.1	2.8	-	
事務職	266	65.8	48.9	56.4	49.2	31.6	30.5	30.1	16.9	19.9	18.8	16.2	11.7	14.3	5.6	1.5	4.9	-	
労務・技能職	99	58.6	38.4	37.4	29.3	16.2	33.3	19.2	15.2	12.1	9.1	9.1	13.1	11.1	4.0	1.0	14.1	3.0	
販売・サービス職	161	68.3	42.9	55.9	49.1	26.7	21.7	23.6	13.7	19.3	10.6	13.0	10.6	9.9	5.6	0.6	6.2	0.6	
無職の主婦・主夫	371	53.1	54.4	29.9	41.2	33.7	26.4	29.9	11.3	9.7	19.4	7.5	12.4	11.6	7.8	1.3	7.8	2.4	
学生	41	73.2	41.5	41.5	36.6	29.3	24.4	12.2	7.3	19.5	12.2	14.6	9.8	14.6	4.9	-	4.9	-	
その他の無職	211	43.1	37.4	20.4	24.2	25.6	26.5	23.2	12.8	8.1	11.4	7.6	15.6	8.5	5.7	1.4	19.4	3.3	
< インターネット利用状況別 >																			
よく利用している	1,207	65.8	51.8	51.2	46.0	31.8	27.5	26.3	19.6	21.9	16.7	17.9	13.3	13.0	6.8	1.2	4.7	0.2	
ときどき利用している	237	52.3	49.8	33.3	41.8	27.0	25.7	30.8	10.5	8.0	12.2	7.6	14.8	8.4	5.1	0.4	7.6	2.1	
あまり利用していない	122	52.5	46.7	30.3	30.3	30.3	30.3	32.8	12.3	6.6	13.9	5.7	8.2	11.5	5.7	0.8	9.0	0.8	
利用していない	310	38.4	34.5	16.1	18.4	20.3	27.1	21.6	8.4	3.2	11.3	1.9	11.0	11.0	6.5	1.3	21.6	7.4	
利用している（計）	1,444	63.6	51.5	48.3	45.3	31.0	27.2	27.0	18.1	19.6	16.0	16.2	13.5	12.3	6.5	1.0	5.2	0.6	
利用していない（計）	432	42.4	38.0	20.1	21.8	23.1	28.0	24.8	9.5	4.2	12.0	3.0	10.2	11.1	6.3	1.2	18.1	5.6	
< SNS利用状況別 >																			
よく利用している	892	68.7	51.1	54.7	47.8	31.3	27.7	27.0	20.3	22.6	17.2	18.2	13.6	12.9	7.1	1.0	3.9	0.3	
ときどき利用している	377	56.2	55.4	37.4	43.5	31.0	27.6	29.2	16.2	15.4	16.4	14.1	14.3	13.0	6.9	0.8	7.4	0.8	
あまり利用していない	176	52.3	44.3	38.6	36.4	30.7	30.1	27.8	11.9	9.7	12.5	9.7	9.1	13.1	5.7	1.7	6.3	1.7	
利用していない	432	42.4	37.7	20.1	21.8	22.7	25.7	22.7	9.3	5.6	10.6	3.5	11.1	8.8	5.1	1.2	18.3	5.3	
利用している（計）	1,269	65.0	52.4	49.6	46.5	31.2	27.7	27.7	19.1	20.5	16.9	16.9	13.8	12.9	7.0	0.9	5.0	0.5	
利用していない（計）	608	45.2	39.6	25.5	26.0	25.0	27.0	24.2	10.0	6.7	11.2	5.3	10.5	10.0	5.3	1.3	14.8	4.3	

（注）『利用している（計）』は「よく利用している」「ときどき利用している」の合計
『利用していない（計）』は「利用していない」「あまり利用していない」の合計

暮らしの余裕別にみると、「演芸（落語、漫才など）」は“余裕がない（計）”で約3割と“余裕がある（計）”よりも5ポイント高くなっている。

文化的な環境別にみると、「特にない」を除くすべての項目で“楽しんでいる（計）”が“楽しんでいない（計）”よりも高くなっている。（表6-2-3）

表6-2-3 文化鑑賞・文化イベント参加への意向－暮らしの余裕別、文化的な環境別

	n	映画	展覧会（美術、歴史、写真、文芸など）	コンサート（ポップスなど）	演劇（ミュージカルなどを含む）	クラシック音楽（オペラなどを含む）	演芸（落語・漫才など）	伝統芸能（歌舞伎・能など）	ストリート	街なか（屋外）で行われる芸術文化イベント	メディアアート（デジタル映像・音響等の新技術による芸術表現）のイベント	舞踊（バレエなどを含む）	芸術文化の体験型イベント	講演会・シンポジウム	茶道・華道（茶会・生け花展など）	障害者アートイベント	その他	特にない	無回答
全体	1,883	58.5	48.3	41.6	39.8	29.1	27.4	26.5	16.1	16.0	15.0	13.1	12.7	11.9	6.4	1.1	8.2	1.7	
<暮らしの余裕別>																			
今の暮らしで十分余裕がある	104	59.6	59.6	39.4	40.4	29.8	30.8	31.7	16.3	9.6	16.3	11.5	13.5	13.5	5.8	1.0	4.8	2.9	
今の暮らしであればまあまあだ	847	58.1	48.8	39.7	39.9	31.1	24.2	26.2	15.3	15.6	15.7	11.1	12.8	11.7	5.2	0.9	7.0	1.2	
今の暮らしではまだまだ余裕がない	738	60.8	47.0	46.3	40.7	27.2	30.9	26.6	16.9	18.6	13.1	15.7	11.5	11.7	8.1	1.1	8.3	1.9	
今の暮らしではとてもやりきれない	187	51.9	44.4	33.7	35.8	26.2	26.7	24.1	16.0	11.8	19.3	13.4	16.6	13.9	5.9	1.6	15.5	2.7	
余裕がある（計）	951	58.3	49.9	39.6	40.0	30.9	24.9	26.8	15.5	14.9	15.8	11.1	12.8	11.9	5.3	0.9	6.7	1.4	
余裕がない（計）	925	59.0	46.5	43.8	39.7	27.0	30.1	26.1	16.8	17.2	14.4	15.2	12.5	12.1	7.7	1.2	9.7	2.1	
<文化的な環境別>																			
楽しんでいる	302	69.5	69.5	54.3	52.6	42.4	31.5	32.1	26.8	20.2	20.9	21.2	19.5	17.9	9.6	0.7	1.3	-	
まあ楽しんでいる	636	69.0	62.7	49.7	49.2	34.3	30.7	33.8	17.9	21.5	20.6	16.8	16.7	13.4	7.7	1.6	1.3	0.8	
あまり楽しんでいない	602	54.7	38.4	37.5	34.2	24.1	25.9	22.6	14.1	13.1	11.3	9.1	8.6	10.1	5.1	0.8	7.6	1.8	
楽しんでいない	317	36.9	19.2	23.3	20.5	15.8	20.8	14.2	6.9	7.3	6.0	6.0	6.3	6.9	3.2	0.9	29.3	3.8	
楽しんでいる（計）	938	69.2	64.9	51.2	50.3	36.9	30.9	33.3	20.8	21.1	20.7	18.2	17.6	14.8	8.3	1.3	1.3	0.5	
楽しんでいない（計）	919	48.5	31.8	32.6	29.5	21.2	24.2	19.7	11.6	11.1	9.5	8.1	7.8	9.0	4.5	0.9	15.1	2.5	

- (注1) 『余裕がある（計）』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計
『余裕がない（計）』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計
- (注2) 『楽しんでいる（計）』は「楽しんでいる」「まあ楽しんでいる」の合計
『楽しんでいない（計）』は「楽しんでいない」「あまり楽しんでいない」の合計

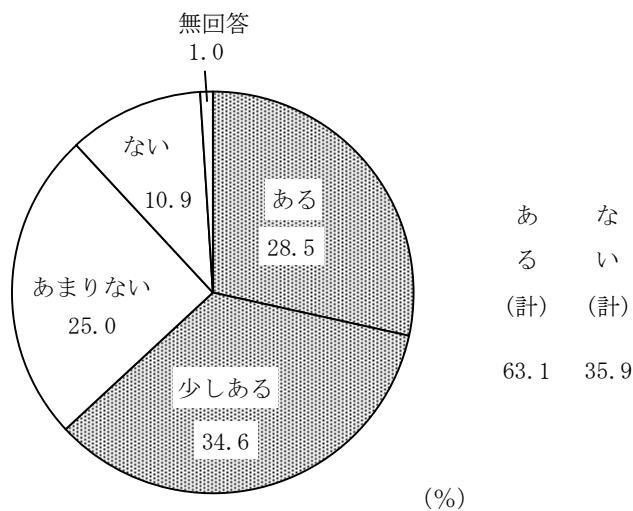
※6-3 文化活動への興味・関心

図6-3-1

(全員の方に)

問20 あなたご自身が文化活動（習い事や趣味の活動）を行うことに興味・関心がありますか（鑑賞のみは含みません）。（○は1つ）

(n=1,883)

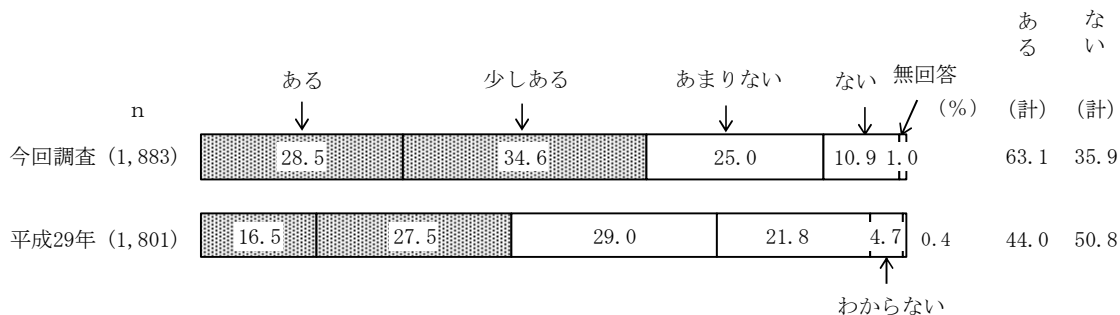


(注) 『ある (計)』は「ある」「少しある」の合計
『ない (計)』は「ない」「あまりない」の合計

自身が文化活動を行うことに興味・関心があるか聞いたところ、『ある (計)』は63%、『ない (計)』は36%となっている。(図6-3-1)

今回は、調査方法が前回と異なるため、自身が文化活動を行うことに興味・関心があるかを前回の調査結果と単純に比較することはできないが、『ある (計)』が19ポイントの増加、『ない (計)』が15ポイントの減少となっている。(図6-3-2)

図6-3-2 文化活動への興味・関心—過去の調査結果



(注1) 平成29年は「文化に関する世論調査（平成29年11月調査）」

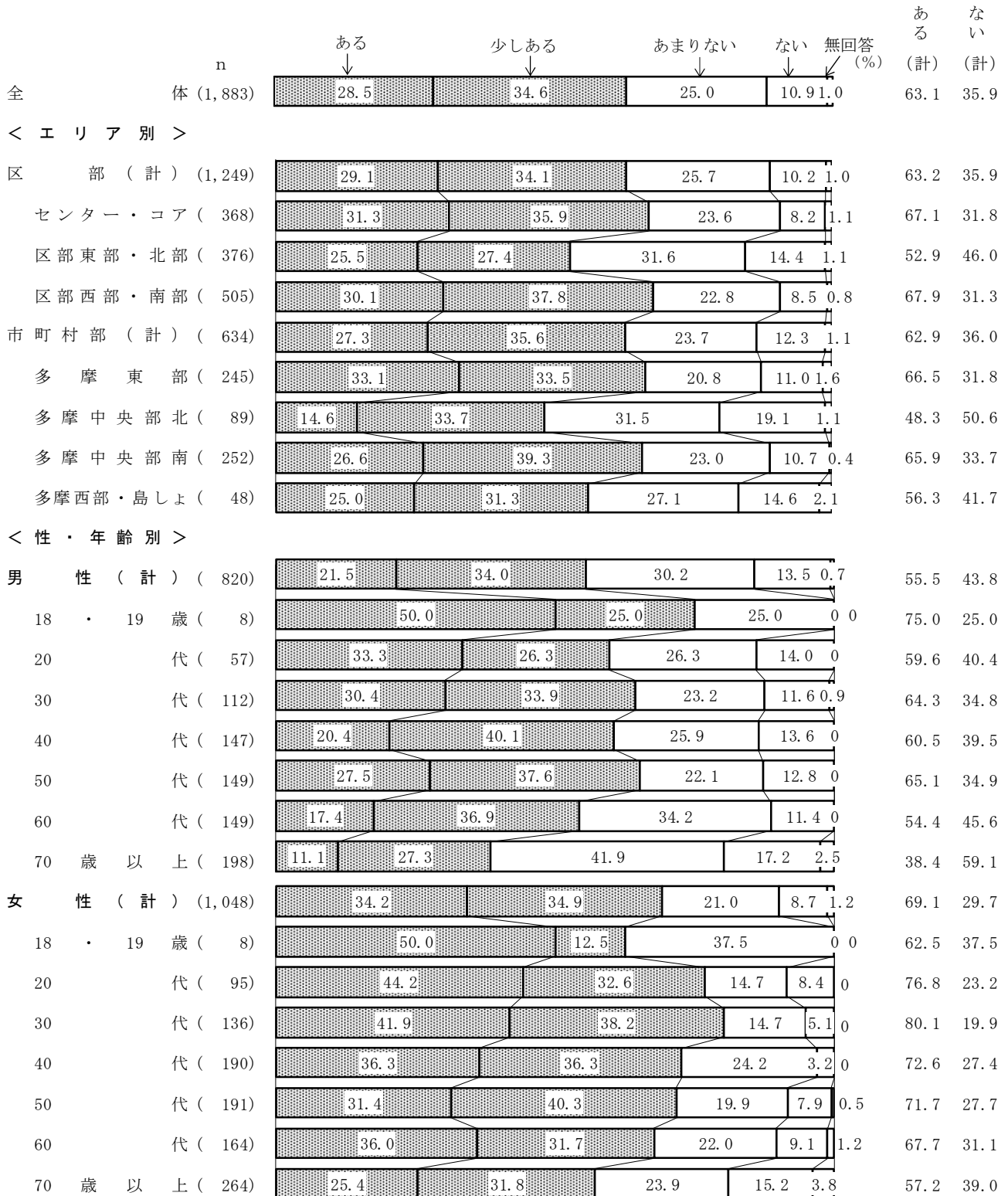
※「わからない」は今回調査で削除

(注2) 平成29年の調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回調査は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

エリア別にみると、『ある（計）』は区部西部・南部で7割近くと多くなっている。

性・年齢別にみると、『ある（計）』は女性で7割近くと、男性よりも14ポイント高く、女性30代では約8割と多くなっている。（図6-3-3）

図6-3-3 文化活動への興味・関心—エリア別、性・年齢別



(注) 『ある（計）』は「ある」「少しある」の合計
『ない（計）』は「ない」「あまりない」の合計

職業別にみると、『ある（計）』は学生で8割近く、経営・管理職で7割半ばと多くなっている。
暮らしの余裕別にみると、『ある（計）』は“余裕がある（計）”で7割近くと、“余裕がない（計）”よりも7ポイント高くなっている。（図6-3-4）

図6-3-4 文化活動への興味・関心－職業別、暮らしの余裕別

	n	興味・関心				ある （計）	ない （計）
		ある	少しある	あまりない	ない 無回答 （%）		
全 体 (1,883)		28.5	34.6	25.0	10.9	1.0	63.1 35.9
< 職 業 別 >							
自営・家族従業（計）（212）		35.8	34.0	23.1	6.6	0.5	69.8 29.7
勤 め（計）（990）		28.8	37.7	24.1	9.1	0.3	66.5 33.2
経営・管理職（141）		28.4	45.4	19.1	7.1	0	73.8 26.2
専門・技術職（285）		34.4	36.5	21.8	7.4	0	70.9 29.1
事務職（266）		30.8	37.2	23.3	8.6	0	68.0 32.0
労務・技能職（99）		19.2	33.3	30.3	15.2	2.0	52.5 45.5
販売・サービス職（161）		24.2	37.9	28.0	9.3	0.6	62.1 37.3
無職の主婦・主夫（371）		26.7	32.6	27.5	11.3	1.9	59.3 38.8
学 生（41）		46.3	31.7	19.5	2.4	0	78.0 22.0
その他の無職（211）		20.9	25.6	28.0	22.3	3.3	46.4 50.2
< 暮らしの余裕別 >							
今の暮らしで十分 余裕がある（104）		38.5	29.8	23.1	6.7	1.9	68.3 29.8
今の暮らしであれば まあまあだ（847）		30.1	36.2	23.6	9.2	0.8	66.4 32.8
今の暮らしでは まだまだ余裕がない（738）		24.0	35.9	26.3	12.7	1.1	59.9 39.0
今の暮らしでは とてもやりきれない（187）		32.1	25.7	27.3	13.9	1.1	57.8 41.2
余裕がある（計）（951）		31.0	35.5	23.6	8.9	0.9	66.6 32.5
余裕がない（計）（925）		25.6	33.8	26.5	13.0	1.1	59.5 39.5

(注1) 『ある（計）』は「ある」「少しある」の合計

『ない（計）』は「ない」「あまりない」の合計

(注2) 『余裕がある（計）』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計

『余裕がない（計）』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

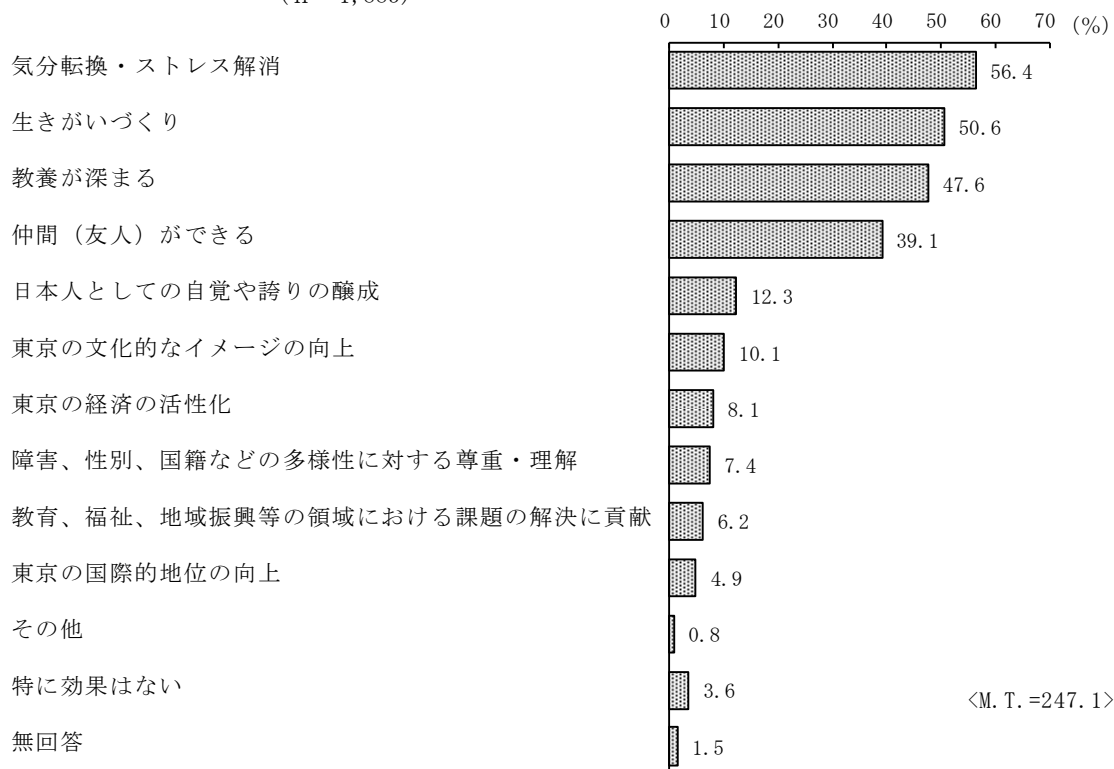
※6-4 文化活動の効果

図6-4-1

(全員の方に)

問21 あなたは、芸術や文化の鑑賞や文化活動を行うことで、どのような効果が生まれると思いますか。次の中から当てはまるものを3つまでお選びください。(〇は3つまで) (3M. A.)

(n = 1,883)

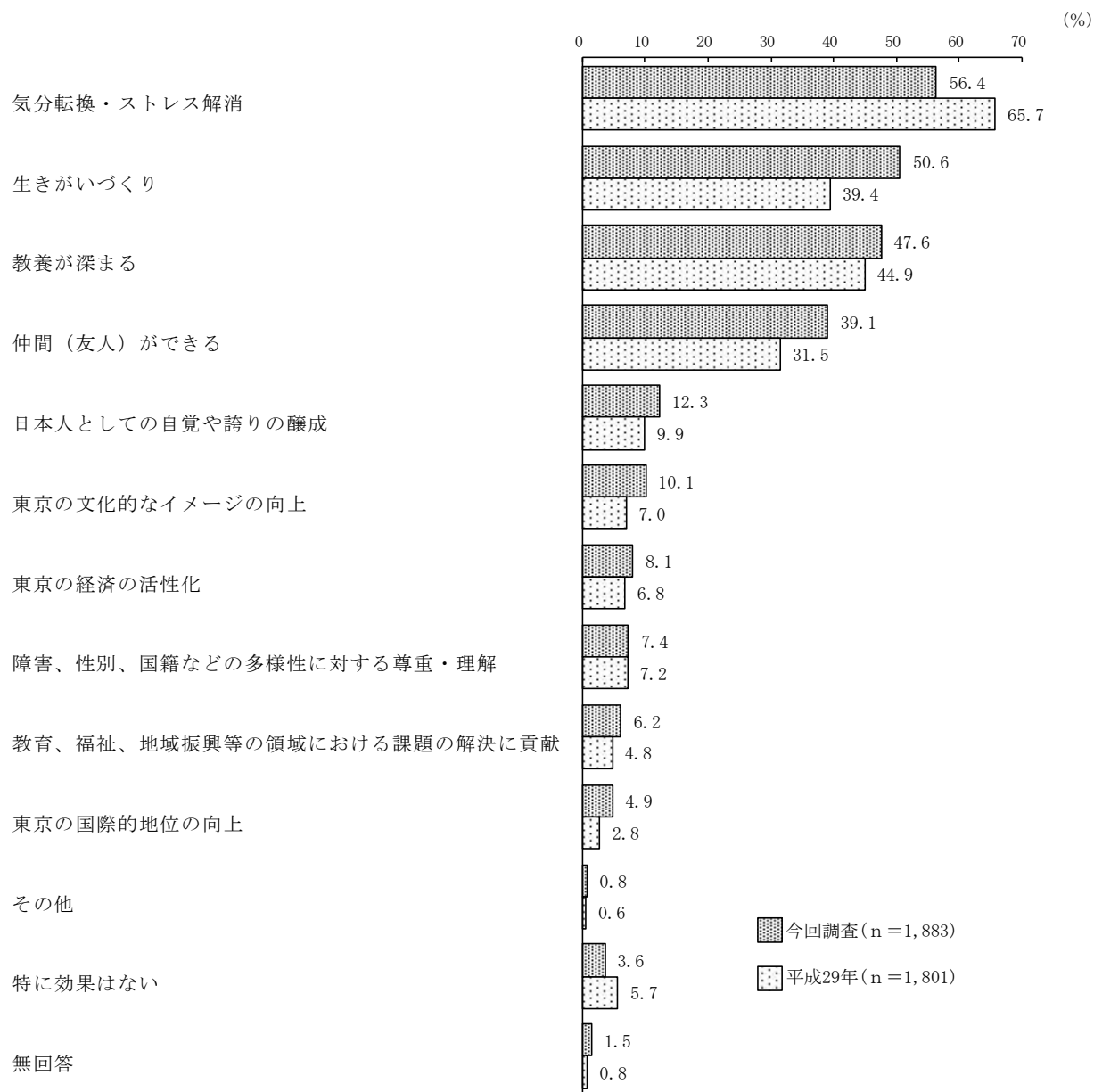


芸術や文化の鑑賞や文化活動を行うことで、どのような効果が生まれると思うか聞いたところ、「気分転換・ストレス解消」が56%と最も多く、次いで「生きがいがづくり」51%、「教養が深まる」48%、「仲間(友人)ができる」39%、「日本人としての自覚や誇りの醸成」12%などの順となっている。

(図6-4-1)

今回は、調査方法が前回と異なるため、文化活動の効果を前回の調査結果と単純に比較することはできないが、「生きがいがづくり」は11ポイント増加している。一方「気分転換・ストレス解消」は9ポイント減少している。(図6-4-2)

図6-4-2 文化活動の効果-過去の調査結果



(注1) 平成29年は「文化に関する世論調査(平成29年11月調査)」

(注2) 平成29年の調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回調査は郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、「気分転換・ストレス解消」は女性で6割を超えて、男性よりも10ポイント高く、女性20代、女性30代で7割近くと多くなっている。「仲間（友人が）できる」は女性で4割を超えて、男性よりも7ポイント高くなっている。

職業別にみると、「気分転換・ストレス解消」は勤め（計）で約6割と多くなっている。「教養が深まる」は事務職で6割近くと多くなっている。（表6-4-1）

表6-4-1 文化活動の効果－性・年齢別、職業別

	n	気分転換・ストレス解消	生きがいづくり	教養が深まる	仲間（友人）ができる	日本人としての自覚や誇りの醸成	東京の文化的なイメージの向上	東京の経済の活性化	障害、性別、国籍などへの多様性に対する尊重・理解	教育、福祉、地域振興等の領域における課題の解決に貢献	東京の国際的地位の向上	その他	特に効果はない	無回答
全体	1,883	56.4	50.6	47.6	39.1	12.3	10.1	8.1	7.4	6.2	4.9	0.8	3.6	1.5
＜性・年齢別＞														
男性（計）	820	50.9	47.2	47.0	35.2	15.0	11.0	9.6	6.6	6.8	6.3	1.0	5.4	1.2
18・19歳	8	37.5	50.0	25.0	75.0	12.5	12.5	12.5	-	12.5	-	-	12.5	-
20代	57	56.1	42.1	49.1	24.6	10.5	10.5	17.5	5.3	7.0	5.3	-	3.5	1.8
30代	112	50.0	50.0	58.9	42.9	13.4	10.7	11.6	7.1	5.4	6.3	-	3.6	0.9
40代	147	56.5	54.4	53.7	36.7	10.9	11.6	10.2	5.4	4.8	6.8	-	1.4	0.7
50代	149	51.7	40.9	50.3	38.9	14.1	8.7	12.1	3.4	4.0	6.0	2.0	6.7	-
60代	149	50.3	45.6	40.9	35.6	18.8	12.1	5.4	8.7	8.7	4.0	1.3	6.7	0.7
70歳以上	198	46.0	47.5	37.4	28.3	18.2	11.6	7.1	8.6	9.6	8.6	1.5	7.6	3.0
女性（計）	1,048	61.0	53.1	48.3	42.2	10.2	9.5	6.9	8.0	5.8	3.9	0.7	2.2	1.5
18・19歳	8	50.0	50.0	62.5	50.0	-	25.0	12.5	-	-	-	12.5	-	-
20代	95	67.4	53.7	48.4	50.5	5.3	8.4	4.2	10.5	4.2	1.1	-	1.1	-
30代	136	67.6	52.2	58.1	43.4	7.4	9.6	8.8	10.3	3.7	4.4	1.5	-	0.7
40代	190	62.1	56.3	48.4	44.7	10.0	8.4	8.4	6.3	5.3	3.2	1.1	1.6	-
50代	191	65.4	58.1	52.9	38.7	9.4	7.3	6.3	9.4	4.7	2.6	1.0	1.6	-
60代	164	61.0	49.4	50.0	36.0	15.2	13.4	5.5	7.9	5.5	6.7	-	1.8	0.6
70歳以上	264	51.5	50.0	38.3	42.8	11.4	9.5	6.8	6.4	9.1	4.5	-	4.9	5.3
＜職業別＞														
自営・家族従業（計）	212	53.8	49.5	48.1	40.1	16.0	11.3	8.0	6.1	4.7	5.7	1.4	2.8	0.9
勤め（計）	990	60.1	52.1	51.1	40.5	11.8	10.1	8.8	7.5	5.7	5.2	0.7	2.3	0.2
経営・管理職	141	54.6	50.4	53.2	42.6	12.1	12.8	13.5	6.4	5.0	7.8	-	1.4	-
専門・技術職	285	62.5	54.7	47.4	42.8	10.9	9.1	8.4	6.3	6.3	4.6	-	1.8	-
事務職	266	61.3	48.5	57.9	38.0	11.3	9.4	7.1	9.0	3.4	3.0	2.3	2.6	-
労務・技能職	99	50.5	47.5	38.4	36.4	16.2	12.1	13.1	8.1	7.1	8.1	1.0	5.1	1.0
販売・サービス職	161	63.4	57.1	50.9	41.6	9.9	11.2	5.6	8.1	6.2	6.8	-	1.9	0.6
無職の主婦・主夫	371	56.1	50.7	46.4	38.5	12.1	8.9	6.7	8.4	7.0	5.1	-	3.8	2.4
学生	41	53.7	43.9	56.1	51.2	4.9	17.1	14.6	7.3	9.8	2.4	2.4	2.4	-
その他の無職	211	50.2	48.3	34.1	31.3	11.8	8.5	5.7	6.6	8.1	3.3	1.9	8.5	4.7

暮らしの余裕別にみると、「生きがいがづくり」は“余裕がある（計）”で5割半ばと、“余裕がない（計）”よりも6ポイント高くなっている。

文化的な環境別にみると、「生きがいがづくり」は“楽しんでいる（計）”で5割半ばと、“楽しんでいない（計）”よりも10ポイント高くなっている。「教養が深まる」は“楽しんでいる（計）”で5割半ばと、“楽しんでいない（計）”よりも13ポイント高くなっている。（表6-4-2）

表6-4-2 文化活動の効果－暮らしの余裕別、文化的な環境別

	n	気分転換・ストレス解消	生きがいがづくり	教養が深まる	仲間（友人）ができる	日本人としての自覚や誇りの醸成	東京の文化的なイメージの向上	東京の経済の活性化	障害、性別、国籍など多様性に対する尊重・理解	教育、福祉、地域振興等の領域における課題の解決に貢献	東京の国際的地位の向上	その他	特に効果はない	無回答
全体	1,883	56.4	50.6	47.6	39.1	12.3	10.1	8.1	7.4	6.2	4.9	0.8	3.6	1.5
<暮らしの余裕別>														
今の暮らしで十分余裕がある	104	46.2	42.3	55.8	46.2	10.6	9.6	5.8	3.8	7.7	6.7	1.0	2.9	1.9
今の暮らしであればまあまあだ	847	59.0	55.0	48.1	40.3	12.6	9.6	7.6	6.8	4.5	5.1	0.7	2.6	1.1
今の暮らしではまだまだ余裕がない	738	57.7	49.1	45.9	39.0	11.2	11.2	9.2	7.5	7.0	4.9	0.8	3.5	1.9
今の暮らしではとてもやりきれない	187	46.0	40.1	47.6	30.5	14.4	9.1	7.0	11.8	9.6	3.2	0.5	9.1	1.6
余裕がある（計）	951	57.6	53.6	48.9	40.9	12.4	9.6	7.4	6.5	4.8	5.3	0.7	2.6	1.2
余裕がない（計）	925	55.4	47.2	46.3	37.3	11.9	10.8	8.8	8.3	7.6	4.5	0.8	4.6	1.8
<文化的な環境別>														
楽しんでいる	302	59.9	57.0	56.3	41.4	11.6	10.6	10.9	8.9	5.0	6.0	0.7	1.3	-
まあ楽しんでいる	636	57.7	55.0	53.3	41.2	13.8	10.2	8.3	9.0	6.8	3.6	1.1	0.9	0.8
あまり楽しんでいない	602	56.0	50.7	44.2	41.7	11.8	11.3	6.8	6.6	7.0	6.6	0.3	2.8	1.2
楽しんでいない	317	52.1	37.2	36.0	28.1	12.0	7.3	7.6	4.4	4.7	3.5	1.3	12.3	3.5
楽しんでいる（計）	938	58.4	55.7	54.3	41.3	13.1	10.3	9.2	9.0	6.2	4.4	1.0	1.1	0.5
楽しんでいない（計）	919	54.6	46.0	41.3	37.0	11.9	9.9	7.1	5.9	6.2	5.5	0.7	6.1	2.0

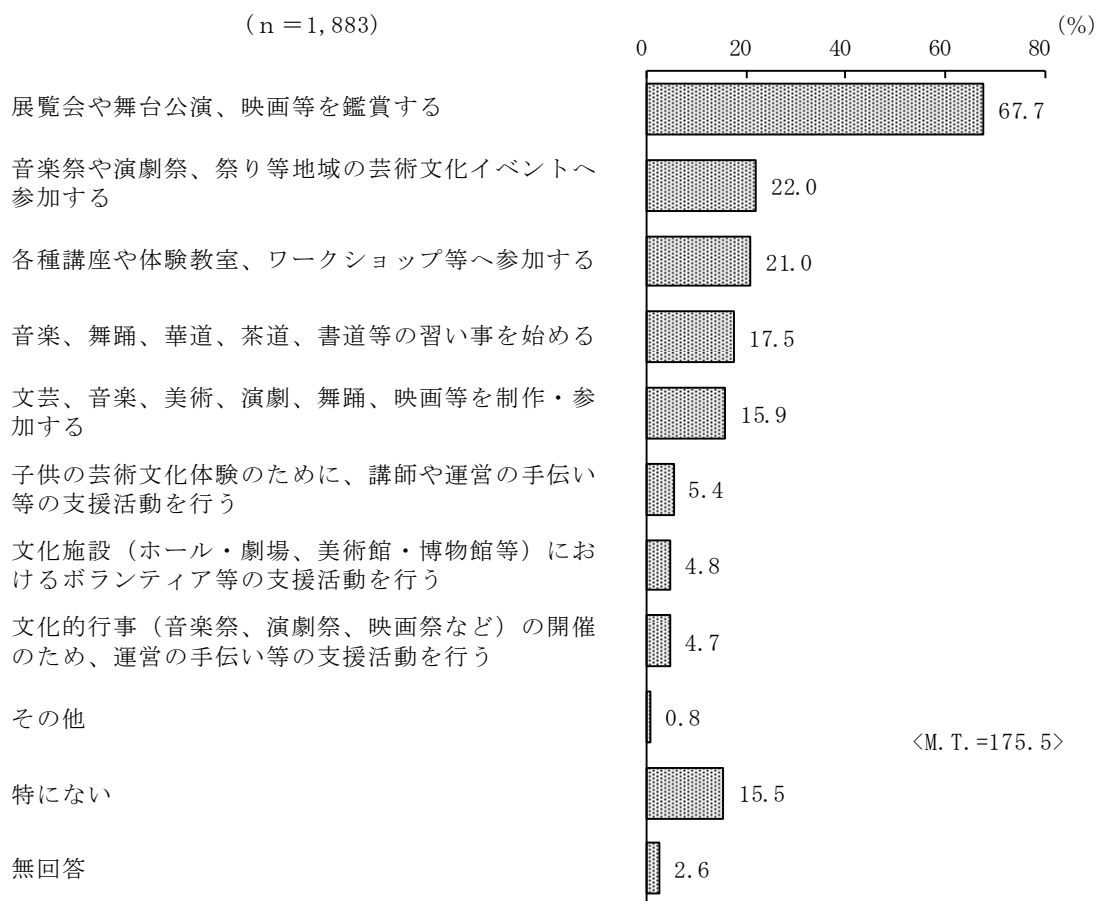
- (注1) 『余裕がある（計）』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計
『余裕がない（計）』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計
- (注2) 『楽しんでいる（計）』は「楽しんでいる」「まあ楽しんでいる」の合計
『楽しんでいない（計）』は「楽しんでいない」「あまり楽しんでいない」の合計

※6-5 今後の文化活動

図6-5-1

(全員の方に)

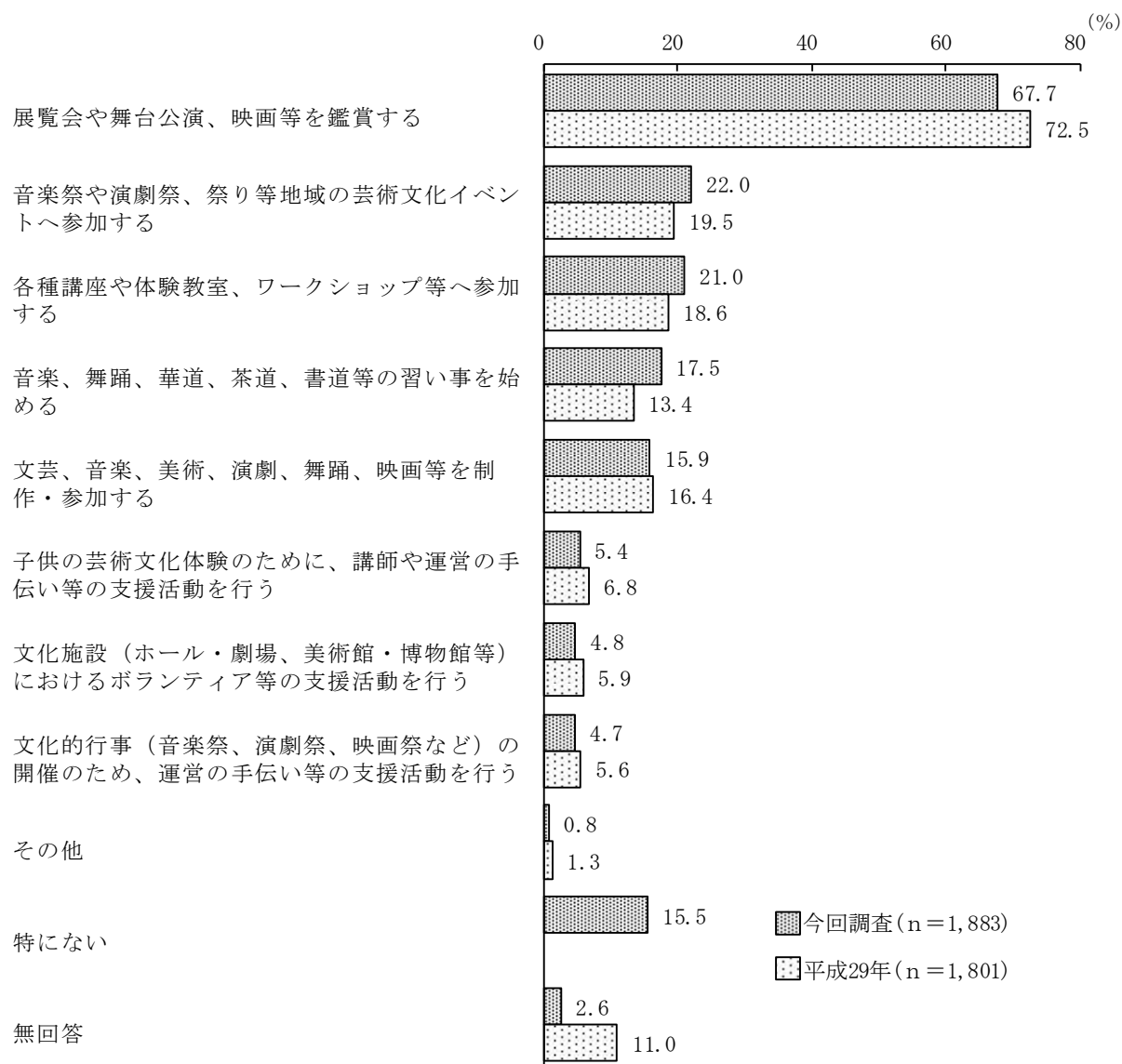
問22 あなたは今後、どのような文化活動（鑑賞のみも含みます）をしていきたいですか。次の中から当てはまるものを3つまでお選びください。(〇は3つまで) (3M. A.)



今後、どのような文化活動（鑑賞のみも含む）をしていきたいか聞いたところ、「展覧会や舞台公演、映画等を鑑賞する」が68%と最も多く、次いで「音楽祭や演劇祭、祭り等地域の芸術文化イベントへ参加する」22%、「各種講座や体験教室、ワークショップ等へ参加する」21%、「音楽、舞踊、華道、茶道、書道等の習い事を始める」18%、「文芸、音楽、美術、演劇、舞踊、映画等を制作・参加する」16%、などの順となっている。(図6-5-1)

今回は、調査方法が前回と異なるため、今後の文化活動を前回の調査結果と単純に比較することはできないが、「展覧会や舞台公演、映画等を鑑賞する」は5ポイント減少している。一方「音楽、舞踊、華道、茶道、書道等の習い事を始める」は4ポイント増加している。(図6-5-2)

図6-5-2 今後の文化活動—過去の調査結果



(注1) 平成29年は「文化に関する世論調査（平成29年11月調査）」

※「特になし」は今回調査で追加

(注2) 平成29年の調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回調査は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

エリア別にみると、「展覧会や舞台公演、映画等を鑑賞する」は区部西部・南部で7割を超えて多くなっている。

性・年齢別にみると、「展覧会や舞台公演、映画等を鑑賞する」は女性で7割を超えて、男性よりも10ポイント高く、女性20代では8割半ばと多くなっている。(表6-5-1)

表6-5-1 今後の文化活動—エリア別、性・年齢別

		(%)											
	n	展覧会や舞台公演、映画等を鑑賞する	音楽祭や演劇祭、祭り等地域の芸術文化イベントへ参加する	各種講座や体験教室、ワークショップ	音楽、舞踊、華道、茶道、書道等の習い事を始める	文芸、音楽、美術、演劇、舞踊、映画等を制作・参加する	運営の手伝い等の支援活動を行う	子供の芸術文化体験のために、講師や子供の芸術文化体験の支援活動を行う	文化施設（ホール・劇場、美術館・博物館等）におけるボランティア等の支援活動を行う	文化的行事（音楽祭、演劇祭、映画祭など）の開催のため、運営の手伝い等の支援活動を行う	その他	特にない	無回答
全体	1,883	67.7	22.0	21.0	17.5	15.9	5.4	4.8	4.7	0.8	15.5	2.6	
＜ エ リ ア 別 ＞													
区 部 (計)	1,249	68.2	22.7	21.1	17.7	17.3	5.3	4.5	5.5	0.7	15.1	2.4	
センター・コア	368	68.8	25.0	21.5	20.1	16.8	5.2	5.7	4.6	-	15.2	2.2	
区部 東部・北部	376	63.0	19.4	18.4	12.2	14.9	5.1	3.7	3.7	1.1	22.1	1.6	
区部 西部・南部	505	71.7	23.6	23.0	20.0	19.4	5.5	4.2	7.5	1.0	9.9	3.2	
市町村部 (計)	634	66.7	20.7	20.8	17.0	13.2	5.7	5.4	3.2	1.1	16.2	3.0	
多摩 東部	245	69.0	22.4	25.7	18.4	16.3	6.9	7.3	4.1	1.2	13.9	3.3	
多摩 中央部 北	89	61.8	20.2	10.1	15.7	12.4	4.5	4.5	-	-	22.5	4.5	
多摩 中央部 南	252	67.5	18.3	21.8	17.1	10.7	4.8	4.4	3.6	0.4	15.5	2.4	
多摩 西部・島しょ	48	60.4	25.0	10.4	12.5	12.5	6.3	2.1	2.1	6.3	20.8	2.1	
＜ 性 ・ 年 齢 別 ＞													
男 性 (計)	820	62.1	22.2	16.6	13.8	16.0	5.9	5.2	5.6	0.6	19.6	2.3	
18・19歳	8	50.0	25.0	12.5	25.0	25.0	-	-	12.5	-	37.5	-	
20代	57	66.7	28.1	15.8	17.5	29.8	3.5	7.0	10.5	-	14.0	1.8	
30代	112	54.5	27.7	19.6	19.6	21.4	12.5	7.1	3.6	1.8	20.5	0.9	
40代	147	70.7	24.5	19.7	10.2	21.8	8.8	4.8	6.8	-	13.6	0.7	
50代	149	67.8	23.5	19.5	16.8	16.8	6.7	3.4	4.7	-	16.8	-	
60代	149	63.1	19.5	17.4	14.8	12.1	2.7	8.1	4.0	0.7	18.8	2.7	
70歳以上	198	54.0	16.7	10.1	8.6	6.6	2.5	3.5	6.1	1.0	27.3	6.1	
女 性 (計)	1,048	72.3	22.0	24.6	20.5	15.7	5.2	4.4	4.1	1.0	12.2	2.7	
18・19歳	8	75.0	50.0	-	-	50.0	-	-	25.0	-	-	-	
20代	95	84.2	25.3	17.9	20.0	32.6	6.3	2.1	2.1	1.1	5.3	1.1	
30代	136	73.5	32.4	31.6	22.8	19.9	11.0	2.2	5.9	-	6.6	0.7	
40代	190	76.3	21.1	35.8	22.6	13.7	8.4	3.2	6.8	-	6.3	1.1	
50代	191	78.5	22.0	26.2	24.6	16.2	2.6	3.7	3.1	0.5	12.6	-	
60代	164	78.7	17.1	22.6	20.1	14.6	4.3	9.1	5.5	1.2	10.4	1.2	
70歳以上	264	56.1	18.6	16.3	15.9	8.3	1.9	4.9	1.1	2.7	23.1	8.3	

職業別にみると、「展覧会や舞台公演、映画等を鑑賞する」は勤め（計）で7割を超えて多くなっている。

インターネット利用状況別にみると、「展覧会や舞台公演、映画等を鑑賞する」は“利用している（計）”で7割を超え“利用していない（計）”よりも21ポイント高くなっている。

SNS利用状況別にみると、「展覧会や舞台公演、映画等を鑑賞する」は“利用している（計）”で7割を超え“利用していない（計）”よりも17ポイント高くなっている。（表6-5-2）

表6-5-2 今後の文化活動－職業別、インターネット利用状況別、SNS利用状況別

(%)

	n	展覧会や舞台公演、映画等を鑑賞する	音楽祭や演劇祭、祭り等地域の芸術文化イベントへ参加する	各種講座や体験教室、ワークショップ等へ参加する	音楽、舞踊、華道、茶道、書道等の習い事を始める	文芸、音楽、美術、演劇、舞踊、映画等を制作・参加する	子供の芸術文化体験のために、講師や運営の手伝い等の支援活動を行う	館等）におけるボランティア等の支援活動を行う	文化施設（ホール・劇場、美術館・博物館）の開催のため、運営の手伝い等の支援活動を行う	文化的行事（音楽祭、演劇祭、映画祭など）の開催のため、運営の手伝い等の支援活動を行う	その他	特になし	無回答
全体	1,883	67.7	22.0	21.0	17.5	15.9	5.4	4.8	4.7	0.8	15.5	2.6	
< 職業別 >													
自営・家族従業（計）	212	60.8	22.2	20.8	15.1	21.7	7.1	4.2	5.2	-	17.5	2.4	
勤め（計）	990	73.3	24.7	23.9	20.5	17.9	6.4	4.9	5.2	0.3	12.0	0.6	
経営・管理職	141	75.2	30.5	24.8	21.3	21.3	12.1	3.5	5.7	-	8.5	0.7	
専門・技術職	285	74.4	25.3	26.3	25.3	20.7	8.4	6.3	5.3	0.4	9.1	0.4	
事務職	266	74.4	24.4	26.3	20.7	16.5	6.4	5.3	5.6	0.4	10.5	0.8	
労務・技能職	99	66.7	17.2	16.2	19.2	9.1	2.0	6.1	4.0	-	21.2	1.0	
販売・サービス職	161	74.5	24.8	18.0	12.4	19.9	1.9	3.1	5.0	0.6	15.5	-	
無職の主婦・主夫	371	67.9	17.5	20.2	13.7	11.6	4.3	5.1	2.2	0.3	15.4	5.7	
学生	41	75.6	43.9	12.2	12.2	29.3	4.9	2.4	19.5	-	7.3	-	
その他の無職	211	51.7	14.2	14.7	12.3	7.6	1.4	4.3	4.3	4.3	30.3	4.7	
< インターネット利用状況別 >													
よく利用している	1,207	73.3	25.7	25.3	19.6	19.9	7.0	4.6	5.3	0.5	10.2	1.0	
ときどき利用している	237	69.6	16.5	16.9	15.2	9.3	3.4	5.9	4.2	1.3	16.9	2.5	
あまり利用していない	122	64.8	14.8	13.9	13.1	9.0	3.3	4.9	4.1	0.8	21.3	3.3	
利用していない	310	46.5	14.8	11.0	12.9	8.4	1.9	4.8	3.2	1.9	32.6	8.1	
利用している（計）	1,444	72.7	24.2	23.9	18.8	18.1	6.4	4.8	5.1	0.6	11.3	1.2	
利用していない（計）	432	51.6	14.8	11.8	13.0	8.6	2.3	4.9	3.5	1.6	29.4	6.7	
< SNS利用状況別 >													
よく利用している	892	74.0	27.6	25.2	20.5	20.3	7.0	4.4	5.8	0.8	9.4	1.2	
ときどき利用している	377	72.1	20.2	24.4	15.1	14.6	5.0	5.6	3.7	0.5	13.8	2.4	
あまり利用していない	176	67.6	22.7	18.2	18.8	10.8	4.5	5.7	4.0	1.1	14.2	1.1	
利用していない	432	51.4	12.0	10.9	13.0	10.2	3.0	4.6	3.7	1.2	29.6	6.0	
利用している（計）	1,269	73.4	25.4	25.0	18.9	18.6	6.4	4.7	5.2	0.7	10.7	1.6	
利用していない（計）	608	56.1	15.1	13.0	14.6	10.4	3.5	4.9	3.8	1.2	25.2	4.6	

(注) 『利用している（計）』は「よく利用している」「ときどき利用している」の合計
『利用していない（計）』は「利用していない」「あまり利用していない」の合計

暮らしの余裕別にみると、「展覧会や舞台公演、映画等を鑑賞する」は“余裕がある（計）”で7割を超えて、“余裕がない（計）”よりも8ポイント高くなっている。

文化的な環境別にみると、「特にない」と「その他」を除くすべての項目で“楽しんでいる（計）”が“楽しんでいない（計）”よりも高くなっている。（表6-5-3）

表6-5-3 今後の文化活動－暮らしの余裕別、文化的な環境別

		(%)												
	n	展覧会や舞台公演、映画等を鑑賞する	音楽祭や演劇祭、祭り等地域の芸術文化イベントへ参加する	各種講座や体験教室、ワークショップ等へ参加する	音楽、舞踊、華道、茶道、書道等の習い事を始める	音楽、舞踊、華道、茶道、書道等の習い事を始める	文芸、音楽、美術、演劇、舞踊、映画等を制作・参加する	営の手伝い等の支援活動を行う	子供の芸術文化体験のために、講師や運動を行う	文化施設（ホール・劇場、美術館・博物館等）におけるボランティア等の支援活動を行う	文化施設（ホール・劇場、美術館・博物館等）の開催のため、運営の手伝い等の支援活動を行う	その他	特にない	無回答
全体	1,883	67.7	22.0	21.0	17.5	15.9	5.4	4.8	4.7	0.8	15.5	2.6		
<暮らしの余裕別>														
今の暮らしで十分余裕がある	104	68.3	14.4	22.1	21.2	21.2	6.7	5.8	7.7	1.0	11.5	2.9		
今の暮らしであればまあまあだ	847	72.1	23.1	24.0	18.2	15.6	5.5	4.6	3.5	0.8	11.7	2.5		
今の暮らしではまだまだ余裕がない	738	65.9	22.8	18.7	16.7	16.3	4.9	4.5	5.4	0.7	17.6	2.8		
今の暮らしではとてもやりきれない	187	54.5	18.7	16.0	15.5	12.8	5.9	6.4	5.3	1.6	27.3	1.6		
余裕がある（計）	951	71.7	22.2	23.8	18.5	16.2	5.7	4.7	4.0	0.8	11.7	2.5		
余裕がない（計）	925	63.6	21.9	18.2	16.4	15.6	5.1	4.9	5.4	0.9	19.6	2.6		
<文化的な環境別>														
楽しんでいる	302	82.8	27.5	28.5	16.9	31.5	7.0	6.6	7.0	0.3	3.3	1.3		
まあ楽しんでいる	636	78.9	27.2	26.1	23.3	16.4	6.4	5.8	5.0	0.3	5.7	1.4		
あまり楽しんでいない	602	65.1	20.8	18.3	16.1	13.1	5.1	3.5	4.7	1.3	16.8	2.5		
楽しんでいない	317	37.9	8.2	10.1	9.5	6.3	2.5	3.2	1.9	1.6	44.8	4.4		
楽しんでいる（計）	938	80.2	27.3	26.9	21.2	21.2	6.6	6.1	5.7	0.3	4.9	1.4		
楽しんでいない（計）	919	55.7	16.4	15.5	13.8	10.8	4.2	3.4	3.7	1.4	26.4	3.2		

(注1) 『余裕がある（計）』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計
『余裕がない（計）』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計
(注2) 『楽しんでいる（計）』は「楽しんでいる」「まあ楽しんでいる」の合計
『楽しんでいない（計）』は「楽しんでいない」「あまり楽しんでいない」の合計

7 これからの東京の文化振興

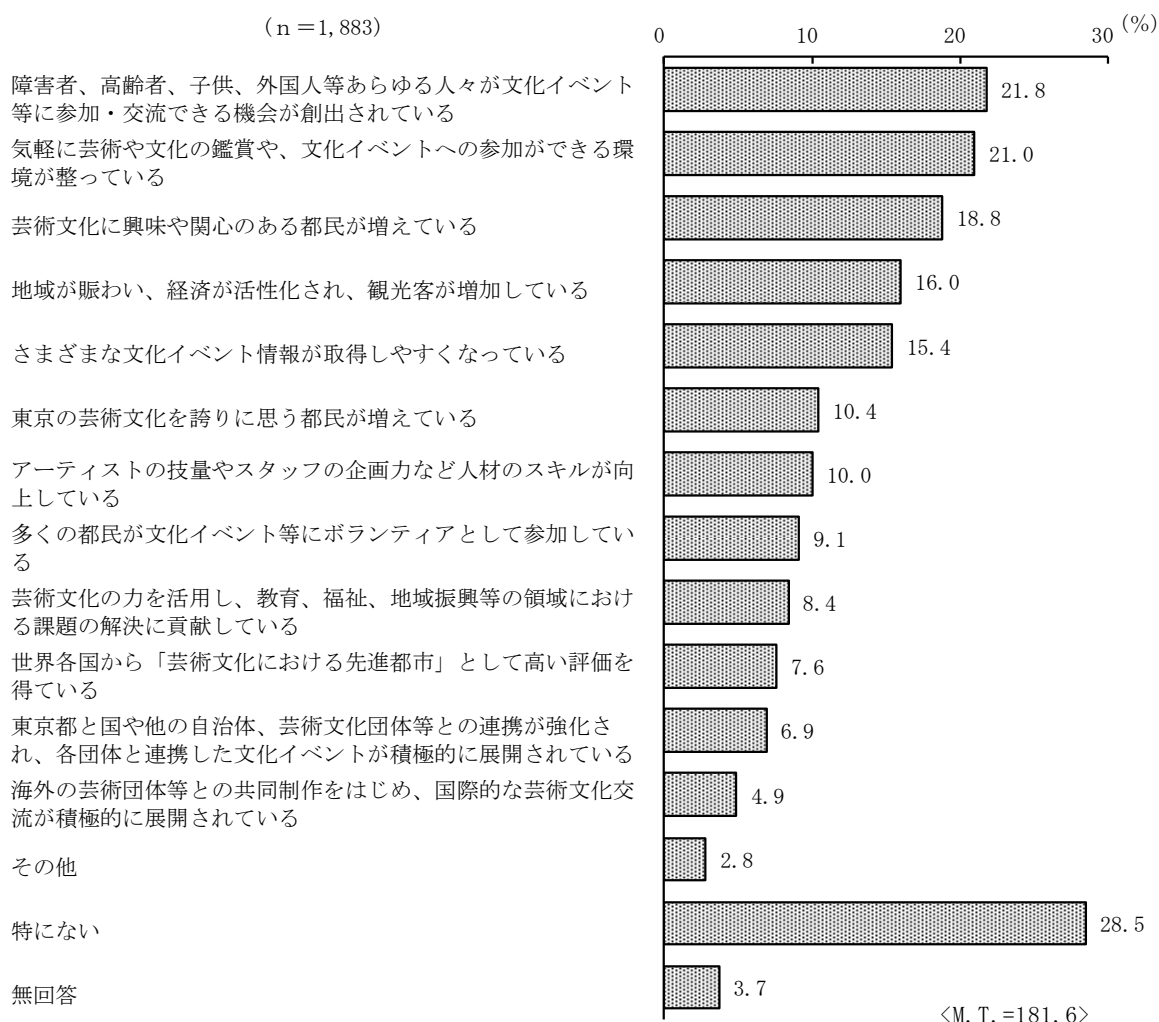
※7-1 文化的レガシーの継承

図7-1-1

(全員の方に)

問23 東京都は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会にあわせて、芸術文化都市東京の魅力を伝えるため、多彩な文化プログラム「Tokyo Tokyo FESTIVAL」を展開しました。あなたは、文化プログラムを通じて生まれたレガシー（※）がどのような形で受け継がれていくとよいと思いますか。次の中から当てはまるものを3つまでお選びください。（○は3つまで）（3M. A.）

※ レガシー：オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催により開催都市や開催国が、長期にわたり継承・享受できる、大会の社会的・経済的・文化的恩恵

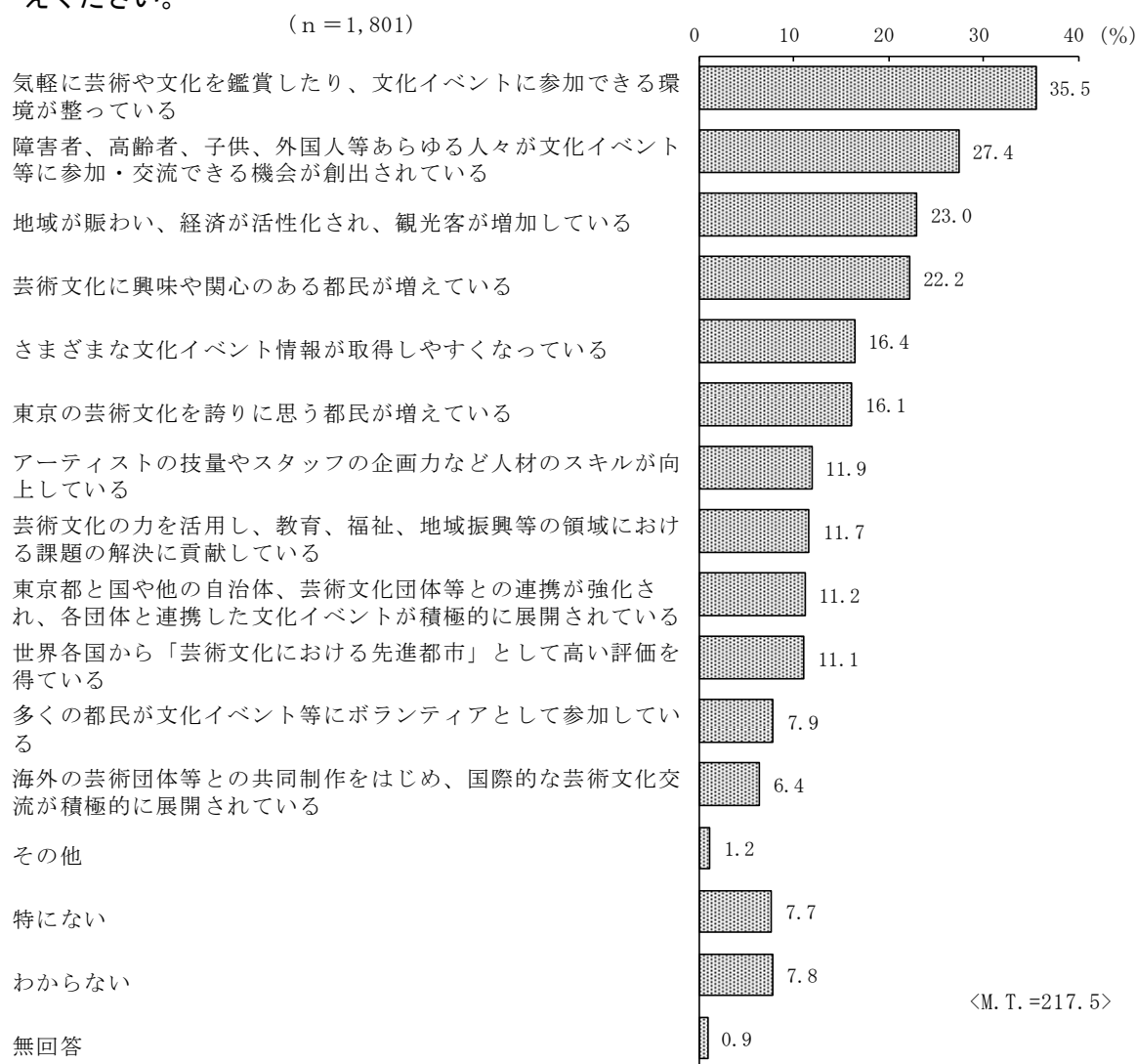


文化プログラムを通じて生まれたレガシーがどのような形で受け継がれていくとよいか聞いたところ、「障害者、高齢者、子供、外国人等あらゆる人々が文化イベント等に参加・交流できる機会が創出されている」が22%と最も多く、次いで「気軽に芸術や文化の鑑賞や、文化イベントへの参加ができる環境が整っている」21%、「芸術文化に興味や関心のある都民が増えている」19%、「地域が賑わい、経済が活性化され、観光客が増加している」16%、「さまざまな文化イベント情報が取得しやすくなっている」15%などの順となっている。一方、「特にない」は29%となっている。(図7-1-1)

平成29年の「文化に関する世論調査」では、東京2020大会の後、どのような文化的レガシーを生み出せると良いと思うかを聞いた。その結果を参考として以下に示す。(図7-1-2)

図7-1-2 大会後の文化的レガシー-平成29年結果

東京2020大会の後、その先の未来へ受け継がれていくものとして、あなたは、どのような文化的レガシー（遺産）を生み出せると良いと思いますか。この中から3つ以内でお答えください。



(注)「文化に関する世論調査（平成29年11月調査）」は、調査員による個別訪問面接聴取法で実施

性・年齢別にみると、「障害者、高齢者、子供、外国人等あらゆる人々が文化イベント等に参加・交流できる機会が創出されている」は女性で2割半ばと、男性よりも7ポイント高く、女性50代で約3割と多くなっている。「地域が賑わい、経済が活性化され、観光客が増加している」は男性40代で2割半ばと多くなっている。

文化的な環境別にみると、「気軽に芸術や文化の鑑賞や、文化イベントへの参加ができる環境が整っている」は“楽しんでいる（計）”で3割近くと“楽しんでいない（計）”よりも11ポイント高くなっている。（表7-1-1）

表7-1-1 文化的レガシーの継承-性・年齢別、文化的な環境別

	n	文化イベント等にあらゆる人々が参加できる機会が創出されている	障害者、高齢者、子供、外国人等あらゆる人々が参加できる機会が整っている	気軽に芸術や文化の鑑賞や、文化イベントへの参加ができる環境が整っている	芸術文化に興味や関心のある都民が増えている	地域が賑わい、経済が活性化され、観光客が増加している	さまざまな文化イベント情報が取得しやすくなっている	東京の芸術文化を誇りに思う都民が増えている	アーティストの技量やスタッフの企画力など人材のスキルが向上している	多くの都民が文化イベント等にボランティアとして参加している	芸術文化の力を活用し、教育、福祉、地域振興等の領域における課題の解決に貢献している	世界各国から「芸術文化における先進都市」として高い評価を得ている	積極的に展開されている各団体と連携した文化イベントの連携が強化され、各自治体、芸術文化団体等との連携が強く、各団体の連携した文化イベントの連携が強化されている	東京と国や他の自治体、芸術文化団体等との連携が強く、各団体の連携した文化イベントの連携が強化されている	海外の芸術団体等との共同制作をはじめ、国際的な芸術文化交流が積極的に展開されている	その他	特にな	無回答
全体	1,883	21.8	21.0	18.8	16.0	15.4	10.4	10.0	9.1	8.4	7.6	6.9	4.9	2.8	28.5	3.7		
< 性・年齢別 >																		
男性（計）	820	17.8	19.9	19.4	18.3	14.5	10.9	8.7	9.0	7.3	9.3	6.8	3.8	2.7	32.0	2.9		
18・19歳	8	-	12.5	25.0	-	25.0	-	12.5	12.5	-	-	-	12.5	-	50.0	-		
20代	57	17.5	24.6	17.5	15.8	10.5	8.8	14.0	5.3	5.3	8.8	1.8	5.3	3.5	35.1	1.8		
30代	112	16.1	13.4	15.2	18.8	8.0	7.1	11.6	2.7	8.9	10.7	3.6	4.5	0.9	45.5	0.9		
40代	147	15.0	25.9	23.1	25.2	10.2	17.0	10.2	5.4	3.4	10.2	5.4	3.4	2.7	32.7	-		
50代	149	15.4	20.1	20.8	17.4	18.1	10.7	5.4	7.4	9.4	7.4	9.4	6.0	2.0	33.6	0.7		
60代	149	23.5	17.4	16.8	16.1	20.1	8.1	8.7	15.4	9.4	10.1	10.7	2.7	4.0	24.2	3.4		
70歳以上	198	19.2	19.7	20.2	16.7	15.2	11.6	6.6	12.6	7.1	9.1	6.6	2.0	3.0	26.8	8.1		
女性（計）	1,048	25.2	22.1	18.4	14.3	16.3	9.9	11.1	9.2	9.1	6.4	7.0	5.8	2.8	26.0	3.8		
18・19歳	8	12.5	37.5	62.5	25.0	25.0	12.5	12.5	-	-	12.5	12.5	-	-	12.5	-		
20代	95	25.3	15.8	17.9	13.7	14.7	15.8	13.7	6.3	4.2	6.3	5.3	8.4	1.1	30.5	1.1		
30代	136	25.0	19.9	11.8	19.1	14.0	9.6	8.8	6.6	6.6	6.6	10.3	8.8	3.7	33.8	-		
40代	190	22.6	24.7	15.3	15.3	13.7	9.5	11.6	5.8	10.0	6.8	6.3	4.7	1.6	30.0	1.6		
50代	191	29.8	24.6	22.5	12.0	19.4	6.3	12.6	11.5	12.0	4.7	3.7	4.2	3.7	24.1	-		
60代	164	25.0	28.7	20.7	13.4	18.3	8.5	15.2	9.8	13.4	5.5	7.9	7.9	4.9	17.1	2.4		
70歳以上	264	24.2	17.4	18.6	13.3	16.3	11.7	7.2	12.1	6.8	7.6	8.0	4.2	1.9	24.6	12.1		
< 文化的な環境別 >																		
楽しんでいる	302	20.5	32.8	23.2	13.2	18.5	10.6	11.3	10.9	8.3	9.6	10.6	8.3	3.6	20.5	2.0		
まあ楽しんでいる	636	24.5	23.7	20.3	17.8	18.4	9.9	10.1	9.3	10.2	8.2	6.6	6.4	3.3	23.1	2.4		
あまり楽しんでいない	602	23.4	17.9	19.6	17.4	14.3	14.0	11.8	9.3	9.0	7.3	6.6	3.5	2.0	28.1	3.8		
楽しんでいない	317	13.9	11.0	10.7	12.9	8.5	5.0	6.0	7.3	3.8	5.4	3.8	1.9	2.2	48.3	5.7		
楽しんでいる（計）	938	23.2	26.7	21.2	16.3	18.4	10.1	10.4	9.8	9.6	8.6	7.9	7.0	3.4	22.3	2.2		
楽しんでいない（計）	919	20.1	15.6	16.5	15.9	12.3	10.9	9.8	8.6	7.2	6.6	5.7	2.9	2.1	35.0	4.5		

注)『楽しんでいる（計）』は「楽しんでいる」「まあ楽しんでいる」の合計

『楽しんでいない（計）』は「楽しんでいない」「あまり楽しんでいない」の合計

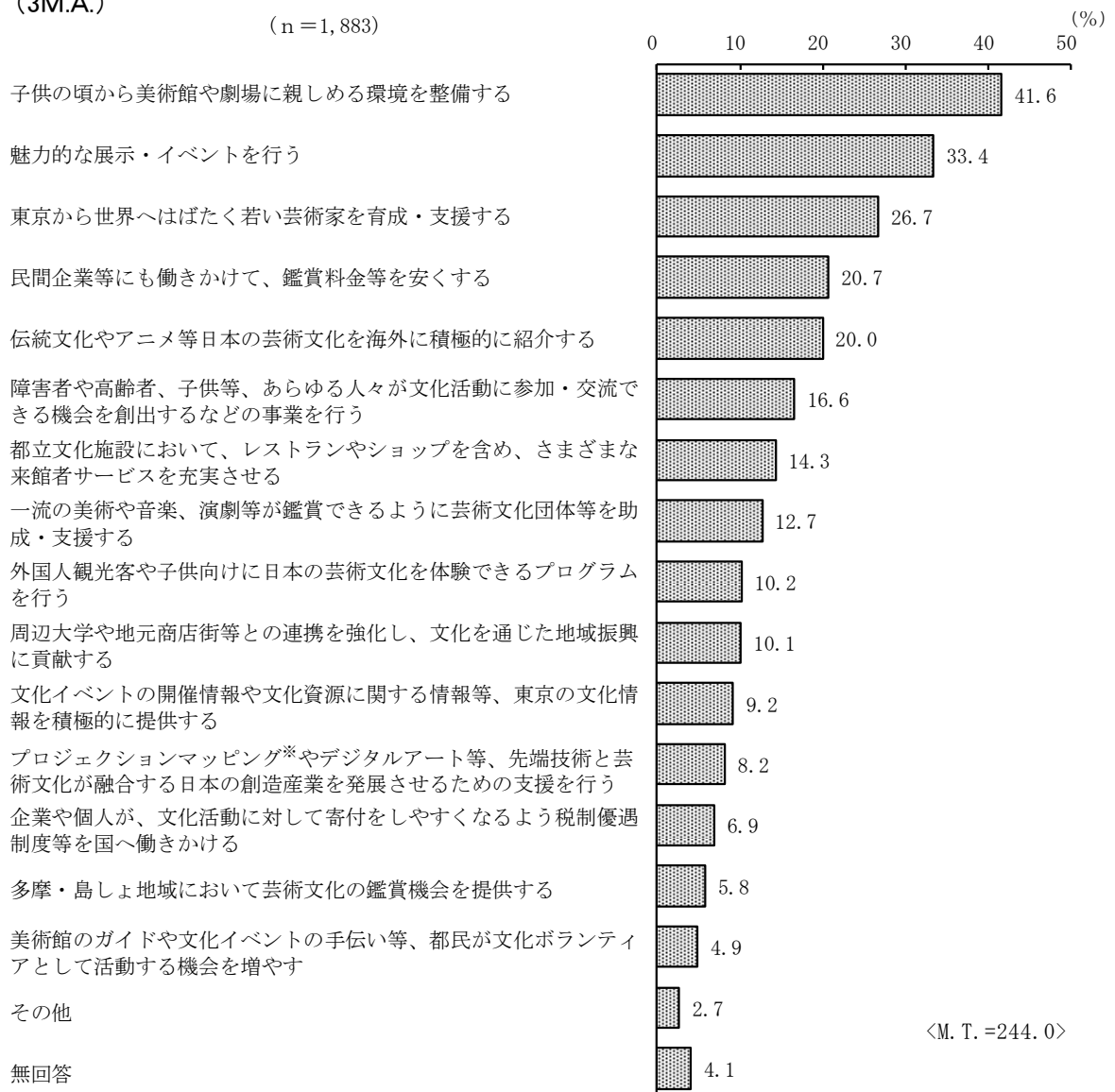
※7-2 文化施策に対する要望

図7-2-1

(全員の方に)

問24 東京の文化振興をさらに発展させるために、今後、東京都はどのような取組を積極的に進める必要があると思いますか。次の中から当てはまるものを3つまでお選びください。(〇は3つまで)
(3M.A.)

(n=1,883)

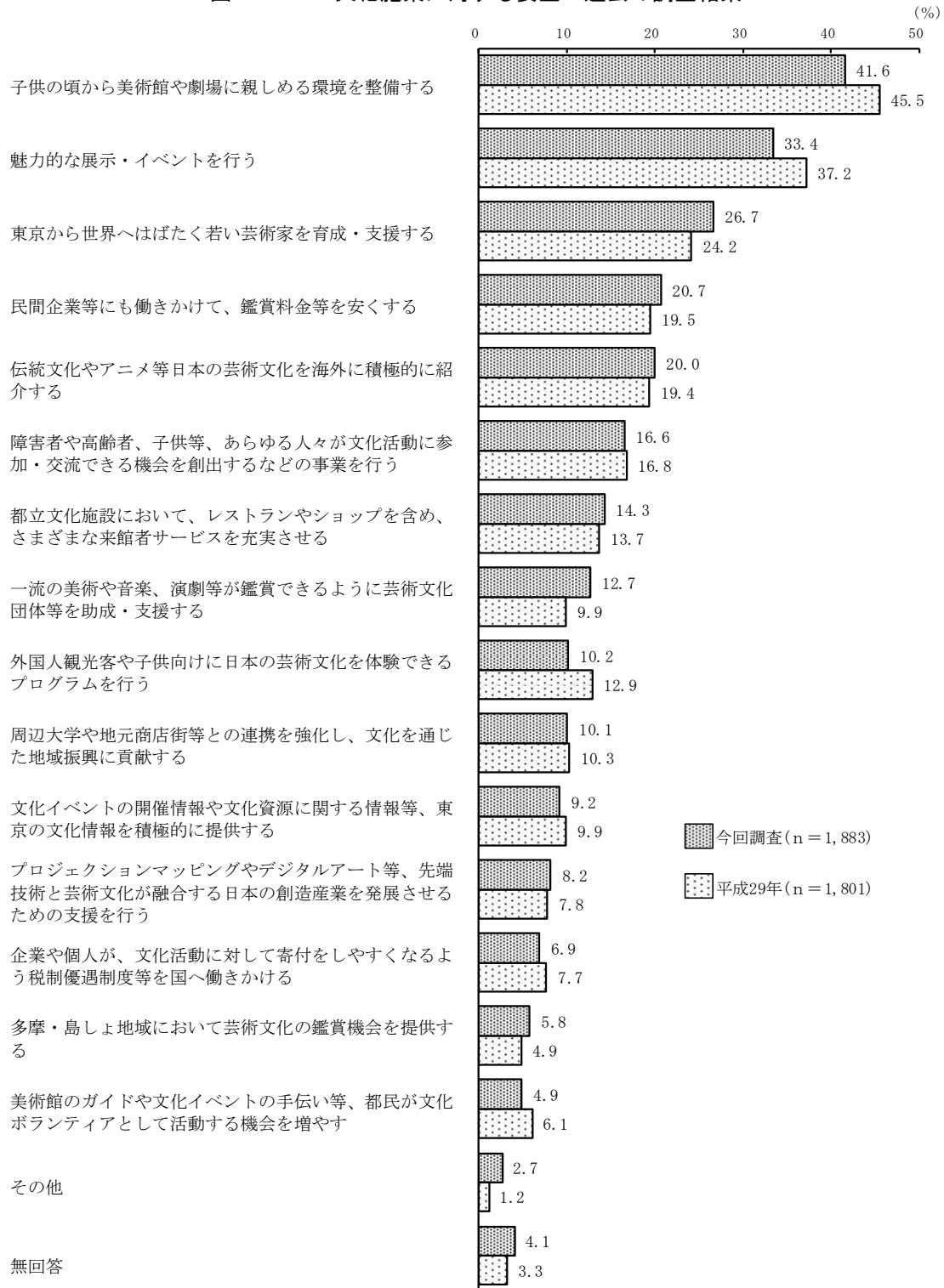


※建物などの立体物に映像を投影する技術・演出方法

東京の文化振興をさらに発展させるために、今後、東京都はどのような取組を積極的に進める必要があると思うか聞いたところ、「子供の頃から美術館や劇場に親しめる環境を整備する」が42%と最も多く、次いで「魅力的な展示・イベントを行う」33%、「東京から世界へはばたく若い芸術家を育成・支援する」27%、「民間企業等にも働きかけて、鑑賞料金を安くする」21%、「伝統文化やアニメ等日本の芸術文化を海外に積極的に紹介する」20%などの順となっている。(図7-2-1)

今回は、調査方法が前回と異なるため、文化施策に対する要望を前回の調査結果と単純に比較することはできないが、「子供の頃から美術館や劇場に親しめる環境を整備する」、「魅力的な展示・イベントを行う」は4ポイント減少している。一方「東京から世界へはばたく若い芸術家を育成・支援する」は3ポイント増加している。(図7-2-2)

図7-2-2 文化施策に対する要望—過去の調査結果



(注1) 平成29年は「文化に関する世論調査（平成29年11月調査）」

(注2) 平成29年の調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回調査は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

エリア別にみると、「障害者や高齢者、子供等、あらゆる人々が文化活動に参加・交流できる機会を創出するなどの事業を行う」は区部東部・北部で2割を超えている。

性・年齢別にみると、「子供の頃から美術館や劇場に親しめる環境を整備する」は女性で4割半ばと、男性よりも8ポイント高く、女性30代で5割半ばと多くなっている。

(表7-2-1)

表7-2-1 文化施策に対する要望—エリア別、性・年齢別

	n	子供の頃から美術館や劇場に親しめる環境を整備する	魅力的な展示・イベントを行う	東京から世界へはばたく若い芸術家を育成・支援する	民間企業等にも働きかけて、鑑賞料金を安くする	伝統文化やアニメ等日本の芸術文化を海外に積極的に紹介する	障害者や高齢者、子供等、あらゆる人々が文化活動に参加・交流できる機会を創出するなどの事業を行う	障害者や高齢者、子供等、あらゆる人々が文化活動に参加・交流できる機会を創出するなどの事業を行う	都立文化施設において、レストランやショップを含め、さまざまな来館者サービスを充実させる	一流の美術や音楽等が鑑賞できるような芸術文化団体等を助成・支援する	外国人観光客や子供向けに日本の芸術文化を体験できるプログラムを行う	周辺地域振興に貢献する	周辺大学や地元商店街等との連携を強化し、文化を通じた地域振興に貢献する	東京の文化情報を積極的に提供する	文化イベントの開催情報や文化資源に関する情報等、東京の文化情報を積極的に提供する	先端技術と芸術文化が融合する日本の創造産業を発展させるための支援を行う	企業や個人が、文化活動に対して寄付をしやすくする	多摩・島しょ地域において芸術文化の鑑賞機会を提供する	美術館のガイドや文化イベントの手伝い等、都民が文化ボランティアとして活動する機会を増やす	その他	無回答
全体	1,883	41.6	33.4	26.7	20.7	20.0	16.6	14.3	12.7	10.2	10.1	9.2	8.2	6.9	5.8	4.9	2.7	4.1			
＜ エリア別 ＞																					
区部（計）	1,249	42.0	34.6	26.2	21.1	20.2	16.6	15.5	13.6	10.5	10.4	9.5	8.9	7.8	1.7	5.4	2.2	4.0			
センター・コア	368	40.2	37.2	26.9	18.8	19.6	12.0	13.9	14.7	10.3	12.0	10.3	7.3	9.5	1.1	5.7	2.2	3.5			
区部東部・北部	376	40.7	31.1	25.0	21.0	19.7	22.1	15.4	12.0	10.9	10.4	8.5	9.6	5.6	1.6	4.8	2.7	5.1			
区部西部・南部	505	44.4	35.2	26.5	23.0	21.0	15.8	16.8	14.1	10.3	9.3	9.7	9.5	8.1	2.2	5.5	2.0	3.6			
市町村部（計）	634	40.9	30.9	27.8	19.7	19.6	16.7	12.0	10.9	9.6	9.6	8.5	6.8	5.2	13.9	4.1	3.6	4.4			
多摩東部	245	44.5	31.8	31.8	20.0	25.7	16.3	13.9	10.6	8.6	6.9	9.0	6.9	5.7	7.8	3.7	3.7	3.3			
多摩中央部北	89	37.1	32.6	24.7	20.2	12.4	10.1	11.2	6.7	12.4	5.6	6.7	6.7	3.4	19.1	6.7	4.5	6.7			
多摩中央部南	252	40.1	27.4	25.8	18.7	17.9	19.8	11.1	12.7	9.9	13.5	6.7	7.9	6.3	15.9	4.0	2.8	4.8			
多摩西部・島しょ	48	33.3	41.7	22.9	22.9	10.4	14.6	8.3	10.4	8.3	10.4	18.8	-	-	25.0	2.1	6.3	4.2			
＜ 性・年齢別 ＞																					
男性（計）	820	37.4	35.0	26.1	19.3	21.0	14.0	14.4	10.5	10.4	11.5	8.4	9.8	7.9	6.8	4.1	3.3	3.7			
18・19歳	8	12.5	37.5	12.5	-	37.5	25.0	12.5	12.5	12.5	-	12.5	25.0	-	-	-	-	-			
20代	57	29.8	31.6	45.6	14.0	26.3	12.3	7.0	14.0	8.8	5.3	3.5	24.6	10.5	1.8	1.8	5.3	1.8			
30代	112	46.4	31.3	27.7	18.8	26.8	9.8	9.8	9.8	11.6	11.6	5.4	18.8	7.1	4.5	2.7	3.6	0.9			
40代	147	38.1	39.5	28.6	19.0	32.7	7.5	17.7	9.5	10.2	15.0	8.2	10.9	8.2	6.1	2.7	3.4	1.4			
50代	149	34.2	37.6	22.8	21.5	19.5	13.4	17.4	10.1	11.4	10.7	5.4	6.0	12.1	8.1	3.4	4.7	-			
60代	149	36.2	37.6	20.8	20.1	13.4	18.1	12.1	9.4	11.4	14.1	13.4	5.4	6.7	7.4	4.7	2.7	4.0			
70歳以上	198	38.4	30.8	24.7	19.7	13.6	18.7	16.2	11.6	8.6	9.6	10.1	5.1	5.6	9.1	7.1	2.0	10.1			
女性（計）	1,048	45.2	32.2	27.1	21.9	19.3	18.6	14.2	14.6	10.2	9.2	9.8	7.1	6.2	5.1	5.5	2.2	4.3			
18・19歳	8	37.5	62.5	50.0	-	50.0	12.5	12.5	-	12.5	12.5	12.5	-	-	-	-	-	-			
20代	95	45.3	38.9	29.5	16.8	23.2	8.4	14.7	13.7	10.5	5.3	8.4	11.6	5.3	3.2	7.4	2.1	1.1			
30代	136	54.4	22.1	36.0	20.6	21.3	19.1	9.6	13.2	16.9	7.4	7.4	10.3	11.8	6.6	2.9	1.5	2.2			
40代	190	50.0	34.7	25.8	20.0	20.0	15.8	13.2	13.2	15.8	12.6	7.9	8.4	5.8	1.6	5.3	2.1	2.1			
50代	191	42.9	36.6	25.1	26.2	17.3	22.0	13.6	14.1	7.3	8.9	11.0	6.8	6.8	5.8	6.8	3.7	0.5			
60代	164	40.9	32.3	25.0	26.8	21.3	19.5	17.7	16.5	10.4	8.5	13.4	5.5	2.4	4.3	6.7	1.2	1.8			
70歳以上	264	41.7	28.8	24.6	20.5	15.5	21.2	15.5	16.3	4.5	9.5	9.8	4.2	6.1	7.6	4.9	2.3	12.5			

職業別にみると、「子供の頃から美術館や劇場に親しめる環境を整備する」は販売・サービス職で5割を超えて多くなっている。「魅力的な展示・イベントを行う」は学生で6割を超えて、経営・管理職で4割半ばと多くなっている。

文化的な環境別にみると、「子供の頃から美術館や劇場に親しめる環境を整備する」は“楽しんでいる(計)”で5割近くと“楽しんでいない(計)”よりも10ポイント高くなっている。「東京から世界へはばたく若い芸術家を育成・支援する」は“楽しんでいる(計)”で約3割と、“楽しんでいない(計)”よりも6ポイント高くなっている。(表7-2-2)

表7-2-2 文化施策に対する要望—職業別、文化的な環境別

		(%)																			
	n	子供の頃から美術館や劇場に親しめる環境を整備する	魅力的な展示・イベントを行う	東京から世界へはばたく若い芸術家を育成・支援する	民間企業等にも働きかけて、鑑賞料金を安くする	伝統文化やアニメ等日本の芸術文化を海外に積極的に紹介する	障害者や高齢者、子供等、あらゆる人々が文化活動に参加・交流できる機会を創出するなどの事業を行う	さまざまな来館者サービスを充実させる	都立文化施設において、レストランやショップを含め、助成・支援する	一流の美術や音楽等が鑑賞できるよう芸術文化団体等を	外国人観光客や子供向けに日本の芸術文化を体験できるプログラムを行う	地域振興に貢献する	周辺大学や地元商店街等との連携を強化し、文化を通じて	文化イベントの開催情報や文化資源に関する情報等、東京の文化情報を積極的に提供する	技術と芸術文化が融合する日本の創造産業を発展させるための支援を行う	プロジェクションマッピングやデジタルアート等、先端技術と芸術文化が融合する日本の創造産業を発展させる	企業や個人が、文化活動に対して寄付をしやすくなるよう税制優遇制度等を国へ働きかける	多摩・島しょ地域において芸術文化の鑑賞機会を提供する	美術館のガイドや文化イベントの手伝い等、都民が文化ボランティアとして活動する機会を増やす	その他	無回答
全体	1,883	41.6	33.4	26.7	20.7	20.0	16.6	14.3	12.7	10.2	10.1	9.2	8.2	6.9	5.8	4.9	2.7	4.1			
< 職業別 >																					
自営・家族従業(計)	212	42.0	34.0	27.4	17.9	21.2	12.7	15.6	11.3	9.4	13.7	9.0	9.0	9.0	4.2	4.2	2.8	3.3			
勤め(計)	990	44.3	33.7	28.0	22.0	22.5	15.5	14.2	12.2	11.7	10.6	8.4	9.8	7.9	5.6	4.2	2.6	1.5			
経営・管理職	141	45.4	44.7	25.5	20.6	22.7	11.3	17.7	10.6	9.9	9.2	6.4	9.2	14.2	5.0	2.8	2.1	1.4			
専門・技術職	285	44.6	29.8	28.8	21.1	23.2	16.5	11.2	14.0	15.1	11.6	7.7	9.1	6.3	5.6	3.5	4.2	0.7			
事務職	266	43.2	32.7	28.2	20.3	22.9	13.5	16.9	12.8	9.4	11.7	9.4	11.7	7.1	4.5	4.5	3.0	1.5			
労務・技能職	99	35.4	33.3	28.3	24.2	22.2	17.2	13.1	13.1	12.1	13.1	10.1	7.1	7.1	11.1	4.0	-	2.0			
販売・サービス職	161	52.8	32.3	29.2	23.0	23.0	16.8	14.9	10.6	11.2	8.1	8.1	9.9	5.6	4.3	6.2	1.2	1.9			
無職の主婦・主夫	371	43.7	32.3	25.9	21.3	15.1	19.1	13.7	15.6	9.7	8.4	10.5	4.6	4.6	7.5	7.8	1.3	6.7			
学生	41	26.8	61.0	39.0	17.1	29.3	17.1	9.8	12.2	7.3	4.9	12.2	17.1	-	2.4	2.4	-	-			
その他の無職	211	32.7	30.3	19.4	19.9	14.7	19.0	17.1	13.3	6.2	7.1	10.4	5.7	6.2	5.7	3.8	5.2	9.0			
< 文化的な環境別 >																					
楽しんでいる	302	44.7	36.8	35.1	20.9	21.2	13.9	14.9	19.2	9.6	9.3	8.3	10.9	10.3	3.3	6.3	3.6	1.7			
まあ楽しんでいる	636	48.0	34.0	27.2	23.1	24.1	15.1	16.5	15.1	10.8	11.0	11.3	7.5	7.2	5.7	5.7	1.6	2.2			
あまり楽しんでいない	602	38.7	34.6	26.4	20.4	18.4	18.9	14.1	11.0	12.3	10.8	8.3	8.0	6.6	6.1	4.0	2.2	2.8			
楽しんでいない	317	32.5	27.1	18.9	16.7	13.9	16.7	11.0	5.0	6.0	8.5	7.6	7.6	4.1	7.6	4.4	5.4	11.0			
楽しんでいる(計)	938	46.9	34.9	29.7	22.4	23.1	14.7	16.0	16.4	10.4	10.4	10.3	8.6	8.2	4.9	5.9	2.2	2.0			
楽しんでいない(計)	919	36.6	32.0	23.8	19.2	16.9	18.2	13.1	8.9	10.1	10.0	8.1	7.8	5.8	6.6	4.1	3.3	5.7			

(注) 『楽しんでいる(計)』は「楽しんでいる」「まあ楽しんでいる」の合計
『楽しんでいない(計)』は「楽しんでいない」「あまり楽しんでいない」の合計

調査票及び単純集計結果

東京都『都民生活に関する世論調査』調査票

【暮らし】

(全員の方に)

問1 さっそくですが、お宅さまの暮らしは、昨年の今ごろとくらべて楽になりましたか、苦しくなりましたか、それとも、変わりませんか。(○は1つ) <n=1,883>

3.0 1 楽になった →	問2へ	53.3 3 変わらない	} → 問2へ
40.7 2 苦しくなった	問1-1へ	2.6 4 わからない	
		0.4 無回答	

(問1で「2 苦しくなった」と答えた方に)

問1-1 暮らしが苦しくなったのはなぜでしょうか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(○はいくつでも) <n=766>

35.5	1	営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った	
17.4	2	失業、退職、病気などで働き手が減った	
16.1	3	利率の低下などにより預貯金が目減りした	
56.1	4	家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた	
14.4	5	結婚、出産、病気など特別の出費があった	
14.4	6	教育費が増えた	
19.6	7	家や自動車、家電などの支出が増えた	
36.7	8	税金や保険料の支払いが増えた	
2.7	9	営業経費が増えた	
4.2	10	その他 (具体的に _____)	
1.3	11	特に理由はない、わからない	
0.4		無回答	M. T. =218.3

(全員の方に)

問2 お宅さまの暮らしは、次のうちどれに当たりますか。あなたの感じ方に一番近いものを1つだけお選びください。(○は1つ) <n=1,883>

5.5	1	今の暮らしで十分余裕がある	39.2	3	今の暮らしではまだまだ余裕がない
45.0	2	今の暮らしであればまあまあだ	9.9	4	今の暮らしではとてもやりきれない
			0.4		無回答

(全員の方に)

問3 お宅さまの生活程度は、世間一般からみて、次のうちどれに入りますか。(○は1つ) <n=1,883>

1.9 1 上	37.0 3 中の中	13.3 5 下
15.6 2 中の上	26.0 4 中の下	6.1 6 わからない
		0.2 無回答

(全員の方に)

問4 あなたの暮らしむきは、これから1年間楽になると思いますか、苦しくなると思いますか。それとも変わらないと思いますか。(○は1つ) <n=1,883>

0.5 1 かなり楽になる	}	→ 問5へ	34.3 4 やや苦しくなる	}	→ 問4-1へ
3.8 2 やや楽になる			13.8 5 かなり苦しくなる		
40.6 3 変わらない			5.9 6 わからない	→ 問5へ	
			1.2 無回答		

(問4で「4 やや苦しくなる」「5 かなり苦しくなる」と答えた方に)

問4-1 では、今後、切りつめていこうと思うものがありますか。次の中から当てはまるものをいくつかもお選びください。(○はいくつでも) <n=904>

59.6 1 食費	20.1 10 保健、医療費
27.8 2 嗜好品費(酒、タバコなど)	28.1 11 理・美容、化粧品費
41.3 3 住居費(光熱水費を含む)	36.1 12 趣味、教養・娯楽費
47.2 4 被服費(身の回り品を含む)	36.9 13 旅行
25.2 5 装飾品費(宝石、貴金属類など)	49.2 14 外食費
26.9 6 家具、家電製品、車などの購入費	13.2 15 家族のこづかい
18.3 7 交通費(車の燃料・経費を含む)	14.4 16 冠婚葬祭、交際費
23.1 8 通信費(電話、インターネット接続など)	2.9 17 その他(具体的に
6.0 9 教育費(塾を含む)	3.2 18 特にない
	0.3 無回答
M. T. =479.4	

(全員の方に)

問5 あなたは、現在のご自分の生活に満足していますか。(○は1つ) <n=1,883>

3.2 1 大変満足している	34.9 3 やや不満である	4.0 5 わからない
46.5 2 まあ満足している	10.2 4 大変不満である	1.1 無回答
↓ 問5-1へ	→ 問5-2へ (次のページ)	→ 問6へ (次のページ)

(問5で「1 大変満足している」「2 まあ満足している」と答えた方に)

問5-1 どのような理由で満足されていますか。次の中から当てはまるものをいくつかもお選びください。(○はいくつでも) <n=936>

71.0 1 健康であるから	16.1 8 スポーツやレジャー活動が充実しているから
23.0 2 衣生活が豊かだから	18.1 9 仕事や勉強がうまくいっているから
36.5 3 食生活が豊かだから	27.5 10 趣味、教養の時間が十分とれて充実しているから
34.9 4 住生活が豊かだから	14.6 11 家具、車など耐久消費財がそろっているから
59.0 5 家族との生活が充実しているから	7.6 12 十分な貯蓄があるから
38.5 6 友人、知人との人間関係が充実しているから	10.3 13 悩みや心配ごとがないから
7.2 7 地域活動やボランティア活動などで社会に貢献しているから	2.5 14 その他(具体的に
	0.3 無回答
M. T. =366.7	

(問5で「3 やや不満である」「4 大変不満である」と答えた方に)

問5-2 どのような理由で不満であると感じていますか。次の中から当てはまるものをいくつかもお選びください。(〇はいくつでも) <n=851>

28.4 1	健康でないから	23.4 8	スポーツやレジャー活動が思うようにできないから
12.3 2	衣生活が不十分だから	19.9 9	仕事や勉強がうまくいっていないから
19.3 3	食生活が不十分だから	29.3 10	趣味、教養の時間が十分とれないから
23.6 4	住生活が不十分だから	26.3 11	家具、車など、欲しいものが買えないから
8.7 5	家族との生活がうまくいっていないから	71.1 12	貯蓄が十分でないから
4.9 6	友人、知人との人間関係がうまくいっていないから	38.3 13	悩みや心配ごとがあるから
12.6 7	社会に貢献しているという充実感がないから	5.2 14	その他 (具体的に)
		0.5	無回答
			M. T. =323.3

(全員の方に)

問6 あなたが、今後の生活を考えたとき、不安に感じることはありませんか。次の中から当てはまるものをいくつかもお選びください。(〇はいくつでも) <n=1,883>

72.0 1	自分の健康・病気	36.3 9	親などの介護
61.3 2	家族の健康・病気	61.2 10	老後の生活
12.7 3	自分の就職、結婚などの問題	9.8 11	家族・親族間の人間関係
11.2 4	家族の就職、結婚などの問題	5.1 12	近隣・地域の人間関係
17.6 5	子育て、子供の教育	22.1 13	仕事や職場のこと
53.2 6	今後の収入	1.8 14	その他 (具体的に)
36.9 7	貯蓄や資産 (借金や負債)	1.3 15	不安に感じることはない
42.9 8	税金や保険料 (などの負担)	1.2	無回答
			M. T. =445.3

(全員の方に)

問7 あなたは、税金について関心がありますか。(〇は1つ) <n=1,883>

36.1 1	大いに関心がある	7.2 3	関心がない	→ 問8へ (次のページ)
45.5 2	少し関心がある	8.3 4	わからない	
		2.9	無回答	

▼ 問7-1へ

(問7で「1 大いに関心がある」「2 少し関心がある」と答えた方に)

問7-1 では、今、あなたが関心をもっているのはどのようなことですか。次の中から当てはまるものをいくつかもお選びください。(〇はいくつでも) <n=1,536>

64.8 1	自分の納める税額	13.6 5	隠し所得や脱税の摘発
19.1 2	申告・納税のしかた	50.1 6	所得税や住民税などの減税
70.8 3	税金の使われ方	31.0 7	新税の導入や増税
42.1 4	税負担の不公平さ	2.8 8	その他 (具体的に)
		0.2	無回答
			M. T. =294.3

【住んでいる地域】

(全員の方に)

問8 ところで、あなたが、今住んでいらっしゃるところは、住みよいところだと思いますか。それとも、思いませんか。(〇は1つ) <n=1,883>

81.5 1 住みよいところだと思う	8.4 3 わからない
8.8 2 住みよいところだとは思わない	1.3 無回答

(全員の方に)

問9 あなたは、今お住まいのこの地域に今後もずっと住みたいと思いますか、それとも、住みたくないと思いますか。あなたの今のお気持ちをお答えください。(〇は1つ) <n=1,883>

69.5 1 住みたい	11.3 2 住みたくない	17.8 3 わからない → 問10へ (次のページ)
		1.4 無回答

問9-1へ

問9-2へ

(問9で「1 住みたい」と答えた方に)

問9-1 住みたいと思うのはなぜですか。次の中から3つまでお答えください。(〇は3つまで) <n=1,308>

40.3 1 通勤・通学に便利なところだから
66.3 2 買物など日常の生活環境が整っているから
41.1 3 地域に愛着を感じているから (住み慣れているから)
43.0 4 自分の土地や家があるから
16.4 5 親や子供、親類が近くにいるから
6.0 6 仕事や商売に都合がよいから
22.8 7 静かで住環境がよいから
20.6 8 緑などの自然環境がよいから
6.7 9 文化や教育の面で環境がよいから
4.1 10 福祉サービスが充実しているから
6.7 11 防災の面で安心だから
20.1 12 治安の面で安心だから
1.5 13 その他 (具体的に)
0.2 14 わからない
M. T. =295.9

(問9で「2 住みたくない」と答えた方に)

問9-2 住みたくないと思うのはなぜですか。次の中から3つまでお答えください。(〇は3つまで) <n=213>

16.9 1 通勤・通学に不便なところだから
20.2 2 買物など日常の生活環境が整っていないから
27.7 3 地域に愛着を感じないから
27.7 4 家賃など住居費が高いから
12.2 5 親や子供、親類が近くにいないから
25.4 6 騒音・振動・大気汚染など周辺環境がよくないから
15.0 7 緑などの自然環境がよくないから
8.9 8 文化や教育の面で環境がよくないから
8.5 9 福祉サービスが充実していないから
20.2 10 防災の面で不安だから
14.1 11 治安の面で不安だから
20.2 12 その他 (具体的に)
0.5 13 わからない
M. T. =217.4

【東京】

(全員の方に)

問10 あなたにとって東京は、全般的にみて住みよいところですか、それとも住みにくいところですか。(○は1つ) <n=1,883>

58.0 1 住みよい	32.2 3 どちらともいえない
6.6 2 住みにくい	2.4 4 わからない
	0.7 無回答

(全員の方に)

問11 あなたは、東京に今後もずっと住みたいと思いますか、それとも、住みたくないと思いますか。あなたの中の気持ちをお答えください。(○は1つ) <n=1,883>

69.7 1 住みたい	9.1 2 住みたくない	19.9 3 わからない	問12へ (次のページ)
		1.2 無回答	

問11-1へ

問11-2へ

(問11で「1 住みたい」と答えた方に)

問11-1 住みたいと思うのはなぜですか。
次の中から3つまでお答えください。
(○は3つまで) <n=1,313>

79.2 1 交通網が発達していて便利だから
28.6 2 文化的な施設やコンサート・スポーツなどの催しが多いから
14.6 3 最新の情報が手に入り、流行の先端に触れることができるから
13.6 4 仕事を見つけやすい、事業をおこしやすいから
14.2 5 教育や学習の機会や場が充実しているから
36.7 6 医療や福祉などの質が高いから
10.8 7 治安の面で安心だから
18.0 8 東京が好きだから
53.7 9 東京に長く暮らしているから
14.3 10 人間関係がわずらわしくないから
2.5 11 その他 (具体的に)
- 12 わからない
0.1 無回答

M. T. = 286.4

(問11で「2 住みたくない」と答えた方に)

問11-2 住みたくないと思うのはなぜですか。
次の中から3つまでお答えください。
(○は3つまで) <n=172>

51.7 1 人や車が多過ぎるから
26.7 2 通勤・通学ラッシュがひどいから
62.2 3 生活費が高いから
47.7 4 住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから
21.5 5 緑や公園などの自然が少ないから
21.5 6 大気汚染や騒音などの公害がひどいから
10.5 7 治安の面で不安だから
15.1 8 人間関係が希薄だから
7.6 9 街並みが雑然として景観がよくないから
9.3 10 その他 (具体的に)
- 11 わからない

M. T. = 273.8

【都政への要望】

(全員の方に)

問12 あなたは、これからの都政の進め方に対して、どんなことを望みますか。次の中から特に望むことを3つまでお選びください。(〇は3つまで) <n=1,883>

36.8	1	都政情報をわかりやすく提供する	13.6	8	住民に身近な事務は区市町村に任せる
30.0	2	情報公開を積極的に進める	7.0	9	国に対してさらに地方分権を働きかける
40.1	3	都民の意見や要望をよく知る	4.8	10	ボランティア活動や市民活動と協働する
29.6	4	行政手続のデジタル化・簡素化を進める	4.2	11	その他(具体的に)
13.2	5	都庁の組織を簡素化する	5.6	12	特にない
15.2	6	職員の意識改革を進める	4.2	13	わからない
37.4	7	予算を効率的に執行する	0.9		無回答
					M. T. =241.6

(全員の方に)

問13 新型コロナウイルス感染症の流行が続いています。

あなたは、「新型コロナウイルス感染症に関する対策」について、都にどのようなことを望みますか。次の中から特に望むことを3つまでお選びください。(〇は3つまで) <n=1,883>

62.5	1	医療提供体制の充実強化 (検査、従事者・病床確保、ワクチン接種等)	11.5	6	オンライン学習推進など学びの確保 (デジタル環境整備、学校の感染症対策等)
19.5	2	経営に影響があった事業者への支援 (融資、協力金・給付金、販路開拓支援等)	32.8	7	情報発信の充実 (正しい知識や対策のわかりやすい啓発等)
44.0	3	生活に困った方への支援 (資金貸付、居住支援、離職者支援等)	21.5	8	相談体制の充実 (不安や孤立、生活全般の相談支援)
17.2	4	緊急事態措置など危機管理 (不要不急の外出自粛・休業・営業時間短縮の要請等)	24.0	9	社会経済活動の再生・回復の促進
19.8	5	テレワーク・時差出勤等の推進 (環境整備支援、業務効率化による働き方改革等)	3.2	10	その他(具体的に)
			3.2	11	特にない
			0.4		無回答
					M. T. =259.2

(全員の方に)

問14 これからの都政全体について考えた場合、次にあげたことのどれに力を入れてほしいと思いますか。特に都に力を入れて取り組んでもらいたいことを5つまでお選びください。

(○は5つまで)

なお、次の問14-1〔分野別要望〕に、具体的な要望内容を記載していますので、参考にしてください。<n=1,883>

22.4 1 行財政	→ 問14-1へ	27.7 16 少子化・虐待防止などの子供対策	→ 問14-1へ
1.3 2 都市外交の推進		35.5 17 医療・衛生対策	
33.8 3 治安対策		8.6 18 まちづくりの推進	
16.4 4 交通安全対策		11.4 19 公園・緑地・水辺の整備	
42.1 5 防災対策		13.3 20 水道・下水道の整備・維持	
8.2 6 中小企業対策		7.4 21 道路交通網の整備	
13.8 7 雇用就業対策		6.6 22 都営交通の整備	
4.9 8 観光振興対策		12.5 23 土地・住宅対策	
21.8 9 消費生活対策		15.3 24 学校教育の充実	
8.4 10 男女平等参画の推進		5.6 25 生涯学習、社会教育の振興	
4.0 11 地域活動の推進		6.6 26 文化・芸術の振興	
4.8 12 青少年健全育成の推進		4.9 27 スポーツ・レクリエーションの振興	
18.4 13 環境対策		4.1 28 多文化共生社会の推進	
41.5 14 高齢者対策		2.1 29 その他	
10.2 15 障害者(児)対策		3.9 30 わからない → 問15へ	
	0.5 無回答	M. T. = 417.5	

〔問14で「1 行財政」～「29 その他」を選んだ方に〕

問14-1 それでは、問14で（5つまで）選ばれた「都に力を入れて取り組んでほしいこと」について、それぞれ具体的にどのようなことを望まれますか。次の表の左側のあなたが選ばれた項目に対応する右側の〔問14-1 分野別要望〕の中から該当するものについて、それぞれ1つずつお選びください。(○はそれぞれ1つ) ※11ページ〔本報告書でP150〕まであります。

問14で選ばれた「都に力を入れて取り組んでほしいこと」	〔問14-1 分野別要望〕(○はそれぞれ1つ)
「1 行財政」を選んだ方	30.8 1 行政手続のデジタル化の推進 11.1 2 業務の効率化の推進など業務改革の推進 5.7 3 行政と民間との協働の推進や行政分野の民間開放 2.4 4 組織、人事制度など執行体制の整備 45.3 5 都税の適正な徴収と使用など財政の健全化 1.9 6 都区制度を含む自治制度の見直し 1.2 7 その他(具体的に) 1.7 無回答 <n=422>
「2 都市外交の推進」を選んだ方	70.8 1 都市間交流の推進 16.7 2 国際交流・協力活動への支援 12.5 3 その他(具体的に) <n=24>

問14で選ばれた「都に力を 入れて取り組んでほしいこと」	〔問14-1 分野別要望〕(○はそれぞれ1つ)
「3 治安対策」を選んだ方	20.9 1 警察官によるパトロールの強化 22.0 2 子供等に対する犯罪が起りにくい環境の整備 4.2 3 少年犯罪・少年非行の防止 8.6 4 防犯設備の設置等に対する支援 11.5 5 外国人による犯罪の防止 9.4 6 オレオレ詐欺や還付金詐欺などの特殊詐欺被害の防止 6.1 7 テロ対策等新たな犯罪への取組 12.6 8 不正アクセスなどインターネットを利用した犯罪の防止 0.9 9 その他(具体的に) 3.6 無回答 < n = 636 >
「4 交通安全対策」を選んだ方	17.8 1 交通渋滞の緩和・交通量の抑制 6.8 2 違法駐車対策 10.4 3 車の規制・取締り 5.8 4 交通安全教育の推進 28.5 5 自転車通行空間(自転車道等)の整備 22.3 6 自転車安全利用の促進 3.2 7 その他(具体的に) 5.2 無回答 < n = 309 >
「5 防災対策」を選んだ方	41.6 1 防災都市づくり(無電柱化、道路の整備や建築物の耐震化・不燃化等) 25.7 2 災害時の活動体制の充実 6.4 3 防災対策に関する普及・啓発活動の充実 22.7 4 風水害対策(台風・集中豪雨による災害の予防・復旧等) 0.6 5 その他(具体的に) 2.9 無回答 < n = 793 >
「6 中小企業対策」を選んだ方	14.3 1 地域商工業の振興 29.2 2 融資制度等の充実 10.4 3 創業支援 9.1 4 技術の開発・向上支援 29.2 5 経営革新・経営安定の支援 0.6 6 その他(具体的に) 7.1 無回答 < n = 154 >
「7 雇用就業対策」を選んだ方	55.8 1 雇用・就業の促進 8.1 2 職業能力開発・向上 7.7 3 労働相談・指導の充実 21.9 4 働き方改革の推進 1.2 5 その他(具体的に) 5.4 無回答 < n = 260 >
「8 観光振興対策」を選んだ方	33.7 1 外国人旅行者の誘致のための取組 10.9 2 観光案内の充実 6.5 3 多摩・島しょ地域の観光振興 42.4 4 観光資源を活かしたまちづくりの推進 3.3 5 その他(具体的に) 3.3 無回答 < n = 92 >

問14で選ばれた「都に力を 入れて取り組んでほしいこと」	〔問14-1 分野別要望〕(○はそれぞれ1つ)
「9 消費生活対策」を 選んだ方	18.0 1 悪質商法などによる消費者トラブルの相談、救済 29.9 2 悪質な事業者の指導・処分 32.4 3 食品や生活用品などの表示の適正化の推進 6.6 4 商品・サービスに係る危害・危険の防止対策 6.3 5 消費者教育など消費者の自立支援策の充実 1.2 6 その他(具体的に) 5.6 無回答 < n = 411 >
「10 男女平等参画の推進」を 選んだ方	49.1 1 働く場での男女の均等な機会・待遇の確保、女性が活躍できる 環境の整備 31.4 2 仕事と家庭・地域生活の両立の支援 5.7 3 配偶者等からの暴力(DV)の防止 7.5 4 男女平等の普及啓発 2.5 5 その他(具体的に) 3.8 無回答 < n = 159 >
「11 地域活動の推進」を 選んだ方	19.7 1 NPO等の市民活動への支援 32.9 2 社会貢献活動を行う団体と行政との協働の推進 42.1 3 ボランティア活動参加への支援 2.6 4 その他(具体的に) 2.6 無回答 < n = 76 >
「12 青少年健全育成の推進」 を選んだ方	28.6 1 青少年の自立とボランティア活動など社会参加の促進 42.9 2 健全な成長を阻害する有害情報(不健全図書、インターネット利 用)からの青少年の保護 9.9 3 健全育成の担い手である地区委員などの育成 12.1 4 非行からの立ち直り支援 4.4 5 その他(具体的に) 2.2 無回答 < n = 91 >
「13 環境対策」を選んだ方	33.7 1 気候変動対策(省エネルギーの推進や自然エネルギーの活用) 5.2 2 ディーゼル車規制など自動車公害対策、大気汚染の改善 4.9 3 騒音・振動の防止対策 4.9 4 有害化学物質対策 17.0 5 豊かな自然や生物多様性の保全 6.1 6 東京湾や河川の水質改善 23.1 7 ごみ減量・リサイクル、産業廃棄物の適正処理 0.3 8 その他(具体的に) 4.9 無回答 < n = 347 >
「14 高齢者対策」を選んだ方	21.0 1 介護保険サービスの質的向上 13.2 2 訪問介護・通所介護等在宅サービスの充実 16.5 3 特別養護老人ホーム等施設サービスの充実 9.1 4 認知症の人と家族への支援 13.1 5 サービス付き高齢者向け住宅等高齢者が自立するための住まいの 確保 8.1 6 介護予防及び高齢期の健康づくり 11.0 7 高齢者が活躍できる地域づくりの促進 2.7 8 その他(具体的に) 5.4 無回答 < n = 781 >

問14で選ばれた「都に力を 入れて取り組んでほしいこと」	〔問14-1 分野別要望〕(○はそれぞれ1つ)
「15 障害者(児)対策」を 選んだ方	8.3 1 ショートステイ・通所等在宅サービスの充実 22.4 2 障害者支援施設等施設サービスの充実 8.9 3 グループホーム等障害者が自立するための住まいの確保 28.6 4 障害者の社会参加・障害者への理解の促進 19.8 5 障害者の就労支援 5.2 6 その他(具体的に) 6.8 無回答 < n = 192 >
「16 少子化・虐待防止など の子供対策」を選んだ方	21.1 1 児童虐待防止対策の推進 7.5 2 多様なニーズに対応した保育サービスの充実 7.1 3 ひとり親家庭への支援 3.8 4 児童館、学童クラブなど放課後対策の充実 22.4 5 子育て家庭への支援や相談の充実 16.9 6 妊娠・出産に対する支援 13.8 7 子供を大切に作る社会気運の醸成 0.8 8 子供の意見を政策に反映させる取組の充実 2.9 9 その他(具体的に) 3.8 無回答 < n = 522 >
「17 医療・衛生対策」を 選んだ方	20.0 1 医療施設の整備 18.2 2 救急医療体制の整備 4.5 3 がん予防・医療対策 35.7 4 安心できる医療の確保 2.1 5 生活習慣病予防対策 8.4 6 新型コロナウイルスやエイズ等感染症対策 2.2 7 花粉症などのアレルギー対策 2.7 8 食品の安全対策 0.9 9 その他(具体的に) 5.2 無回答 < n = 669 >
「18 まちづくりの推進」を 選んだ方	21.7 1 まちのバリアフリー化 29.2 2 再開発などのまちづくり推進 13.0 3 良好な景観づくりの推進 24.8 4 みどり豊かな都市空間への取組 7.5 5 道路空間の有効活用への取組(賑わいのある歩道への転換等) - 6 その他(具体的に) 3.7 無回答 < n = 161 >
「19 公園・緑地・水辺の 整備」を選んだ方	19.2 1 道路・河川の緑化の推進 57.5 2 公園・緑地の整備 16.8 3 親しめる水辺空間の創造 1.4 4 その他(具体的に) 5.1 無回答 < n = 214 >

問14で選ばれた「都に力を 入れて取り組んでほしいこと」	〔問14-1 分野別要望〕（〇はそれぞれ1つ）
「20 水道・下水道の整備・ 維持」を選んだ方	30.4 1 水道の安定供給 25.2 2 安全でおいしい水の供給 24.0 3 大雨による浸水被害対策 12.8 4 良好な水循環の確保 4.8 5 その他（具体的に) 2.8 無回答 < n = 250 >
「21 道路交通網の整備」を 選んだ方	18.7 1 幹線道路の整備 33.1 2 生活に密着した道路の整備 14.4 3 道路と鉄道との立体交差の推進 24.5 4 歩道の設置・拡幅 1.4 5 橋やトンネルなどの維持管理 5.8 6 その他（具体的に) 2.2 無回答 < n = 139 >
「22 都営交通の整備」を 選んだ方	40.0 1 利用者サービスの向上 12.0 2 環境に配慮した車両や施設・設備の導入 15.2 3 安全・安心の確保 15.2 4 施設や車両のバリアフリー化 12.8 5 その他（具体的に) 4.8 無回答 < n = 125 >
「23 土地・住宅対策」を 選んだ方	9.7 1 公共住宅の供給 12.3 2 子育て世帯への住宅支援 16.5 3 高齢者・障害者向け住宅対策 7.6 4 住宅の耐震性確保 28.4 5 住宅（持家・賃貸）の価格対策 4.7 6 住宅における省エネ化・CO ₂ 削減対策 1.7 7 住宅の売買やリフォーム、賃貸借に関するトラブル対策 8.5 8 マンションの管理等に対する支援（管理・改修・建替など） 5.1 9 その他（具体的に) 5.5 無回答 < n = 236 >
「24 学校教育の充実」を 選んだ方	25.0 1 個性を生かす学校教育の充実 16.0 2 いじめ・不登校対策 11.1 3 学校施設の整備 40.3 4 教員の資質向上・職場環境の整備 4.5 5 その他（具体的に) 3.1 無回答 < n = 288 >
「25 生涯学習、社会教育の 振興」を選んだ方	52.4 1 学習機会の充実 19.0 2 施設の充実 21.9 3 情報提供の充実 2.9 4 その他（具体的に) 3.8 無回答 < n = 105 >

問14で選ばれた「都に力を 入れて取り組んでほしいこと」	〔問14-1 分野別要望〕（〇はそれぞれ1つ）
「26 文化・芸術の振興」を 選んだ方	12.8 1 都立文化施設の魅力の向上 44.8 2 文化・芸術活動の支援や人材育成 14.4 3 伝統文化の継承と発展 16.8 4 文化財・歴史的建築物の保存・整備 6.4 5 文化事業の実施 - 6 その他（具体的に) 4.8 無回答 < n = 125 >
「27 スポーツ・レクリエー ションの振興」を選んだ方	48.9 1 施設の充実 26.1 2 スポーツ・レクリエーション活動への支援 6.5 3 競技スポーツの振興 5.4 4 国際スポーツ大会の誘致・開催 6.5 5 スポーツを支える人材（ボランティアや指導者など）の育成 - 6 障害者スポーツの振興 2.2 7 その他（具体的に) 4.3 無回答 < n = 92 >
「28 多文化共生社会の推進」 を選んだ方	27.3 1 在住外国人への生活サポート、情報提供、相談体制の充実 - 2 やさしい日本語の普及啓発 58.4 3 多様な価値観を受け入れる意識の醸成 3.9 4 在住外国人に対する防災知識の普及 5.2 5 その他（具体的に) 5.2 無回答 < n = 77 >
「29 その他」を選んだ方	23.1 1 人権尊重 12.8 2 平和意識の高揚 17.9 3 農林水産業振興 - 4 港湾整備 2.6 5 市場の整備・運営 2.6 6 国際ビジネス環境の整備 33.3 7 その他（具体的に) 7.7 無回答 < n = 39 >

【東京の文化】

(全員の方に)

問15 東京には美術館や劇場、映画館など文化施設が集中し、さまざまな展覧会や公演が行われていますが、あなたはこうした文化的な環境を楽しんでいますか。(○は1つ) <n=1,883>

16.0	1	楽しんでいる	32.0	3	あまり楽しんでいない
33.8	2	まあ楽しんでいる	16.8	4	楽しんでいない
			1.4		無回答

(全員の方に)

問16 パリ、ロンドン、ニューヨークといった文化的な個性を持つ都市に比べて、東京も同じように世界的な文化都市だと思いますか。(○は1つ) <n=1,883>

11.5	1	そう思う	37.5	3	あまりそう思わない	→ 問16-2へ (次のページ)
40.0	2	まあそう思う	8.4	4	そう思わない	
			2.6		無回答	

(問16-1へ)

(問16で「1. そう思う」「2. まあそう思う」と答えた方に)

問16-1 そう思うのはなぜですか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(○はいくつでも) <n=969>

54.2	1	美術館や劇場で質の高い展覧会や公演が行われている	
34.8	2	展覧会や演劇を見るなど文化を楽しむ人が多い	
9.5	3	芸術文化関連の稽古事をたしなむ人が多い	
41.2	4	伝統的な祭り、行事、芸能などを見ることができる	
21.4	5	手頃な価格の観覧料や入場料でコンサート等が楽しめる	
12.4	6	世界に誇れる芸術家が多くいる	
1.3	7	芸術家が支援されている	
20.8	8	洗練された伝統工芸が継承されている	
24.1	9	歴史的な建造物が数多く保存されている	
12.9	10	メディアアート(デジタル映像・音響等の新技術による芸術表現)等の先端的な文化イベントが行われている	
44.5	11	アニメやゲーム、ポピュラー音楽など世界中に愛されるものを発信している	
19.6	12	景観や街並みが美しい	
18.9	13	漠然とそういうイメージがある	
2.6	14	その他(具体的に)	
0.1		無回答	M. T. =318.2

(問16で「3. あまりそう思わない」「4. そう思わない」と答えた方に)

問16-2 そう思わないのはなぜですか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。

(○はいくつでも) <n=865>

- | | | | |
|------|----|--|--------------|
| 10.4 | 1 | 美術館や劇場で質の高い展覧会や公演が行われていない | |
| 30.8 | 2 | 展覧会や演劇を見ないなど文化を楽しむ人が少ない | |
| 16.1 | 3 | 芸術文化関連の稽古事をたしなむ人が少ない | |
| 15.3 | 4 | 伝統的な祭り、行事、芸能などが継承されていない | |
| 40.6 | 5 | コンサートなどの観覧料や入場料が高い | |
| 9.9 | 6 | 世界に誇れる芸術家が少ない | |
| 23.8 | 7 | 芸術家が支援されていない | |
| 19.0 | 8 | 洗練された伝統工芸が継承されていない | |
| 24.0 | 9 | 歴史的な建造物があまり保存されていない | |
| 5.0 | 10 | メディアアート(デジタル映像・音響等の新技術による芸術表現)等の先端的な文化イベントが行われていない | |
| 6.9 | 11 | アニメやゲーム、ポピュラー音楽など世界中に愛されるものを発信していない | |
| 34.0 | 12 | 景観や街並みが美しくない | |
| 26.4 | 13 | 漠然とそういうイメージがある | |
| 7.4 | 14 | その他(具体的に |) |
| 1.4 | | 無回答 | M. T. =269.5 |

(全員の方に)

問17 歌舞伎などの伝統文化からアニメなどの現代文化まで、幅広く楽しめる日本の芸術文化の魅力は、海外に発信されていると思いますか。(○は1つ) <n=1,883>

- | | | | | | |
|------|---|--------|------|---|-----------|
| 17.2 | 1 | そう思う | 22.9 | 3 | あまりそう思わない |
| 54.2 | 2 | まあそう思う | 2.9 | 4 | そう思わない |
| | | | 2.9 | | 無回答 |

【都民の文化活動】

(全員の方に)

問18 あなたは、芸術や文化を鑑賞したり、文化イベントに参加したりすることに興味・関心がありますか。(○は1つ) <n=1,883>

35.9	1	ある	19.7	3	あまりない
35.6	2	少しある	7.7	4	ない
			1.1		無回答

(全員の方に)

問19 あなたは、どのような芸術や文化を鑑賞したり、文化イベントに参加したりしたいですか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください(習い事等ご自身が主体となった活動は含みません)。(○はいくつでも) <n=1,883>

29.1	1	クラシック音楽(オペラなどを含む)	41.6	10	コンサート(ポップスなど)
15.0	2	舞踊(バレエなどを含む)	16.0	11	メディアアート(デジタル映像・音響等の新技術による芸術表現)のイベント
39.8	3	演劇(ミュージカルなどを含む)	13.1	12	芸術文化の体験型イベント
26.5	4	伝統芸能(歌舞伎・能など)	12.7	13	講演会・シンポジウム
27.4	5	演芸(落語・漫才など)	6.4	14	障害者アートイベント
48.3	6	展覧会(美術、歴史、写真、文芸など)	1.1	15	その他(具体的に)
11.9	7	茶道・華道(茶会・生け花展など)	8.2	16	特になし
58.5	8	映画	1.7		無回答
16.1	9	街なか(屋外)で行われる芸術文化イベント			M. T. =371.8

(全員の方に)

問20 あなたご自身が文化活動(習い事や趣味の活動)を行うことに興味・関心がありますか(鑑賞のみは含みません)。(○は1つ) <n=1,883>

28.5	1	ある	25.0	3	あまりない
34.6	2	少しある	10.9	4	ない
			1.0		無回答

(全員の方に)

問21 あなたは、芸術や文化の鑑賞や文化活動を行うことで、どのような効果が生まれると思いますか。次の中から当てはまるものを3つまでお選びください。(○は3つまで) <n=1,883>

50.6	1	生きがいづくり	10.1	7	東京の文化的なイメージの向上
47.6	2	教養が深まる	4.9	8	東京の国際的地位の向上
39.1	3	仲間(友人)ができる	8.1	9	東京の経済の活性化
56.4	4	気分転換・ストレス解消	6.2	10	教育、福祉、地域振興等の領域における課題の解決に貢献
7.4	5	障害、性別、国籍などの多様性に対する尊重・理解	0.8	11	その他(具体的に)
12.3	6	日本人としての自覚や誇りの醸成	3.6	12	特に効果はない
			1.5		無回答
					M. T. =247.1

(全員の方に)

問22 あなたは今後、どのような文化活動(鑑賞のみも含みます)をしていきたいですか。次の中から当てはまるものを3つまでお選びください。(〇は3つまで) <n=1,883>

- | | | | |
|------|----|--|--------------|
| 67.7 | 1 | 展覧会や舞台公演、映画等を鑑賞する | |
| 15.9 | 2 | 文芸、音楽、美術、演劇、舞踊、映画等を制作・参加する | |
| 21.0 | 3 | 各種講座や体験教室、ワークショップ等へ参加する | |
| 22.0 | 4 | 音楽祭や演劇祭、祭り等地域の芸術文化イベントへ参加する | |
| 17.5 | 5 | 音楽、舞踊、華道、茶道、書道等の習い事を始める | |
| 5.4 | 6 | 子供の芸術文化体験のために、講師や運営の手伝い等の支援活動を行う | |
| 4.8 | 7 | 文化施設(ホール・劇場、美術館・博物館等)におけるボランティア等の支援活動を行う | |
| 4.7 | 8 | 文化的行事(音楽祭、演劇祭、映画祭など)の開催のため、運営の手伝い等の支援活動を行う | |
| 0.8 | 9 | その他(具体的に) | |
| 15.5 | 10 | 特になし | |
| 2.6 | | 無回答 | M. T. =175.5 |

【これからの東京の文化振興】

(全員の方に)

問23 東京都は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会にあわせて、芸術文化都市東京の魅力を伝えるため、多彩な文化プログラム「Tokyo Tokyo FESTIVAL」を展開しました。あなたは、文化プログラムを通じて生まれたレガシー(※)がどのような形で受け継がれていくとよいと思いますか。次の中から当てはまるものを3つまでお選びください。

(〇は3つまで) <n=1,883>

※レガシー：オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催により開催都市や開催国が、長期にわたり継承・享受できる、大会の社会的・経済的・文化的恩恵

- | | | | |
|------|----|---|--------------|
| 18.8 | 1 | 芸術文化に興味や関心のある都民が増えている | |
| 10.4 | 2 | 東京の芸術文化を誇りに思う都民が増えている | |
| 15.4 | 3 | さまざまな文化イベント情報が取得しやすくなっている | |
| 21.0 | 4 | 気軽に芸術や文化の鑑賞や、文化イベントへの参加ができる環境が整っている | |
| 21.8 | 5 | 障害者、高齢者、子供、外国人等あらゆる人々が文化イベント等に参加・交流できる機会が創出されている | |
| 9.1 | 6 | 多くの都民が文化イベント等にボランティアとして参加している | |
| 16.0 | 7 | 地域が賑わい、経済が活性化され、観光客が増加している | |
| 7.6 | 8 | 世界各国から「芸術文化における先進都市」として高い評価を得ている | |
| 4.9 | 9 | 海外の芸術団体等との共同制作をはじめ、国際的な芸術文化交流が積極的に展開されている | |
| 6.9 | 10 | 東京都と国や他の自治体、芸術文化団体等との連携が強化され、各団体と連携した文化イベントが積極的に展開されている | |
| 10.0 | 11 | アーティストの技量やスタッフの企画力など人材のスキルが向上している | |
| 8.4 | 12 | 芸術文化の力を活用し、教育、福祉、地域振興等の領域における課題の解決に貢献している | |
| 2.8 | 13 | その他(具体的に) | |
| 28.5 | 14 | 特になし | |
| 3.7 | | 無回答 | M. T. =181.6 |

(参考) 教育、福祉、地域振興等の領域における課題の解決に貢献 (一例・イメージ)

- ・アートを通じた豊かな感性の育成
- ・アート鑑賞や文化活動による心身のケア
- ・イベントによる地域の賑わい創出 等



伝統芸能を体験する子どもたち
(アートを通じた豊かな感性の育成)



TURN フェス4 (2018年) 撮影: 富田了平

アーティストと障害者の交流イベント
(アート鑑賞や文化活動による心身のケア)

(全員の方に)

問24 東京の文化振興をさらに発展させるために、今後、東京都はどのような取組を積極的に進める必要があると思いますか。次の中から当てはまるものを3つまでお選びください。(○は3つまで)

< n = 1,883 >

- | | | | |
|------|----|---|---------------|
| 33.4 | 1 | 魅力的な展示・イベントを行う | |
| 14.3 | 2 | 都立文化施設において、レストランやショップを含め、さまざまな来館者サービスを充実させる | |
| 41.6 | 3 | 子供の頃から美術館や劇場に親しめる環境を整備する | |
| 4.9 | 4 | 美術館のガイドや文化イベントの手伝い等、都民が文化ボランティアとして活動する機会を増やす | |
| 26.7 | 5 | 東京から世界へはばたく若い芸術家を育成・支援する | |
| 20.0 | 6 | 伝統文化やアニメ等日本の芸術文化を海外に積極的に紹介する | |
| 20.7 | 7 | 民間企業等にも働きかけて、鑑賞料金等を安くする | |
| 9.2 | 8 | 文化イベントの開催情報や文化資源に関する情報等、東京の文化情報を積極的に提供する | |
| 6.9 | 9 | 企業や個人が、文化活動に対して寄付をしやすくなるよう税制優遇制度等を国へ働きかける | |
| 12.7 | 10 | 一流の美術や音楽、演劇等が鑑賞できるように芸術文化団体等を助成・支援する | |
| 10.2 | 11 | 外国人観光客や子供向けに日本の芸術文化を体験できるプログラムを行う | |
| 5.8 | 12 | 多摩・島しょ地域において芸術文化の鑑賞機会を提供する | |
| 16.6 | 13 | 障害者や高齢者、子供等、あらゆる人々が文化活動に参加・交流できる機会を創出するなどの事業を行う | |
| 10.1 | 14 | 周辺大学や地元商店街等との連携を強化し、文化を通じた地域振興に貢献する | |
| 8.2 | 15 | プロジェクションマッピング*やデジタルアート等、先端技術と芸術文化が融合する日本の創造産業を発展させるための支援を行う | |
| 2.7 | 16 | その他 (具体的に) | |
| 4.1 | | 無回答 | M. T. = 244.0 |

* 建物などの立体物に映像を投影する技術・演出方法

【フェイスシート】

ここでは、お答えを統計的に分析するために必要なことをおうかがいします。ご協力ください。
(全員の方に)

F 1 <性 別> あなたの性別は、どちらですか。(○は1つ) <n=1,883>

43.5	1	男 性	55.7	2	女 性
			0.8		無回答

(全員の方に)

F 2 <年 齢> あなたの年齢は、おいくつですか。(○は1つ) <n=1,883>

0.8	1	18・19歳	7.0	5	35～39歳	8.9	9	55～59歳	15.1	13	75歳以上
3.3	2	20～24歳	7.8	6	40～44歳	8.6	10	60～64歳	0.5		無回答
4.8	3	25～29歳	10.2	7	45～49歳	8.1	11	65～69歳			
6.2	4	30～34歳	9.1	8	50～54歳	9.6	12	70～74歳			

(全員の方に)

F 3 <職 業> あなたのお仕事は次のうちどれですか。(○は1つ) <n=1,883>

9.2	1	自営業主 (個人で営む農林漁業、商業、工業、サービス業、自由業(開業医、芸術家等)の方)	}	F 4 へ (次のページ)
2.1	2	家族従業(家業手伝い)(家族の方が営んでいる事業を継続的に手伝っている方)		
42.7	3	勤め(全日)	}	F 4 へ (次のページ)
9.9	4	勤め(短時間)		
19.7	5	無職の主婦・主夫		
2.2	6	学生		
11.2	7	その他の無職		
3.1		無回答		

(F 3で「3 勤め(全日)」「4 勤め(短時間)」と答えた方に)

F 3-1 お勤めの方にお聞きします。あなたの働き方は次のどれですか。(○は1つ) <n=990>

67.2	1	正社員、正規職員	31.8	2	派遣、契約・嘱託・パート・アルバイトなど
			1.0		無回答

(F 3で「3 勤め(全日)」「4 勤め(短時間)」と答えた方に)

F 3-2 お勤めの方にお聞きします。あなたの仕事の内容を次の中から1つお選びください。
(○は1つ) <n=990>

14.2	1	経営・管理職 (会社、団体、官公庁の役員・課長以上の管理職など)
28.8	2	専門・技術職 (病院勤務医、弁護士、税理士、研究所研究員、教員、食品・機械・建築・情報処理・医療等の技術者、看護師、栄養士、保育士、新聞記者、デザイナーなど)
26.9	3	事務職 (事務系・営業系事務員、事務機械オペレーターなど)
10.0	4	労務・技能職 (工員・職人・大工、警察官、消防士、守衛、清掃員、運転手・車掌など)
16.3	5	販売・サービス職(店員、販売外交員、保険外交員、給仕、調理師、介護職員、理・美容師など)
0.2	6	その他(具体的に)
3.6		無回答

(全員の方に)

F 4 <住 居> 現在のお住まいは、次のうちのどれになりますか。当てはまるものを1つお選びください。(○は1つ) <n=1,883>

37.4	1	持家 (一戸建)		
23.3	2	持家 (分譲マンションなどの集合住宅)		
1.8	3	民間の借家 (一戸建)		
28.3	4	民間の借家 (賃貸マンション・アパートなどの集合住宅)		
5.2	5	都市機構 (旧公団)・公社・公営の賃貸住宅・アパート		
1.8	6	社宅・公務員住宅などの給与住宅		
0.4	7	住み込み・寮・寄宿舎など		
0.8	8	その他 (具体的に)
1.1		無回答		

(全員の方に)

F 5 <未既婚> あなたは、結婚していらっしゃいますか。(○は1つ) <n=1,883>

26.9	1	未 婚	→	F 6 へ	15.7	3	既 婚 (離別・死別)	→	F 6 へ
56.5	2	既 婚 (配偶者あり)	→	F 5-1 へ	1.0		無回答		

↓(F 5で「2 既婚 (配偶者あり)」と答えた方に)

F 5-1 ご夫婦ともに働いていらっしゃいますか。(○は1つ) <n=1,064>

52.8	1	は い	47.0	2	いいえ
			0.2		無回答

(全員の方に)

F 6 <世帯構成 (同居家族)> あなたと同居されているご家族はいらっしゃいますか。(○は1つ) <n=1,883>

23.2	1	単 身 (本人のみ)	3.9	4	親と子と孫 (3世代世帯)
25.3	2	夫婦のみ (1世代世帯)	4.3	5	その他の世帯
42.0	3	親と子 (2世代世帯)	1.3		無回答

(全員の方に)

F 7 <居住地域生まれ> あなたは、生まれてからずっとこの地域にお住まいですか。それとも他の地域からいらしたのですか。(○は1つ) <n=1,883>

26.3	1	生まれてからずっとこの地域に住んでいる (一時的にこの地域を離れた人も含む)	73.3	2	他の地域からきた
			0.4		無回答

(全員の方に)

F 8 <地域居住年数> あなたは、この地域にお住まいになってから何年になりますか。(○は1つ) <n=1,883>

2.8	1	1年未満	10.0	5	10~15年未満
5.9	2	1~3年未満	8.2	6	15~20年未満
5.5	3	3~5年未満	13.2	7	20~30年未満
9.2	4	5~10年未満	44.8	8	30年以上
			0.4		無回答

(全員の方に)

F9<東京生まれ> あなたは、生まれてからずっと東京にお住まいですか。それとも、東京以外からいらしたのですか。(○は1つ) <n=1,883>

44.9	1	生まれてからずっと東京に住んでいる (一時的に東京を離れた人も含む)	54.2	2	東京以外からきた
			0.9		無回答

(全員の方に)

F10<東京居住年数> 東京都にお住まいになってから何年になりますか。(○は1つ) <n=1,883>

1.1	1	1年未満	6.9	5	10~15年未満
2.5	2	1~3年未満	5.8	6	15~20年未満
3.2	3	3~5年未満	11.9	7	20~30年未満
5.9	4	5~10年未満	62.5	8	30年以上
			0.3		無回答

(全員の方に)

F11<世帯年収> お宅さま全体の昨年1年間の収入(世帯年収)はおよそどのくらいでしたか。(○は1つ) <n=1,883>

13.2	1	200万円未満	7.5	7	900~1,100万円未満
12.2	2	200~300万円未満	3.7	8	1,100~1,300万円未満
10.9	3	300~400万円未満	3.6	9	1,300~1,500万円未満
10.1	4	400~500万円未満	3.7	10	1,500~2,000万円未満
13.1	5	500~700万円未満	2.4	11	2,000万円以上
10.1	6	700~900万円未満	8.2	12	わからない
			1.2		無回答

(全員の方に)

F12<インターネット利用> あなたはインターネットを利用していますか。(○は1つ) <n=1,883>

64.1	1	よく利用している	6.5	3	あまり利用していない
12.6	2	ときどき利用している	16.5	4	利用していない
			0.4		無回答

(全員の方に)

F13<SNS利用> あなたは、ツイッター、フェイスブック、ユーチューブ、ライン、インスタグラムなどのSNSを利用していますか。(○は1つ) <n=1,883>

47.4	1	よく利用している	9.3	3	あまり利用していない
20.0	2	ときどき利用している	22.9	4	利用していない
			0.3		無回答

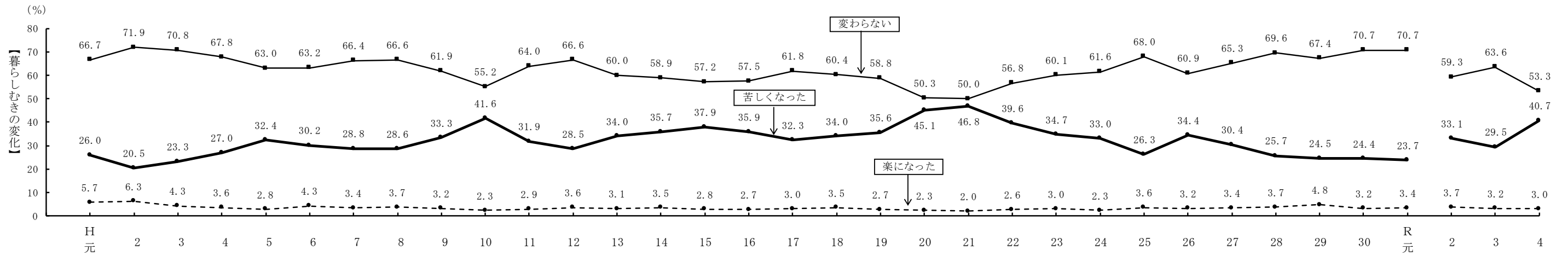
付 属 資 料

東京都では、世論調査を開始して以来、毎年様々な項目について世論調査を実施しているが、その一部については経年変化をみるため、同一項目を毎年継続調査している。

そこで、比較的長期にわたって調査している項目について、毎年変化を追えるように付属資料としてまとめた。

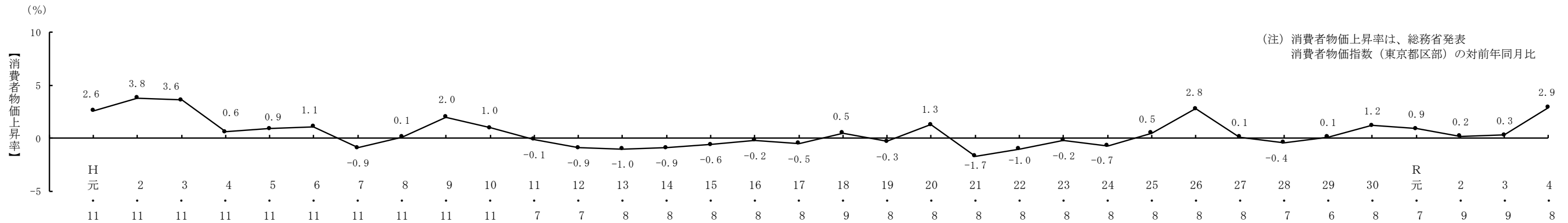
※「暮らしむきの変化」については、消費者物価上昇率、景気の動向など主な経済・社会の変化を合わせて掲載した。

図1 暮らしむきの変化



(注) 令和2年より個別訪問面接取法から郵送法に変更

図2 消費者物価上昇率



(注) 消費者物価上昇率は、総務省発表
消費者物価指数（東京都区部）の対前年同月比

図3 社会経済の年表

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4		
※「」は経済財政白書の副題	「平成経済の門出と日本経済の新しい潮流」 消費税スタート(元年4月) 昭和天皇崩御「平成」に改元(元年1月)	「持続的拡大への道」	「長期拡大の条件と国際社会における役割」 湾岸戦争(3年1月) バブル崩壊	「調整をこえて新たな展開をめざす日本経済」 PKO協力法案可決(4年6月)	「バブルの教訓と新たな発展への課題」 コメ不作で緊急輸入を決定(5年9月)	「厳しい調整を越えて新たなフロンティアへ」	「阪神・淡路大震災(7年1月)」	「改革が展望を切り開く」	「消費税5%に引き上げ(9年4月)」 山一証券自主廃業(9年11月)	「改革(本格起動する日本経済)」 完全失業率が初の4%台(10年4月)	「創造的発展への基礎固め」 緊急経済対策決定、総事業規模は過去最大の24兆円	「改正男女雇用機会均等法施行(11年4月)」 「経済再生への挑戦」	「新しい世の中が始まる」 介護保険制度スタート(12年4月) 地方分権一括法施行(12年4月)	「改革なくして成長なし」 米同時多発テロ(13年9月) 確定拠出年金法施行(13年10月)	「改革なくして成長なし」 サッカーワールドカップ日韓共催(14年6月)	「改革なくして成長なし」 完全失業率が5.5%に(15年1月)	「改革なくして成長なし」 年金改革関連法施行(16年10月)	「改革なくして成長なし」 道路関係四公団民営化(17年10月) 原油価格高騰	「成長条件が復元し、新たな成長を目指す日本経済」 介護保険法改正施行(18年4月)	「生産性向上に向けた挑戦」 郵政民営化(19年10月)	「リスクに立ち向かう日本経済」 サブプライムローンに端を発した世界金融危機 後期高齢者医療制度施行(20年4月)	「エコカー減税・エコカー補助金実施(21年10月)」 「危機の克服と持続的回復への展望」	「需要の創造による成長力の強化」	「東日本大震災(23年3月)」	「日本経済の本質的な力を高める」	「日本経済の復興から発展的創造へ」	「経済の好循環の確立に向けて」	「よみがえる日本経済、広がる可能性」 消費税8%に引き上げ(26年4月)	「四半世紀ぶりの成果と再生する日本経済」	「リスクを越えて好循環の確立へ」	「技術革新と働き方改革がもたらす新たな成長」	「今、Society 5.0の経済へ」	「令和」新時代の日本経済」 消費税10%に引き上げ(元年10月)	「新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発出ほか」 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発出ほか	「レジリエントな日本経済へ…強さと柔軟性を持つ」 経済社会に向けた変革の加速(3年7~9月) 東京オリンピック・パラリンピック開催	「人への投資を原動力とする成長と分配の好循環実現へ」 ロシアによるウクライナ侵略(4年2月)
景気の動き	バブル景気	平成不況(失われた10年)										景気回復					景気悪化					緩やかな回復					景気悪化									
実質経済成長率(%)	4.9	4.9	3.4	0.8	-0.5	1.0	2.6	3.1	1.0	-1.3	-0.3	2.8	0.4	0.0	1.5	2.2	1.8	1.4	1.5	-1.2	-5.7	4.1	0.0	1.4	2.0	0.3	1.6	0.8	1.7	0.6	-0.2	-4.5	1.7			
	H元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R元	2	3	4		

(注) 実質経済成長率(暦年)は、令和4年度経済財政白書(内閣府)「国内総生産(GDP)実質前年比」

表1 暮らしの余裕

(%)

	n	余裕がある (計)	今の暮らしで十分余裕がある			今の暮らしではまだ余裕がない			わからない	無回答
			十分余裕がある	あまあま	あまあま	余裕がない	はまだまだ	きれな		
平成元年	(2,219)	57.1	5.5	51.6	41.9	37.6	4.3	0.9	-	
2	(2,230)	59.1	5.4	53.7	40.4	35.7	4.7	0.5	-	
3	(2,106)	59.0	5.2	53.8	40.5	36.1	4.4	0.6	-	
4	(2,107)	62.6	5.3	57.3	37.0	33.2	3.8	0.4	-	
5	(2,111)	57.9	5.0	52.9	41.7	36.0	5.7	0.4	-	
6	(2,136)	58.2	4.6	53.7	41.4	36.4	5.1	0.3	-	
7	(2,190)	60.7	5.9	54.8	39.0	33.8	5.2	0.2	-	
8	(2,115)	58.9	5.3	53.6	40.8	35.3	5.5	0.4	-	
9	(2,165)	57.6	4.6	53.1	41.7	36.3	5.4	0.6	-	
10	(2,132)	53.9	4.3	49.7	44.9	36.8	8.1	1.2	-	
11	(2,074)	56.8	5.1	51.7	42.6	35.4	7.2	0.6	-	
12	(2,115)	57.3	5.8	51.5	42.1	34.7	7.4	0.6	-	
13	(2,124)	52.1	4.1	48.0	46.0	37.1	8.9	1.9	-	
14	(2,132)	52.1	3.8	48.2	45.5	37.6	7.9	2.4	-	
15	(1,873)	50.3	4.2	46.2	47.5	38.1	9.5	2.1	-	
16	(1,857)	44.3	2.9	41.4	53.2	42.1	11.1	2.5	-	
17	(2,031)	49.7	4.3	45.4	48.6	38.3	10.3	1.7	-	
18	(2,081)	48.6	3.7	44.8	50.3	41.1	9.2	1.2	-	
19	(2,084)	46.7	3.1	43.6	51.3	41.8	9.5	2.0	-	
20	(2,030)	46.9	3.0	43.9	51.2	41.1	10.0	1.9	-	
21	(2,025)	42.5	2.8	39.7	56.6	46.4	10.2	0.9	-	
22	(2,013)	45.9	4.0	41.9	53.4	45.4	8.0	0.7	-	
23	(2,009)	49.2	4.0	45.2	48.3	40.5	7.8	2.5	-	
24	(2,002)	48.3	3.6	44.7	49.3	41.0	8.3	2.4	-	
25	(2,010)	48.8	4.8	43.9	48.7	41.2	7.4	2.6	-	
26	(1,850)	50.4	4.5	45.9	48.9	40.4	8.4	0.7	-	
27	(1,900)	49.8	3.6	46.2	49.3	41.7	7.6	0.9	-	
28	(1,805)	51.9	4.7	47.1	47.2	40.1	7.1	0.9	-	
29	(1,810)	54.9	5.4	49.6	43.0	36.7	6.3	2.1	-	
30	(1,856)	54.3	5.2	49.1	44.9	38.1	6.8	0.8	-	
令和元年	(1,845)	53.7	5.9	47.9	45.6	39.6	6.0	0.7	-	
2	(2,273)	50.5	5.7	44.8	48.0	40.9	7.2	-	1.5	
3	(1,849)	56.0	7.5	48.5	42.8	35.6	7.1	-	1.2	
4	(1,883)	50.5	5.5	45.0	49.1	39.2	9.9	-	0.4	

表2 これからの暮らしむき

(%)

	n	楽になる (計)	楽になる		変わらない	苦しくなる (計)	苦しくなる		わからない	無回答
			かなり楽になる	やや楽になる			やや苦しくなる	かなり苦しくなる		
平成元年	(2,106)	7.2	0.7	6.5	67.4	25.4	22.7	2.7	-	-
2	(2,157)	9.9	1.0	8.9	68.4	21.6	20.3	1.3	-	-
3	(2,207)	9.8	1.0	8.7	67.6	22.4	19.4	3.0	0.1	-
4	(2,132)	7.7	1.0	6.7	58.5	33.9	26.3	7.6	-	-
5	(2,117)	7.9	0.7	7.2	58.9	33.3	24.0	9.3	-	-
6	(2,123)	7.8	0.6	7.2	62.8	29.3	23.4	5.9	-	-
7	(2,190)	8.3	0.5	7.9	61.7	28.9	25.2	3.7	1.1	-
8	(2,115)	8.7	0.4	8.2	56.2	33.7	29.3	4.4	1.5	-
9	(2,165)	5.6	0.6	5.0	52.3	40.7	36.3	4.5	1.4	-
10	(2,132)	3.5	0.4	3.0	49.3	44.2	37.6	6.6	3.0	-
11	(2,074)	5.8	0.4	5.4	56.8	34.8	30.4	4.4	2.6	-
12	(2,115)	6.5	0.8	5.7	59.5	31.5	26.9	4.6	2.5	-
13	(2,124)	2.9	0.3	2.6	46.2	44.5	35.4	9.1	6.4	-
14	(2,132)	4.7	0.5	4.2	50.7	38.4	30.0	8.4	6.2	-
15	(1,873)	4.1	1.0	3.2	47.6	40.5	30.5	10.0	7.7	-
16	(1,857)	4.1	0.2	3.9	51.3	35.3	25.6	9.7	9.3	-
17	(2,031)	4.3	0.3	4.0	50.1	37.9	29.2	8.7	7.8	-
18	(2,081)	4.8	0.4	4.4	51.4	37.5	28.2	9.3	6.4	-
19	(2,084)	3.9	0.3	3.6	47.8	40.6	31.1	9.5	7.6	-
20	(2,030)	2.3	0.1	2.2	38.1	53.1	40.5	12.5	6.6	-
21	(2,025)	2.8	0.2	2.6	40.0	50.4	35.9	14.5	6.9	-
22	(2,013)	3.2	0.1	3.1	47.1	43.6	32.1	11.5	6.0	-
23	(2,009)	3.6	0.3	3.3	47.9	40.6	31.8	8.8	7.8	-
24	(2,002)	3.1	0.3	2.7	46.9	43.4	33.2	10.2	6.6	-
25	(2,010)	4.3	0.4	3.8	50.6	38.0	29.0	9.1	7.1	-
26	(1,850)	4.5	0.4	4.1	48.7	42.3	32.8	9.5	4.5	-
27	(1,900)	3.9	0.3	3.6	53.2	38.2	29.3	8.8	4.7	-
28	(1,805)	4.4	0.5	3.9	55.8	35.0	28.3	6.7	4.8	-
29	(1,810)	6.2	0.6	5.6	54.2	32.3	25.7	6.6	7.3	-
30	(1,856)	4.4	0.1	4.3	56.3	33.9	27.6	6.3	5.4	-
令和元年	(1,845)	4.8	0.3	4.5	54.5	35.3	29.0	6.3	5.4	-
2	(2,273)	3.3	0.4	2.9	41.7	45.4	34.4	11.0	8.6	0.9
3	(1,849)	3.9	0.5	3.4	49.6	37.0	28.3	8.7	8.7	0.8
4	(1,883)	4.3	0.5	3.8	40.6	48.0	34.3	13.8	5.9	1.2

(注1) 『余裕がある(計)』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計、『余裕がない(計)』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

(注2) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注3) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

(注1) 『楽になる(計)』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計

『苦しくなる(計)』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

(注2) 平成6年までは「都民要望に関する世論調査」、平成7年から平成9年は「都市生活に関する世論調査」

(注3) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

表3 生活満足度

(%)

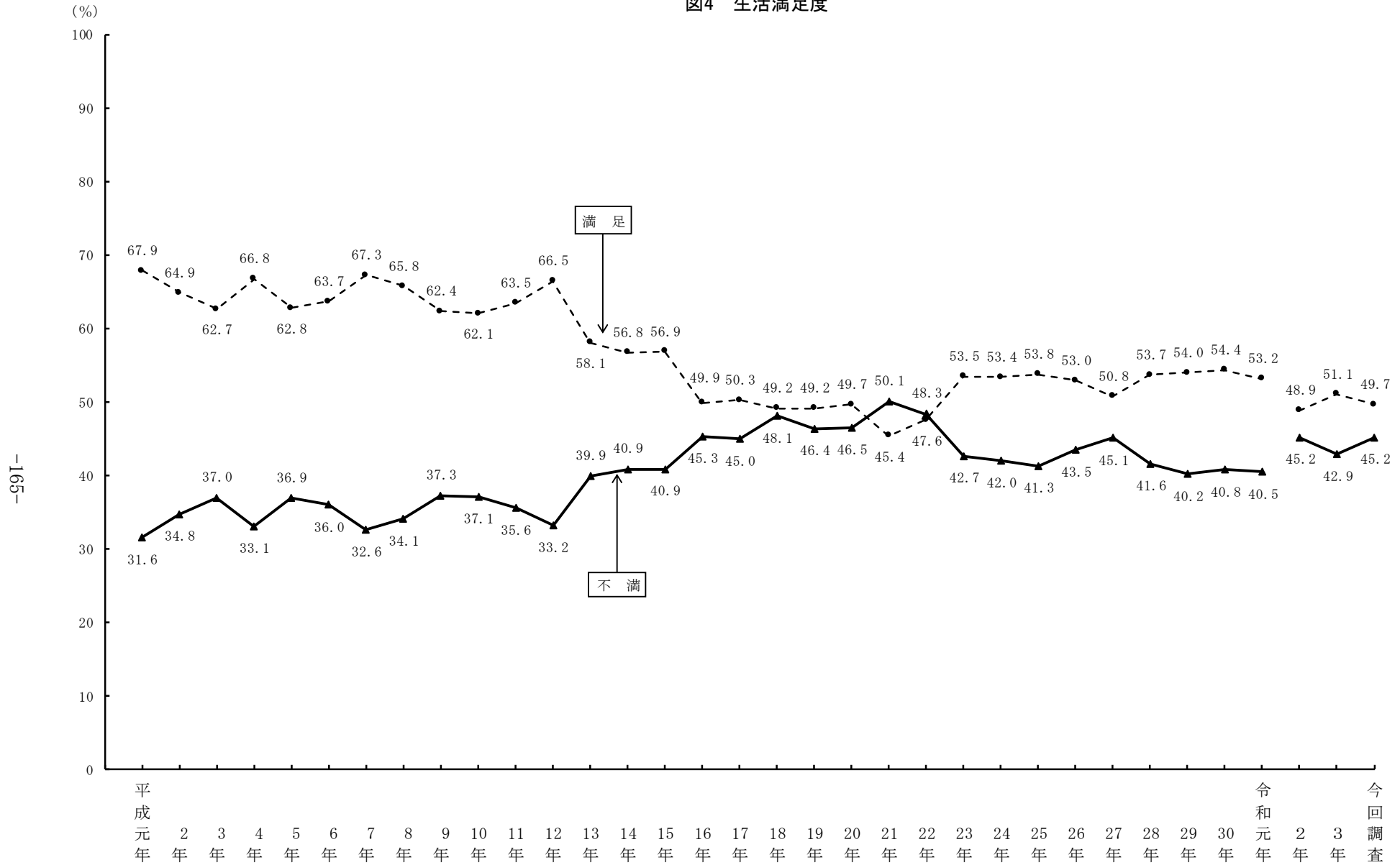
	n	満足 (計)	満足		不満 (計)	不満		わからない	無回答
			大変満足して いる	まあ満足して いる		やや不満であ る	大変不満であ る		
平成元年	(2,219)	67.9	6.1	61.8	31.6	27.2	4.4	0.5	-
2	(2,230)	64.9	5.2	59.7	34.8	29.1	5.7	0.3	-
3	(2,106)	62.7	6.0	56.7	37.0	31.7	5.3	0.3	-
4	(2,107)	66.8	6.3	60.5	33.1	28.6	4.5	0.1	-
5	(2,111)	62.8	5.6	57.2	36.9	31.1	5.8	0.3	-
6	(2,136)	63.7	6.0	57.6	36.0	30.9	5.1	0.3	-
7	(2,190)	67.3	6.1	61.1	32.6	27.7	4.9	0.2	-
8	(2,115)	65.8	6.5	59.3	34.1	29.0	5.1	0.1	-
9	(2,165)	62.4	4.7	57.7	37.3	32.1	5.1	0.3	-
10	(2,132)	62.1	3.4	58.6	37.1	29.9	7.2	0.8	-
11	(2,074)	63.5	5.9	57.7	35.6	29.7	5.9	0.9	-
12	(2,115)	66.5	4.5	61.9	33.2	27.0	6.1	0.3	-
13	(2,124)	58.1	3.7	54.4	39.9	32.5	7.3	2.1	-
14	(2,132)	56.8	3.4	53.4	40.9	32.5	8.4	2.3	-
15	(1,873)	56.9	3.9	53.0	40.9	31.7	9.2	2.2	-
16	(1,857)	49.9	2.0	47.9	45.3	34.0	11.3	4.7	-
17	(2,031)	50.3	4.2	46.0	45.0	35.6	9.4	4.7	-
18	(2,081)	49.2	3.7	45.6	48.1	37.4	10.6	2.7	-
19	(2,084)	49.2	2.4	46.8	46.4	35.6	10.8	4.4	-
20	(2,030)	49.7	3.2	46.5	46.5	37.0	9.5	3.8	-
21	(2,025)	45.4	2.8	42.6	50.1	37.5	12.6	4.5	-
22	(2,013)	47.6	2.9	44.8	48.3	36.8	11.5	4.1	-
23	(2,009)	53.5	4.0	49.4	42.7	34.1	8.6	3.8	-
24	(2,002)	53.4	3.6	49.9	42.0	33.9	8.0	4.6	-
25	(2,010)	53.8	4.3	49.5	41.3	32.6	8.7	4.9	-
26	(1,850)	53.0	3.6	49.4	43.5	34.0	9.5	3.6	-
27	(1,900)	50.8	3.0	47.8	45.1	35.9	9.1	4.1	-
28	(1,805)	53.7	4.4	49.3	41.6	33.1	8.4	4.8	-
29	(1,810)	54.0	4.5	49.4	40.2	33.3	7.0	5.8	-
30	(1,856)	54.4	4.5	49.9	40.8	33.6	7.2	4.7	-
令和元年	(1,845)	53.2	4.4	48.8	40.5	33.2	7.3	6.3	-
2	(2,273)	48.9	3.1	45.8	45.2	35.6	9.6	4.4	1.5
3	(1,849)	51.1	3.7	47.4	42.9	34.2	8.7	4.9	1.0
4	(1,883)	49.7	3.2	46.5	45.2	34.9	10.2	4.0	1.1

(注1)『満足(計)』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計
『不満(計)』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

(注2) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注3) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、
令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

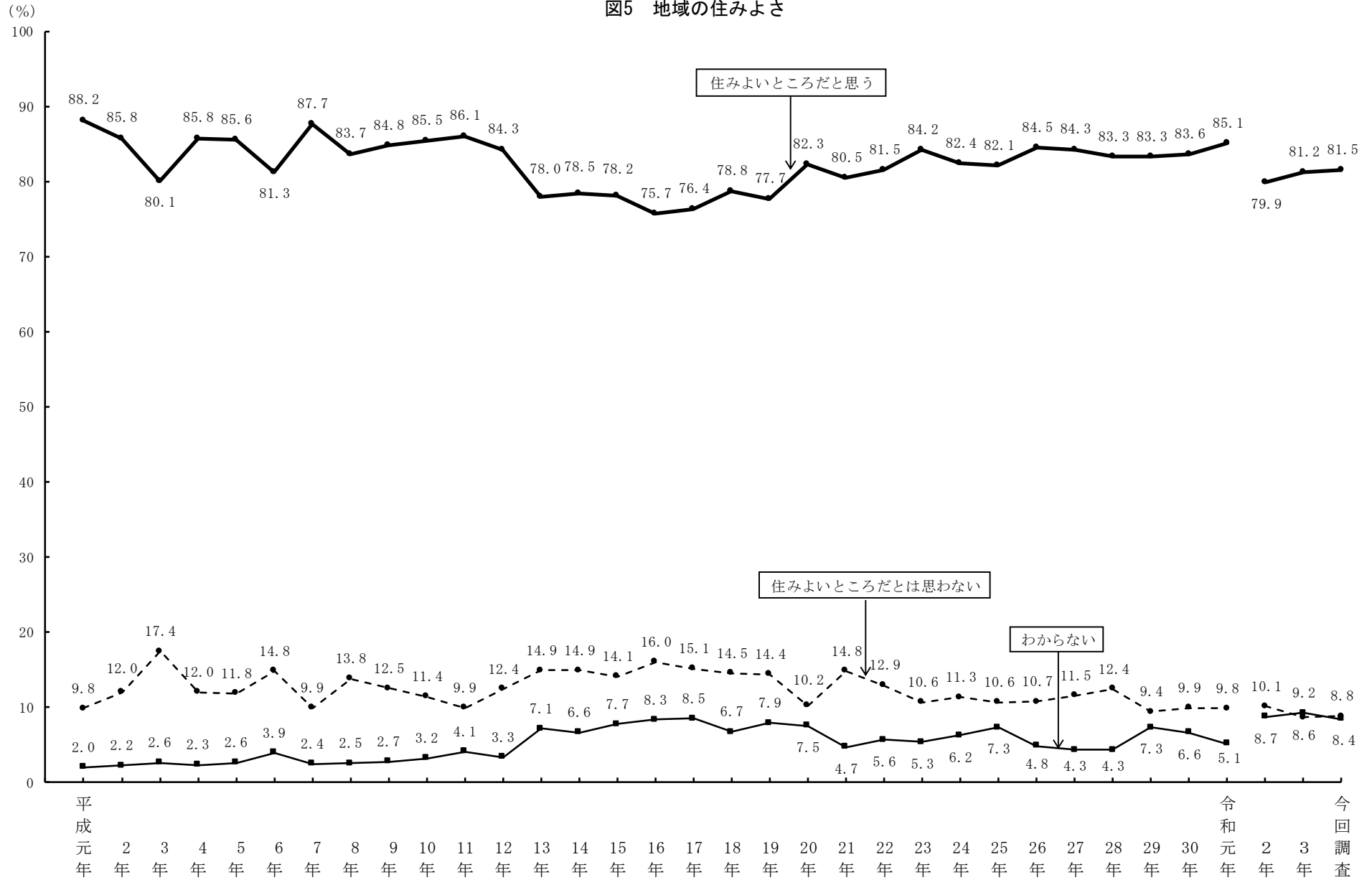
図4 生活満足度



(注1) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

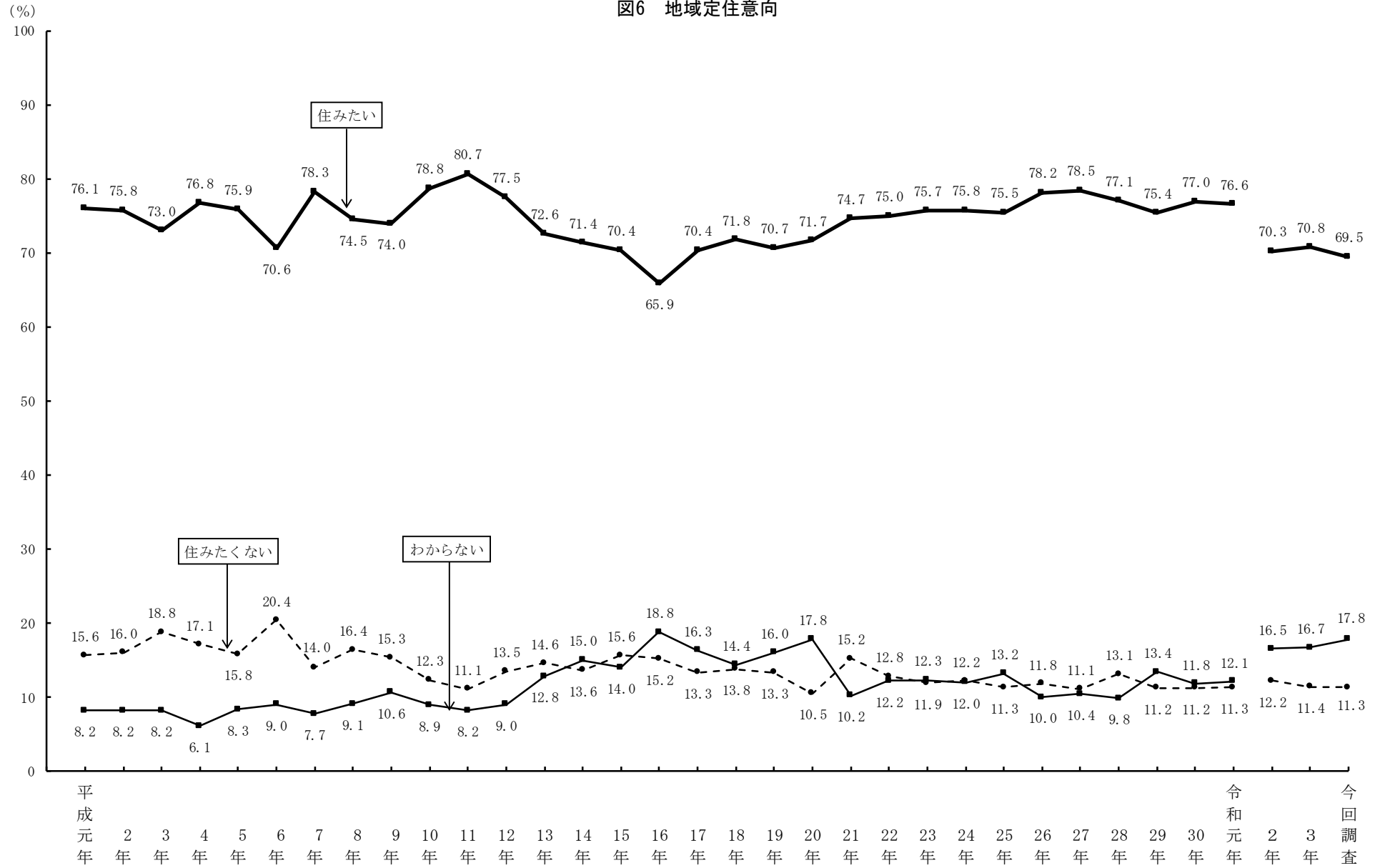
図5 地域の住みよさ



(注1) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

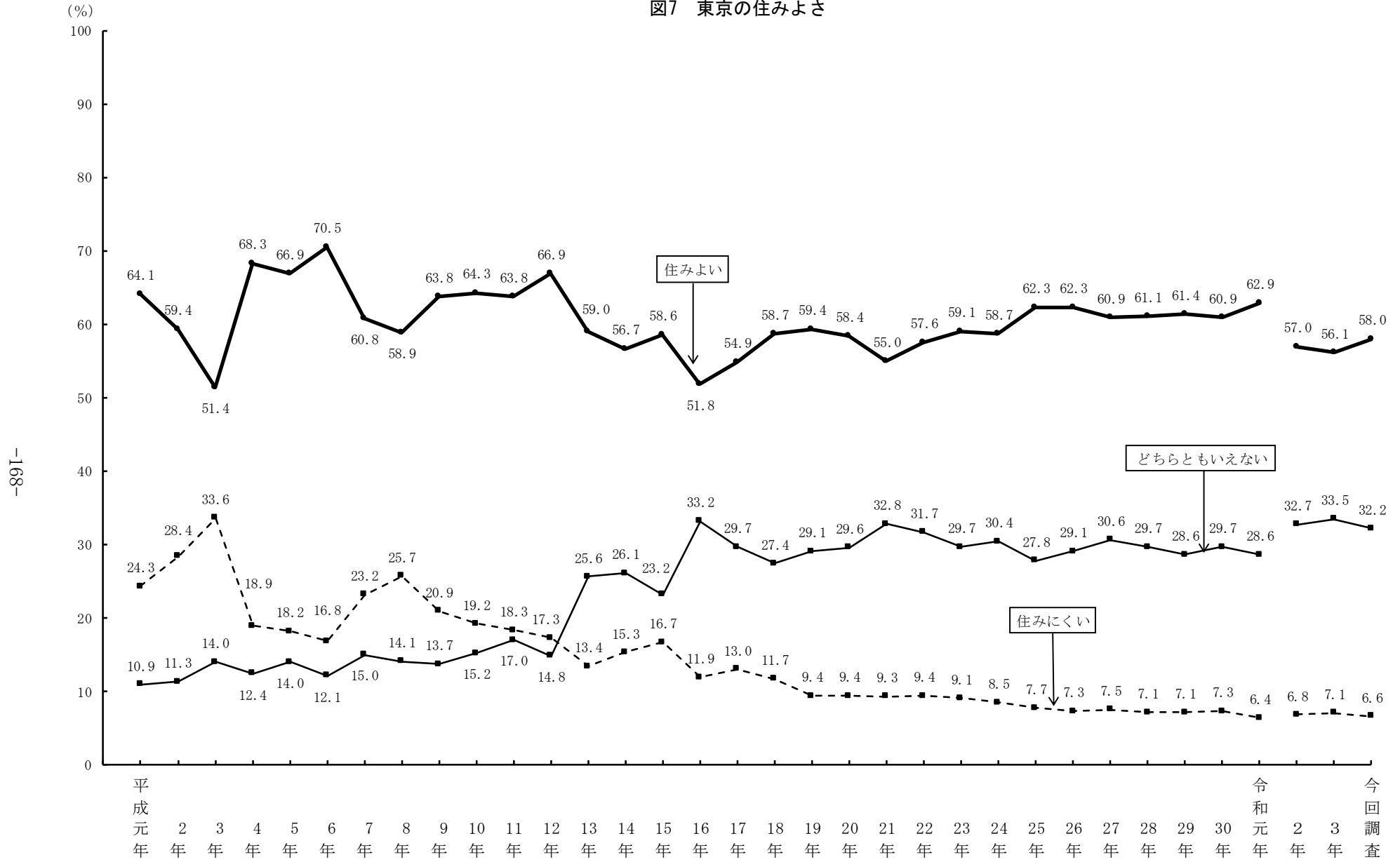
図6 地域定住意向



(注1) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

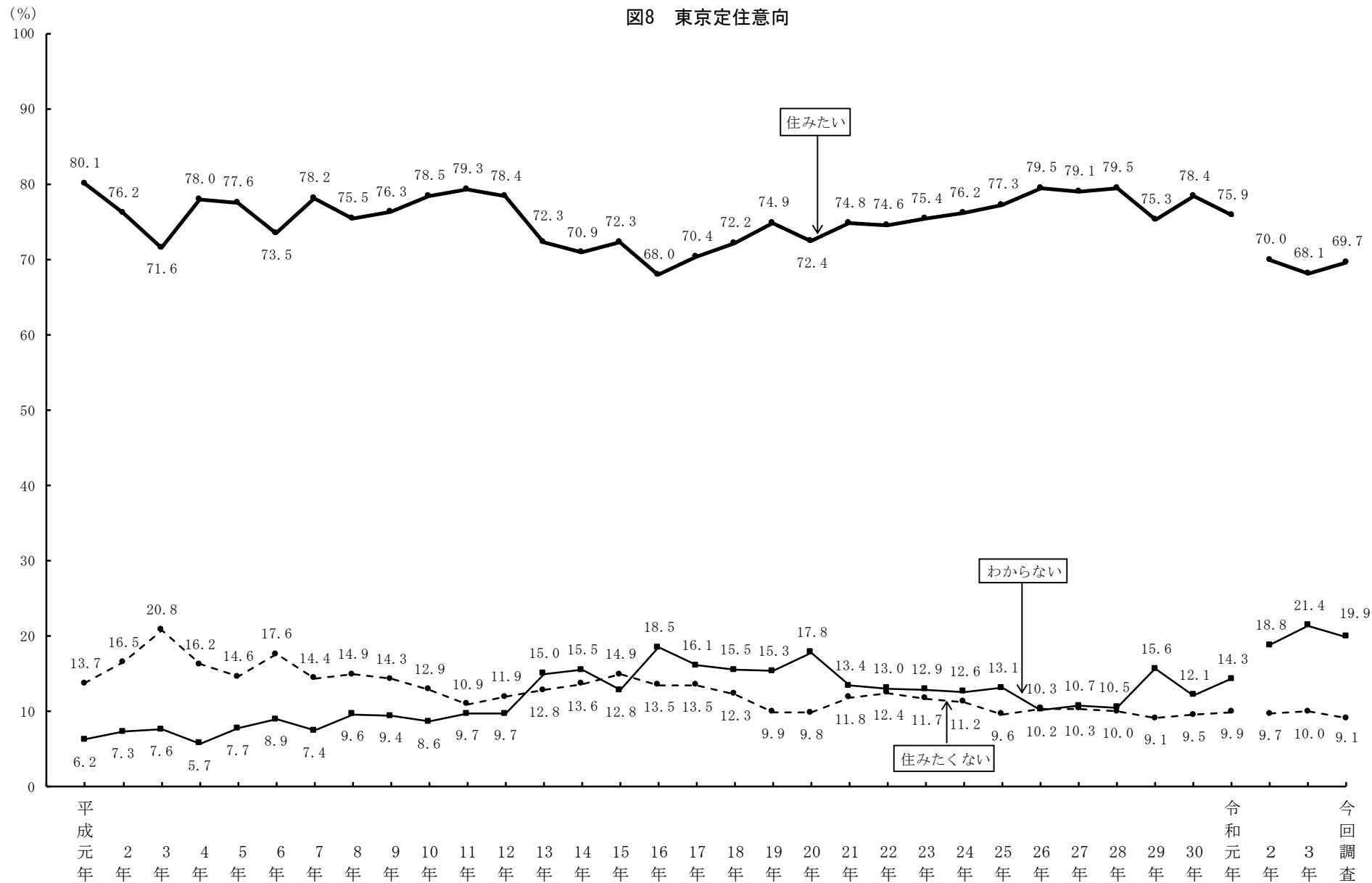
図7 東京の住みよさ



(注1) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

図8 東京定住意向



(注1) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

表4 都政への要望（平成元年～令和4年）

(%)

順位	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年
1	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者
2	物価・消費者	医療・衛生	医療・衛生	物価・消費者	物価・消費者	物価・消費者	物価・消費者	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生
3	医療・衛生	物価・消費者	物価・消費者	住ごみ	医療・衛生	住ごみ	住ごみ	物価・消費者	物価・消費者	環境	環境	環境
4	住宅	住ごみ	住ごみ	住ごみ	住ごみ	住ごみ	住ごみ	住ごみ	住ごみ	住ごみ	住ごみ	住ごみ
5	公害	道路	公害	公害	公害	公害	公害	公害	公害	公害	公害	公害
6	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化
7	道路	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化
8	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育
9	心身障害者	心身障害者	心身障害者	心身障害者	心身障害者	心身障害者	心身障害者	心身障害者	心身障害者	心身障害者	心身障害者	心身障害者
10	心身障害者	心身障害者	心身障害者	心身障害者	心身障害者	心身障害者	心身障害者	心身障害者	心身障害者	心身障害者	心身障害者	心身障害者
11	防犯	交通災害	交通災害	心身障害者	防犯	学校教育	都市再開発	心身障害者	心身障害者	道路	防犯	公園・緑地・水辺
12	防犯	生涯学習	都市再開発	交通災害	生涯学習	生涯学習	学校教育	交通災害	防犯	中小企業	自動車交通	土地・住宅
13	交通災害	都市再開発	上下水道	上下水道	交通災害	都市再開発	青少年	交通災害	交通災害	自動車交通	公園・緑地・水辺	道路
14	上下水道	防犯	生涯学習	生涯学習	防犯	防犯	心身障害者	生涯学習	青少年	障害者	職業・雇用	障害者(児)
15	都市再開発	上下水道	防犯	都市再開発	都市再開発	防犯	中小企業	都市再開発	都市再開発	公園・緑地・水辺	道路	青少年
16	青少年	文化・芸術	文化・芸術	青少年	上下水道	中小企業	生涯学習	青少年	生涯学習	職業・雇用	中小企業	中小企業
17	生涯教育	青少年	防犯	防犯	文化・芸術	勤労者	勤労者	文化・芸術	文化・芸術	青少年	青少年	職業・雇用
18	中小企業	女性	青少年	中小企業	青少年	上下水道	文化・芸術	中小企業	中小企業	まちづくり	まちづくり	文化・芸術
19	文化・芸術	中小企業	中小企業	都営交通	中小企業	青少年	都営交通	勤労者	女性	生涯学習	生涯学習	生涯学習
20	都営交通	中防犯	中防犯	文化・芸術	文化・芸術	女性	交通災害	女性	勤労者	都営交通	文化・芸術	まちづくり
21	女性	勤労者	国際交流	女性	勤労者	都営交通	女性	都営交通	都営交通	文化・芸術	水道・下水道	国際交流
22	勤労者	都営交通	都営交通	勤労者	都営交通	文化・芸術	上下水道	上下水道	上下水道	水道・下水道	都営交通	都営交通
23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(%)

順位	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
1	高齢者	医療・衛生	高齢者	治安	治安	治安	治安	治安	治安	治安	治安	治安
2	医療・衛生	高齢者	医療・衛生	治安	治安	治安	治安	治安	治安	治安	治安	治安
3	環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境
4	防犯	消費生活	防犯	環境	医療・衛生	医療・衛生	環境	消費生活	防犯	防犯	医療・衛生	医療・衛生
5	学校教育	学校教育	少子化・子ども	交通安全	環境	環境	環境	防犯	防犯	防犯	環境	環境
6	自動車交通	防犯	消費生活	消費生活	消費生活	消費生活	消費生活	環境	消費生活	行財政	消費生活	消費生活
7	消費生活	少子化・子ども	学校教育	防犯	交通安全	交通安全	交通安全	交通安全	行財政	消費生活	行財政	行財政
8	少子化・子ども	防犯	防犯	学校教育	行財政	子ども	子ども	行財政	交通安全	交通安全	交通安全	交通安全
9	廃棄物	防犯	防犯	学校教育	土地・住宅	土地・住宅	学校教育	学校教育	子供	子供	子供	子供
10	防犯	障害者(児)	交通安全	交通安全	土地・住宅	子ども	学校教育	子ども	土地・住宅	土地・住宅	土地・住宅	土地・住宅
11	土地・住宅	公園・緑地・水辺	土地・住宅	子ども	学校教育	土地・住宅	土地・住宅	土地・住宅	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育
12	公園・緑地・水辺	土地・住宅	障害者(児)	まちづくり	青少年	青少年	青少年	青少年	まちづくり	まちづくり	まちづくり	まちづくり
13	障害者(児)	道路	公園・緑地・水辺	行財政	まちづくり	公園・緑地・水辺	公園・緑地・水辺	公園・緑地・水辺	青少年	青少年	青少年	青少年
14	職業・雇用	交通安全	道路	道路	公園・緑地・水辺	まちづくり	道路	まちづくり	職業・雇用	公園・緑地・水辺	職業・雇用	職業・雇用
15	道	職業・雇用	職業・雇用	公園・緑地・水辺	道	職業・雇用	道	道	道	職業・雇用	文化・芸術	文化・芸術
16	中小企業	生涯学習	青少年	中小企業	職業・雇用	水道・下水道	中小企業	職業・雇用	道	道路	中小企業	中小企業
17	青少年	青少年	青少年	職業・雇用	水道・下水道	水道・下水道	中小企業	職業・雇用	道	道路	公園・緑地・水辺	公園・緑地・水辺
18	生涯学習	まちづくり	男女平等	障害者(児)	文化・芸術	障害者(児)	職業・雇用	職業・雇用	中小企業	障害者(児)	都市外交	都市外交
19	まちづくり	文化・芸術	生涯学習	水道・下水道	中小企業	中小企業	水道・下水道	水道・下水道	障害者(児)	障害者(児)	道路	道路
20	文化・芸術	中小企業	まちづくり	男女平等	生涯学習	文化・芸術	文化・芸術	道路	文化・芸術	男女平等	男女平等	男女平等
21	水道・下水道	水道・下水道	文化・芸術	都営交通	障害者(児)	男女平等	男女平等	男女平等	男女平等	男女平等	文化・芸術	障害者(児)
22	男女平等	男女平等	水道・下水道	生涯学習	男女平等	生涯学習	生涯学習	文化・芸術	都営交通	都営交通	水道・下水道	水道・下水道
23	国際交流	行政サービス	行政サービス	文化・芸術	都営交通	都営交通	都営交通	生涯学習・社会教育	都営交通	都営交通	男女平等	男女平等
24	都営交通	国際交流	国際交流	都市外交	都市外交	都市外交	都市外交	都営交通	都市外交	生涯学習・社会教育	生涯学習・社会教育	生涯学習・社会教育
25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(%)

順位	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
1	防災	防災	高齢者	高齢者	防災	高齢者	高齢者	防災	医療・衛生	防災
2	治安	治安	治安	防災	治安	防災	治安	医療・衛生	防災	高齢者
3	高齢者	高齢者	医療・衛生	治安	高齢者	治安	高齢者	高齢者	高齢者	医療・衛生
4	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	治安	治安	治安
5	環境	消費生活	交通安全	行財政	行財政	行財政	交通安全	子供	行財政	子供
6	交通安全	交通安全	土地・住宅	交通安全	交通安全	交通安全	環境	子供	子供	行財政
7	消費生活	環境	子供	環境	環境	環境	子供	消費生活	環境	消費生活
8	土地・住宅	土地・住宅	環境	子供	子供	子供	交通安全	行財政	交通安全	環境
9	行財政	子供	消費生活	消費生活	消費生活	消費生活	消費生活	学校教育	消費生活	交通安全
10	子供	行財政	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	交通安全	学校教育	学校教育
11	学校教育	学校教育	行財政	土地・住宅	土地・住宅	土地・住宅	土地・住宅	公園・緑地・水辺	公園・緑地・水辺	雇用就業
12	まちづくり	まちづくり	まちづくり	職業・雇用	職業・雇用	職業・雇用	職業・雇用	水道・下水道	水道・下水道	水道・下水道
13	青少年	公園・緑地・水辺	道路交通	中小企業	中小企業	障害者(児)	水道・下水道	職業・雇用	土地・住宅	土地・住宅
14	職業・雇用	道路交通	公園・緑地・水辺	公園・緑地・水辺	公園・緑地・水辺	中小企業	道路交通	土地・住宅	職業・雇用	公園・緑地・水辺
15	公園・緑地・水辺	職業・雇用	青少年	道路交通	公園・緑地・水辺	公園・緑地・水辺	都営交通	中小企業	まちづくり	障害者(児)
16	中小企業	水道・下水道	男女平等	障害者(児)	障害者(児)	道路交通	まちづくり	まちづくり	道路交通	まちづくり
17	文化・芸術	青少年	水道・下水道	まちづくり	まちづくり	水道・下水道	障害者(児)	文化・芸術	障害者(児)	男女平等
18	道路交通	男女平等	中小企業	水道・下水道	水道・下水道	男女平等	男女平等	障害者(児)	男女平等	中小企業
19	水道・下水道	中小企業	文化・芸術	男女平等	男女平等	まちづくり	中小企業	道路交通	文化・芸術	道路交通
20	都市外交	文化・芸術	職業・雇用	青少年	男女平等	青少年	公園・緑地・水辺	男女平等	中小企業	都営交通
21	男女平等	スポーツ・レクリエーション	都営交通	都営交通	文化・芸術	スポーツ・レクリエーション	青少年	都営交通	生涯学習、社会教育	文化・芸術
22	スポーツ・レクリエーション	障害者(児)	6	6	青少年	都営交通	4	5	都営交通	生涯学習、社会教育
23	障害者(児)	生涯学習、社会教育	4	4	障害者(児)	6	4	4	4	5
24	都営交通	都市外交	4	4	生涯学習、社会教育	4	4	4	4	5
25	生涯学習、社会教育	都市外交	4	4	文化・芸術	4	3	3	4	5
26	市民活動	都市外交	4	3	観光振興	3	3	3	4	5
27	観光振興	市民活動	2	2	都市外交	3	3	3	4	5
28	—	—	—	—	地域活動	3	2	2	3	4

(注1) 平成9年までは「都民要望に関する世論調査」

(注2) 平成2年から「生涯教育」を「生涯学習」に表現を変えている。

(注3) 平成3年から新たに「国際交流の推進」を追加した。

(注4) 平成10年から選択肢の表現を下記のとおり一部変更・追加した。

「ごみ対策」を「ごみ・産業廃棄物対策」、「公害対策」を「環境対策」、「住宅対策」を「土地・住宅対策」、「公園・緑化などの環境対策」を「公園・緑地・水辺の整備」、「心身障害者対策」を「障害者対策」、「交通災害対策」を「自動車交通対策」、「都市再開発などの市街地の整備」を「まちづくりの推進」、「女性の地位向上などの推進」を「男女平等の確立」、「上下水道の整備」を「水道・下水道の整備」、「職業訓練・雇用対策など勤労者対策」を「職業能力開発・雇用対策」に変更した。新たに、「少子化・子ども対策」を追加した。

(注5) 平成11年から「都営交通対策」を「都営交通の整備」に表現を変えている。

(注6) 平成12年から「障害者対策」を「障害者(児)対策」、「物価・消費者対策」を「消費生活対策」に表現を変えている。

(注7) 平成13年から「ごみ・産業廃棄物対策」を「廃棄物対策」に表現を変えている。

(注8) 平成14年から新たに、「行政サービスの電子化」を追加した。

(注9) 平成14年から「男女平等の確立」を「男女平等参画の推進」に、「自動車交通対策」を「交通安全対策」に表現を変えている。

(注10) 平成16年から「防犯対策」を「治安対策」に、「少子化・子ども対策」を「少子化・虐待防止などの子ども対策」に、「水道・下水道の整備」を「水道・下水道の整備・維持」に、「国際交流の推進」を「都市外交の推進」に、それぞれ表現を変えている。

(注11) 平成16年から「行政サービスの電子化」は、新たに追加した「行財政改革」に含めることとし、「廃棄物対策」は、「環境対策」に含めることとした。

(注12) 平成16年から選択可能な数を3つから5つに変更した。

(注13) 平成17年から新たに、「観光振興対策」を追加した。

(注14) 平成19年から「生涯学習、スポーツ・レクリエーションの振興」を「スポーツ・レクリエーションの振興」と「生涯学習、社会教育の振興」に分け、新たに「市民活動の促進」を追加した。

(注15) 平成28年から「行財政改革」を「行財政」、「市民活動の促進」を「地域活動の推進」に表現を変えている。

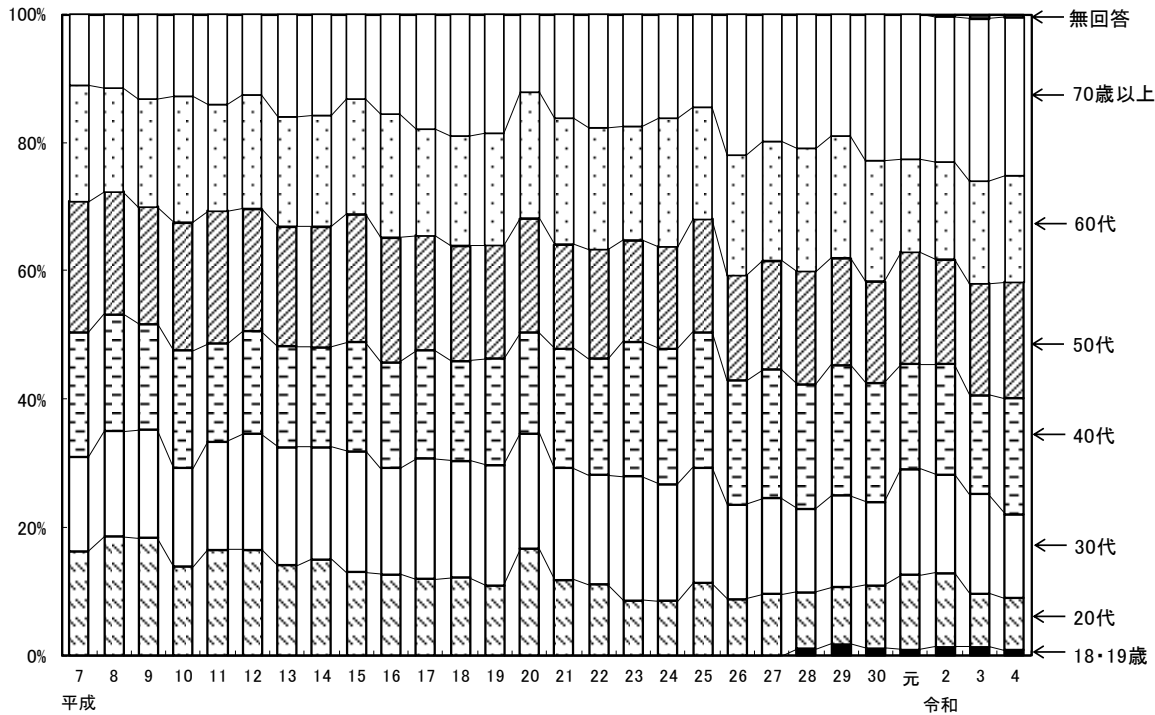
(注16) 平成29年から新たに、「多文化共生」を追加した。

(注17) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要。

(注18) 令和4年から「職業能力開発、雇用対策」を「雇用就業対策」に表現を変えている。

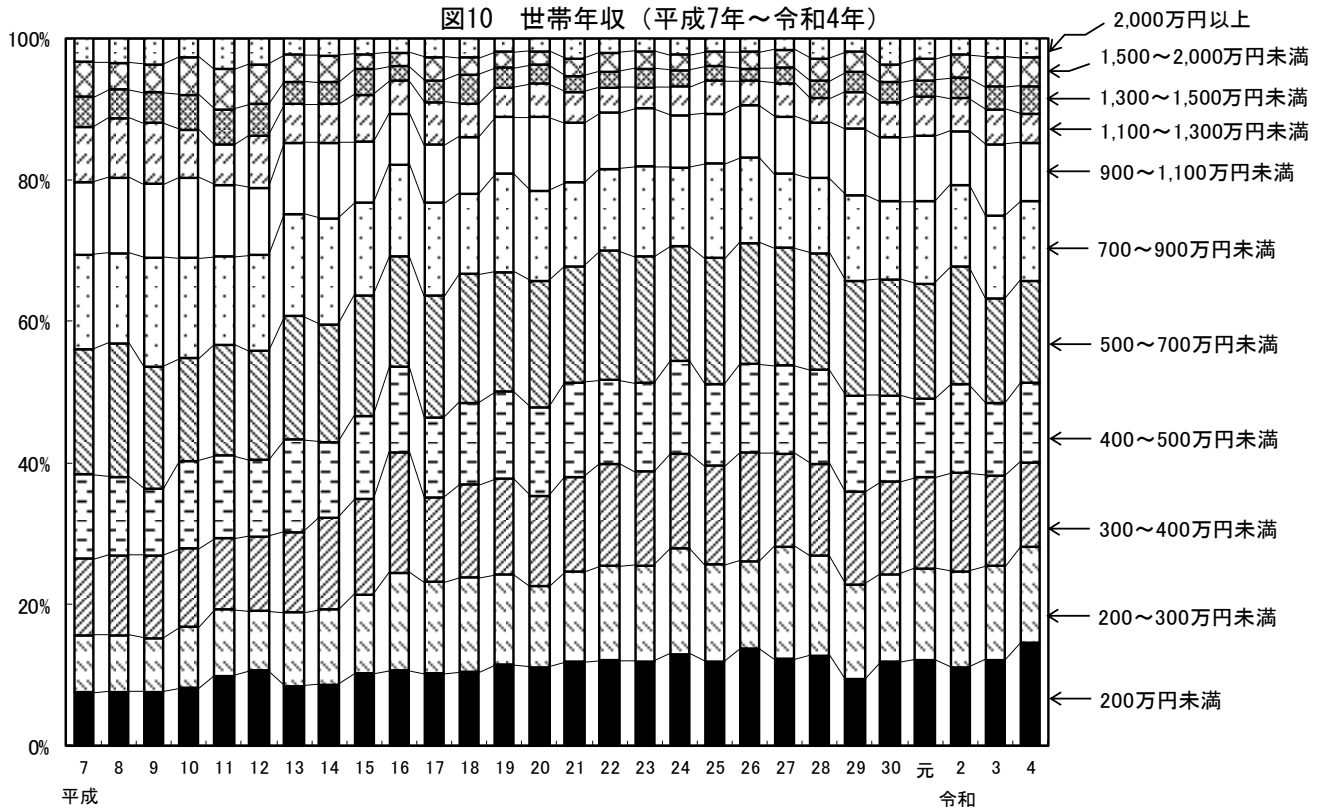
<参考：有効回収標本の年齢構成及び世帯年収の推移>

図9 年齢構成（平成7年～令和4年）



(注) 平成28年から「18・19歳」を追加した

図10 世帯年収（平成7年～令和4年）



(注1) 図9・10とも、各年の有効回収標本（回答者）の構成比を示す。図10は「わからない」「無回答」を除く。

(注2) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注3) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

「都民生活に関する世論調査」

登録番号 (4)14

令和4年12月発行

編集・発行 東京都政策企画局戦略広報部広報広聴課
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03(5388)3133

印刷 株式会社 三交社
東京都新宿区市谷砂土原町三丁目4番
電話 03(3267)3641

< お 願 い >

この報告書の内容を引用される場合、その旨を下記にご連絡ください。なお、印刷物の場合はその掲載部分の写しをお送りくだされば幸いです。

東 京 都 政 策 企 画 局
戦 略 広 報 部 広 報 広 聴 課 調 査 担 当

〒163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号

電 話 0 3 (5 3 8 8) 3 1 3 3

E-mail : S0014902@section.metro.tokyo.jp